

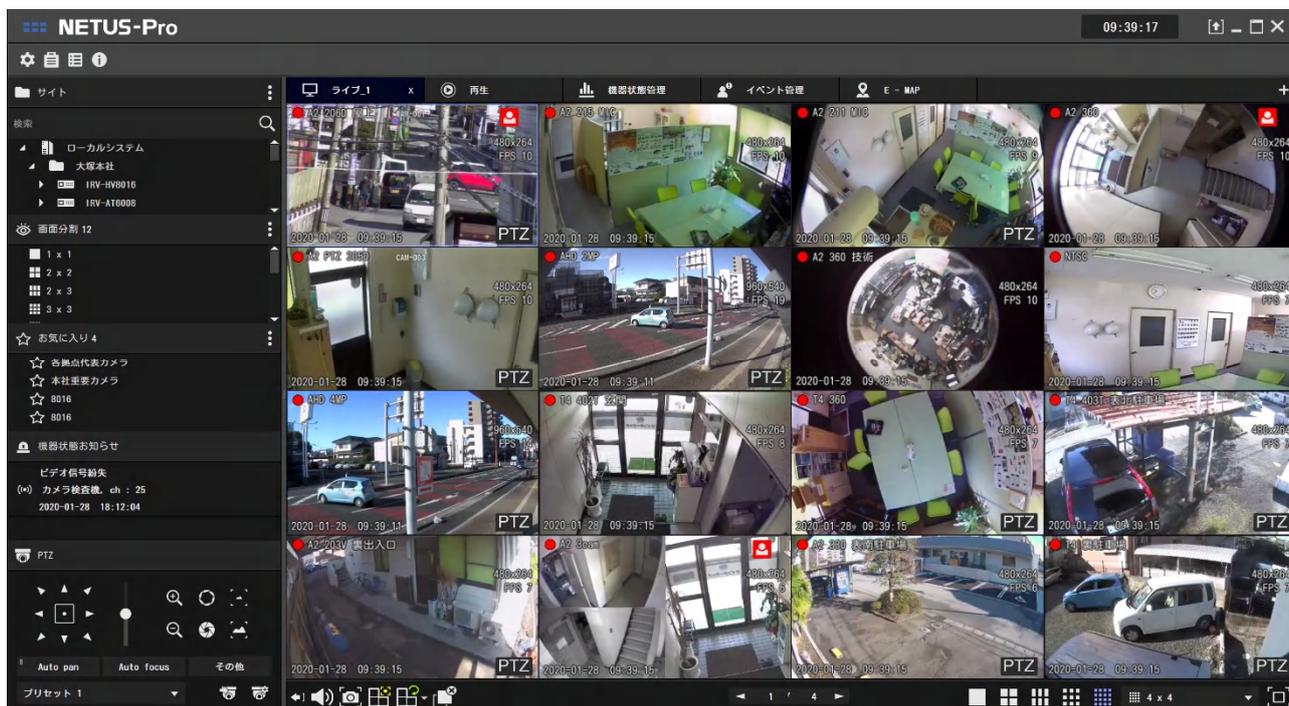
NETUS-Pro

使用説明書

対象製品バージョン：1.1.3

取説バージョン：2.1_P

商品添付用



この度は、DVR/NVR 遠隔監視ソフトウェア “NETUS-Pro” をご利用いただき誠にありがとうございます。
この使用説明書には、ソフトウェアをご利用いただくために必要な情報が含まれております。
この使用説明書は、いつでも読める場所に大切に保管してください。
このソフトウェアは、弊社が輸入・販売する DVR・NVR・HVR の付属ソフトウェアです。他社の販売する機器にはご使用いただくことは出来ませんのでご注意ください。

目 次

概要	5
用語の定義	5
凡例	6
動作環境	8
1. インストールと初期設定	9
1.1. インストール	9
1.2. 起動と終了	12
1.2.1. 起動	12
1.2.2. 終了	14
1.3. 画面構成と基本操作	14
1.4. 機器の登録と編集及び削除	17
1.4.1. 機器の登録	18
1.4.2. 機器の編集	33
1.4.3. 機器の削除	36
1.5. 機器グループ	38
1.5.1. 機器グループを作成する	38
1.5.2. 機器グループを削除する	47
1.6. VMS の機器情報のインポート	48
2. ライブ監視	52
2.1. ライブパネルの追加	52
2.2. ライブパネルの操作	54
2.2.1. 分割画面表示と1画面表示	54
2.2.2. 画面内のアイコン	54
2.2.3. 画面内のボタン	55
2.2.4. 画面内の右クリックメニュー	56
2.2.5. 即時再生	58
2.2.6. 簡易PTZ	60
2.3. サイドメニューの操作（ライブパネル用）	61
2.3.1. サイト	62
2.3.2. 画面分割	74
2.3.3. お気に入り	84
2.3.4. 機器状態お知らせ	93
2.3.5. PTZ	95
2.4. ボトムメニューの操作	97

2.5.	スナップショット	99
2.5.1.	画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法	99
2.5.2.	ボトムメニューのアイコンをクリックする方法	102
2.6.	デジタルズーム	105
2.7.	緊急録画	108
2.8.	イベントスポット	110
2.9.	チャンネルシーケンス	111
2.9.1.	チャンネルシーケンスの設定	111
2.9.2.	チャンネルシーケンスの実行と停止	112
3.	遠隔再生とダウンロード (バックアップ)	113
3.1.	再生パネルの追加 (遠隔再生/バックアップの準備)	113
3.2.	再生パネルの操作	115
3.2.1.	分割画面表示と1画面表示	115
3.2.2.	画面内のボタン	116
3.2.3.	画面内の右クリックメニュー	117
3.3.	サイドメニューの操作 (再生パネル用)	118
3.3.1.	サイト	119
3.4.	タイムライン	130
3.4.1.	表示範囲の拡張と折り畳み	130
3.4.2.	日時移動	130
3.4.3.	日時の表示範囲を変える	131
3.4.4.	録画状態を示すグラフの色分け	131
3.5.	再生メニューの操作	132
3.5.1.	カレンダー検索	133
3.5.2.	しおり (タイムラインに付ける目印)	137
3.5.3.	再生速度調整	139
3.5.4.	再生コントロールボタン	139
3.5.5.	高機能再生モード	139
3.5.6.	イベント選択	140
3.6.	ボトムメニューの操作 (再生パネル用)	141
3.7.	スナップショット	142
3.7.1.	画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法	142
3.7.2.	ボトムメニューのアイコンをクリックする方法	145
3.8.	デジタルズーム	147
3.9.	イベント検索	150
3.10.	日時指定検索	155
3.11.	バックアップ	158
4.	機器状態管理	168

4.1.	機器状態管理パネルの追加	169
4.2.	機器状態管理パネルの表示と操作	170
4.2.1.	リソースに関する表示	171
4.2.2.	機器の状態に関する表示	172
4.2.3.	機器状態詳細	173
5.	イベント管理	174
5.1.	イベント管理パネルの追加	174
5.2.	イベント管理パネルの表示と操作	175
6.	E-MAP	177
6.1.	E-MAP パネルの追加	178
6.2.	E-MAP パネルの構成	179
6.2.1.	E-MAP パネルの表示と基本操作	181
6.3.	地図の登録と関係性の設定	182
6.4.	サイドメニューの操作	186
6.4.1.	E-MAP	186
6.4.2.	地図項目	186
6.5.	ボトムメニューの操作	194
7.	システムメニュー (設定と管理)	196
7.1.	設定	197
7.1.1.	ユーザー	197
7.1.2.	イベント (イベントアクション)	209
7.1.3.	E-MAP	224
7.2.	環境設定	231
7.2.1.	システム	231
7.2.2.	機器	232
7.2.3.	画面	235
7.2.4.	ログ	237
7.2.5.	ポップアップ	237
7.2.6.	その他	239
7.3.	ログ管理	240
7.3.1.	システムログ	241
7.3.2.	ユーザーログ	242
7.3.3.	機器ログ	244
8.	付録	246
8.1.	イベントアクションの表示について	246
8.1.1.	ポップアップ表示の表示例	246

概要

NETUS Pro (読み: ネットス・プロ) は、弊社 IRV-HV8000・IRV-HD9000・IRV-AT6000(N)・IRV-A7000(N) シリーズのビデオ・レコーダを IP ネットワーク経由で遠隔監視・遠隔再生・遠隔操作・遠隔設定及び録画データのダウンロード(バックアップ)等をおこなうための Windows 及び Mac OS 用のソフトウェアです。

本書では Windows 用のソフトウェアを中心に記述します。

用語の定義

本書でよく使う用語とその意味を次表に示します。

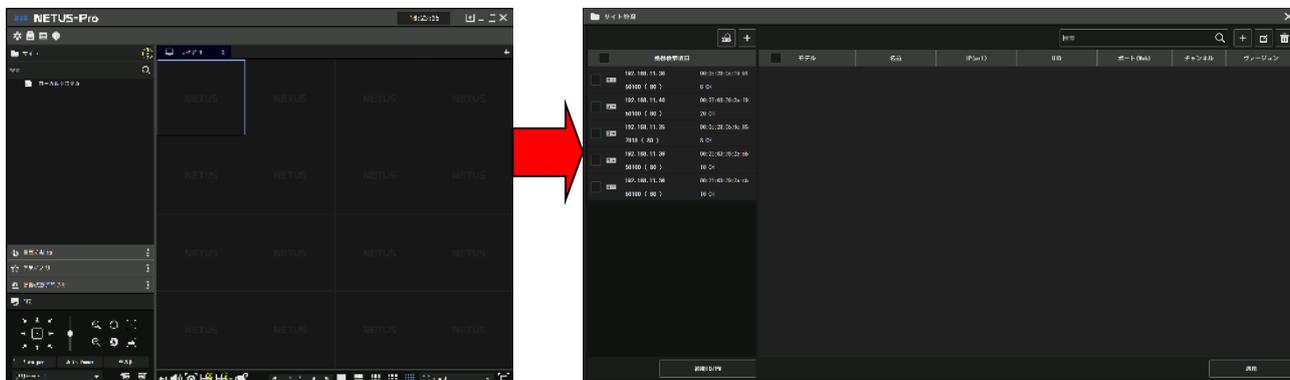
用語	説明
デジタルビデオレコーダ (DVR)	防犯(監視)カメラの映像を録画する装置で、カメラを1台毎に同軸ケーブルで接続して使用する方式の録画装置の総称。広義には防犯(監視)カメラの映像を録画する装置全般に対して使う場合もあります。
ネットワークビデオレコーダ (NVR)	防犯(監視)カメラの映像を録画する装置で、カメラをLANケーブルで接続して使用する方式の録画装置の総称。
ハイブリッドビデオレコーダ (HVR)	上記DVRとNVRの両方の機能を有する録画装置の総称。但し、一般的にはDVRと呼称される場合もあります。
本ソフトウェア	NETUS Pro (ネットス・プロ)の意味で使用します。
VPN	Virtual Private Network (仮想専用線接続)のことで、本書ではインターネットや通信事業者の接続サービスを利用して異なる場所のIPネットワーク同士を接続して仮想的にLANの異なるセグメントとして機能する方法(LAN間接続)という意味で使用します。 また、IPルーティングやフィルタリングはネットワーク管理者によって正しく設定されていることを前提とします。
P2P	本ソフトウェアにおけるP2Pとは、機器を設置したインターネットに接続されたローカルネットワークにおいて、ポートフォワーディング等の通信機器の特別な設定を施すことなくインターネット上から機器を接続可能にするための特別な通信サービスの意味で使います。 このサービスは海外事業者により運営されており、通信は海外のサーバを迂回する場合もあるので、通信の遅延や信頼性の低下、セキュリティ上のリスクを伴うことがあります。 本ソフトウェアでは、本来のpeer to peerとは異なる意味を含んで使用しています。
UTC 制御	UTC (Up The Coax) 制御とは、カメラの設定メニューやPTZ制御を、映像信号用の同軸ケーブルを利用して実行する仕組みの事です。UTCの信号は、カメラからの映像信号に画像が含まれていない瞬間を利用しますので、カメラからの映像信号がレコーダに正常に到達しており、レコーダがそれを正しく認識している状態でなければ機能しません。

凡例

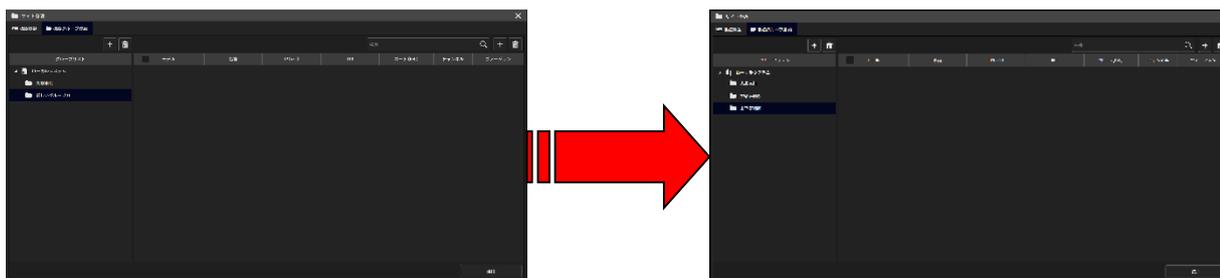
本書によく用いられる表記について記述します。

凡例	説明
< 情報 >	知っておくと便利な機能や知識について、追加的な説明を記述しています。
< 注意 >	関連操作に関して、特に注意していただきたい事柄を記述しています。
< 重要 >	必ず知っておくべき特に重要な注意事項を記述します。
< 予定機能 >	本書執筆の時点で開発予定及び開発中の機能です。今後実現される可能性、実現されない可能性、操作方法が変更される可能性、廃止される可能性があります。基本的には本書執筆時点で正常に動作していませんので、この表示のある項目は設定を変更したり値を入力したりしないでください。
< 未検証 >	この機能は、弊社の検証用設備の都合等により検証されていない機能です。特殊な機能である場合が多いため、弊社ではサポートは出来ません。
< 変更不可 >	この項目または機能は変更が許可されていません。

図の中で、ある操作の前後の状態を示す場合は、次の図のように赤いブロック矢印を使用します。

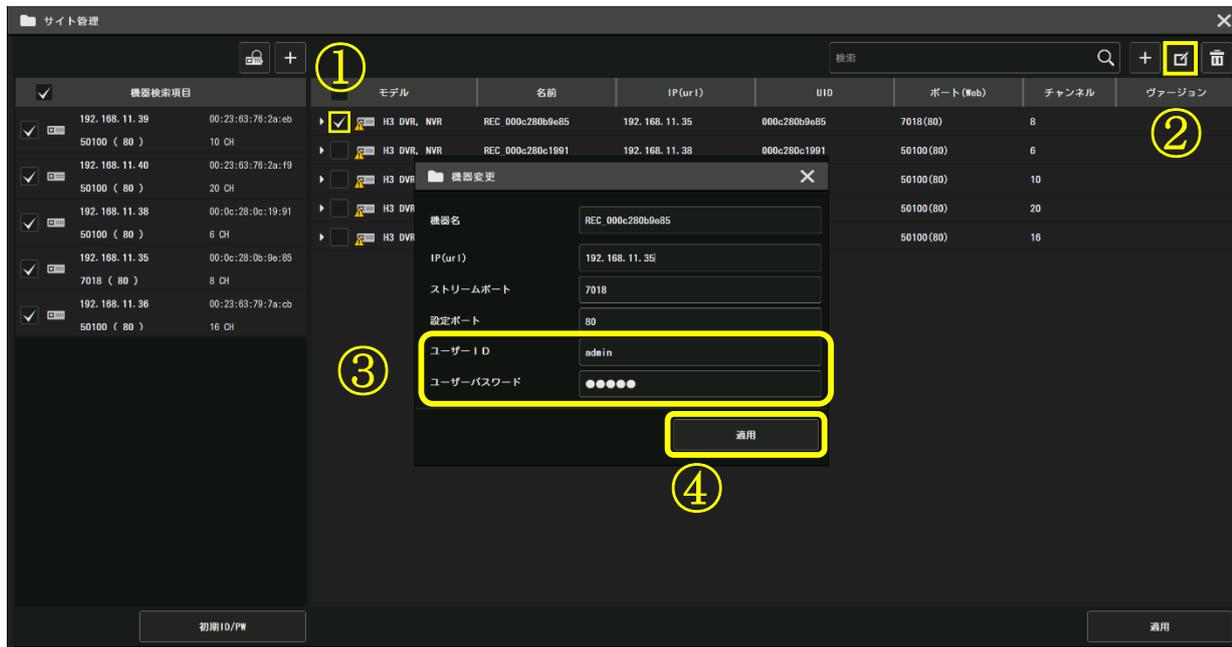


図の中で、前後の状態が多段階の変化を示す場合は次のような始点側の途切れた赤いブロック矢印を使用します。



図の中で、操作をする場所や確認する場所は次の図のように黄色い枠線で示します。

なお、丸数字は別表との関連付けに使用します。図の下または次のページの表と合わせてご覧ください。



図や本文中で、丸括弧 () 内の数字は操作の順番を示します。



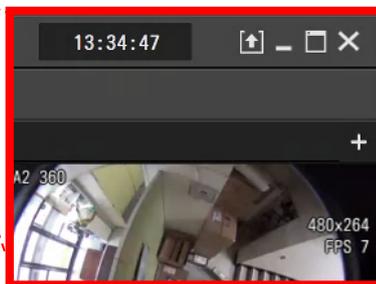
図の中で、ある操作の前後で表示が変化する場合に、特にその変化に注目していただきたい部分は緑の枠線で示します。



図の一部分を拡大して描画する場合は、次の図のように元の図に拡大範囲を赤い細い枠線で示し、拡大された部分を別の場所に赤い太い外枠付きの図で描画します。そして、その間を点線で繋いで拡大図であることを示します。



全体図



拡大図

動作環境

本ソフトウェアが動作するために必要なPC環境の条件は次の通りです。

	最低動作環境	推薦動作環境
CPU	Intel Core i5-7600 3.50 GHz 以上	Intel Core i7-7700 3.6GHz 以上
RAM	8 GB 以上	16 GB 以上
VGA メモリー	6 GB 以上	6 GB 以上
HDD	80 GB 以上の空き容量	SSD 120 GB 以上の空き容量
NIC	100 MBits 以上の Ethernet NIC	Gigabit Ethernet
OS	Windows 7 以上	Windows 10 以上
DirectX / Open GL	DirectX 9.0 以上 / OpenGL 互換	

1. インストールと初期設定

1.1. インストール

NETUS -Pro のインストール用ファイル及びマニュアル（本書）は商品に添付された CD-ROM 及び弊社ホームページ (<https://www.interluck.co.jp/support/>) より提供致します。

Windows 向けのインストール用ファイルには、PC のシステム環境に応じて同じバージョンのファイルが 2 種類用意されておりますので、使用する PC 環境に合わせてお選びください。



2 種類のファイルのアイコン表示例

ファイル名の形式

NETUS_NETUS-Pro_v.*. *. *. * x**

①

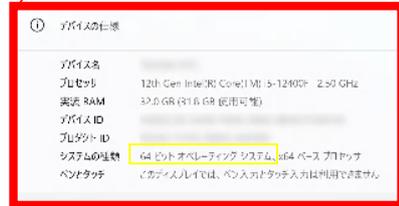
②

番号	値	説明
①	v. *. *. *. *	バージョン番号を示します。
②	x86	32 ビットオペレーティングシステム用であることを示します
	x64	64 ビットオペレーティングシステム用であることを示します

お使いのオペレーティングシステムが 32 ビットか 64 ビットかについては、Windows の「コントロールパネル」の「システム」でご確認ください。

Windows 11 の場合は全て 64bit 版です。

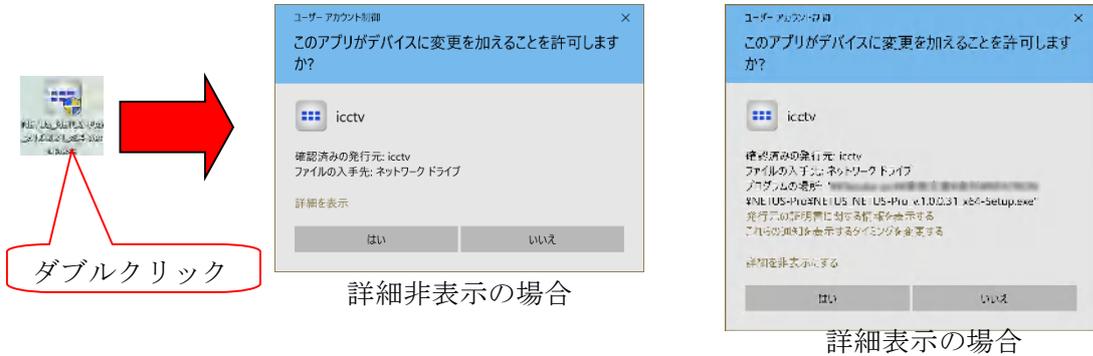
Windows 10 の場合	スタート → Windows システムツール → コントロールパネル → システムとセキュリティ → システム
Windows 11 の場合	スタート → すべてのアプリ → 設定 → システム → バージョン情報



インストールは次の手順で実行します。

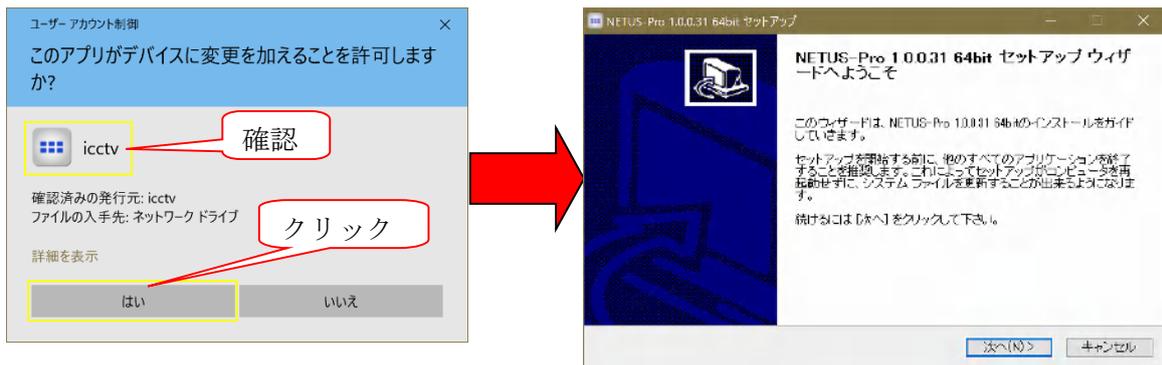
(1) インストールプログラムを実行する

インストールファイルをダブルクリックして実行するとユーザーアカウント制御が表示されます。



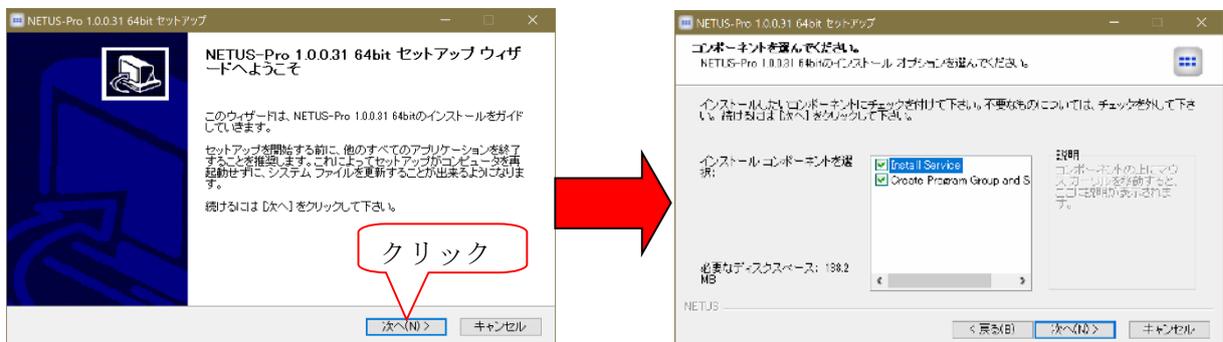
(2) 実行を許可する

署名者を確認し **はい** ボタンをクリックして実行を許可すると、セットアッププログラムが起動します。



(3) **次へ(N) >** をクリック

「NETUS-Pro・・・セットアップウィザードへようこそ」が表示されたら **次へ(N) >** をクリックすると、コンポーネントの選択を求められます。



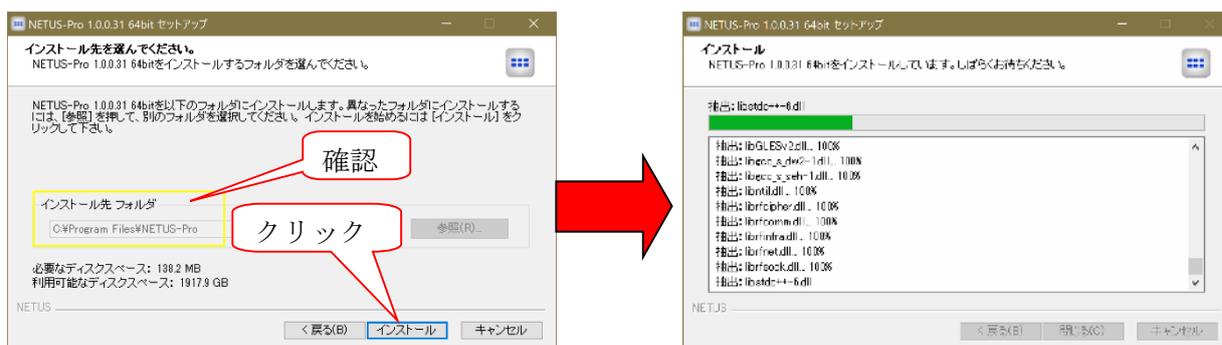
(4) チェックボックスを確認して **次へ(N) >** をクリック

全てのチェックボックスがチェックされていることを確認し **次へ(N) >** をクリックすると、インストール先の選択を確認する画面が表示されます。



(5) インストール先を確認して **インストール** をクリック

インストール先は変更することは出来ません。そのまま **次へ(N) >** をクリックして、インストールを開始します。



インストールを完了するとログイン画面が表示されます。



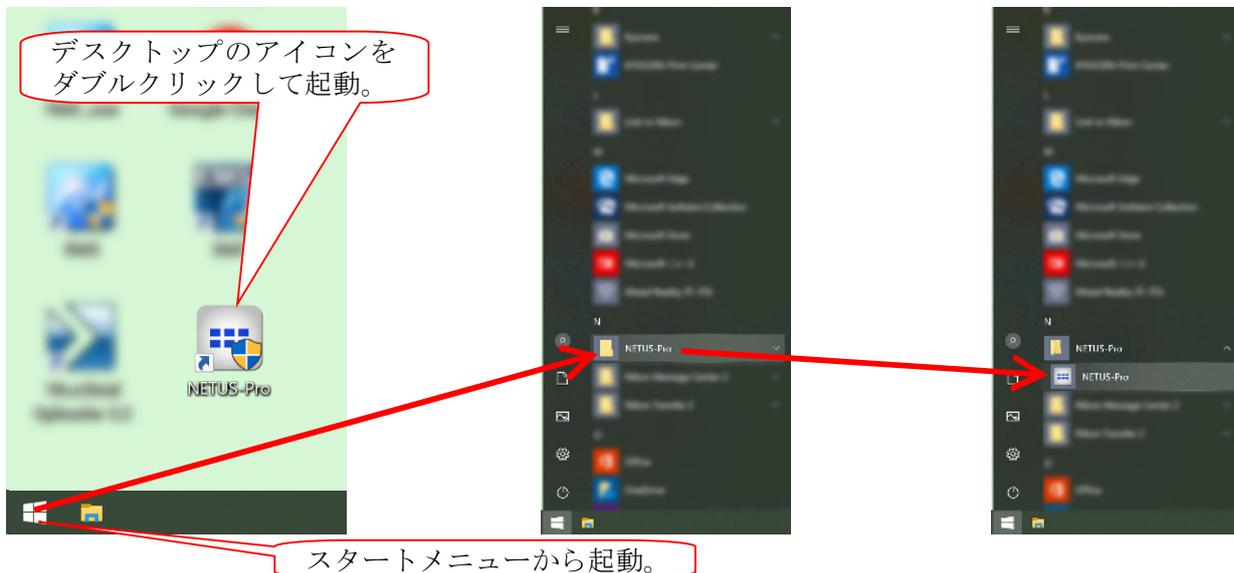
以降は 13 ページの「(3)ユーザー認証」に進んでください。

1.2. 起動と終了

1.2.1. 起動

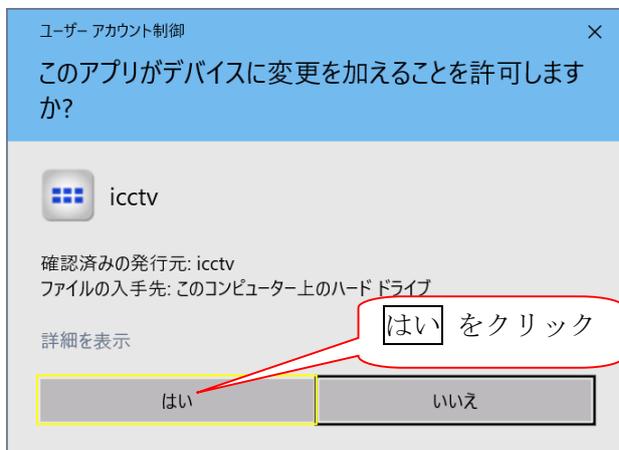
NETUS-Pro は次の手順で起動します。

- (1) スタートメニューまたはデスクトップのアイコンから起動します

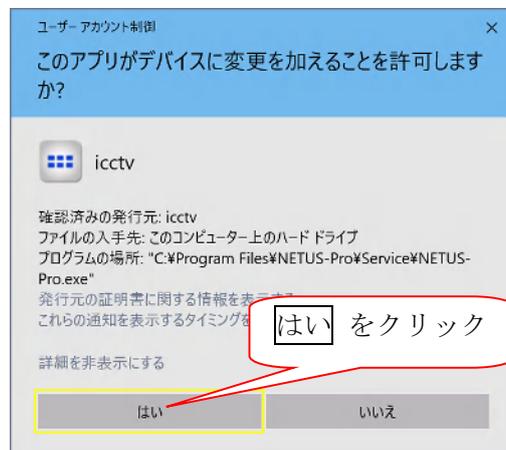


- (2) ユーザーアカウント制御を許可する

Windows が、NETUS-Pro にデバイスの変更を認めて良いか確認するために次のような画面を表示しますので **はい** をクリックして許可します。



詳細非表示の場合



詳細表示の場合

< 注意 >

- **いいえ** をクリックした場合、NETUS-Pro は起動出来ません。
- ユーザーアカウント制御が表示された直後の状態で、キーボードの **Enter** キーを押すと Windows は、システム保護のため **いいえ** と解釈します。

(3) ユーザー認証

次の画面が表示されたら、ログイン ID (ユーザー名) とパスワードを入力して **☑** (ログイン) ボタンをクリックします。



番号	名称	説明
①	ログイン ID	NETUS-Pro を操作するためのユーザーのユーザーIDを入力します。
②	パスワード	NETUS-Pro を操作するためのユーザーのパスワードを入力します。
③	パスワード保存	このチェックボックスをチェックすると、次回のログイン時からパスワードの欄に保存されたパスワードが入力された状態で表示されます。
④	自動ログイン	このチェックボックスをチェックすると、次回のログイン時からユーザーID とパスワードの入力を省略することが出来ます。
⑤	☑ (ログイン) ボタン	ユーザーID とパスワードでログインを実行します。
⑥	全画面表示を開始	全画面表示の状態を開始します。通常のウィンドウに戻す場合はキーボードの [ESC] ボタンを押します。
⑦	Sigma サーバーユーザー	<予定機能> チェックしないでください。

< 注 意 >

- ここで使用するアカウントは NETUS-Pro 専用のもので Windows や機器 (DVR・NVR 等) にログインするためのアカウントとは別のものです。
- NETUS-Pro は、ログインするユーザー毎に操作範囲を設定することが出来ます。

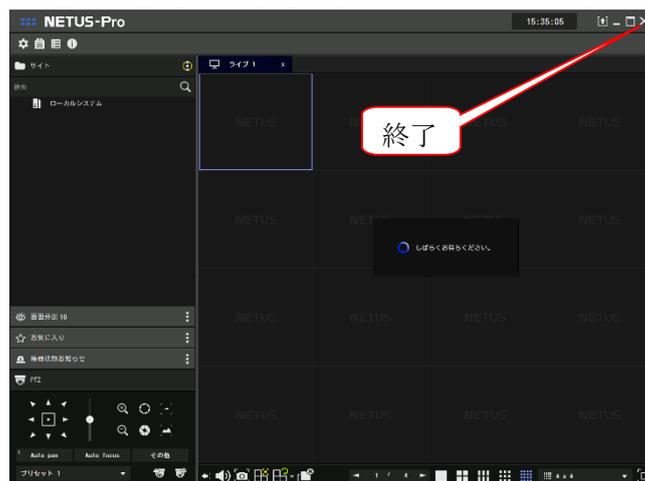
参照 → 202 ページ

< 重要 >

- NETUS-Pro をインストールした直後には、マスター管理者として次のユーザーが予め登録されています。
初期ログイン ID : **admin**
初期パスワード : **11111111 (イチ・イチ・イチ・イチ・イチ・イチ・イチ)**
- マスター管理者のパスワードは必要に応じて管理者の責任で変更してください。
- 万一マスター管理者のパスワードを忘れてしまった場合、弊社でパスワードをお調べすることは出来ません、パスワードは大切に保管してください。
- マスター管理者のパスワードを紛失して、どうしても見つけることが出来なくなった場合は、NETUS-Pro を一旦アンインストールしてから再インストールしてください。
- マスター管理者のログイン ID の変更及びアカウントの削除は出来ません。
- パスワード保存及び自動ログインは、認証をバイパスする性質を持つ機能です。第三者による不正操作が想定される環境では使用しないでください。

1.2.2. 終了

NETUS-Pro はタイトルバーの右端（ウィンドウ右上）にある  ボタンで終了します。



1.3. 画面構成と基本操作

NETUS Pro の画面構成は次のようになっています。



番号	名称	説明												
①	システムメニュー	<p>システムメニューには NETUS-Pro の基本的な設定と情報を表示するためのボタンが並んでいます。</p> <p>システムメニューはタイトルバーの  ボタンで非表示にすることが出来ます。システムメニューを再度表示するためにはタイトルバーの  ボタンを使います。</p> <p>それぞれのボタンで次のウィンドウを開きます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ボタン</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (設定)</td> <td> <p>「設定」ウィンドウを開きます。</p> <p>ここでは NETUS Pro の次の事項に関する設定が出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーに関する設定 参照 → 197 ページ ● イベントの取扱いに関する設定 参照 → 209 ページ ● E-MAP に関する設定 参照 → 224 ページ </td> </tr> <tr> <td> (環境設定)</td> <td> <p>「環境設定」ウィンドウを開きます。</p> <p>ここでは NETUS Pro の動作環境に関する次の設定が出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システムの基本的な設定 参照 → 231 ページ ● 外部機器に関する共通設定 参照 → 232 ページ ● 画面表示に関する設定 参照 → 235 ページ ● ログに関する設定 参照 → 237 ページ ● ポップアップ表示に関する設定 参照 → 237 ページ ● その他の設定 参照 → 239 ページ </td> </tr> <tr> <td> (ログ管理)</td> <td>「ログ管理」ウィンドウでは NETUS-Pro のシステムとユーザーに関するログを表示します。</td> </tr> <tr> <td> (情報)</td> <td>NETUS Pro のバージョン情報を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	ボタン	機能	 (設定)	<p>「設定」ウィンドウを開きます。</p> <p>ここでは NETUS Pro の次の事項に関する設定が出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーに関する設定 参照 → 197 ページ ● イベントの取扱いに関する設定 参照 → 209 ページ ● E-MAP に関する設定 参照 → 224 ページ 	 (環境設定)	<p>「環境設定」ウィンドウを開きます。</p> <p>ここでは NETUS Pro の動作環境に関する次の設定が出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システムの基本的な設定 参照 → 231 ページ ● 外部機器に関する共通設定 参照 → 232 ページ ● 画面表示に関する設定 参照 → 235 ページ ● ログに関する設定 参照 → 237 ページ ● ポップアップ表示に関する設定 参照 → 237 ページ ● その他の設定 参照 → 239 ページ 	 (ログ管理)	「ログ管理」ウィンドウでは NETUS-Pro のシステムとユーザーに関するログを表示します。	 (情報)	NETUS Pro のバージョン情報を表示します。		
		ボタン	機能											
		 (設定)	<p>「設定」ウィンドウを開きます。</p> <p>ここでは NETUS Pro の次の事項に関する設定が出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーに関する設定 参照 → 197 ページ ● イベントの取扱いに関する設定 参照 → 209 ページ ● E-MAP に関する設定 参照 → 224 ページ 											
		 (環境設定)	<p>「環境設定」ウィンドウを開きます。</p> <p>ここでは NETUS Pro の動作環境に関する次の設定が出来ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システムの基本的な設定 参照 → 231 ページ ● 外部機器に関する共通設定 参照 → 232 ページ ● 画面表示に関する設定 参照 → 235 ページ ● ログに関する設定 参照 → 237 ページ ● ポップアップ表示に関する設定 参照 → 237 ページ ● その他の設定 参照 → 239 ページ 											
		 (ログ管理)	「ログ管理」ウィンドウでは NETUS-Pro のシステムとユーザーに関するログを表示します。											
 (情報)	NETUS Pro のバージョン情報を表示します。													
②	タブメニュー	<p>パネルに表示するための映像や文字情報等を選択するためのタブが並びます。</p> <p>NETUS-Pro を初めてインストールした場合の初回起動時には「ライブ_1」タブだけが表示されています。</p> <p>他のタブは必要に応じて「メニューバー」を使って追加します。</p> <p>タブには機能毎に次の 5 種類があります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ボタン</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (ライブ)</td> <td>機器 (DVR や NVR) の現在のカメラ映像を表示するためのパネルです。 ライブタブは合計 4 枚まで増やすことが出来ます。</td> </tr> <tr> <td> (再生)</td> <td>機器 (DVR や NVR) に内蔵されたハードディスクの映像を再生したりバックアップしたりするためのパネルです。</td> </tr> <tr> <td> (機器状態管理)</td> <td>機器 (DVR や NVR) の現在の状態を表示するためのパネルです。</td> </tr> <tr> <td> (イベント管理)</td> <td>機器 (DVR や NVR) で発生したイベントを表示するためのパネルです。</td> </tr> <tr> <td> (E-MAP)</td> <td>機器 (DVR や NVR) に接続されたカメラの場所を地図や見取り図等の画像に重ねて表示するためのパネルです。</td> </tr> </tbody> </table>	ボタン	機能	 (ライブ)	機器 (DVR や NVR) の現在のカメラ映像を表示するためのパネルです。 ライブタブは合計 4 枚まで増やすことが出来ます。	 (再生)	機器 (DVR や NVR) に内蔵されたハードディスクの映像を再生したりバックアップしたりするためのパネルです。	 (機器状態管理)	機器 (DVR や NVR) の現在の状態を表示するためのパネルです。	 (イベント管理)	機器 (DVR や NVR) で発生したイベントを表示するためのパネルです。	 (E-MAP)	機器 (DVR や NVR) に接続されたカメラの場所を地図や見取り図等の画像に重ねて表示するためのパネルです。
		ボタン	機能											
		 (ライブ)	機器 (DVR や NVR) の現在のカメラ映像を表示するためのパネルです。 ライブタブは合計 4 枚まで増やすことが出来ます。											
		 (再生)	機器 (DVR や NVR) に内蔵されたハードディスクの映像を再生したりバックアップしたりするためのパネルです。											
		 (機器状態管理)	機器 (DVR や NVR) の現在の状態を表示するためのパネルです。											
		 (イベント管理)	機器 (DVR や NVR) で発生したイベントを表示するためのパネルです。											
 (E-MAP)	機器 (DVR や NVR) に接続されたカメラの場所を地図や見取り図等の画像に重ねて表示するためのパネルです。													

番号	名称	説明												
③	サイドメニュー	現在表示しているタブ毎の必要な操作をするためのメニューを表示します。サイドメニューはボトムメニューの  (非表示) ボタンで非表示にすることが出来ます。サイドメニューを再び表示するためにはボトムメニューの  (表示) ボタンを使います。 機能はタブ (パネル) 毎に異なります。												
④	ボトムメニュー	現在表示しているタブ毎の必要な操作をするためのメニューを表示します。ボトムメニューは非表示に出来ません。 機能はタブ (パネル) 毎に異なります。												
⑤	メニューバー	メニューバーは通常は表示されていませんが、タブの右側にある  ボタンで一時的に表示することが出来ます。 メニューバーには機能毎のタブに対応するボタンがあり、そのボタンを使って新しいタブを追加することが出来ます。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>ボタン</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (ライブ)</td> <td>機器 (DVR や NVR) の現在のカメラ映像を表示するためのタブ (パネル) を作成します。</td> </tr> <tr> <td> (再生)</td> <td>機器 (DVR や NVR) に内蔵されたハードディスクの映像を再生したりバックアップしたりするためのタブ (パネル) を作成します。</td> </tr> <tr> <td> (機器状態管理)</td> <td>機器 (DVR や NVR) の現在の状態を表示するためのタブ (パネル) を作成します。</td> </tr> <tr> <td> (イベント管理)</td> <td>機器 (DVR や NVR) で発生したイベントを表示するためのタブ (パネル) を作成します。</td> </tr> <tr> <td> (E-MAP)</td> <td>機器 (DVR や NVR) に接続されたカメラの場所を地図や見取り図等の画像に重ねて表示するためのタブ (パネル) を作成します。</td> </tr> </tbody> </table>	ボタン	機能	 (ライブ)	機器 (DVR や NVR) の現在のカメラ映像を表示するためのタブ (パネル) を作成します。	 (再生)	機器 (DVR や NVR) に内蔵されたハードディスクの映像を再生したりバックアップしたりするためのタブ (パネル) を作成します。	 (機器状態管理)	機器 (DVR や NVR) の現在の状態を表示するためのタブ (パネル) を作成します。	 (イベント管理)	機器 (DVR や NVR) で発生したイベントを表示するためのタブ (パネル) を作成します。	 (E-MAP)	機器 (DVR や NVR) に接続されたカメラの場所を地図や見取り図等の画像に重ねて表示するためのタブ (パネル) を作成します。
		ボタン	機能											
		 (ライブ)	機器 (DVR や NVR) の現在のカメラ映像を表示するためのタブ (パネル) を作成します。											
		 (再生)	機器 (DVR や NVR) に内蔵されたハードディスクの映像を再生したりバックアップしたりするためのタブ (パネル) を作成します。											
 (機器状態管理)	機器 (DVR や NVR) の現在の状態を表示するためのタブ (パネル) を作成します。													
 (イベント管理)	機器 (DVR や NVR) で発生したイベントを表示するためのタブ (パネル) を作成します。													
 (E-MAP)	機器 (DVR や NVR) に接続されたカメラの場所を地図や見取り図等の画像に重ねて表示するためのタブ (パネル) を作成します。													
⑥	パネル	タブで選択された映像や文字情報等をこの部分に表示します。												

1.4. 機器の登録と編集及び削除

機器 (DVR・NVR 等) の登録・変更及び削除は「サイト管理」ウィンドウでおこないます。

機器が未登録の状態では NETUS-Pro を起動した場合、サイドメニューの「サイト」欄上部の  (機器登録) ボタンにアニメーションで黄色い丸い目印が表示され新規登録を促します。

機器が 1 つ以上登録されている状態では目印は表示されなくなります。



＜ 注 意 ＞

- 登録可能な機器の数（仕様上の限界）は最大 1000 台で、この中に含む事が出来る P2P 接続端末の数は最大 15 台です。
- システム上の様々な制限により、実際に利用可能な台数は仕様上の限界より少なくなります。

1.4.1. 機器の登録

機器の登録方法は NETUS-Pro が動作している PC と登録しようとしている機器との IP ネットワーク上の位置関係等の条件によって異なります。

1.4.1.1. 同一ネットワーク内にある機器を登録する

NETUS-Pro と接続しようとしている機器（DVR・NVR 等）が同一ネットワーク（セグメント）内にある場合、機器検索機能を使って接続することが出来ます。

- (1) （機器登録）ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



- (2) 左側のリストに表示された機器の中から必要なものにチェックを入れる

NETUS-Pro を実行している PC と登録しようとする機器が同一ネットワーク（セグメント）内にある場合、ウィンドウ左側に機器のリストが表示されますので、表示された機器の中から必要な機器のチェックボックスにチェックを入れます。

表示された全ての機器にチェックを入れたり外したりしたい場合は「機器検索項目」の左側のチェックボックスを利用します。



(3) **+** (機器自動追加) ボタンをクリックする

ウィンドウ左側のリストに表示されていた機器がウィンドウ右側にも表示され、仮の登録状態になります。



この状態では認証情報は初期設定のままですので、機器に登録された認証情報と異なる場合は  のように機器のアイコンに  (警告) マークが表示され、正しい認証情報を入力しないと接続出来ない事を警告します。(この状態でも適用は可能です)

(4) 必要に応じてユーザーID とユーザーパスワードを変更する

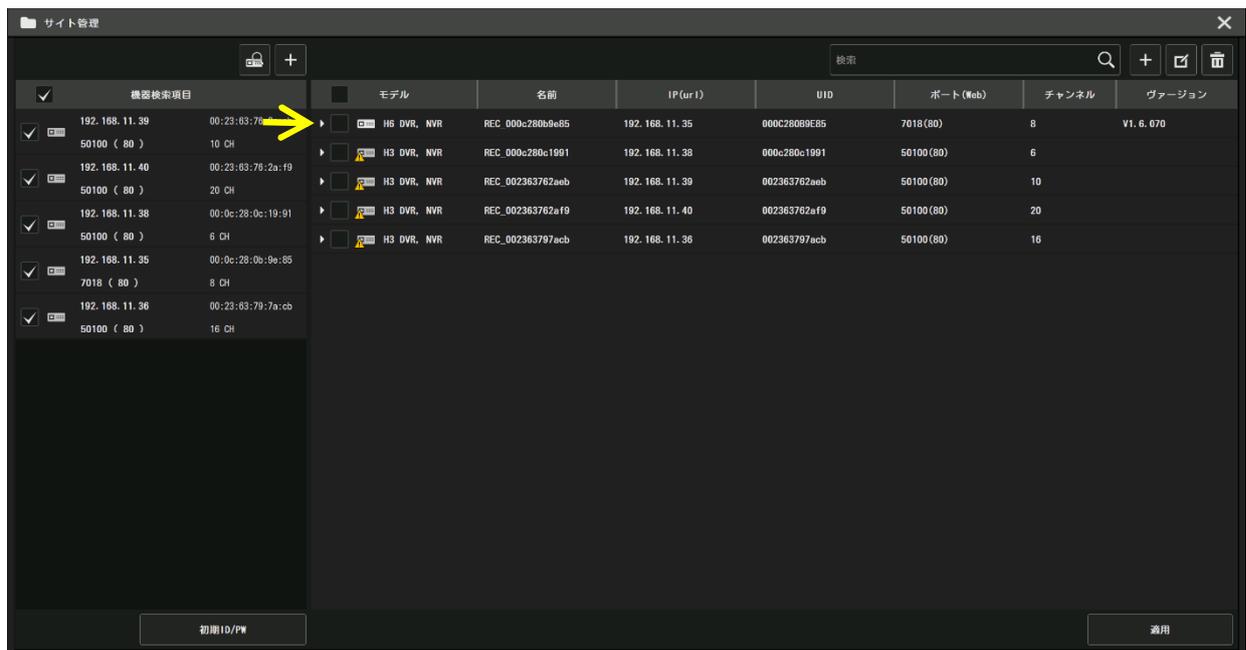
 アイコンの表示された機器の中から 1 つにチェックを入れ  (機器変更) ボタンをクリックして「機器変更」ウィンドウで機器に登録しているユーザーID とユーザーパスワードを入力してから  ボタンをクリックします。

詳細は「機器の編集」のページを参照してください、

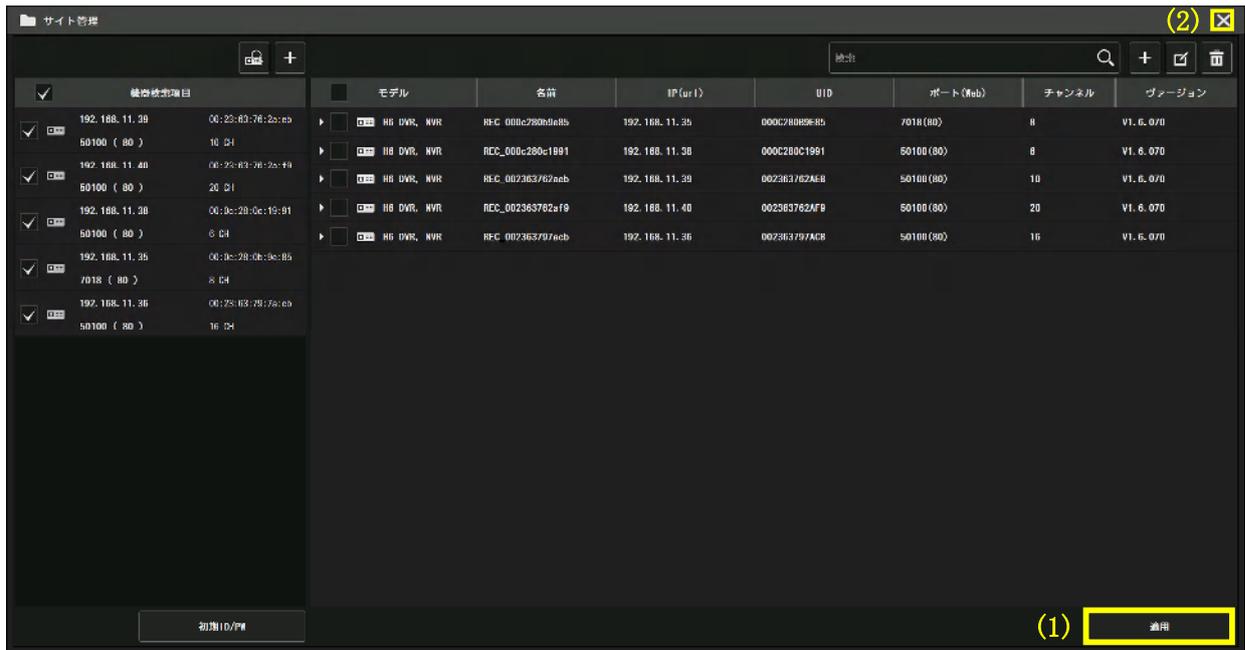
参照 → 33 ページ



- (5) 機器のアイコンから▲ (警告) マークが消えた事を確認する
「機器変更」ウィンドウを閉じて「サイト管理」に戻ったら、変更した機器のアイコンから▲ (警告) マークが消えた事を確認します。



- (6) 他の機器に対しても同じ操作を繰り返す
(4)～(5)の操作を繰り返して、全てのアイコンから▲ (警告) マークが消えたら **適用** ボタン **☒** (終了) ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを閉じます。



< 注意 >

- admin (マスター管理者) 以外のユーザーを登録している場合、それらのユーザーに対して機器へのアクセス権を設定するまでは、それらのユーザーが機器にアクセスする事は出来ません。ユーザーのアクセス権については「7.1.1.4.2 機器へのアクセス権 (「機器」タブ)」のページをご覧ください。

参照 → 205 ページ

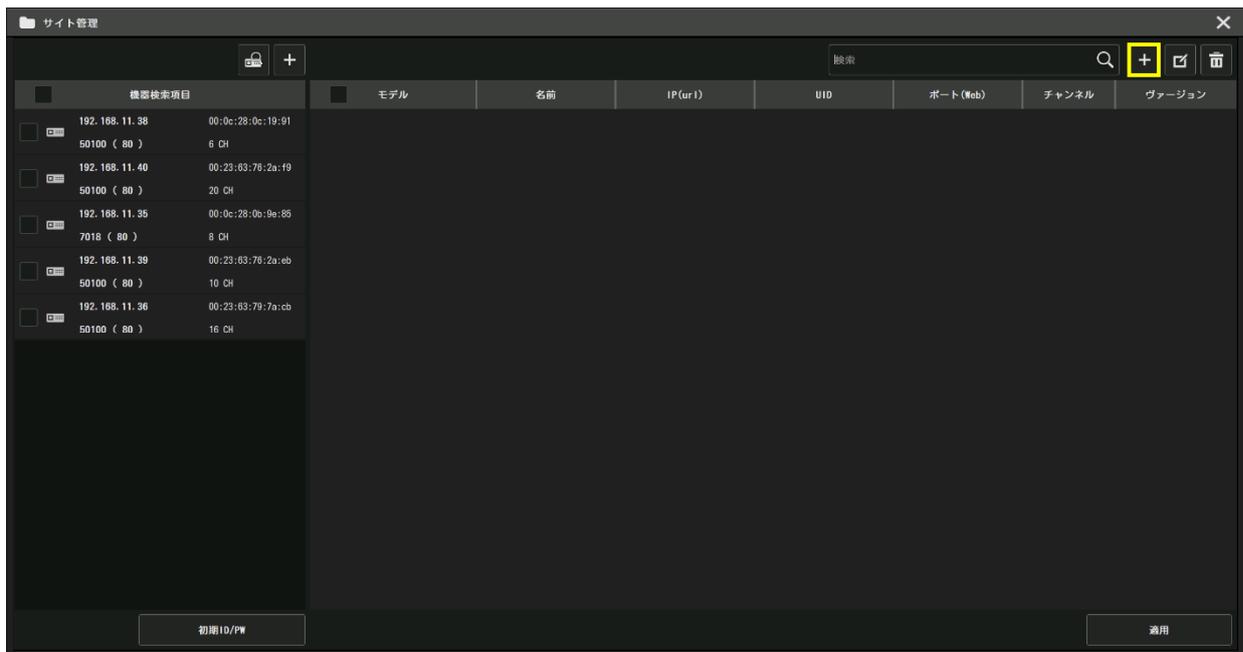
1.4.1.2. 異なるネットワーク内 (VPN 及びインターネットの固定 IP を含む) にある機器を登録する

LAN 内であっても異なるセグメントや VPN を介した接続では機器検索用のパケット (ブロードキャストパケット) が到達出来ないため機器検索機能は利用出来ません。その場合は接続に必要な情報を全て手作業で入力する必要があります。

(1) (機器登録) ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



(2) ウィンドウ右側の (機器追加) ボタンをクリックする



(3) 「機器追加」 ウィンドウに必要事項を入力する

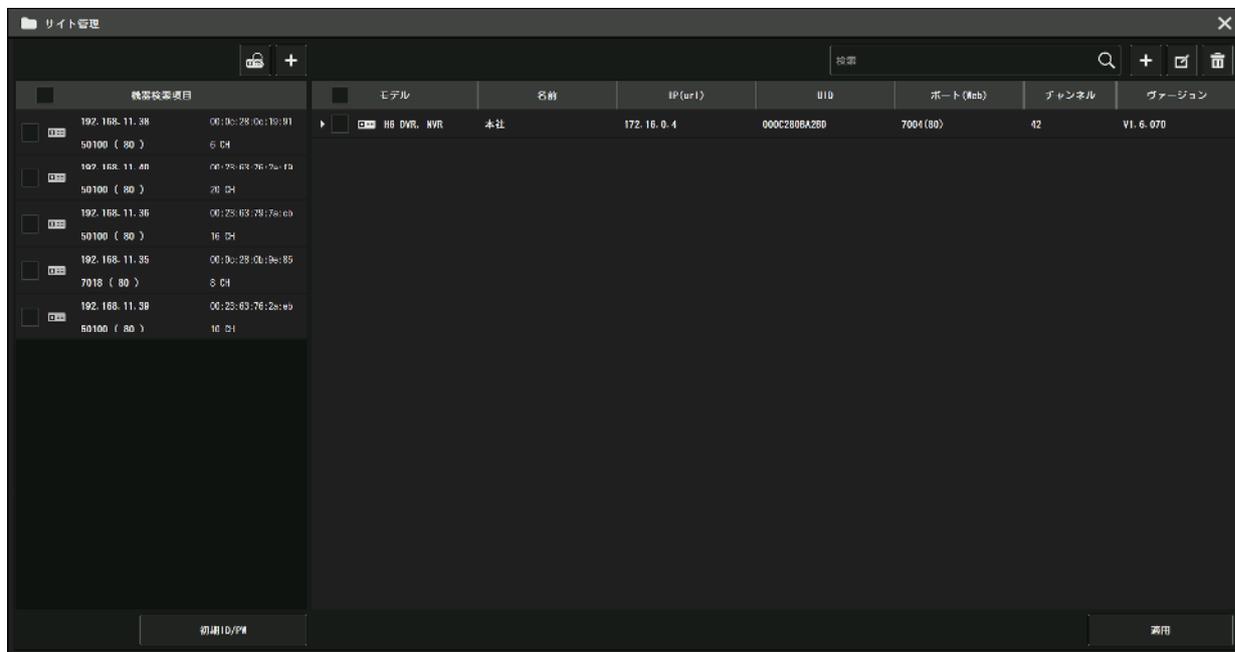
入力内容は一例です

番号	名称	説明
①	機器名	接続先の機器を識別するための名称を設置場所のような分かりやすい文言で入力します。
②	IP(url)	接続先の機器の IP アドレス (IPv4) を入力します。
③	ストリームポート	接続先の機器に設定されている「クライアントポート」の番号を入力します。
④	設定ポート	接続先の機器に設定されている「Web サーバーポート」の番号を入力します。
⑤	ユーザーID	接続先の機器に設定されている「ユーザー名」を入力します。
⑥	ユーザーパスワード	⑤で入力したユーザー用のパスワードを入力します。
⑦	適用	入力した内容を適用して「機器追加」ウィンドウを閉じます。
⑧	終了	入力した内容を適用せずに「機器追加」ウィンドウを閉じます。

(4) 「機器追加」 ウィンドウの **適用** ボタンで保存して閉じる

適用 ボタンをクリックすると入力内容が保存され「機器追加」 ウィンドウが消えて「サイト管理」 ウィンドウに戻ります。

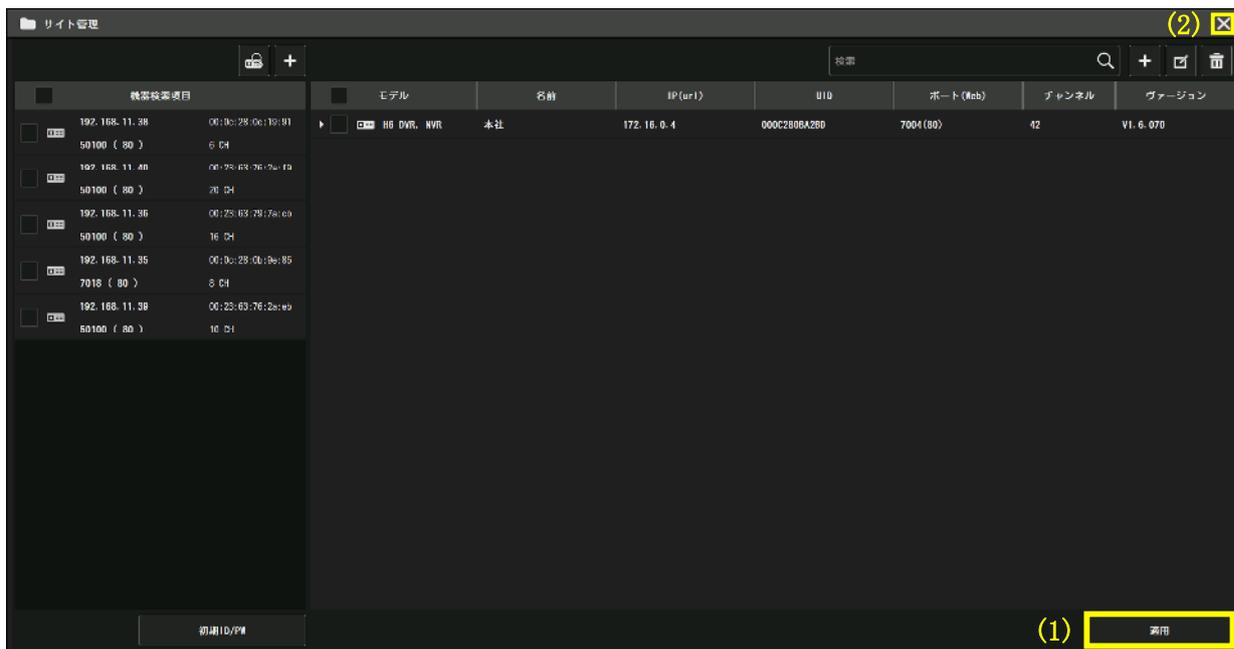
「サイト管理」 ウィンドウではアイコンの表示で接続の状態を確認してください。



アイコン	説明
	接続成功 機器に正しく接続されています。
	接続成功 (パスワード脆弱) 機器に正しく接続されていますが、機器で使用しているパスワードが脆弱です。複雑なパスワードへの変更をお勧めします。
	認証エラー 接続先の「IP(ur1)」と「ストリームポート」は正しく設定されていますが、「ユーザーID」「ユーザーパスワード」の片方またはその両方が正しくありません。
	接続失敗 接続先の「IP(ur1)」「ストリームポート」の片方またはその両方が正しくないか、ネットワーク環境が通信可能な状態ではありません。

(5) 複数の機器がある場合は(2)～(4)の操作を繰り返す

(6) 「サイト管理」ウィンドウの **適用** そして **✕** (終了) をクリックする



< 情報 >

IRV-HV8000・IRV-HD9000・IRV-AT6000 シリーズのレコーダでは IP アドレスを以下のメニューで確認することが出来ます。

メニュー → その他 → QR コード(ネットワーク情報)



< 注 意 >

- VPN 接続の環境において、VPN トンネルを通して接続するには接続先のプライベート IP アドレスを指定してください。グローバル IP アドレスを指定した場合、パケットは VPN トンネルを通らないので、VPN による情報の秘匿性や信頼性は保証されなくなります。
- NETUS-Pro は、大量の動画情報を扱います、VPN トンネルを通して機器に接続する場合には十分な処理能力を持つ VPN 製品（ルータ等）をご使用ください。VPN 製品の性能が不十分な場合、十分なスループットが得られなかったり通信が不安定になったりする場合があります。

< 注 意 >

- admin（マスター管理者）以外のユーザーを登録している場合、それらのユーザーに対して機器へのアクセス権を設定するまでは、それらのユーザーが機器にアクセスする事は出来ません。ユーザーのアクセス権については「7.1.1.4.2 機器へのアクセス権（「機器」タブ）」のページをご覧ください。

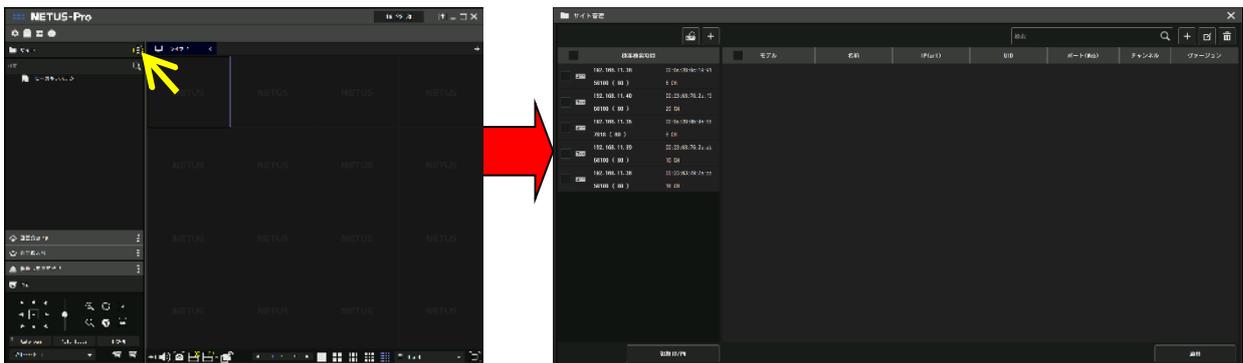
[参照](#)→205 ページ

1.4.1.3. インターネット上にある（動的 IP の）機器を登録する

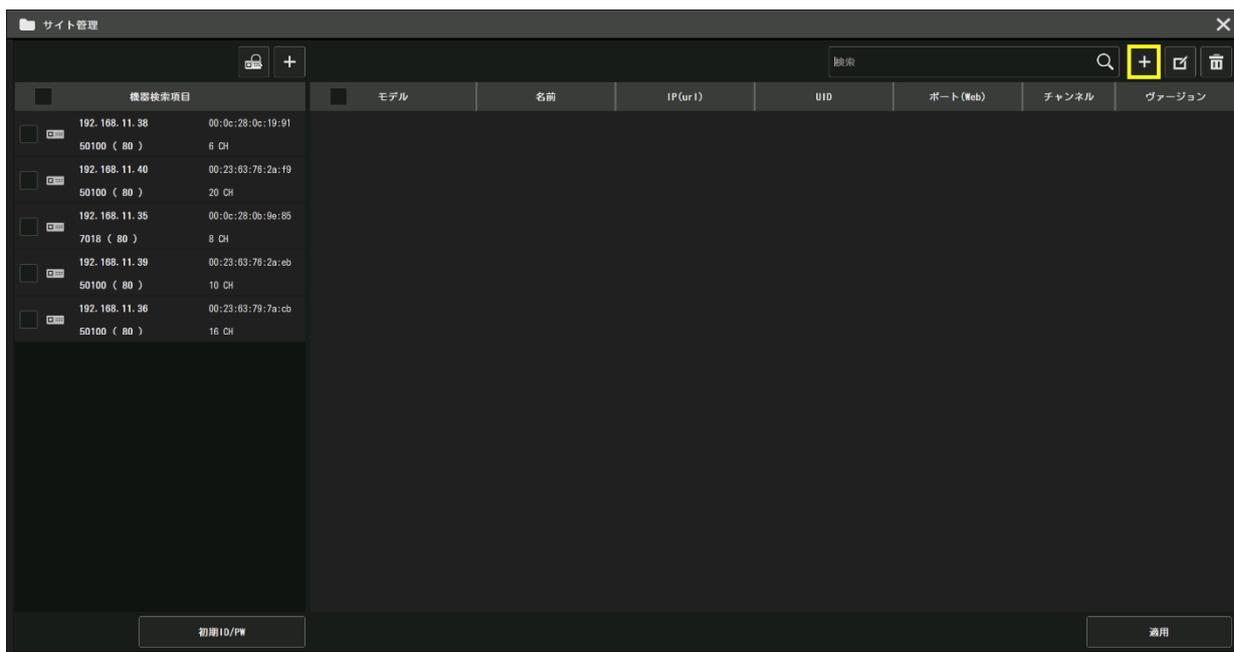
接続先の機器がインターネット上にあり、その IP アドレスが変化する可能性がある場合には、DDNS(Dynamic Domain Name System)という仕組みを利用して機器に接続します。

DDNS 接続が動作するためには、接続先の機器で DDNS 機能が正しく設定されている必要があります。

- (1) （機器登録） ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



- (2) ウィンドウ右側の （機器追加） ボタンをクリックする



(3) 「機器追加」 ウィンドウに必要事項を入力する

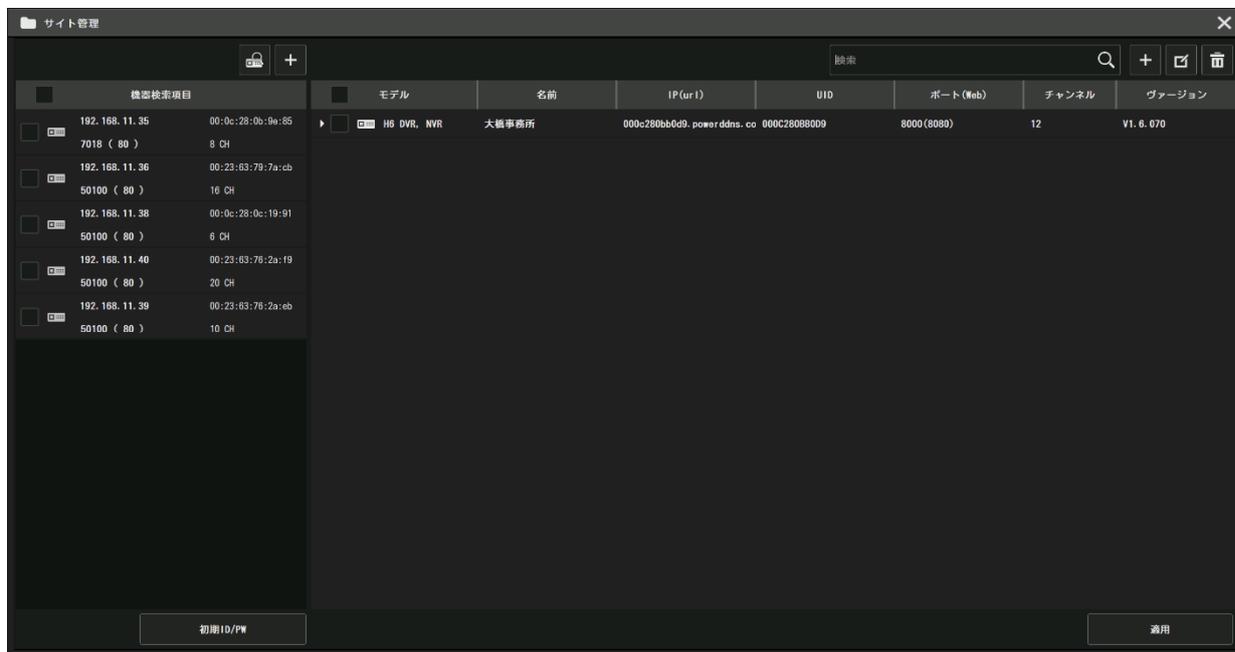
入力内容は一例です

番号	名称	説明
①	機器名	接続先の機器を識別するための名称を設置場所のような分かりやすい文言で入力します。
②	IP(url)	接続先の機器の URL を入力します。
③	ストリームポート	接続先の機器に設定されている「クライアントポート」の番号を入力します。
④	設定ポート	接続先の機器に設定されている「Web サーバーポート」の番号を入力します。
⑤	ユーザーID	接続先の機器に設定されている「ユーザー名」を入力します。
⑥	ユーザーパスワード	⑤で入力したユーザー用のパスワードを入力します。
⑦	適用	入力した内容を適用して「機器追加」ウィンドウを閉じます。
⑧	終了	入力した内容を適用せずに「機器追加」ウィンドウを閉じます。

(4) 「機器追加」 ウィンドウの **適用** ボタンで保存して閉じる

適用 ボタンをクリックすると入力内容が保存され「機器追加」 ウィンドウが消えて「サイト管理」 ウィンドウに戻ります。

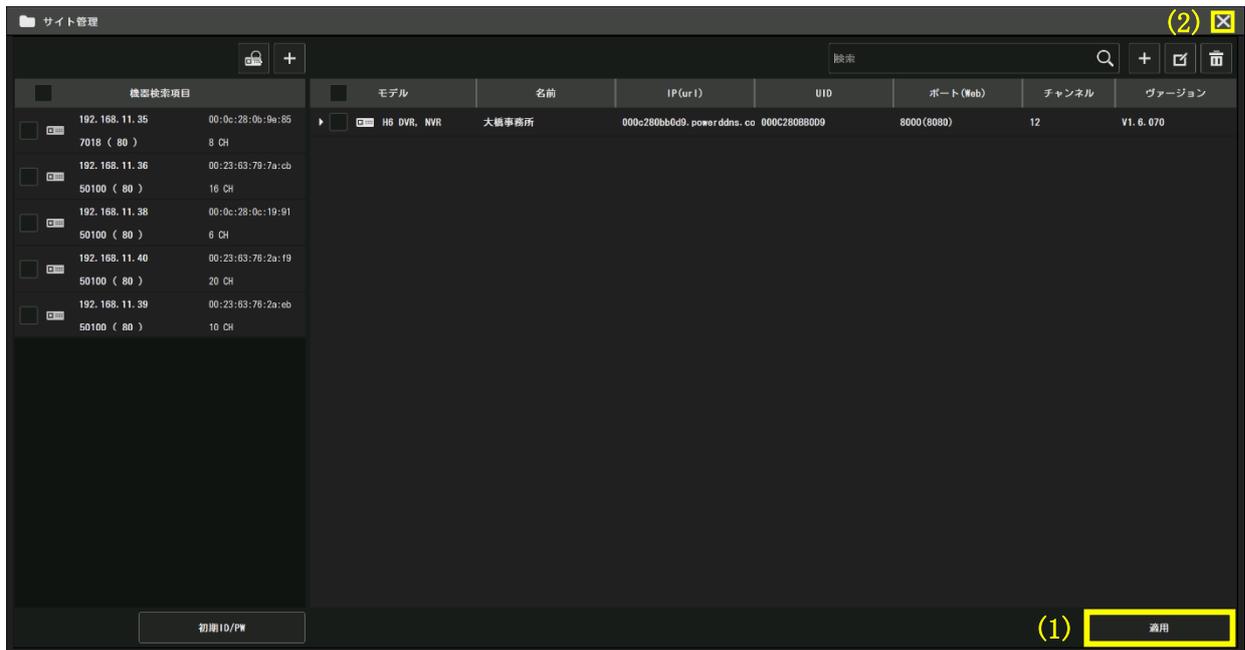
「サイト管理」 ウィンドウではアイコンの表示で接続の状態を確認してください。



アイコン	説明
	接続成功 機器に正しく接続されています。
	接続成功 (パスワード脆弱) 機器に正しく接続されていますが、機器で使用しているパスワードが脆弱です。複雑なパスワードへの変更をお勧めします。
	認証エラー 接続先の「IP(ur1)」と「ストリームポート」は正しく設定されていますが、「ユーザーID」「ユーザーパスワード」の片方またはその両方が正しくありません。
	接続失敗 この表示の場合には、次のような原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 接続先の「IP(ur1)」 「ストリームポート」の片方またはその両方が正しくない。 ● 接続先の機器の DDNS 設定が正しくおこなわれていない。 ● この機器に対する最初の接続試行より後に機器の DDNS 設定をしてしまった。 ● 接続先の機器の DDNS 設定をしてから、接続試行までの時間が短い。 ● ネットワーク環境が通信可能な状態ではない。

(5) 複数の機器がある場合は(2)～(4)の操作を繰り返す

(6) 「サイト管理」 ウィンドウの **適用** そして **✕** (終了) をクリックする



< 情報 >

IRV-HV8000・IRV-HD9000・IRV-AT6000 シリーズのレコーダでは DDNS の URL を以下のメニューで確認することが出来ます。

メニュー → その他 → QRコード(ネットワーク情報)



< 注意 >

DDNS 機能には、その動作原理に起因する次のような問題点があります。

- 接続先の IP アドレスが変化してから新しい IP アドレスに接続可能になるまでに、しばらく（数分～数 10 分）時間がかかる。
- DDNS サーバは海外の事業者によって運営されており、事業者の都合によってサービスが停止される場合や終了される可能性がある。

より安定した接続を希望される場合は、接続先の機器を設置している側のインターネット接続契約を固定 IP アドレス契約に変更していただき、DDNS ではなくグローバル IP アドレスで接続することをご検討ください。

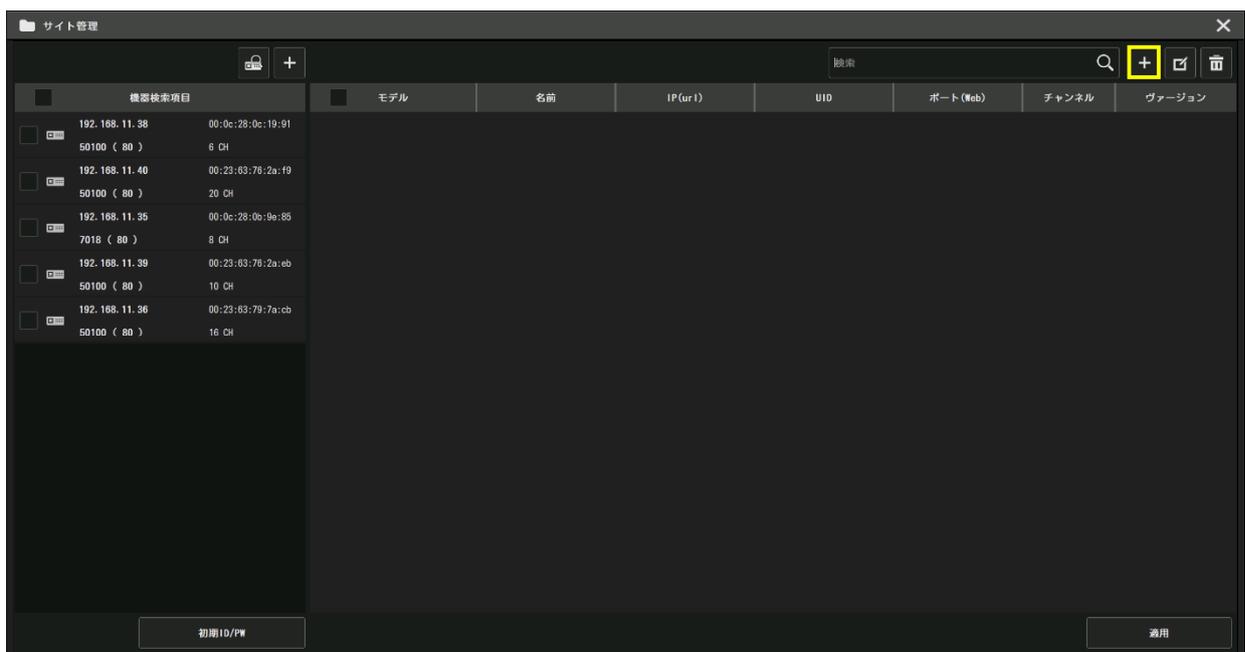
1. 4. 1. 4. P2P 接続で機器を追加する（P2P 対応機のみ）

接続先の機器がインターネット上またはインターネットに接続可能な LAN 上にあり、特にポートフォワードリング（ポート開放・ポート転送等）が困難な場合に、簡易的な接続方法として P2P という仕組みを利用して機器に接続する方法があります。

- (1) （機器登録）ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



- (2) ウィンドウ右側の （機器追加）ボタンをクリックする



(3) 「機器追加」 ウィンドウに必要事項を入力する

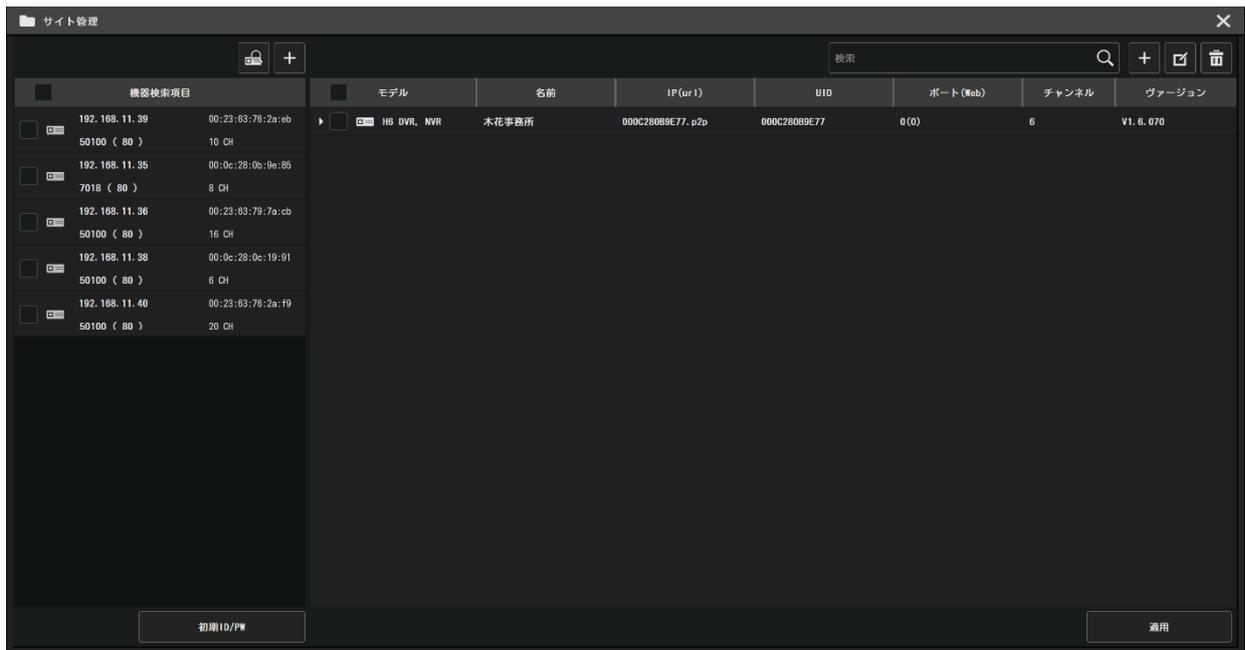
入力内容は一例です

番号	名称	説明
①	機器名	接続先の機器を識別するための名称を設置場所のような分かりやすい名称で入力します。
②	IP(url)	接続先の機器の URL を入力します。 P2P 接続の場合は、トップレベルドメインが “p2p” になります。
③	ストリームポート	入力の必要はありません。
④	設定ポート	入力の必要はありません。
⑤	ユーザーID	接続先の機器に設定されている「ユーザー名」を入力します。
⑥	ユーザーパスワード	⑤で入力したユーザー用のパスワードを入力します。
⑦	適用	入力した内容を適用して「機器追加」ウィンドウを閉じます。
⑧	終了	入力した内容を適用せずに「機器追加」ウィンドウを閉じます。

(4) 「機器追加」 ウィンドウの **適用** ボタンで保存して閉じる

適用 ボタンをクリックすると入力内容が保存され「機器追加」ウィンドウが消えて「サイト管理」ウィンドウに戻ります。

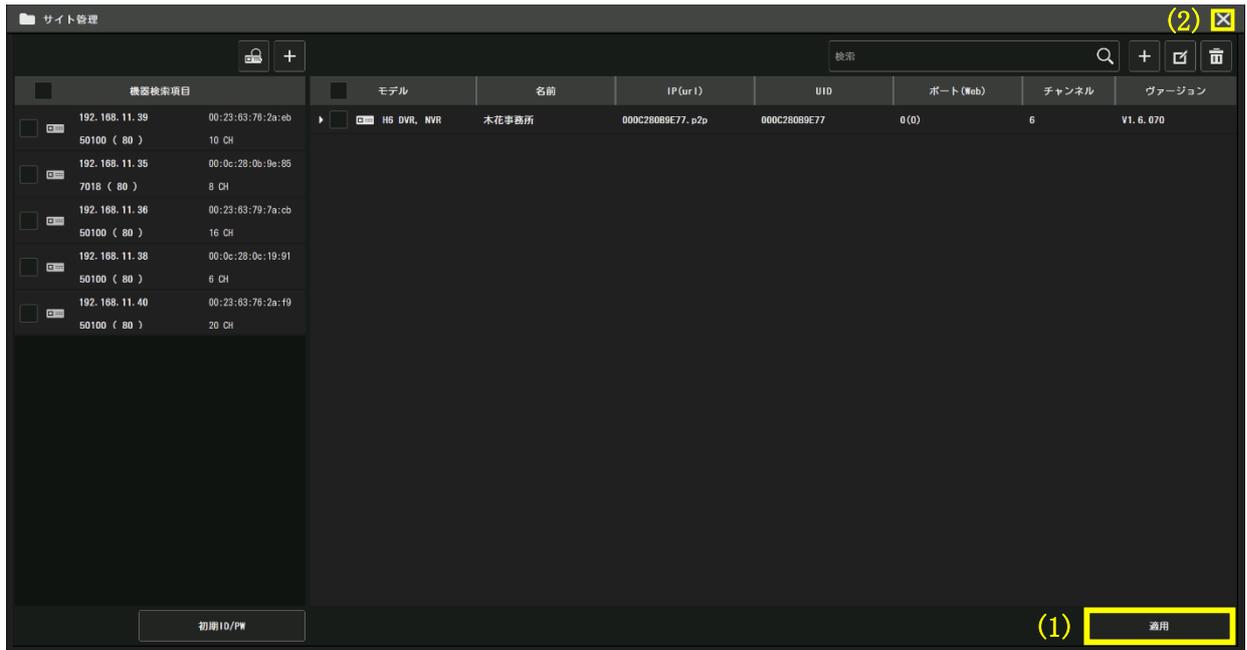
「サイト管理」ウィンドウではアイコンの表示で接続の状態を確認してください。



アイコン	説明
	接続成功 機器に正しく接続されています。
	接続成功 (パスワード脆弱) 機器に正しく接続されていますが、機器で使用しているパスワードが脆弱です。複雑なパスワードへの変更をお勧めします。
	認証エラー 接続先の「IP(url)」は正しく設定されていますが、「ユーザーID」「ユーザーパスワード」の片方またはその両方が正しくありません。
	接続失敗 この表示の場合には、次のような原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 接続先の「IP(url)」が正しくない。 ● ネットワーク環境が通信可能な状態ではない。

(5) 複数の機器がある場合は～の操作を繰り返す

(6) 「サイト管理」ウィンドウの **適用** そして **✕** (終了) をクリックする



< 情報 >

レコーダでは P2P の URL を以下のメニューで確認することができます。

メニュー → その他 → QR コード(ネットワーク情報)

QRコード (ネットワーク情報)



IP : 210.155.194.76 / 192.168.11.85
 DDNS : 000c280b9e85.powerddns.com
 P2P : 000C280B9E85_p2p
 クライアントポート : 50100
 ユーザー名 : admin

終了

< 注 意 >

P2P 接続は、インターネットにアクセス可能なあらゆる環境にある機器を接続するための技術的に高度な接続方法で、ルータのポートフォワーディング（「ポート開放」「ポート転送」等呼称多数）設定をすることなくインターネット上のサーバの支援を受けて機器と NETUS-Pro を簡易に接続することが出来ます。

P2P 接続のご利用は、その長所と短所をよくご理解いただいた上で、お客様の責任においてご利用いただきますようお願い致します。

<長所>

- 設定が簡単

LAN 内で機器の IP アドレスを固定する必要がなく、リモートアクセスのためのルータの設定変更を必要としないので、IP ネットワークに関してあまり詳しくない方でも比較的容易に設置及び接続が可能です。

<短所>

- 通信速度や遅延時間が安定しない。

P2P 接続では、映像を伝送するために「LAN 内で直接送る方法」「インターネットを経由して直接送る方法」「インターネットを経由して中継サーバを通して送る方法」の中から利用可能な方法を自動的に選択しています。そのため、その選択結果により通信速度や遅延時間が大幅に変化します。特にカメラの PTZ 操作やメニュー操作をおこなうことが想定される場合には P2P 接続での利用はお勧め致しません。

- 通信障害発生時の原因究明が非常に難しい

P2P 接続では、上記の 3 通りの通信経路のどの経路が選択されているかをユーザーが知る術が提供されていないので、通信障害が発生した場合には状況把握に専門的な知識と技能及び設備が必要になり、その原因特定が非常に困難です。

- 機器の遠隔設定が利用出来ない

Web ブラウザを利用する遠隔設定機能は利用出来ません。

- バックアップ機能が利用できない

P2P 接続では、データを損傷無く伝送する事が困難である事から、現在のところバックアップ機能はサポートしておりません。

- 通信の秘匿性の管理が困難になる

通信経路が自動的に選択されるので、通信の秘匿性を管理することが難しくなります。

< 注 意 >

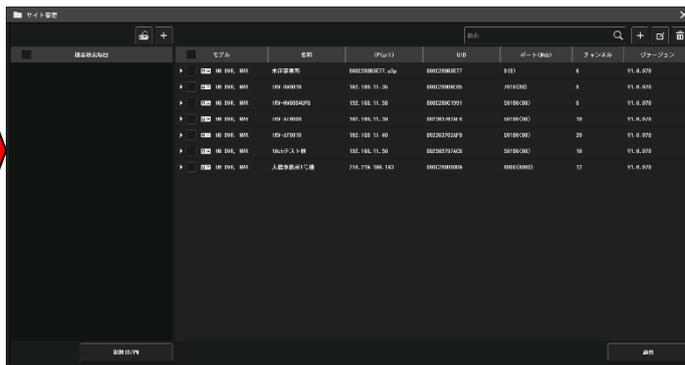
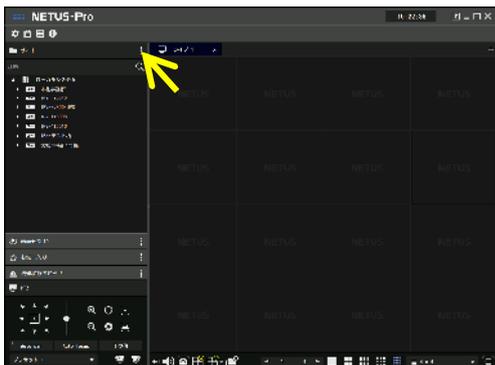
- admin（マスター管理者）以外のユーザーを登録している場合、それらのユーザーに対して機器へのアクセス権を設定するまでは、それらのユーザーが機器にアクセスする事は出来ません。ユーザーのアクセス権については「7.1.1.4.2 機器へのアクセス権（「機器」タブ）」のページをご覧ください。

[参照](#)→205 ページ

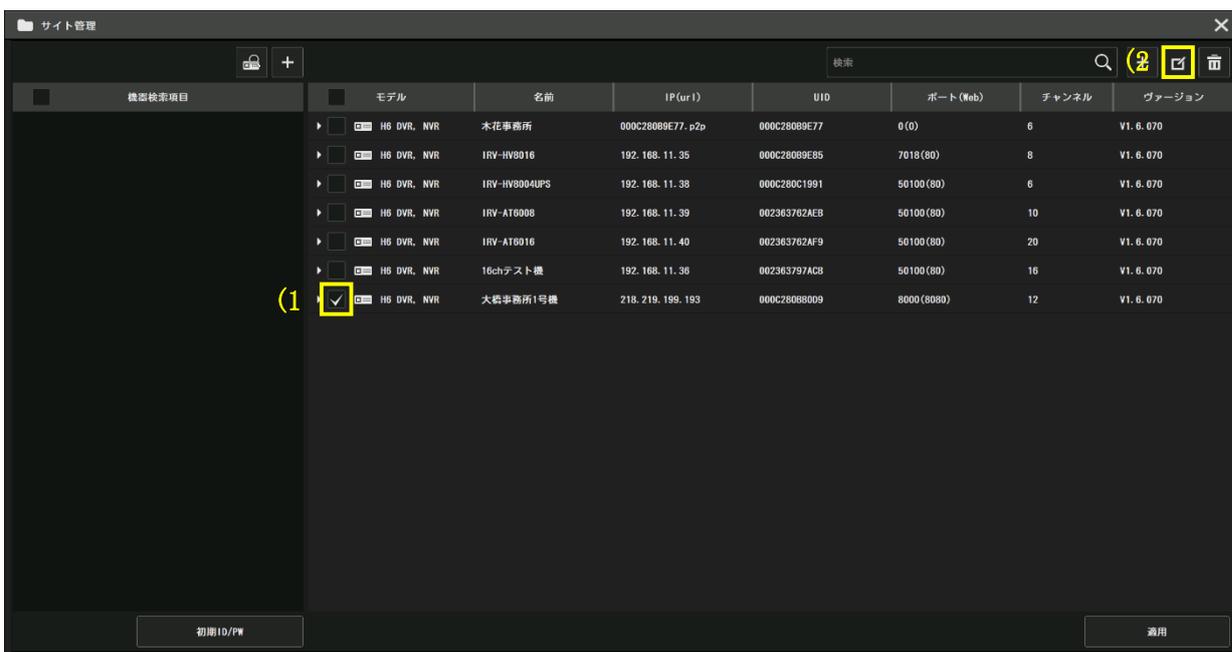
1.4.2. 機器の編集

機器の登録情報を後から変更する必要がある場合には、次の手順で変更をおこないます。

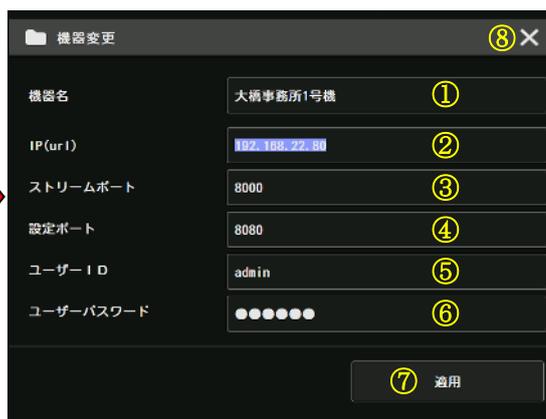
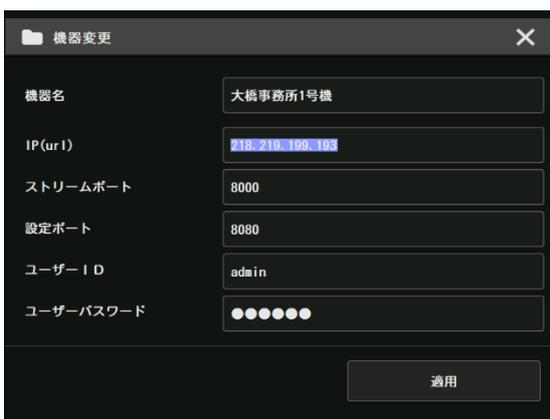
- (1) **■**（機器登録） ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



(2) 右側のパネルに表示されたリストの中から編集したい機器を1つ選んでチェックを入れ、ウィンドウ右側の☑ (機器変更) ボタンをクリックする



(3) 「機器変更」ウィンドウで必要事項を変更する



入力内容は IP アドレスを変更する例です。

番号	名称	説明
①	機器名	接続先の機器を識別するための名称を設置場所のような分かりやすい名称で入力します。
②	IP(ur1)	<変更不可> IP(ur1)は後から変更する事は出来ません。登録を削除してから再登録してください。

番号	名称	説明
③	ストリームポート	接続先の機器に設定されている「クライアントポート」の番号を入力します。(P2P 接続の場合は省略可)
④	設定ポート	接続先の機器に設定されている「Web サーバーポート」の番号を入力します。(P2P 接続の場合は省略可)
⑤	ユーザーID	接続先の機器に設定されている「ユーザー名」を入力します。
⑥	ユーザーパスワード	上記のユーザー用のパスワードを入力します。
⑦	適用	入力した内容を適用して「機器変更」ウィンドウを閉じます。
⑧	終了	入力した内容を適用せずに「機器変更」ウィンドウを閉じます。

(4) 「機器変更」ウィンドウの **適用** ボタンで保存して閉じる

適用 ボタンをクリックすると入力内容が保存され「機器変更」ウィンドウが消えて「サイト管理」ウィンドウに戻ります。

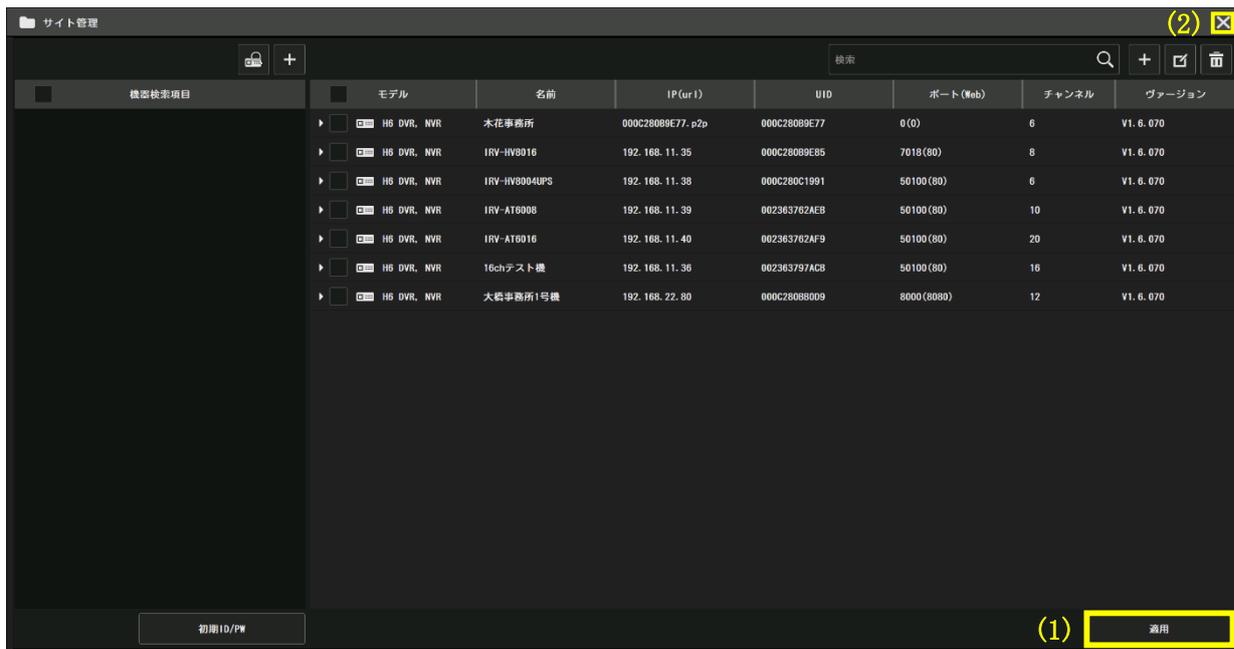
「サイト管理」ウィンドウではアイコンの表示で接続の状態を確認してください。

機器検索項目	モデル	名前	IP(url)	UID	ポート(Web)	チャンネル	バージョン
	H6 DVR, NVR	木花事務所	000C28089E77_p2p	000C28089E77	0(0)	6	V1.6.070
	H6 DVR, NVR	IRV-IV8016	192.168.11.35	000C28089E85	7018(80)	8	V1.6.070
	H6 DVR, NVR	IRV-IV8004UPS	192.168.11.38	000C280C1991	50100(80)	6	V1.6.070
	H6 DVR, NVR	IRV-AT6008	192.168.11.39	002363762AEB	50100(80)	10	V1.6.070
	H6 DVR, NVR	IRV-AT0016	192.168.11.40	002363762AF9	50100(80)	20	V1.6.070
	H6 DVR, NVR	16chテスト機	192.168.11.36	002363797ACB	50100(80)	16	V1.6.070
	H6 DVR, NVR	大崎事務所1号機	192.168.22.80	000C28088009	8000(8080)	12	V1.6.070

アイコン	説明
	接続成功 機器に正しく接続されています。
	接続成功 (パスワード脆弱) 機器に正しく接続されていますが、機器で使用しているパスワードが脆弱です。複雑なパスワードへの変更をお勧めします。
	認証エラー 接続先の「IP(url)」と「ストリームポート」は正しく設定されていますが、「ユーザーID」「ユーザーパスワード」の片方またはその両方が正しくありません。
	接続失敗 この表示の場合には、次のような原因が考えられます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 接続先の「IP(url)」「ストリームポート」の片方またはその両方が正しくない。 ● 接続先の機器の DDNS 設定が正しくおこなわれていない。 ● この機器に対する最初の接続試行より後に機器の DDNS 設定をしてしまった。 ● 接続先の機器の DDNS 設定をしてから、接続試行までの時間が短い。 ● ネットワーク環境が通信可能な状態ではない。

(5) 複数の機器がある場合は(2)～(4)の操作を繰り返す

(6) 「サイト管理」ウィンドウの **適用** そして **✕** (終了) をクリックする



< 注意 >

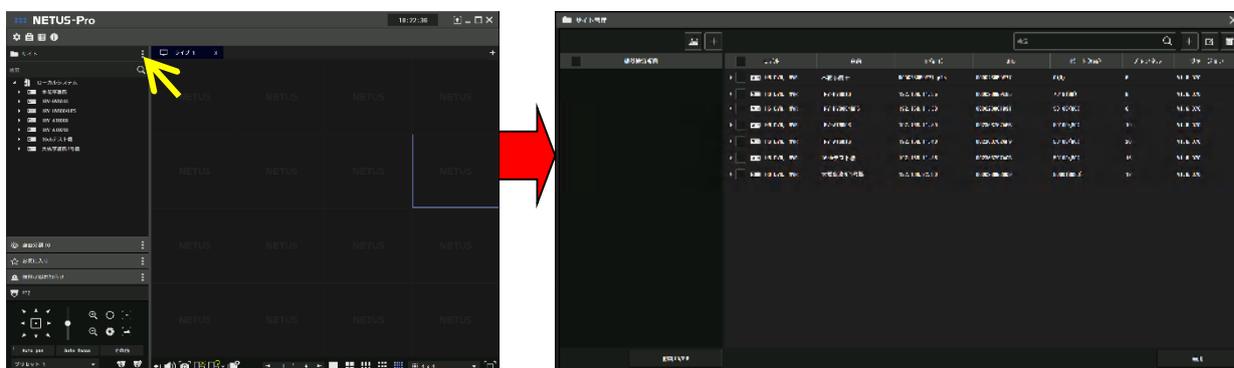
次のような場合には「機器変更」ではなく、一旦「機器削除」で登録された機器を削除してから「機器追加」で新たに登録するようにしてください。

- 接続先の機器を別の機器（同の機種の場合であっても）に変更する場合。
- 接続先の機器でオペレーションタイプの設定を変更した場合。
- 接続先の IP(ur l)を変更する場合。

1.4.3. 機器の削除

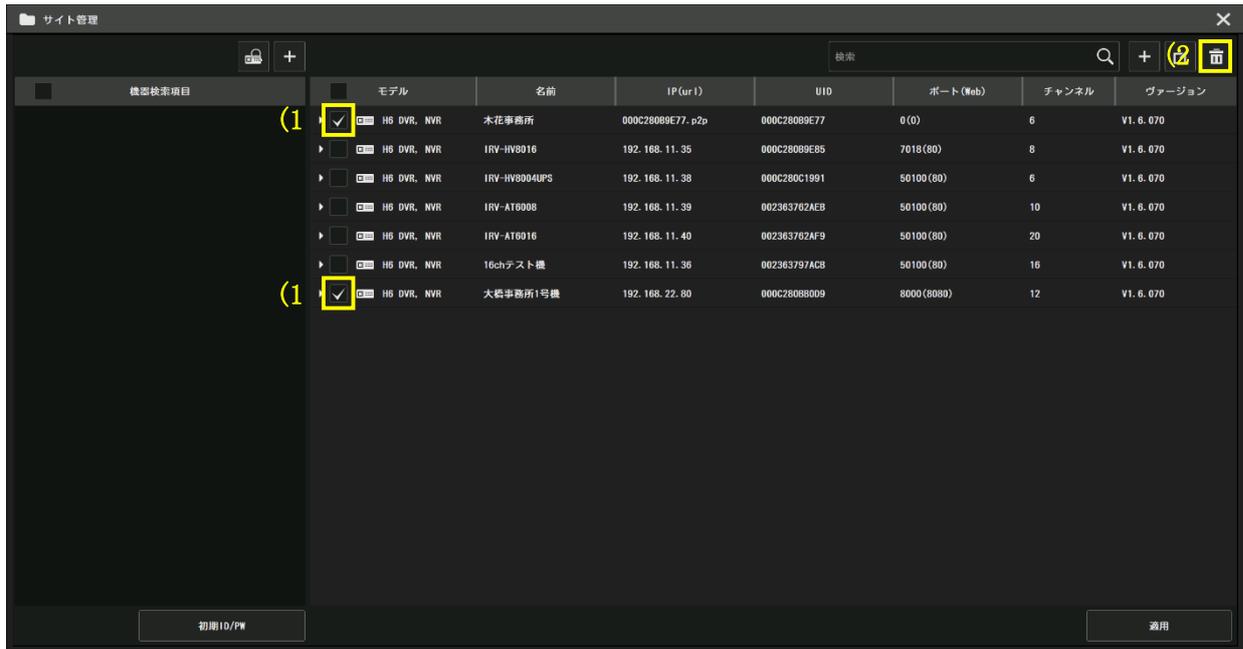
既に登録されている機器を削除する場合は、次の手順で削除をおこないます。

(1) **⚙** (機器登録) ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く

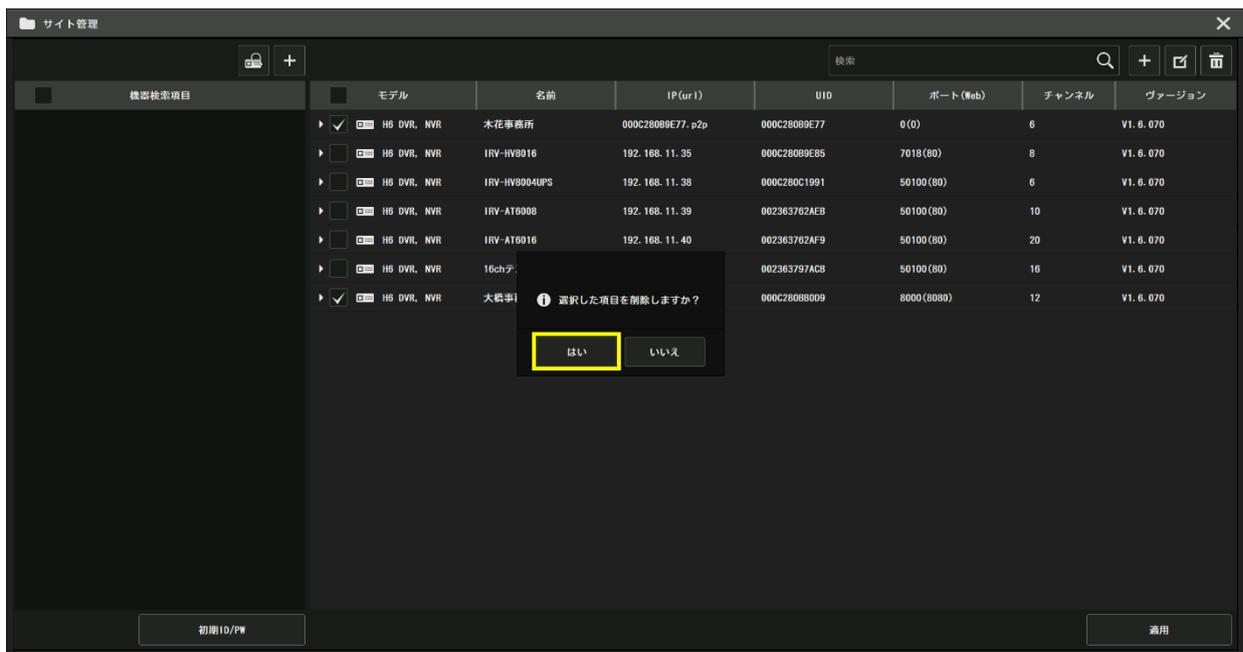


(2) 右側のパネルに表示されたリストの中から編集したい機器を選んでチェックを入れる（複数選択可）

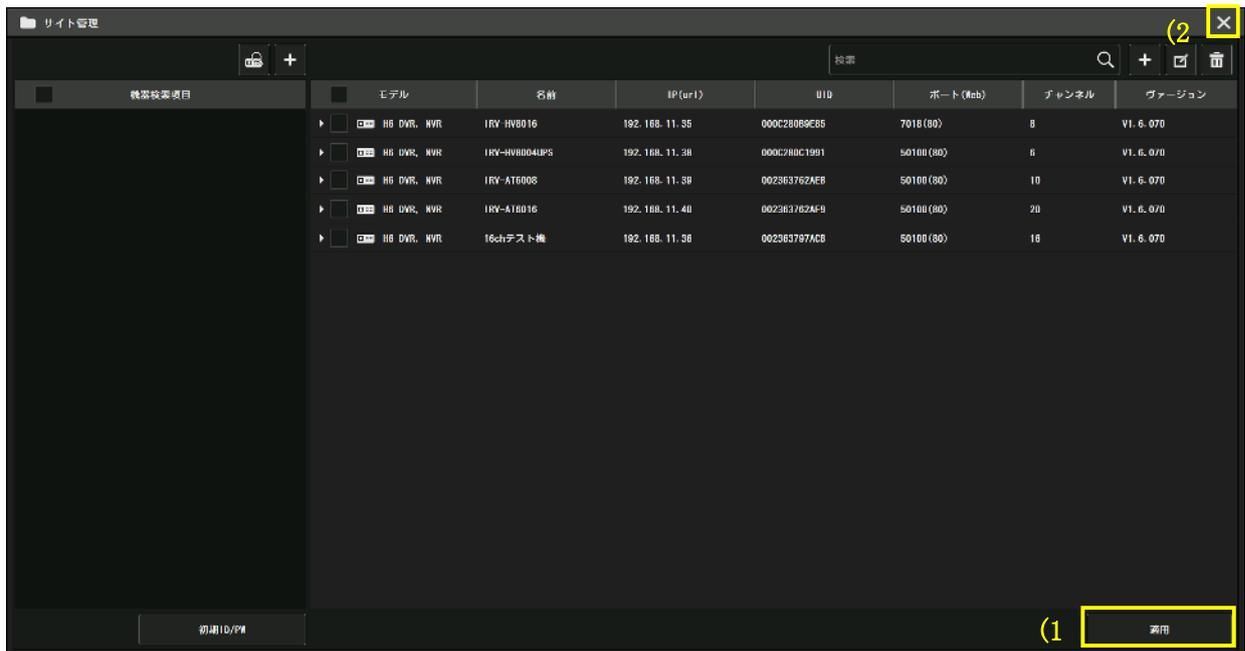
(3) ウィンドウ右側の  (機器削除) ボタンをクリックする



(4) 「選択した項目を削除しますか？」が表示されたら確認して  はい を選択

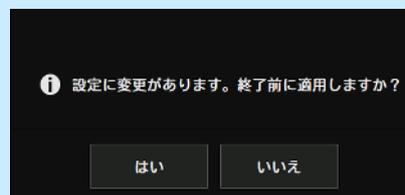


- (5) 「サイト管理」ウィンドウで削除結果を確認し **適用** そして **✕** (終了) をクリックして「サイト管理」ウィンドウを閉じる



< 情報 >

「サイト管理」ウィンドウで内容を変更後 **適用** をせずに終了しようとした場合、次のようなダイアログが表示されますので、変更を適用して終了する場合には **はい** を、変更を適用しないで終了する場合には **いいえ** をクリックします。



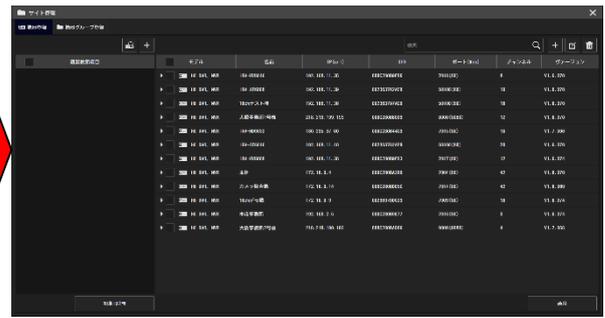
1.5. 機器グループ

NETUS-Pro に登録済みの機器をグループ化することで、サイドメニューをより見やすくすることが出来ます。機器のグループ化は、まず必要なグループを作成し、作成したグループにそれぞれの機器を含める方法で実行します。

1.5.1. 機器グループを作成する

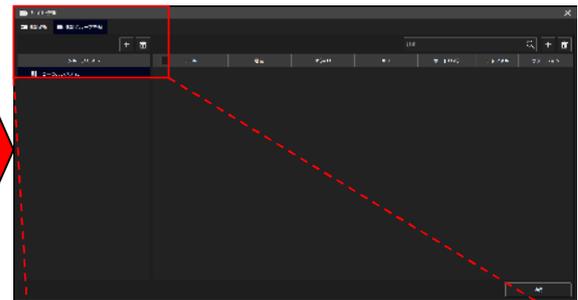
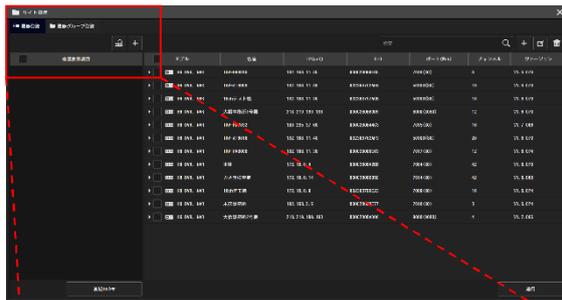
ここでは、機器が設置されている事務所毎に3つのグループに分ける例で説明します。

- (1) **■** (機器登録) ボタンをクリックして「サイト管理」ウィンドウを開く



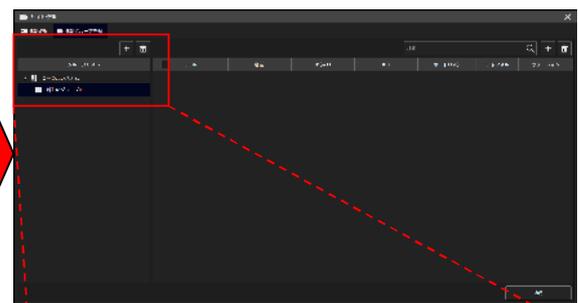
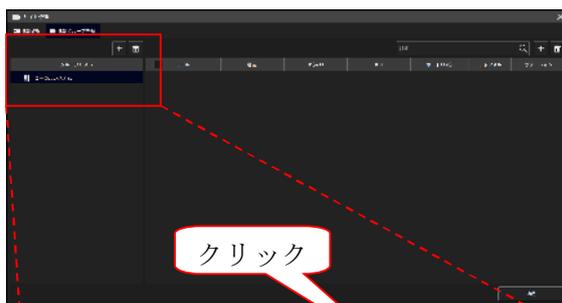
(2) 機器グループタブをクリックする

「機器グループ登録」タブに切替わったことを確認します。



(3) + (グループ追加) ボタンをクリックする

「ローカルシステム」という最も浅い階層が選択されている（紺色）状態で + (グループ追加) ボタンをクリックすると、ローカルシステムより1つ深い階層に「新しいグループ**」というグループが追加されます。（**はシステムが自動的に作成する数値で“00”から始まります）

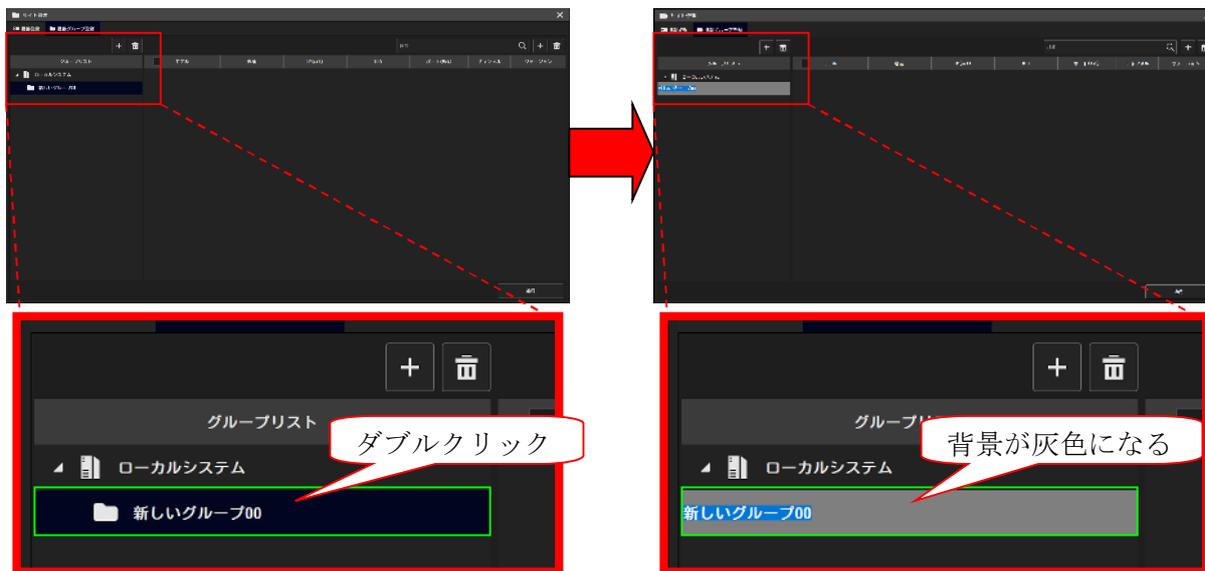


(4) 機器グループ名を入力する

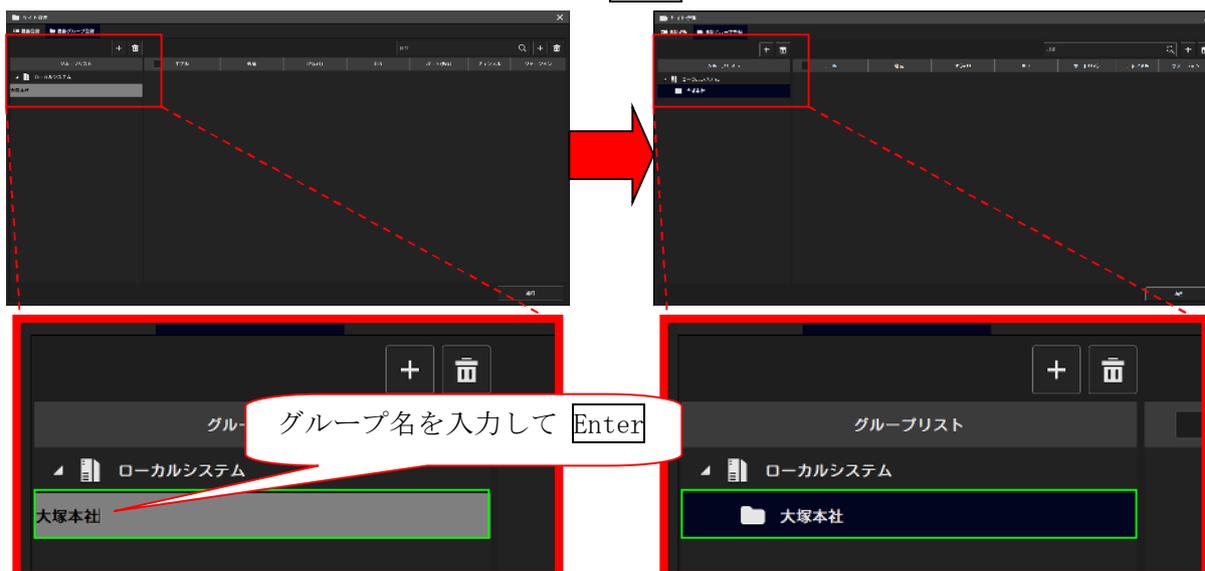
システムが自動的に作成したグループ名では、ユーザーには分かりにくく不便なので、名称を変更

します。ここでは例として機器の設置場所を示す名称に変更する例で説明します。

「新しいグループ 00」をダブルクリックするとグループ名の背景が灰色に変化しグループ名を入力可能な状態になります。



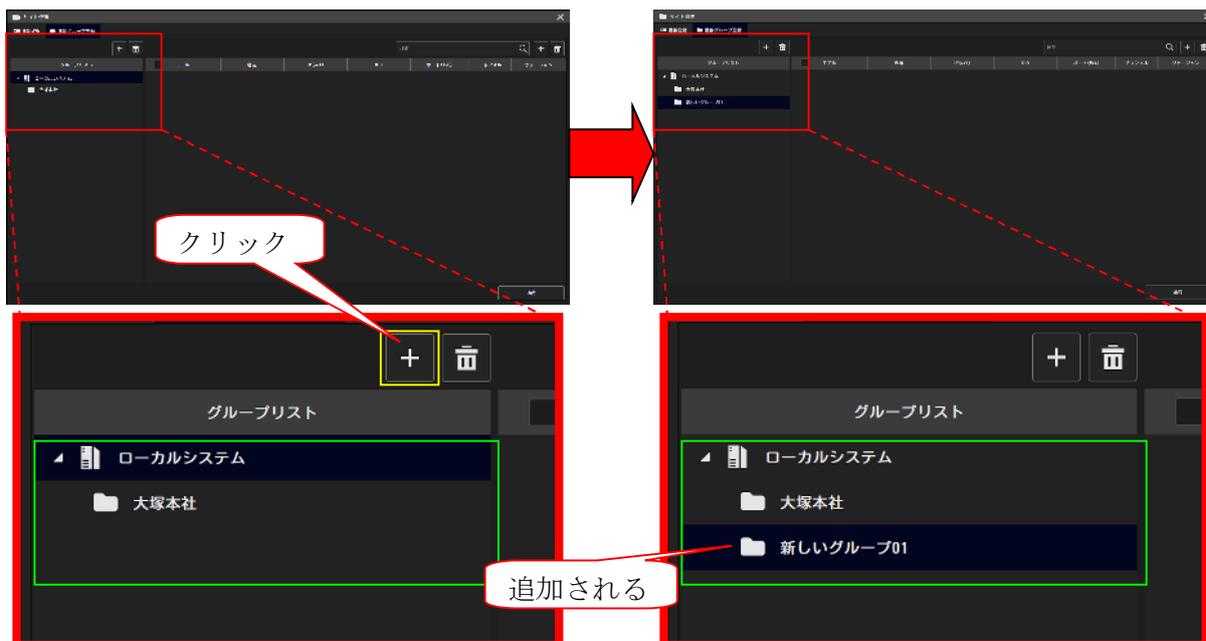
この状態でキーボードからグループ名を入力し **Enter** キーを押すとグループ名が変更されます。



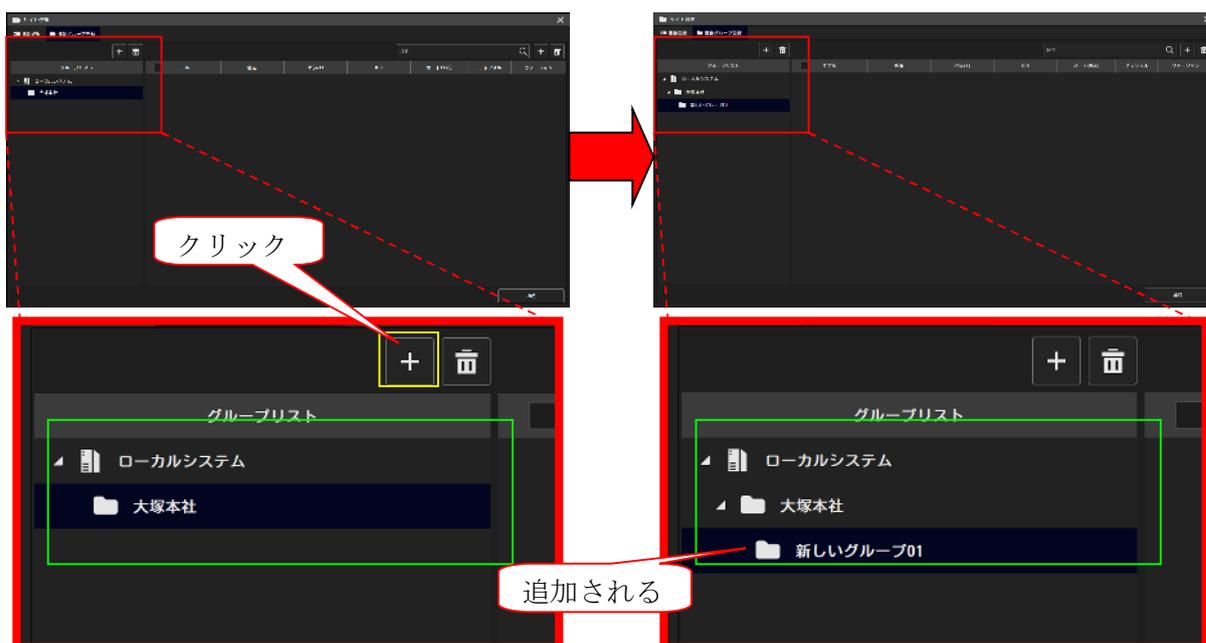
(5) 必要に応じて階層を選択して2つ目以降のグループを作成後(4)に戻る

作成する機器グループが1つの場合はこのままでも構いませんが、機器をグループ化する場合通常は2つ以上のグループに分類することが多いと思います。その場合に2つ目のグループを1つ目のグループと同じ階層に作成するのか、それとも1つ目の階層の中（深い階層）に作成するのかが選択することが出来ます。

1つ目のグループと同じ階層に作成する場合は(3)の手順と同じように「ローカルシステム」をクリックして選択（紺色）した状態にしてから **+**（グループ追加）をクリックした後に(4)の手順に戻ります。

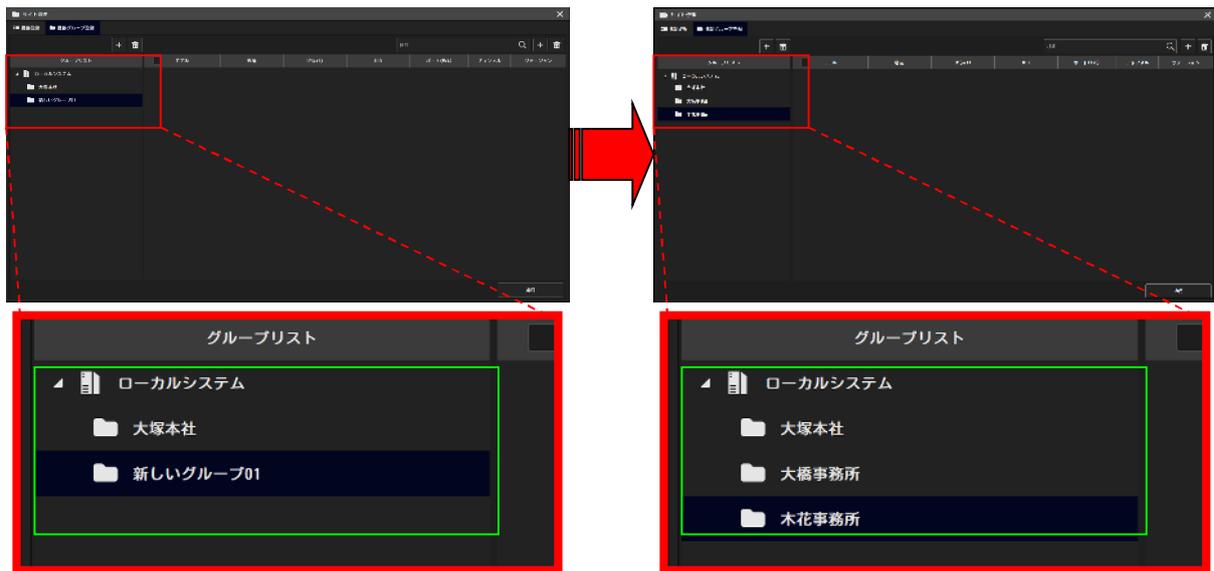


一方、1つ目の階層の中（深い階層）に2つ目の機器グループを入れ子にして作成する場合には、1つ目の機器グループを選択した状態にしてから+（グループ追加）をクリックしてグループを追加した後に(4)の手順に戻ります。



(6) (4)～(5)の手順を必要な回数繰り返す

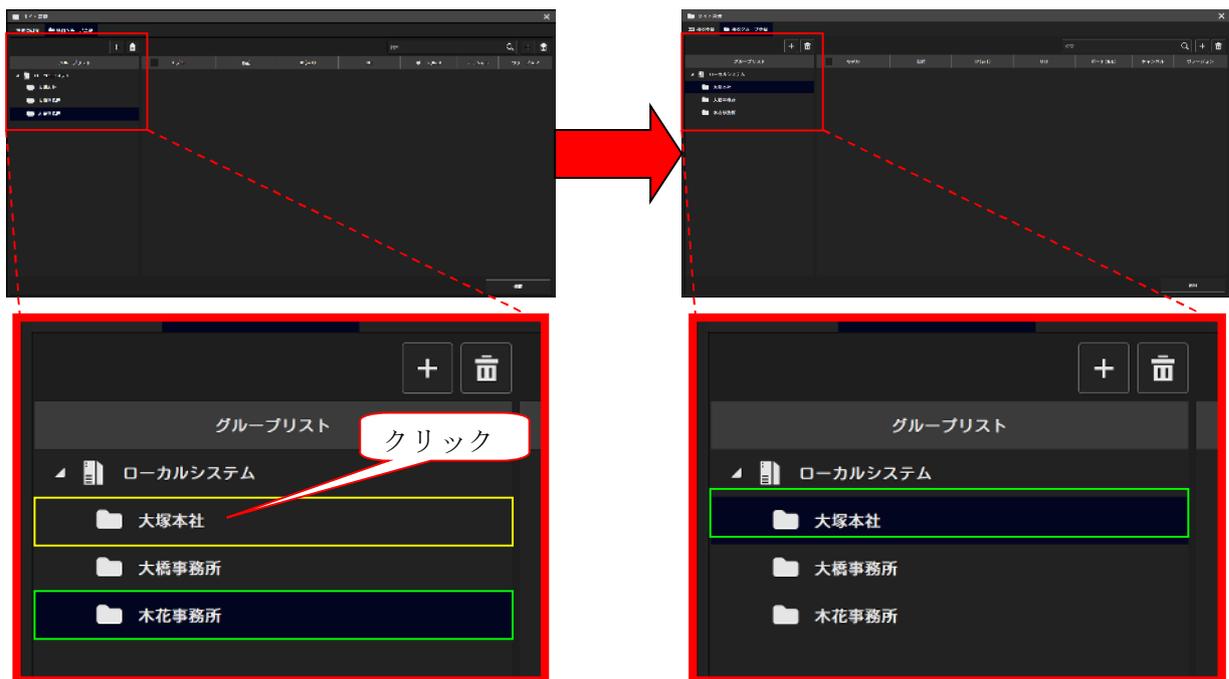
必要な数のグループが出来るまでこの手順を繰り返して機器グループを作成します。



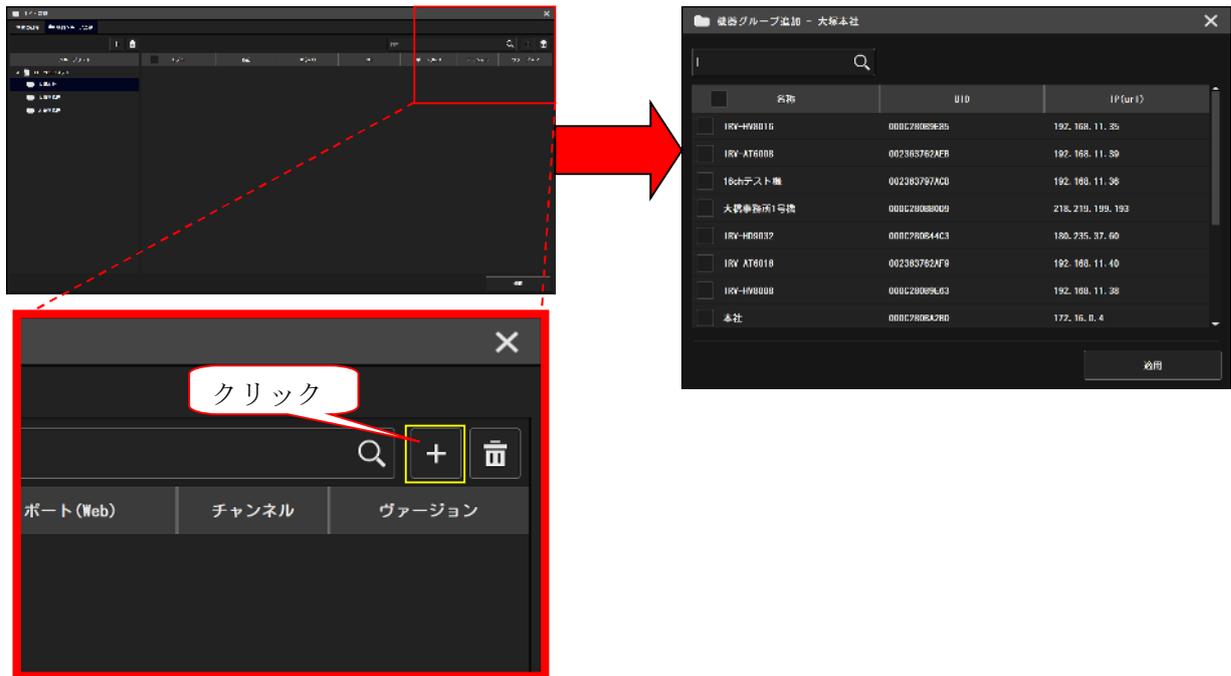
1.5.1.1. 機器グループに機器を追加する

機器グループに機器を追加するには、次の手順を実行します。

(1) 機器を追加したい機器グループをクリックして選択（紺色）する



- (2) **+** (機器追加) ボタンをクリックする
「機器グループ追加」ウィンドウが開きます。

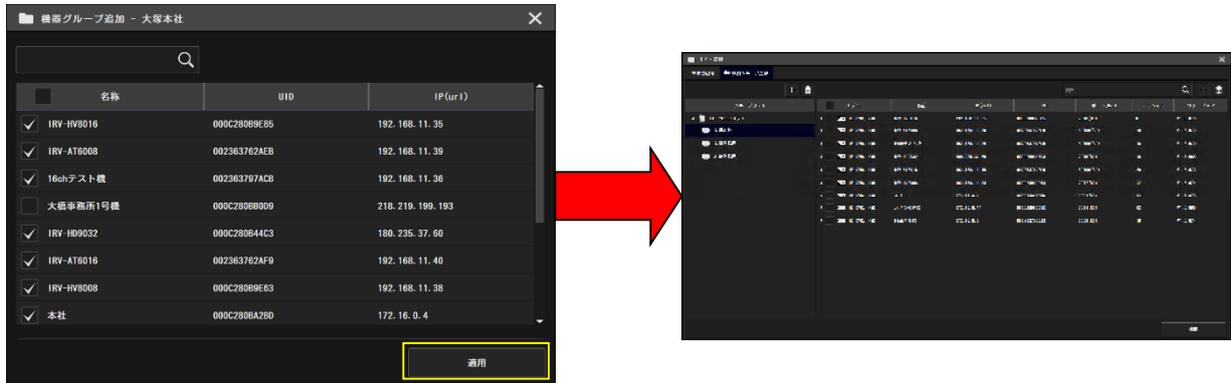


- (3) 機器をチェックする
「機器グループ追加」ウィンドウには他のグループに含まれていない機器が表示されます。表示されたリストの中から追加したい機器をチェックします。



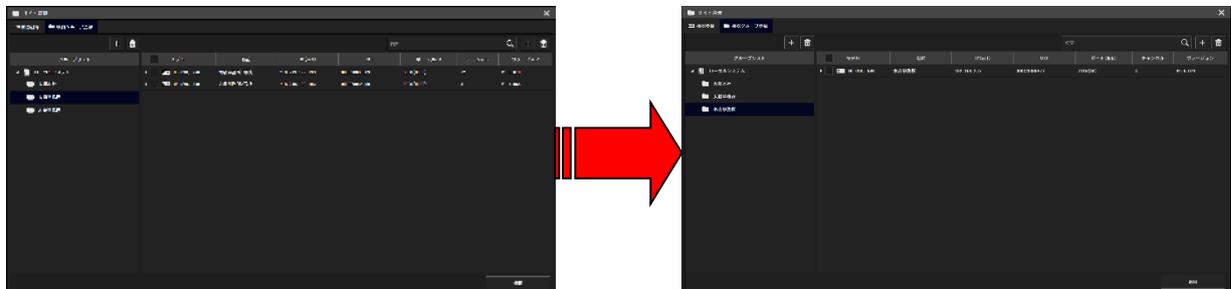
(4) **適用** ボタンをクリックする

「機器グループ追加」ウィンドウを閉じて「サイト管理」ウィンドウに戻ると、グループに追加した機器が右側のリストに反映されます。



(5) 別のグループにも機器を追加する場合は(1)に戻る

(1)～(4)の手順を繰り返して全てのグループに機器を追加します。



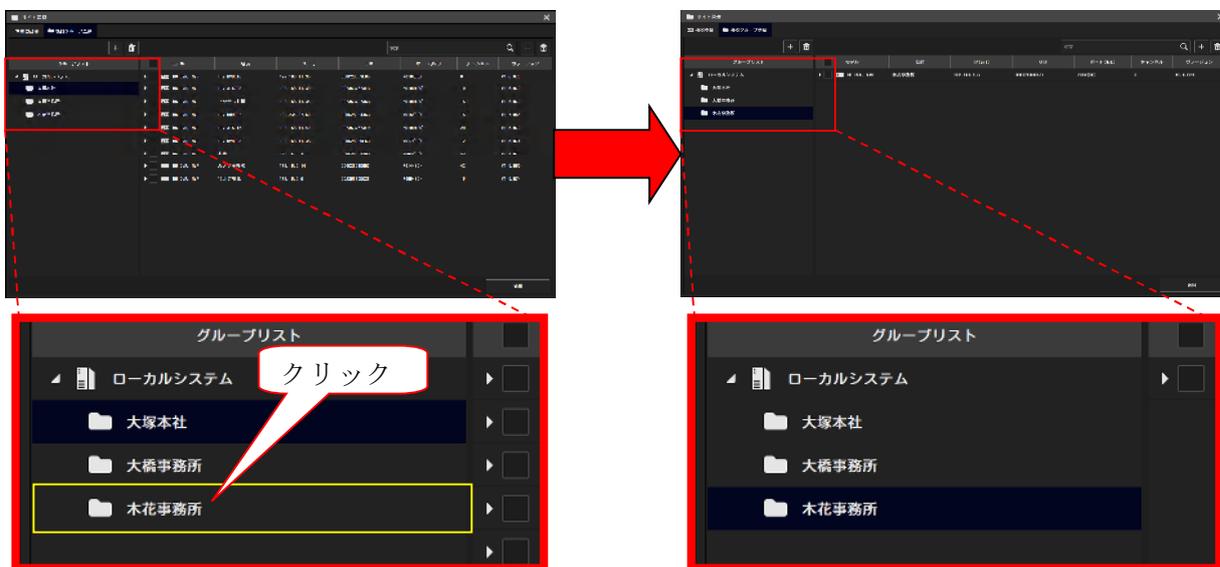
< 注 意 >

- 既にグループに分類されている機器を別のグループに追加することは出来ません。機器を別のグループに移動する場合は、一旦グループから機器を削除した後、別のグループに追加するようにしてください。

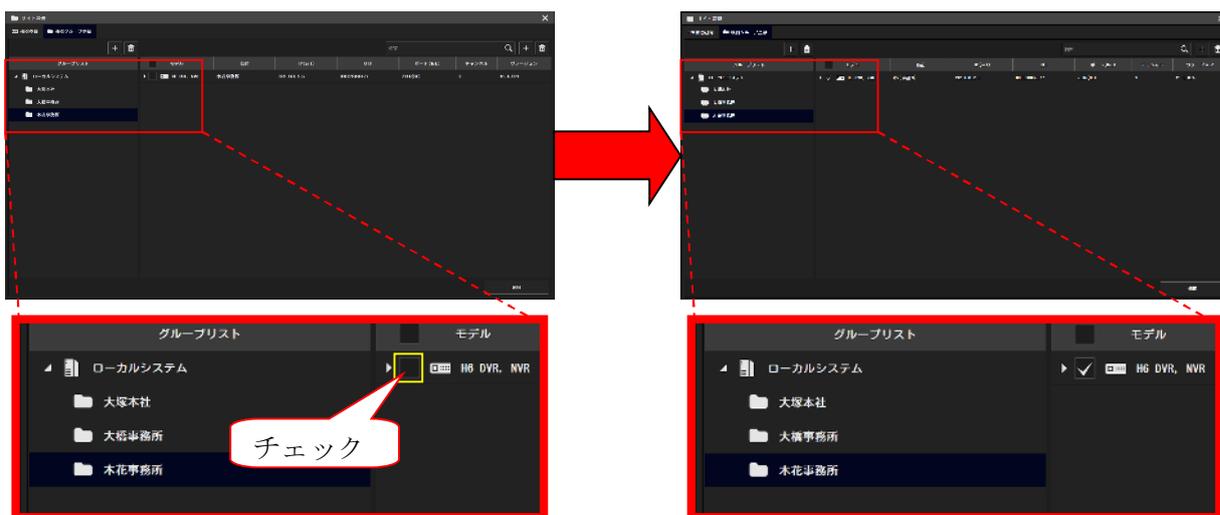
1.5.1.2. 機器グループから機器を削除する

機器グループから機器を削除するには、次の手順を実行します。

- (1) 機器を削除したい機器グループをクリックして選択（紺色）する

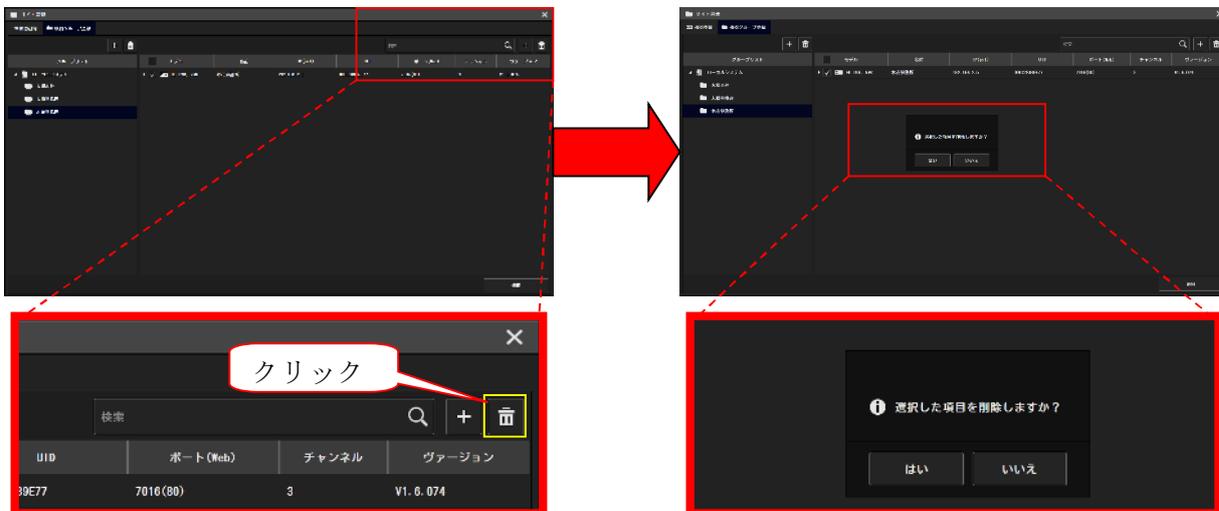


- (2) 削除したい機器をチェックする

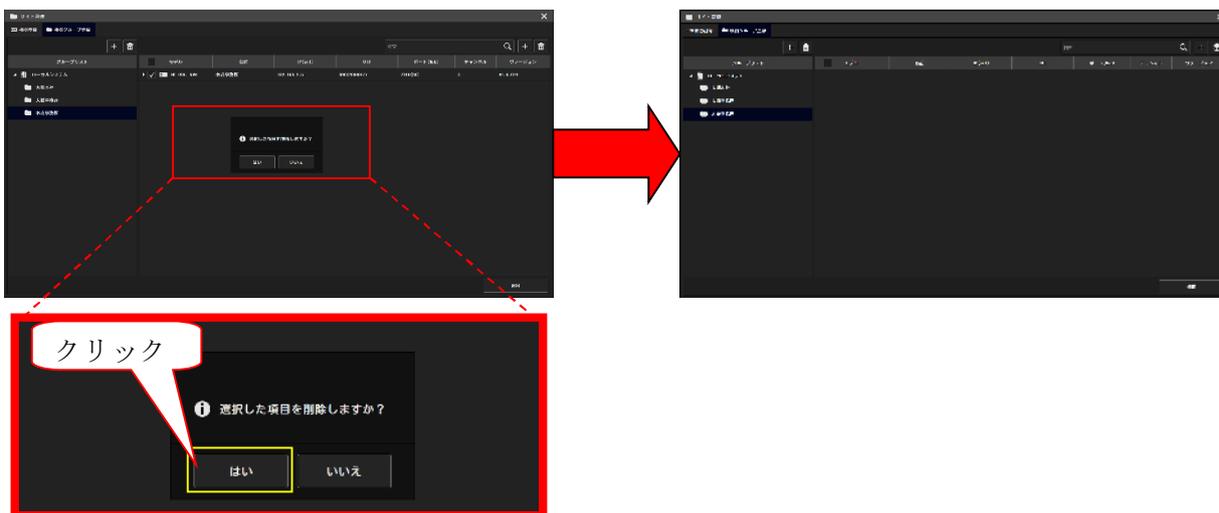


(3)  (削除) をクリックする

 (削除) ボタンをクリックすると削除しても良いか確認を求めるダイアログが表示されます。



(4)  をクリックして削除を完了する



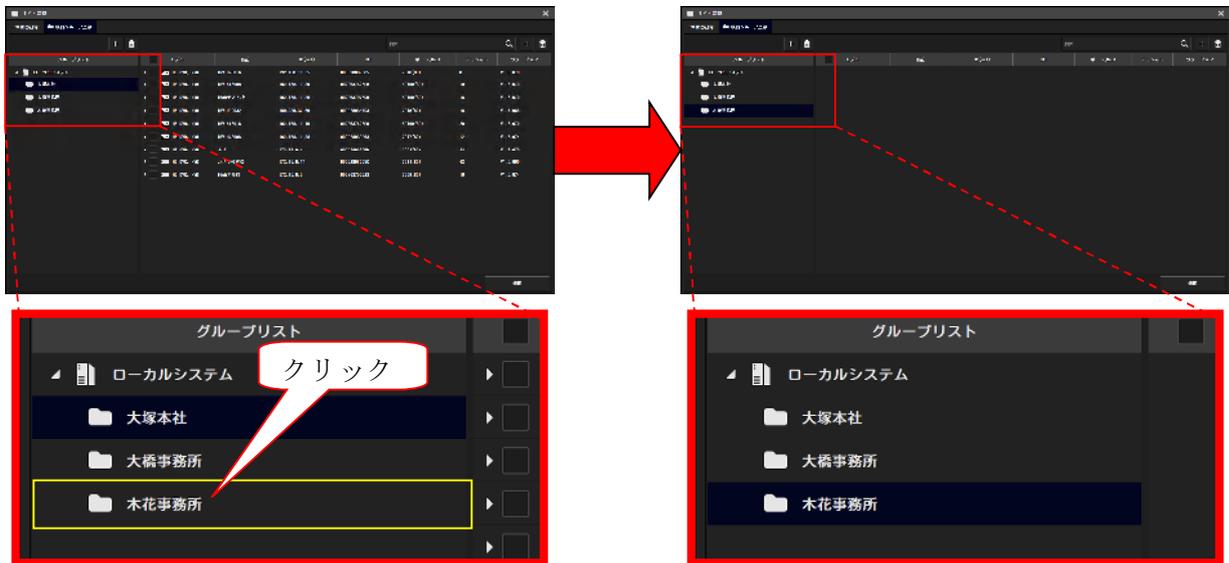
< 情報 >

- グループから削除された機器はどのグループにも追加可能な状態になります。

1.5.2. 機器グループを削除する

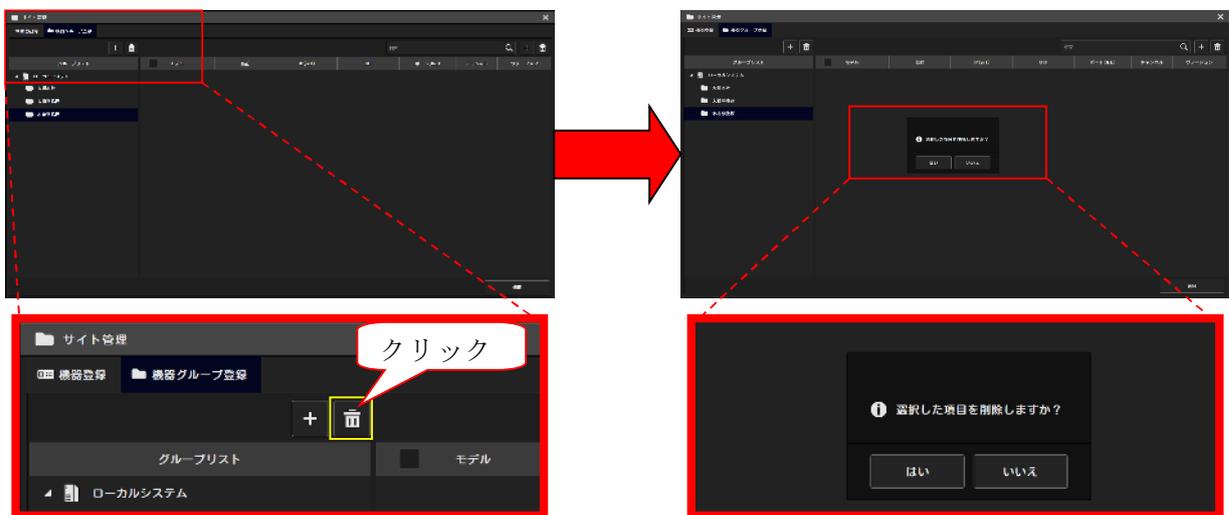
機器グループを削除するには、次の手順を実行します。

(1) 削除したい機器グループをクリックして選択（紺色）する

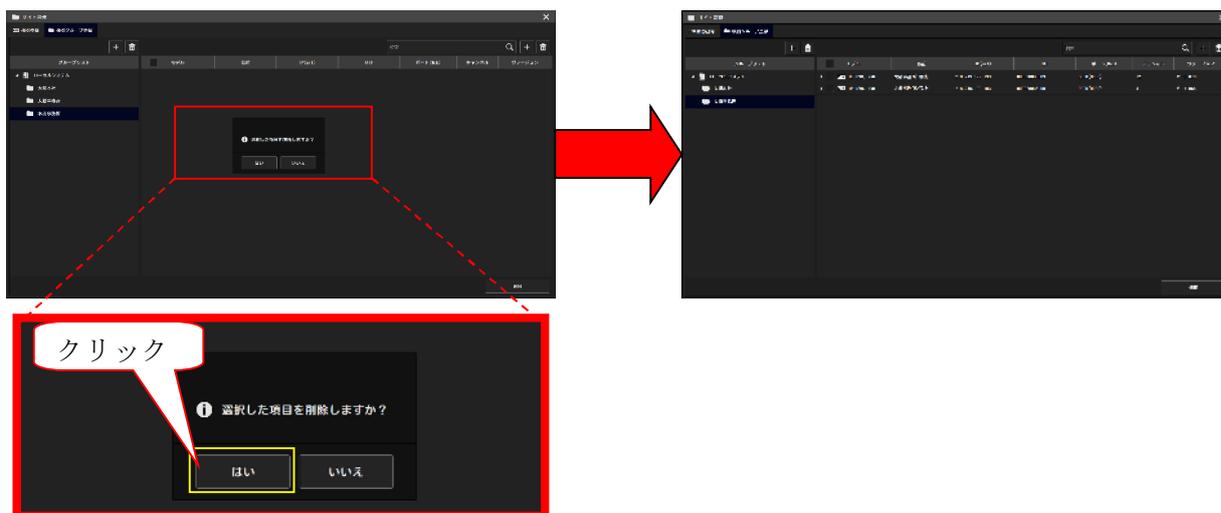


(2)  (グループ削除) をクリックする

 (グループ削除) ボタンをクリックすると削除しても良いか確認を求めるダイアログが表示されます。



(3) はい をクリックして削除を完了する



< 注意 >

機器グループを削除すると、その機器グループ内に含まれていた全ての機器はどのグループにも分類されていない状態になります。

1.6. VMS の機器情報のインポート

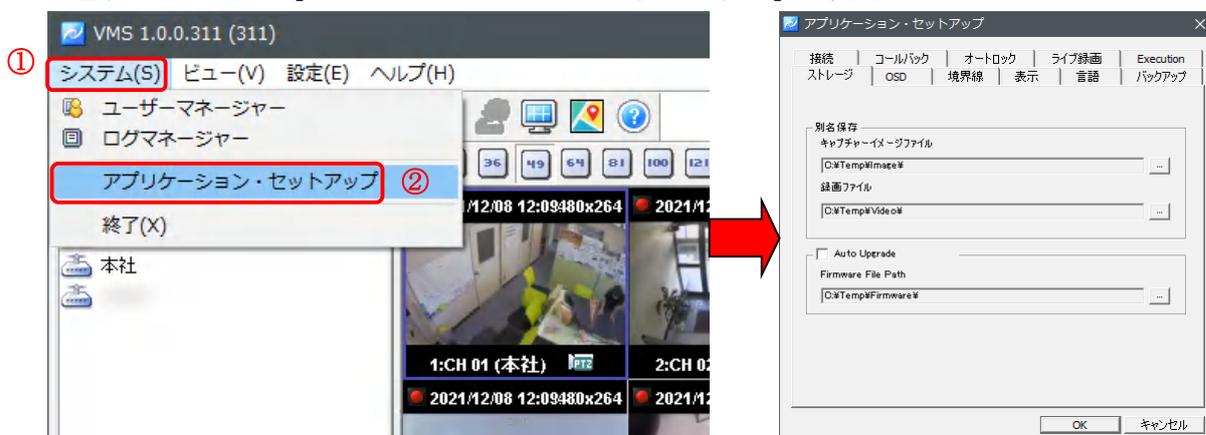
NETUS-Pro では、旧遠隔監視ソフトである VMS からの移行を円滑に行うため、Version 1.0.0.47 から VMS の機器情報をインポートする機能が追加されました。

データ移行は VMS で保存したファイルを NETUS-Pro で読み込む方法で行います。

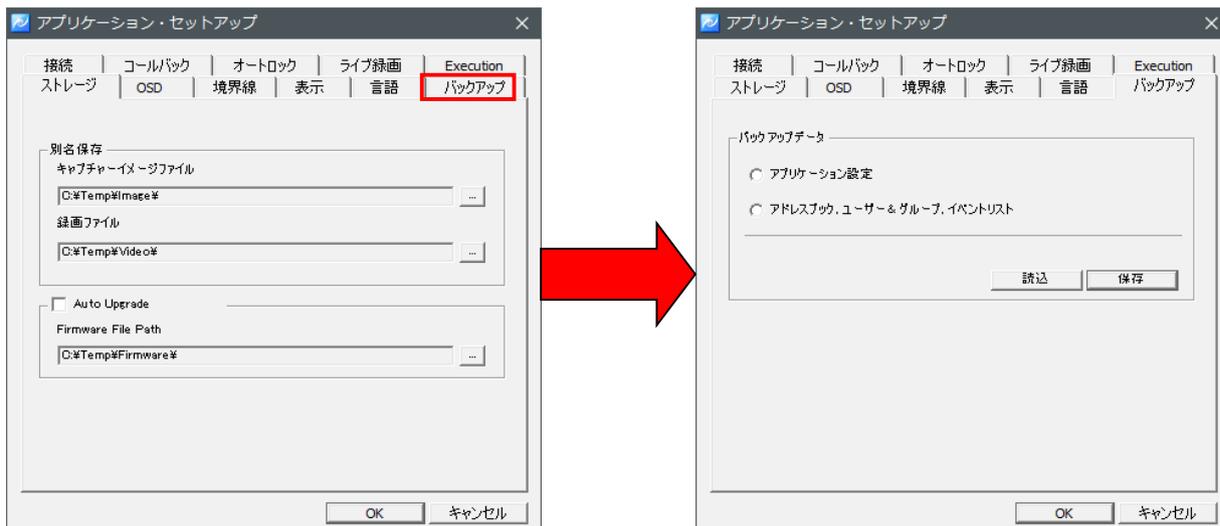
< 注意 >

- VMS は、機器情報のファイルを保存する前に Version 1.0.0.311 にアップグレードしてください。

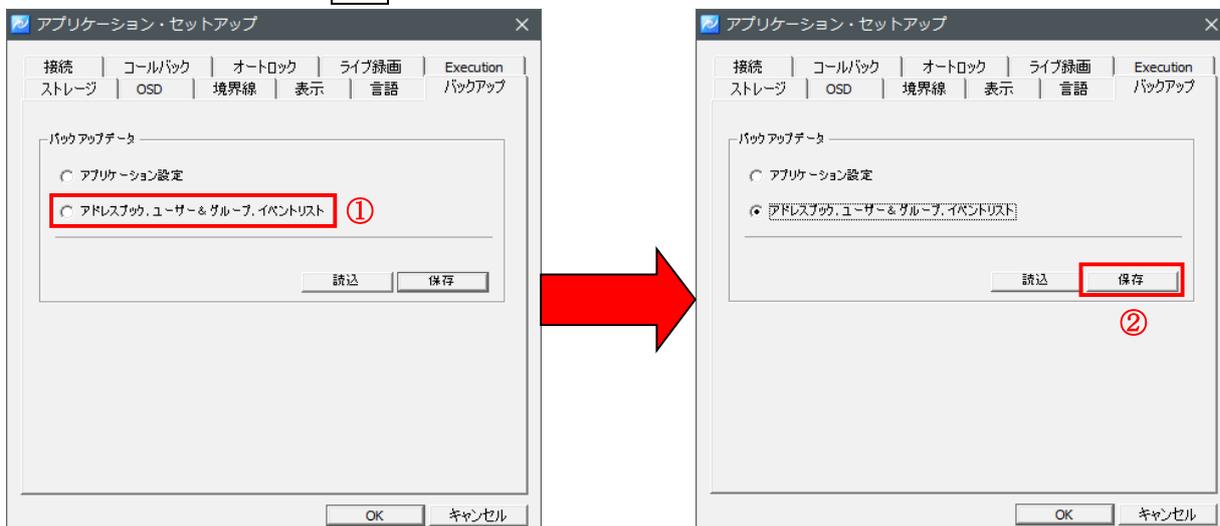
(1) VMS を起動し「システム」→「アプリケーションセットアップ」を開く



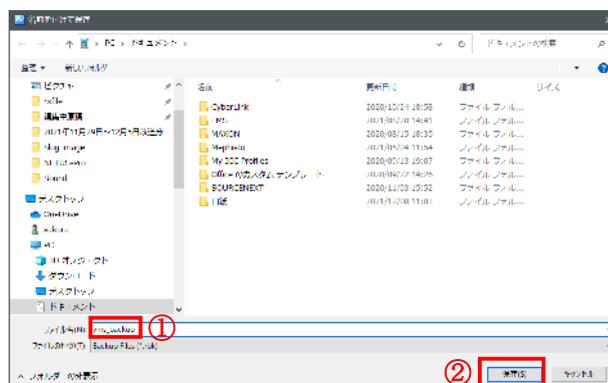
(2) 「アプリケーションセットアップ」ウィンドウが開いたら「バックアップ」タブを選択する



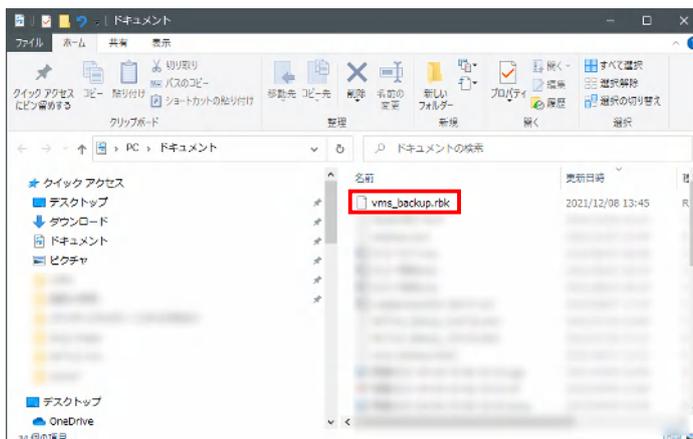
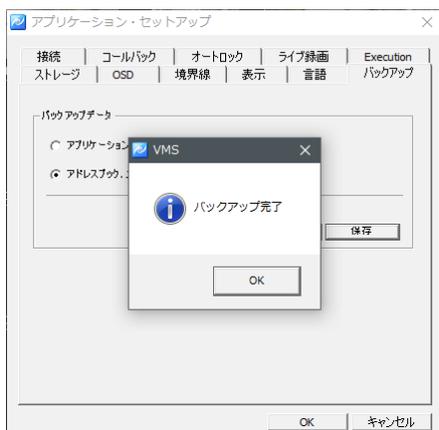
(3) 「バックアップデータ」枠内の「アドレスブック、ユーザー&グループ、イベントリスト」ラジオボタンをクリックした後に「保存」ボタンをクリックする



(4) 「名前を付けて保存」ウィンドウが開いたらファイル名を入力して「保存(S)」ボタンをクリックします。



- (5) 「バックアップ完了」ダイアログが表示されたらエクスプローラで保存先を確認して保存したファイルがある事を確認します。



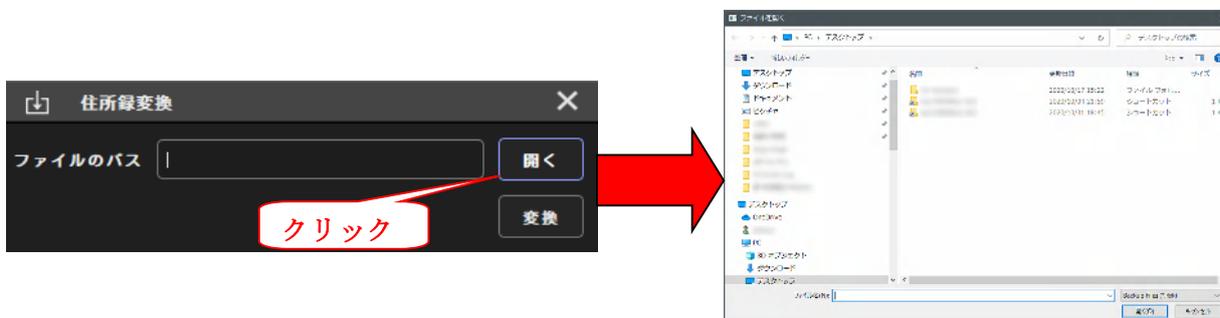
- (6) NETUS-Pro で「サイト管理」を開く



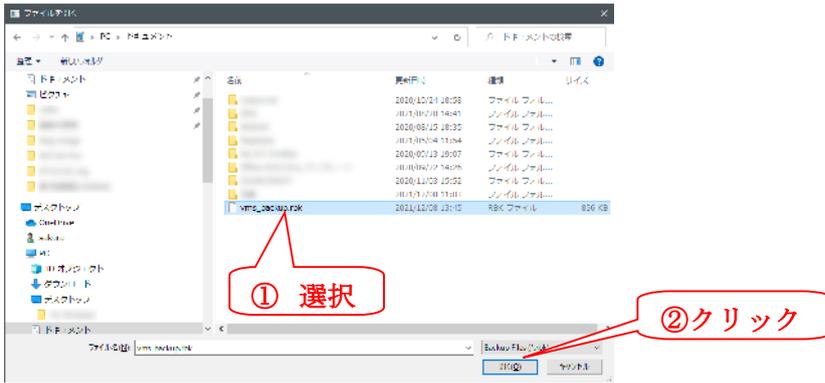
- (7) 開く ボタンをクリックし「住所録変換」ダイアログを開く



- (8) 開く ボタンをクリックして「ファイルを開く」ダイアログを開く



- (9) (5) で保存したファイルを選択し 保存(S) ボタンをクリックする



(10) 「サイト管理」ウィンドウに戻ったら VMS の登録情報が読み込まれている事を確認する

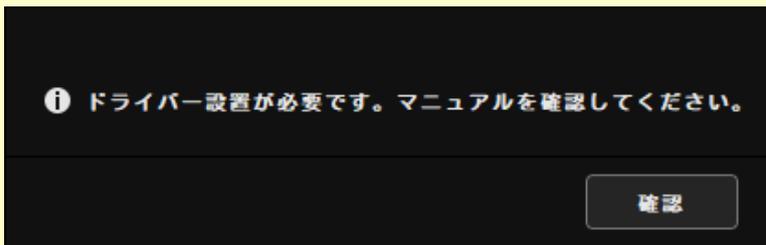


(11) 適用 をクリックしてメインウィンドウに戻ったらサイトに反映された事を確認する



<注意>

- NETUS-Pro に既存のサイト情報が存在する場合は、全部削除してから VMS の登録情報を読み込んでください。既存の情報があると NETUS-Pro がフリーズして正常に読み込む事が出来ません。
- 読み込み時に以下のようなエラーメッセージが表示された場合は一旦 NETUS-Pro を終了してマイクロソフト社のサイトから「Microsoft Access データベース エンジン 2010 再頒布可能コンポーネント」をダウンロードしインストールしてから再度読み込み操作を行ってください。



2. ライブ監視

「ライブ」タブ（パネル）では、登録されている機器（DVR や NVR）に接続されたカメラで撮影されている現在の映像をリアルタイムで確認することができます。また、PTZ カメラの操作や UTC 制御可能なカメラのメニュー操作等もおこなうことができます。

ライブ画面の構成は次の図のようになっています。



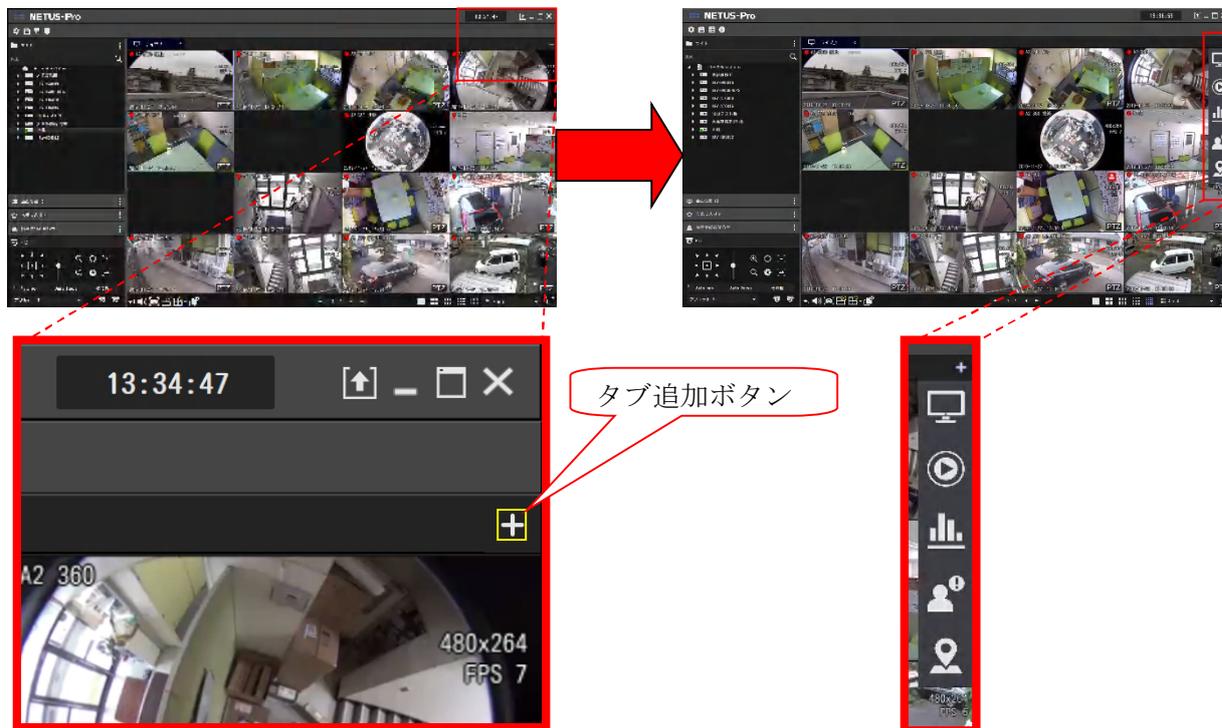
2.1. ライブパネルの追加

NETUS-Pro 起動時、既に「ライブ_1」パネルが作成された状態になっていますので、通常この操作は必要ありませんが、管理する機器の台数が多くなった場合には、ライブパネルを最大4つまで増やすことができます。

ライブパネルを増やすには、次の手順を実行します。

(1) **+** (タブ追加) をクリック

+ (タブ追加) ボタンをクリックすると、その下にメニューバーが表示されます。



(2) メニューバーから **🖥️** (ライブ) を選択

メニューバー内の **🖥️** (ライブ) をクリックすると、タブメニューに「ライブ_2」タブが現れます。



再生パネルが表示され、遠隔再生及びバックアップの機能が使える状態になります。

2.2. ライブパネルの操作

ライブパネルには、カメラで撮影された現在の映像を表示することができます。また、映像と共に各チャンネルの状態を示すアイコンや操作ボタンも表示されます。

2.2.1. 分割画面表示と1画面表示

分割画面表示の時に各分割画面のアイコンやボタンの無い部分をダブルクリックすると1画面表示に切り替わります。1画面表示の時に画面内のアイコンやボタンの無い部分をダブルクリックすると分割画面に切り替わります。



< 注意 >

- 1画面表示の状態でもダブルクリックしても分割画面表示にならない場合は、ボトムメニューまたはサイドメニューで分割数を選択してください。

2.2.2. 画面内のアイコン

各チャンネルの画面内には、そのチャンネルの状態を示すアイコンが表示されます。それぞれのアイコンの意味は次表のようになります。

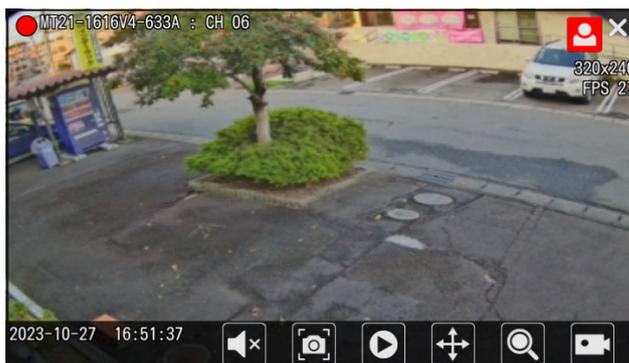


	意味	説明
	モーション検知	機器が被写体の動きを検知する設定になっている場合に、動きを検知した時に表示されます。(機器の設定により録画を伴わない場合あり)
	センサー検知	機器のセンサー入力がトリガー（接点の導通／切断）を検知する設定になっている場合にトリガーされた時に表示されます。(機器の設定により録画を伴わない場合あり)
	音声検知	機器が音声を検知する設定になっている場合に音声を検知した時に表示されます。(機器の設定により録画を伴わない場合あり)
	録画中	そのチャンネルが現在録画中の場合に表示されます。

	意味	説明
	PTZ 可	機器がそのチャンネルで PTZ または UTC 制御が可能な設定になっている場合に表示されます。(接続されているカメラが機能に対応していない場合でも表示される)

2.2.3. 画面内のボタン

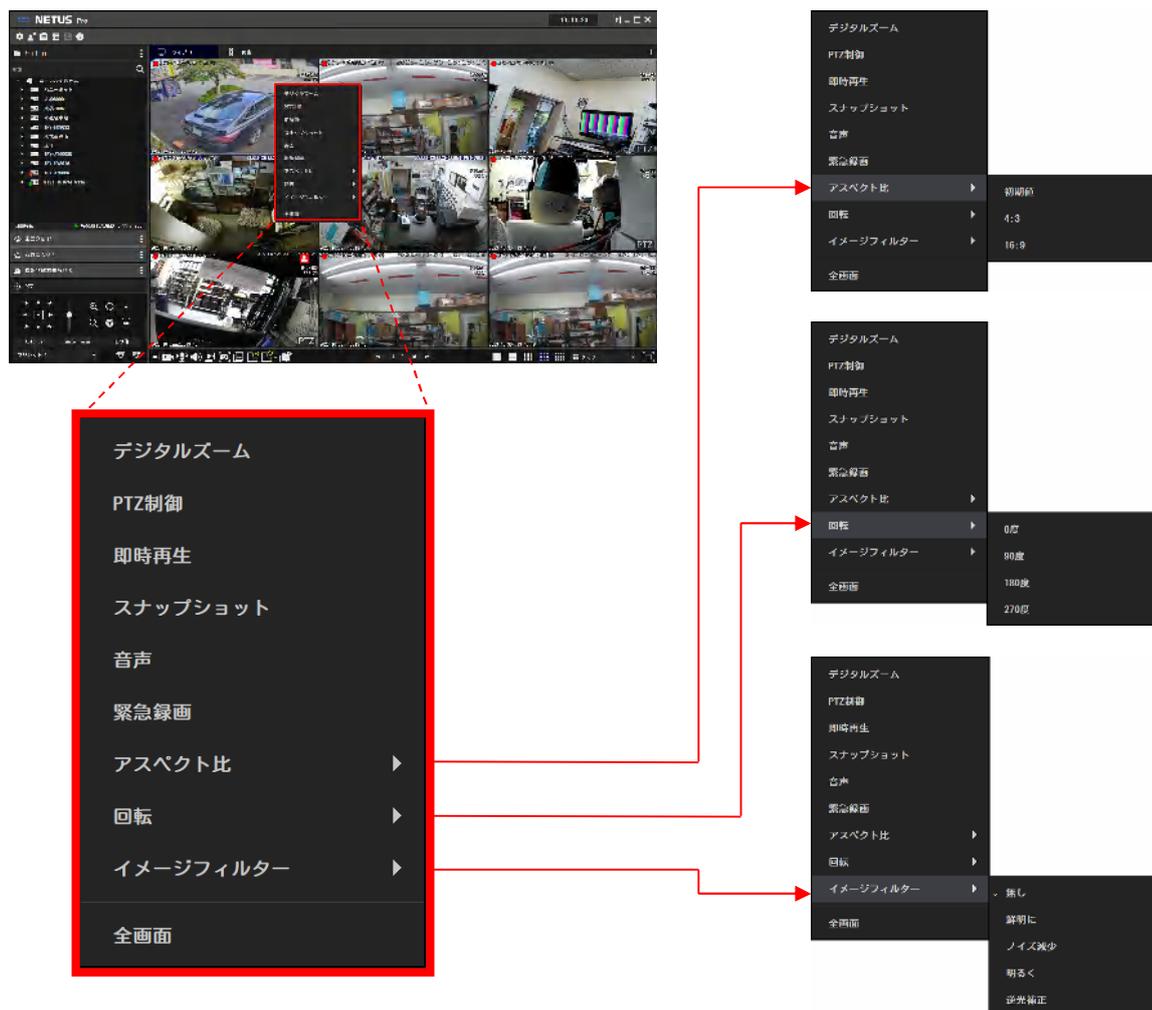
各チャンネルの画面内にマウスポインタを合わせると、そのチャンネルに関連した操作をするためのボタンが表示されます。それぞれのボタンの意味は次表のようになります。



	意味	説明
	画像オフ	ライブパネルから、そのチャンネルを削除します。
	音声	クリックする毎に、そのチャンネルの音声のオンとオフを切り換えます。ボタンの表示は現在の状態を示します。  : PC のスピーカーでこのチャンネルの音声が出力されない状態  : PC のスピーカーでこのチャンネルの音声が出力される状態
	スナップショット	このチャンネルの映像を静止画でファイルに保存します。この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1 画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。スナップショットについて詳細は「 2.5.1 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法 」のページをご覧ください。 参照 →99 ページ
	即時再生	このチャンネルの映像だけを再生モードに切り替えて機器に録画されている映像を再生します。即時再生画面の操作方法は「 2.2.5 即時再生 」のページをご覧ください。 参照 →58 ページ
	PTZ	このチャンネルの簡単な PTZ 操作を実行するための画面を表示します。可能な操作：ズーム・フォーカス・パン・チルト) この機能の詳細については「 2.2.6 簡易 PTZ 」のページをご覧ください。 参照 →60 ページ
	デジタルズーム	このチャンネルのデジタルズームを実行するための画面を表示します。この機能の詳細については「 2.6 デジタルズーム 」のページをご覧ください。 参照 →105 ページ
	緊急録画	このチャンネルの映像を動画でファイルに保存します。この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1 画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。緊急録画について詳細は「 2.7 緊急録画 」のページをご覧ください。 参照 →108 ページ

2.2.4. 画面内の右クリックメニュー

画面内を右クリックすると右クリックしたチャンネルに対して次表のメニューが利用できます。

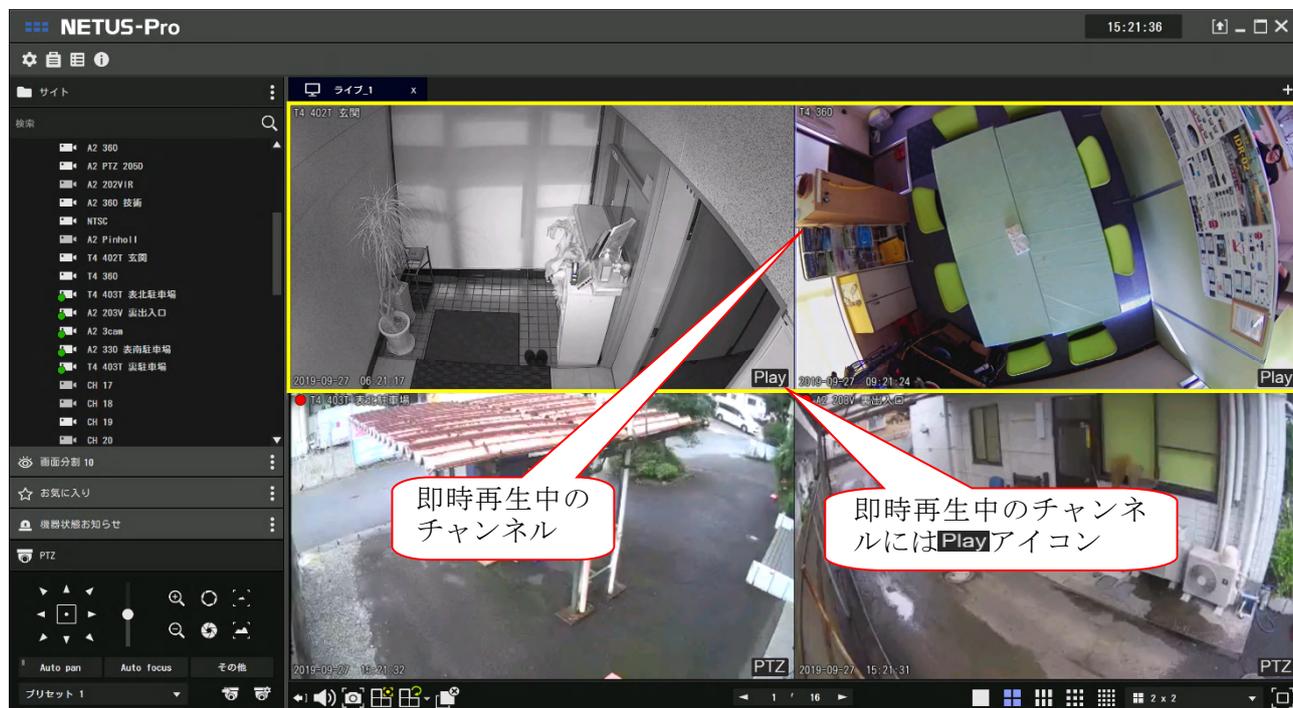


右クリックメニュー	説明
デジタルズーム	このチャンネルの映像を拡大表示します。デジタルズームの操作については「 2.6 デジタルズーム 」のページをご覧ください。 参照 → 105 ページ
PTZ 制御	このチャンネルの簡易 PTZ 機能を起動し、PTZ カメラの基本操作が出来る状態にします。簡易 PTZ の操作については「 2.2.6 簡易 PTZ 」のページをご覧ください。 参照 → 60 ページ
即時再生	このチャンネルの即時再生機能を起動し、機器に録画されている映像を再生します。即時再生機能の操作については「 2.2.5 即時再生 」のページをご覧ください。 参照 → 58 ページ
スナップショット	このチャンネルの映像を静止画像としてファイルに保存します。☑ボタンと同じ動作になります。この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1 画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。スナップショットについて詳細は「 2.5.1 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法 」のページをご覧ください。 参照 → 99 ページ

右クリックメニュー		説明
音声		このチャンネルの音声出力のオンとオフを切り替えます。☑️ボタンと同じ動作になります。 ボタンの表示は現在の状態を示します。 ❌: PC のスピーカーでこのチャンネルの音声出力されていない状態 ☑️: PC のスピーカーでこのチャンネルの音声出力されている状態
緊急録画		このチャンネルの映像を動画としてファイルに保存します。☑️ボタンと同じ動作になります。 この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。緊急録画について詳細は「2.7 緊急録画」のページをご覧ください。 参照→108 ページ
アスペクト比	チェックなし	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比をそのチャンネルの枠の比率に合わせます。
	初期値	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比を、そのチャンネルの枠内に収まる大きさで横縦の画素数の比率で表示します。
	4:3	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比を、そのチャンネルの枠内に収まる大きさで 4:3 の比率で表示します。
	16:9	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比を、そのチャンネルの枠内に収まる大きさで 16:9 の比率で表示します。
回転	0 度 (未チェック)	このチャンネルのカメラの上側が上になるように映像を撮影された向きで表示します。
	90 度	このチャンネルのカメラの上側が右になるように映像を回転させて表示します。
	180 度	このチャンネルのカメラの上側が下になるように映像を回転させて表示します。
	270 度	このチャンネルのカメラの上側が左になるように映像を回転させて表示します。
イメージ フィルター	なし	このチャンネルのカメラの映像をそのまま表示します。
	鮮明に	このチャンネルのカメラの映像に輪郭補正をかけて表示します。
	ノイズ減少	このチャンネルのカメラの映像にノイズ低減処理をして表示します。
	明るく	このチャンネルのカメラの映像を明るく処理して表示します。
	逆光補正	このチャンネルのカメラの映像に逆光補正をかけて表示します。
全画面		このチャンネルの映像を全画面で表示します。全画面表示の場合、操作のためのバーやボタンはほとんど表示されなくなるため、多くの操作に制限が発生します。操作が必要な場合は元の画面に戻します。元の画面に戻すにはキーボードの ESC キーを押します。

2.2.5. 即時再生

即時再生機能は、ライブパネル内で選択した一部のチャンネルだけで機器に録画された映像を簡易的に再生する機能です。

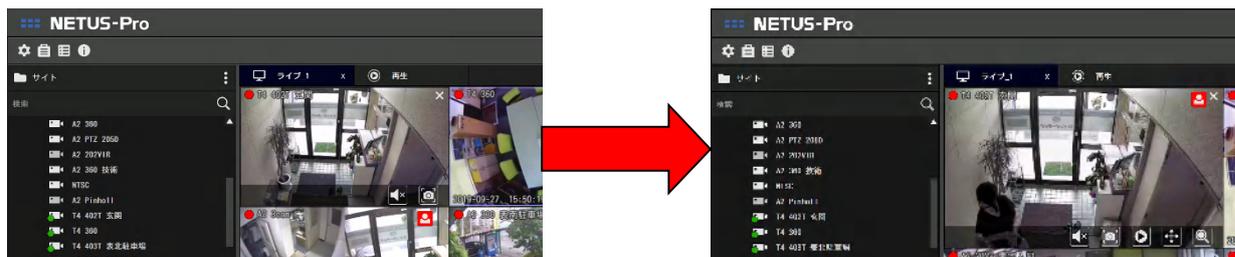


この例は、上の2画面が再生映像を表示し下の2画面がライブ映像を表示した状態の例です。

ライブ映像を表示した状態から即時再生を実行するには、次の手順で実行します。

(1) 即時再生したいチャンネルの映像にマウスポインタを合わせる

チャンネルの映像にマウスポインタを合わせると画面の下の方に  (即時再生) ボタンが表示されます。 (即時再生) ボタンが表示されない場合は1画面表示に切り替えるか分割数を減らします。



この例では16分割では  (即時再生) ボタンが表示されていないので9分割に切り換えています。分割数を減らすにはボトムメニューかサイドメニューを使用します。

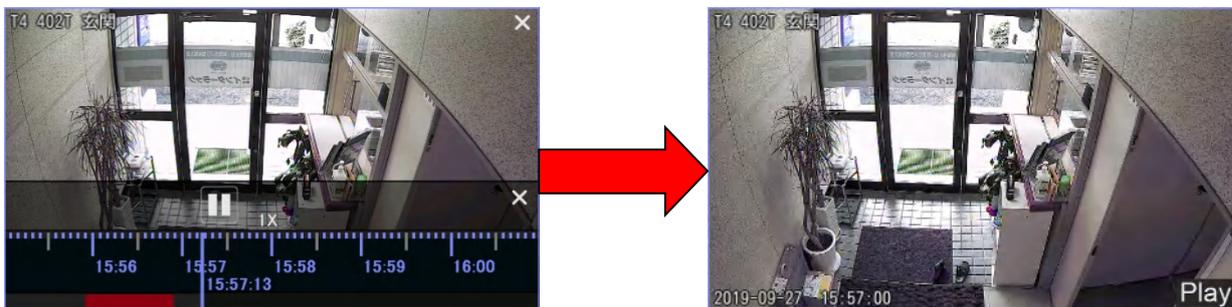
< 情報 >

- 分割数を減らした事によって見たいチャンネルが表示されなくなった場合はボトムメニューの「ページ選択」ボタンを使うと表示出来ます。



(2) ボタンをクリック (または右クリックメニューから選択)

🔍 (即時再生) ボタンをクリックすると即時再生に切り替わります。即時再生中の画面にマウスポインタを合わせると、利用可能なボタンとタイムラインが表示されます。ボタンや目盛が邪魔な場合はマウスポインタを画面の外に移動すると消すことができます。



2.2.5.1. 即時再生画面内の操作

即時再生画面内では次表のボタンで再生関連等の操作ができます。ボタンが表示されない場合は1画面表示に切り替えるか分割数を減らします。

	意味	説明
	時間移動	<p>「日時指定検索」ダイアログが表示されますので日時を入力します。日付は📅 (カレンダー) ボタンを使ってカレンダーを表示させてから選択します。</p>
	一時停止	再生映像を一時停止します。なお、即時再生機能は変速再生には対応していません。
	スナップショット	選択したチャンネルのスクリーンショットを保存します。詳細は「3.7.1 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法」のページをご覧ください。 参照→142 ページ
	終了	即時再生モードを終了してライブ映像に戻ります。

< 注 意 >

- 即時再生機能では早送りや早戻し、あるいはコマ送りのような変速再生は実行できません。変速再生を実行したい場合は再生パネルを利用してください。
[参照→113 ページ](#)
- 複数のチャンネルで即時再生を実行した場合、再生中のそれぞれのチャンネルは同期していません。全てのチャンネルを同期して再生したい場合は再生パネルを利用してください。

[参照→113 ページ](#)

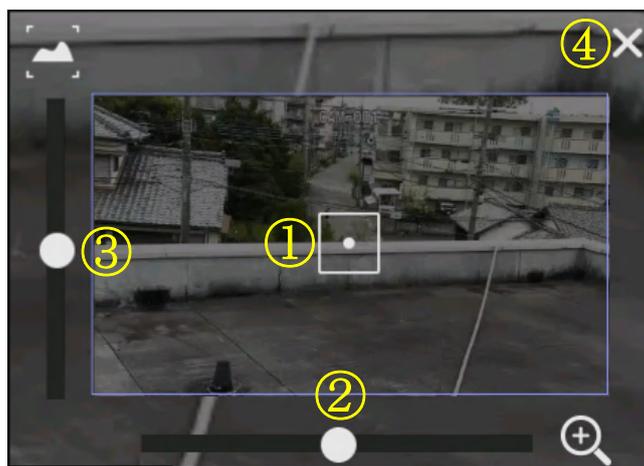
2.2.6. 簡易 PTZ

簡易 PTZ 機能では、PTZ または 2 Motor カメラの操作のうち、パン・チルト・ズーム・フォーカスの操作が出来ます。

ライブパネルにライブ映像を表示した状態で **+** (PTZ) ボタンをクリックすると、そのチャンネルの画面内の右下に簡易 PTZ 操作画面が表示されます。



PTZ 操作画面の操作は次表の通りです。



番号	説明
①	PTZ カメラでは、左右にドラッグするとパン（左右移動）、上下にドラッグするとチルト（上下移動）の動作になります。2 Motor カメラでは、この操作は無効です。
②	カメラのズーム機能を動作させます。 動作方向は、左にドラッグすると縮小方向に、右にドラッグすると拡大方向になります。 <注意> ● カメラの機種によっては左右の動作が逆になる場合があります。
③	カメラのフォーカス（「焦点」または「ピント」）機能を動作させます。 動作方向は、上にドラッグすると近距離方向に、下にドラッグすると遠距離方向になります。 <注意> ● カメラの機種によっては上下の動作が逆になる場合があります。 ● カメラの設定がオートフォーカスになっている場合にはこの操作は効かないことがあります。
④	「簡易 PTZ」を閉じます。

2.3. サイドメニューの操作（ライブパネル用）

サイドメニューはライブ・再生及びE-MAPタブ（パネル）を選択した場合にだけウィンドウ左側に表示されるメニューです。サイドメニューはボトムメニューの []（サイドメニュー非表示）ボタンを使って非表示にすることが出来ます。またこのボタンは、サイドメニュー非表示中は []（サイドメニュー表示）ボタンに変わります。



サイドメニュー表示中の状態

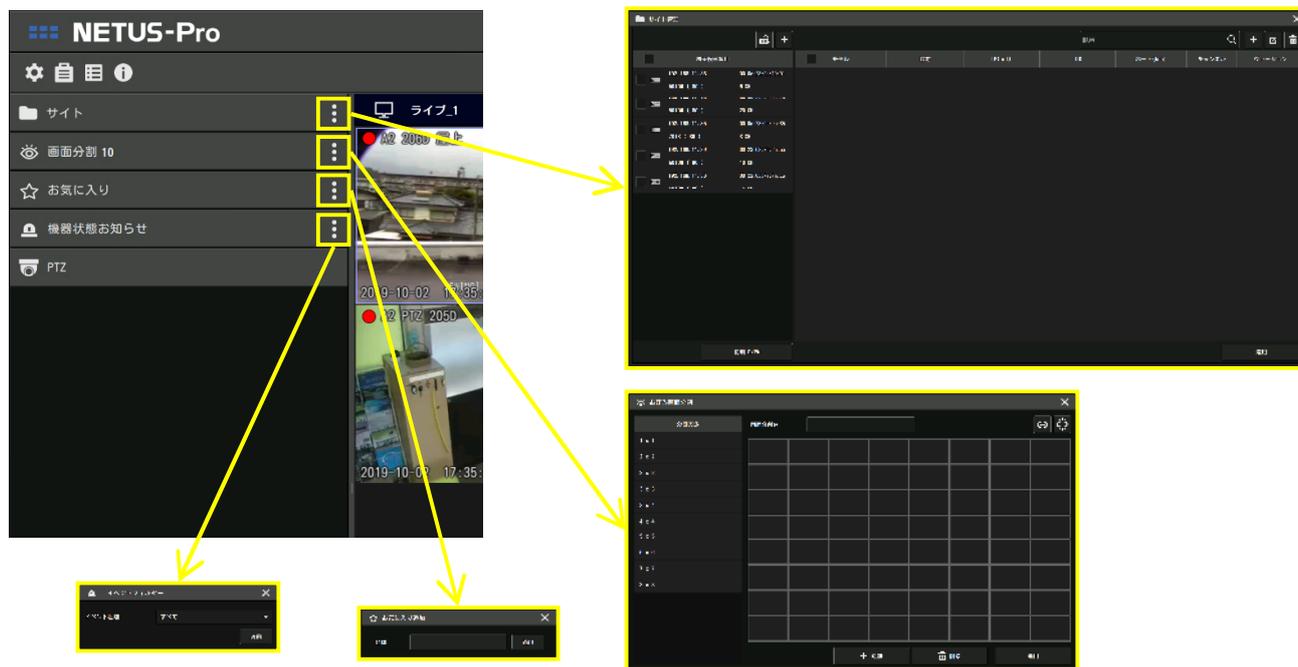


サイドメニュー非表示中の状態

サイドメニューの各項目の内容は項目名の書かれたタイトルバーをクリックすることで表示と非表示を切り換えることが出来ます。



各項目のタイトルバーの右側にある☰ボタンをクリックするとそれぞれのメニューに関する設定ウィンドウが開きます。



2.3.1. サイト

「サイト」メニューはライブパネル及び再生パネルの左側に表示されるメニューです。このメニューでは、ライブまたは再生パネルに機器を割り当てたり機器に対する各種の操作を実行したりすることが出来ます。右クリックメニューで次表の操作が出来ます。また、一部の操作はマウスによるドラッグ&ドロップでも可能です。

DVR や NVR アイコンの右クリックメニュー

第1階層	第2階層	説明
映像を表示 (パネルに割当)	全てのチャンネルの映像を表示 (パネルに割当)	アイコンが示す機器の全てのチャンネルをライブパネルまたは再生パネルに割り当てます。 参照 →65 ページ
	全てのチャンネルの映像を消去 (パネルの割り当てを解除)	ライブパネルまたは再生パネルからアイコンが示す機器のチャンネルを全て削除します。 参照 →65 ページ
機器管理	遠隔設定	Web ブラウザを起動し、遠隔設定用のログイン画面を開きます。 参照 →69 ページ <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔設定機能を利用するためには、機器の Web ポートに接続可能な条件が整っている必要があります。 </div>
	機器に再接続	NETUS-Pro を機器に再接続します。ライブパネルにチャンネルを割り当てても映像が表示されない場合に実行します。 参照 →70 ページ
	機器再起動	機器を再起動します。ここで入力を求められるパスワードは機器のユーザーパスワードではなく NET-US-Pro ユーザーのパスワードです。 参照 →70 ページ
Remote Viewer		Remote Viewer を起動します。Remote Viewer では、機器の操作画面をパソコンのリモートデスクトップのような感覚で直接操作することが出来ます。 参照 →71 ページ
機器情報		機器のシステム情報を表示します。 参照 →73 ページ

カメラの右クリックメニュー

第1階層	第2階層	説明
設定	遠隔設定	<p>Web ブラウザを起動し、機器の遠隔設定用のログイン画面を開きます。</p> <p>参照→69 ページ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔設定機能を利用するためには、機器の Web ポートに接続可能な条件が整っている必要があります。 ● ここで開くログイン画面は、個別のカメラの設定画面ではなく、それらが接続されている機器 (DVR や NVR) を設定するためのログイン画面です。 </div>
映像を表示 (パネルに割当)	映像を表示 (パネルに割当)	<p>アイコンが示すチャンネルをライブパネルまたは再生パネルに割り当てます。</p> <p>参照→65 ページ</p>
	映像を消去 (パネルの割り当てを解除)	<p>ライブパネルまたは再生パネルからアイコンが示すチャンネルを削除します。</p> <p>参照→65 ページ</p>

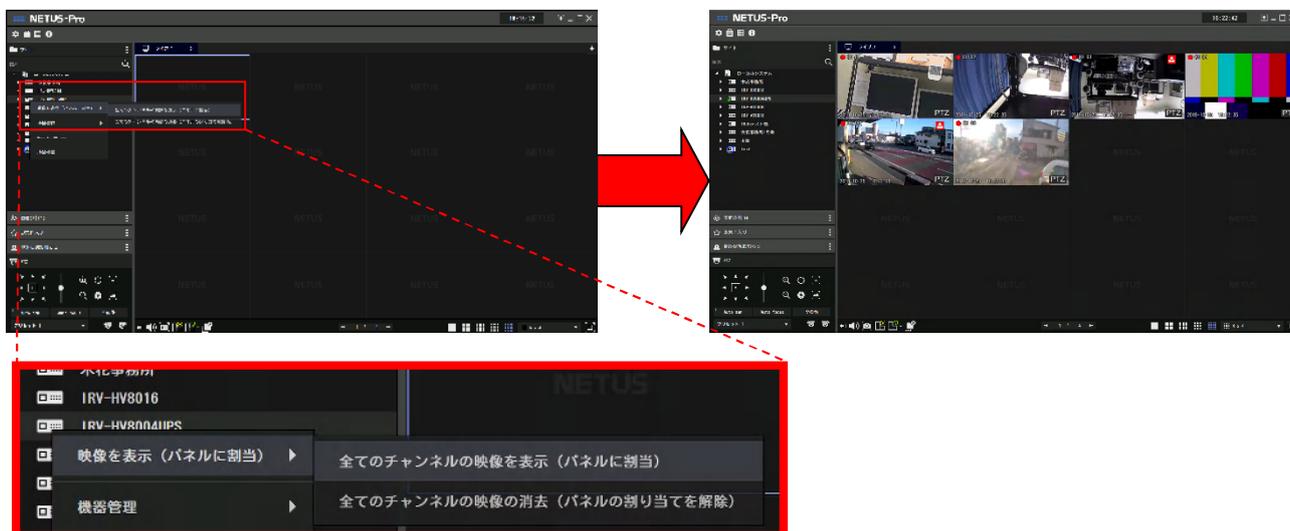
リレーの右クリックメニュー

第1階層	第2階層	説明
機器リレー	リレー オン	機器のアラームリレー出力状態をオンにします。
	リレー オフ	機器のアラームリレー出力の状態をオフにします。
<p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器のリレー出力設定が「NC」 (Normal Close) の場合、電気的には「オフが通電」で「オンが非通電」になります。 		

2.3.1.1. ライブパネルへのチャンネルの割り当てと解除

ライブパネルにチャンネルを割り当てるには、右クリックメニューで割り当てる方法とドラッグ&ドロップで割り当てる方法があります。

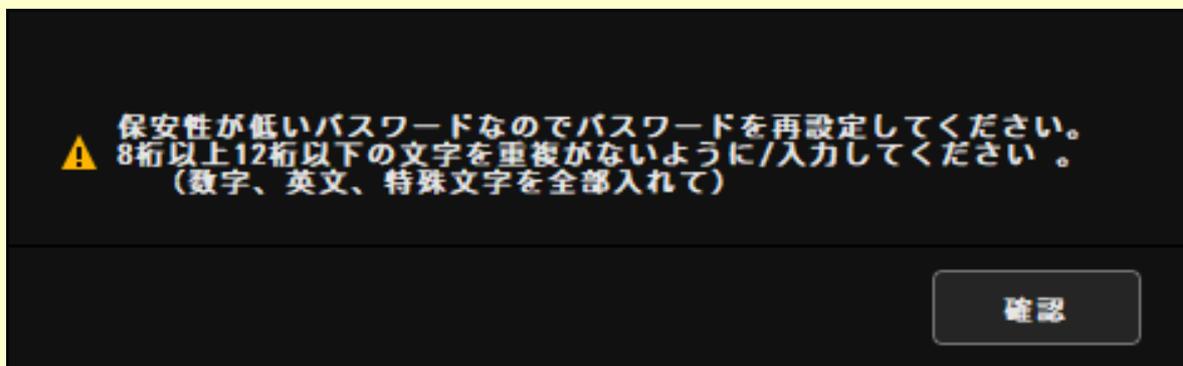
右クリックメニューから割り当てる場合は、空いている部分がある最も上段の左側から連続したチャンネル数分の場所に割り当てられます。連続する場所の範囲に既に割り当てられているチャンネルがある場合でも強制的に上書きされます。

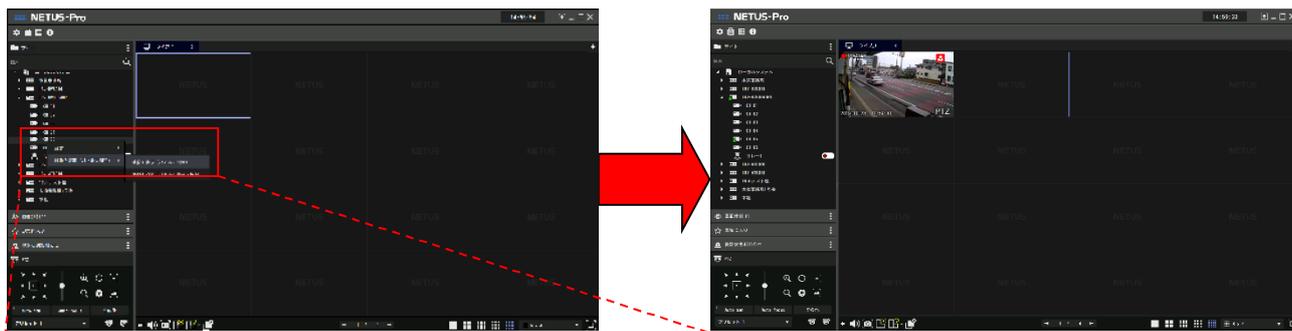


各機器の特定のカメラのアイコンを右クリックして割り当てると、カメラを1台毎に割り当てることも出来ます。

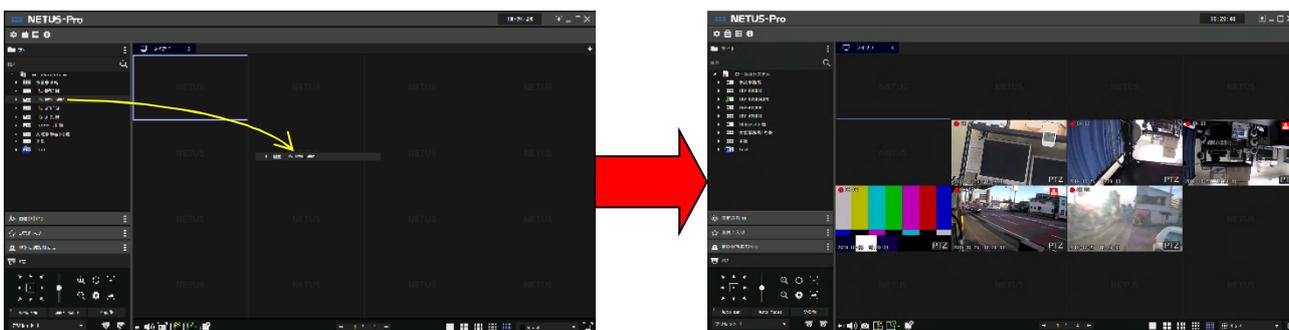
< 注意 >

- 追加した機器で、カメラが接続されているチャンネルが連続していない（途中でビデオロスのチャンネルがある）場合、その次に追加される機器には、その抜けたチャンネルの位置から連続した位置にカメラが割り当てられる事になるので、一度割り当てた一部のチャンネルが表示できなくなります。そのような場合は、ドラッグ&ドロップで割り当ててください。
- 追加した機器で脆弱なパスワードが使用されている場合、次の警告画面が表示されます。この警告は毎回表示されますが、機器に安全（複雑）なパスワードを設定すると表示されなくなります。

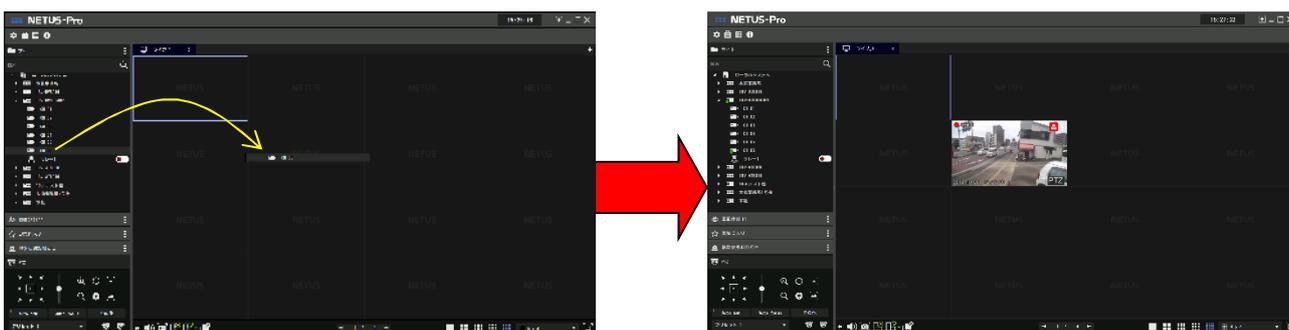




ドラッグ&ドロップで割り当てる場合にはドロップした場所から順に連続したチャンネル数分の場所に割り当てられます。連続する場所の範囲に既に割り当てられているチャンネルがある場合でも強制的に上書きされます。



右クリックの場合と同様に各カメラのアイコンをドラッグ&ドロップするとカメラ1台毎に割り当てることができます。



< 情報 >

場所の順序は下図の例のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

1	2	3	4
5	6		7
8	6		9
10	11	12	13

ライブパネルに既に割り当てられたチャンネルを解除（パネルから消去）するには、右クリックメニューで解除する方法とパネル内のボタンをクリックして解除する方法及びボトムメニューのボタンで解除する方法があります。

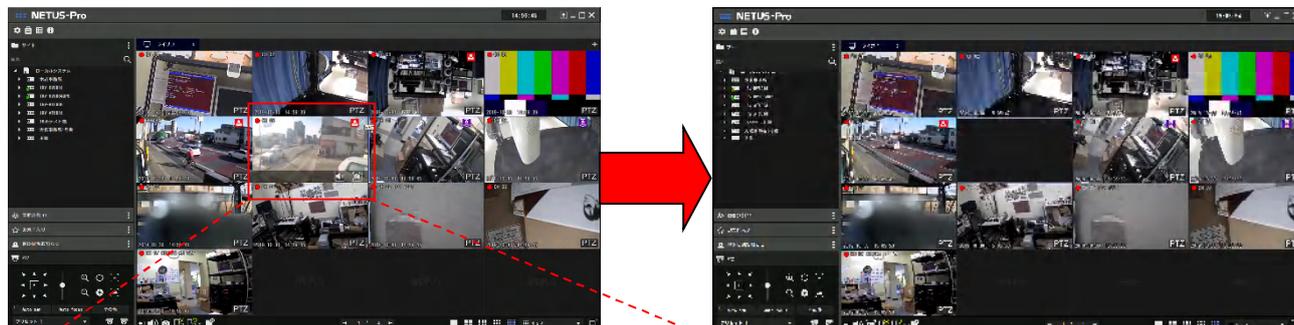
右クリックメニューでパネルに割り当てられた特定の機器の全てのカメラを解除するには、機器のアイコンを右クリックし「映像を表示（パネルに割当）」→「全てのチャンネルの映像を消去（パネルの割り当てを解除）」を選択します。



各機器の特定のカメラのアイコンを右クリックして割り当てを解除すると、1つのチャンネル毎に割り当てを解除することも出来ます。

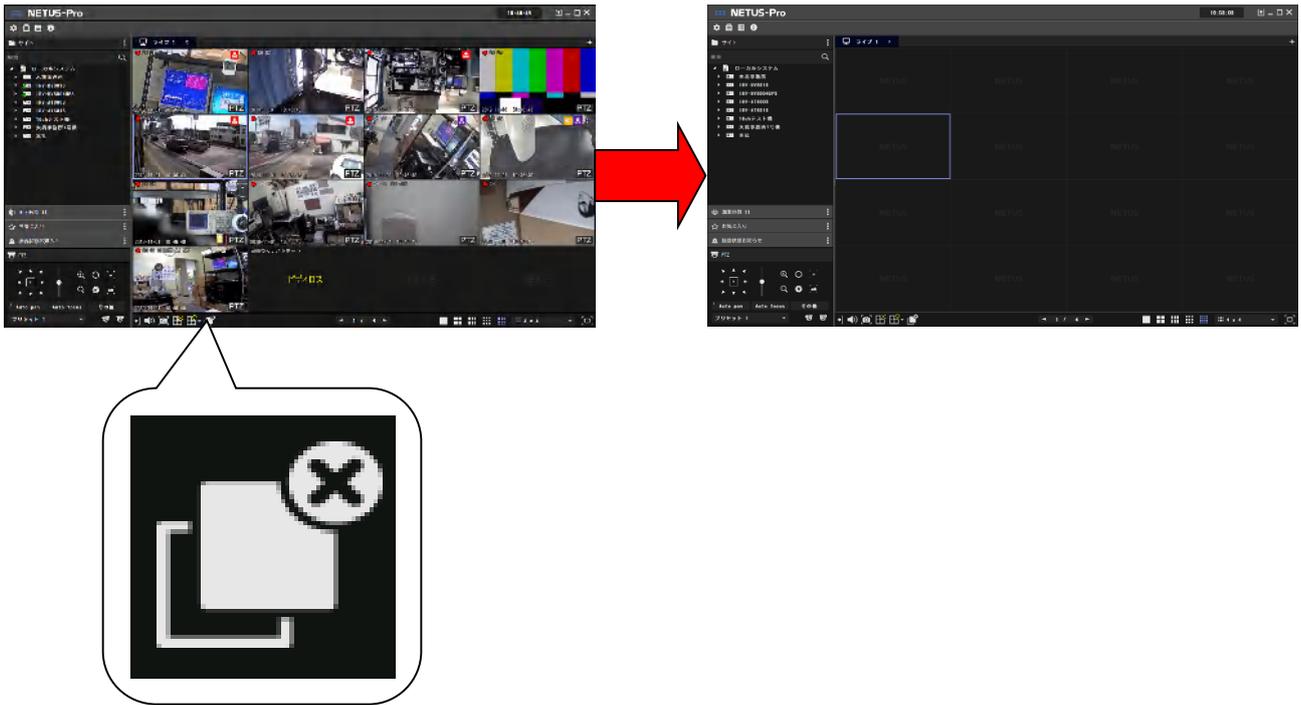


パネルの各チャンネルの画面内の右上にある “×” をクリックして割り当てを解除すると、1 つのチャンネル毎に割り当てを解除することができます。



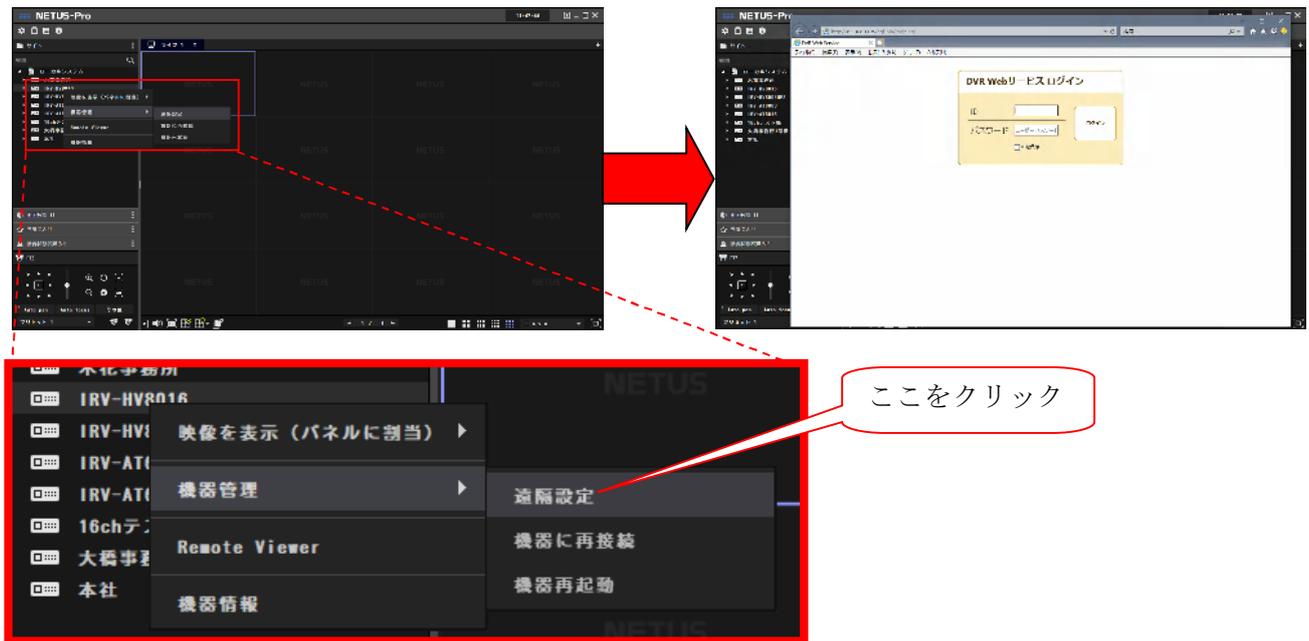
ここをクリック

ボトムメニューの  (表示オフ) ボタンをクリックすると、ライブパネルに割り当てられた全ての機器のチャンネルを消去 (割り当てを解除) します。



2.3.1.2. 遠隔設定

Web ブラウザを起動し、機器の Web アクセス用ログイン画面を表示します。

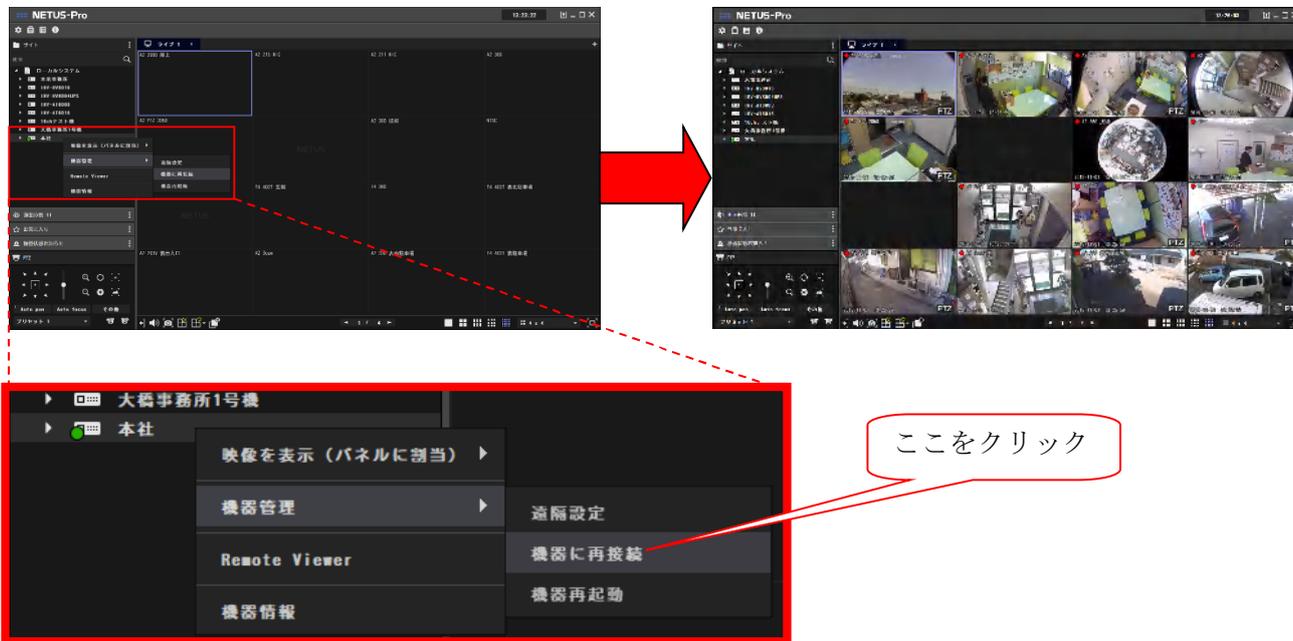


< 注意 >

- Web アクセスをするには、NETUS-Pro を実行している PC から機器の Web ポートにアクセス出来る必要があります。従って機器がインターネット経由のローカルネットワーク内にある場合は Web ポートに対してもルータ等のポートフォワーディング（ポート開放等）を設定する必要があります。
- P2P 接続の場合、遠隔設定機能は利用出来ません。

2.3.1.3. 機器に再接続

ライブパネルで機器に接続している状態の時に、その機器のチャンネルをパネルに割当てていない時間が長く続くと、チャンネルをパネルに割当てて映像を表示しようとしても、稀に表示できない場合があります。そのような現象が発生した場合に機器に再接続する事で映像が表示出来るようになります。



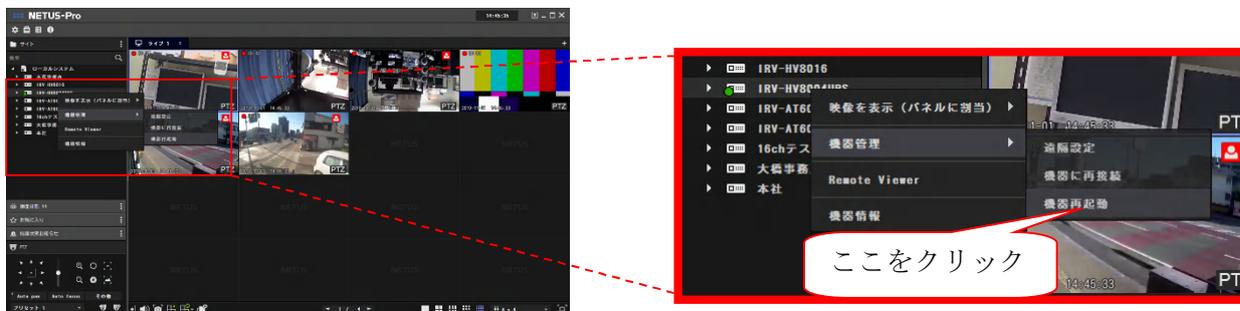
< 注 意 >

● 「機器に再接続」を実行するとライブパネルの接続は復旧しますが、再生パネルの接続は一旦失われます。再生パネルの接続を復旧させるには、ボトムメニューの (表示オフ) ボタンで再生パネルの割り当てを全て解除してから、再度割り当ててください。

2.3.1.4. 機器再起動

機器の動作が不安定になった場合に、遠隔操作で機器の再起動を実行する事が出来ます。機器の再起動は次の手順で実行します。

- (1) 再起動したい機器のアイコンの右クリックメニューから「機器管理」→「機器再起動」



(2) ID パスワードを入力

NETUS-Pro の起動用の ID とパスワードを入力します。



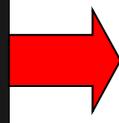
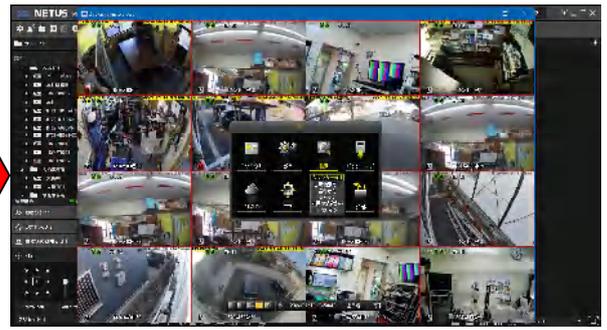
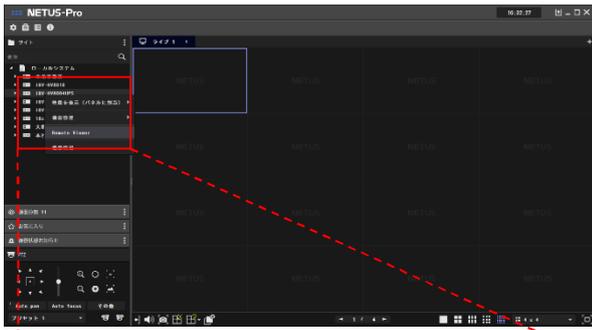
機器の再起動中は「接続中」の表示になります。

< 注意 >

- ここで入力する ID とパスワードは NETUS-Pro の起動用に使用する ID とパスワードです。機器の本体操作に使用するものとは別です。
- 機器の再起動には 1 分程度の時間がかかります。
- 機器の再起動中は録画や通信等、機器のほぼ全ての機能が停止します。

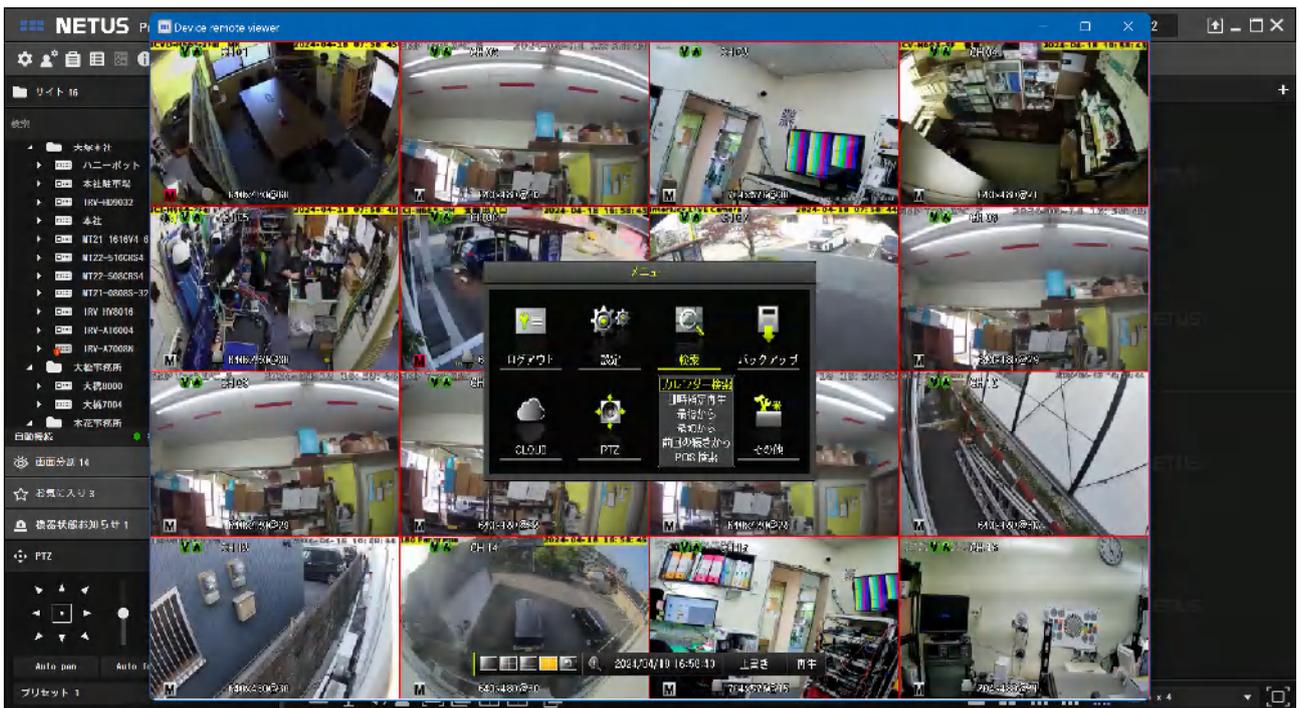
2.3.1.5. Remote Viewer

PC の画面上に機器のメインモニターの映像を縮小したものが表示されます。そして PC のリモートデスクトップのように PC のマウスを使って機器を操作する事ができます。



ここをクリック

また、機器に接続したメインモニターでは同時にその様子を見る事が出来ます。

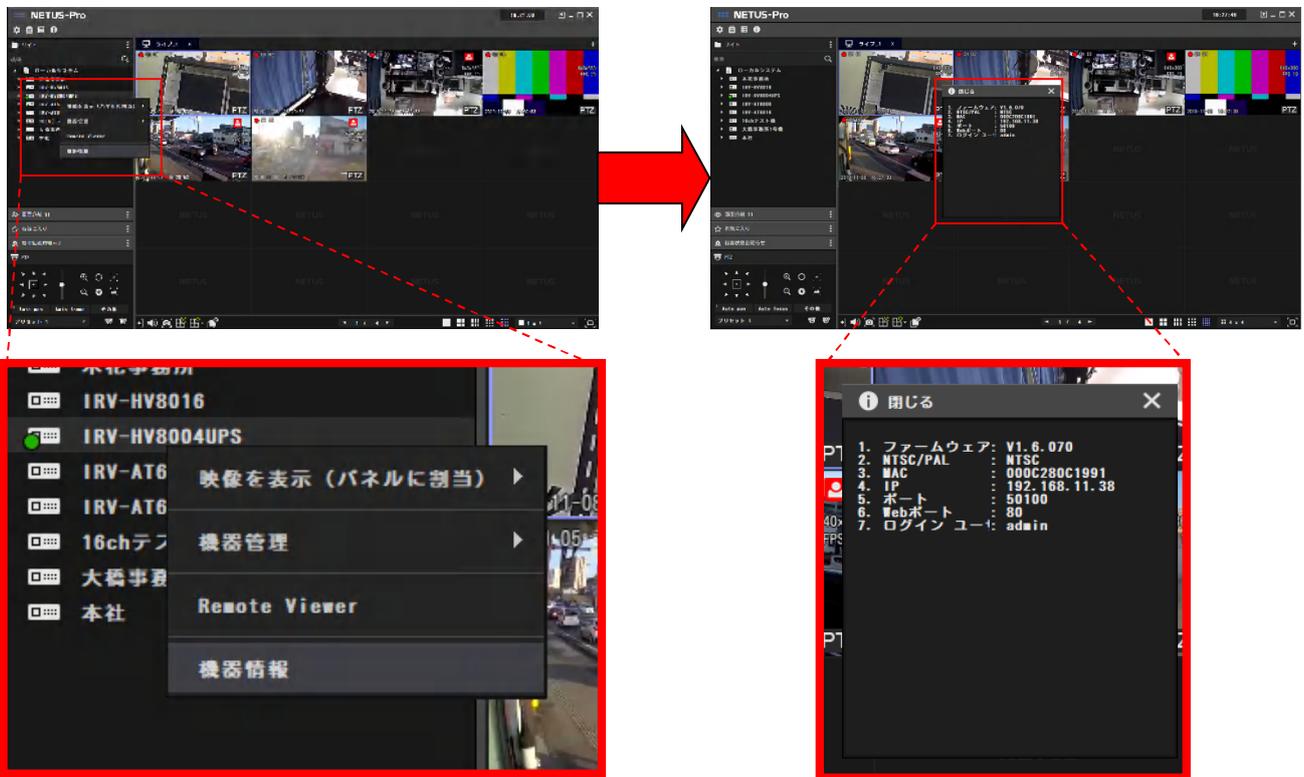


< 注 意 >

- Remote Viewer で表示される画面は縮小画像です。漢字等の細かな文字は読み取れない場合があります。(Remote Viewer ウィンドウを全画面表示にすると見やすくなります。)
- マウスポインタの表示は、PC 側では PC と機器の両方のマウスポインタを見る事が出来ますが、機器のメインモニターでは PC 側のマウスポインタは表示されません。
- PC と機器の両方で同時にマウス操作を実行した場合、両方のマウスのクリックを受け付けた順序でコマンドが実行されるため、操作が混乱します。Remote Viewer を使用される際は、機器の設置場所に居る人に事前に連絡してから操作するようにしてください。

2.3.1.6. 機器情報

右クリックで選択した機器の情報を表示します。

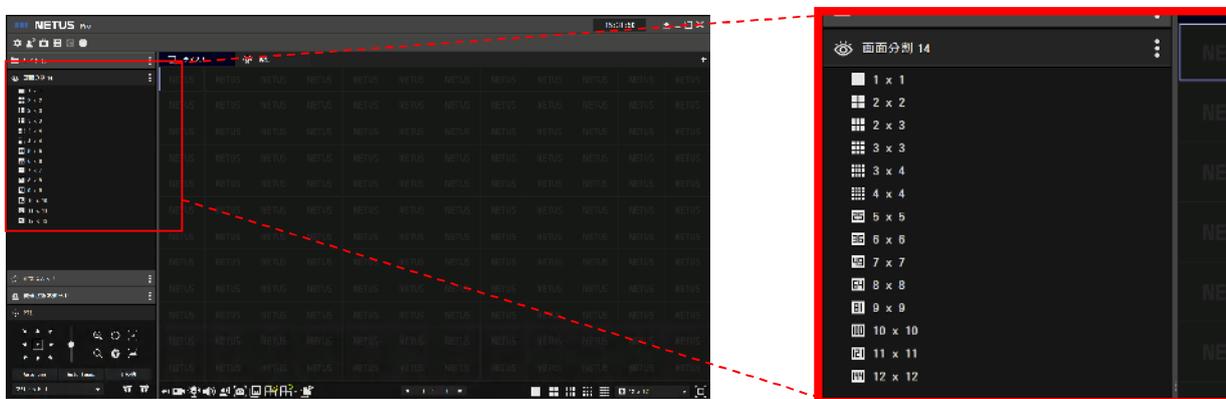


ここでは次の項目を表示します。

項目	説明
1 ファームウェア	機器のファームウェアのバージョンを表示します。
2 NTSC/PAL	機器のビデオモードを「NTSC」または「PAL」で表示します。
3 MAC	機器の MAC アドレスを表示します。
4 IP	NETUS-Pro の接続先アドレス (IP, DDNS, P2P) を表示します。
5 ポート	NETUS-Pro の接続先ポート番号を表示します。
6 Web ポート	機器の Web ポートのポート番号を表示します。
7 ログインユーザー	NETUS-Pro が接続先の機器に対して使用しているユーザー名を表示します。

2.3.2. 画面分割

「画面分割」メニューはライブパネル及び再生パネルの左側に表示されるメニューです。ここでは予め用意された 14 種類の分割方法と、お客様が自由に決めた複数の分割方法を切り替えて使用することができます。



2.3.2.1. 分割方法の選択

分割方法の選択はサイドメニューの項目をダブルクリックするか、ボトムメニューをクリックして選択します。例えば 4×4 の 16 分割を選択する場合には次の図のような 3 通りの方法があります。



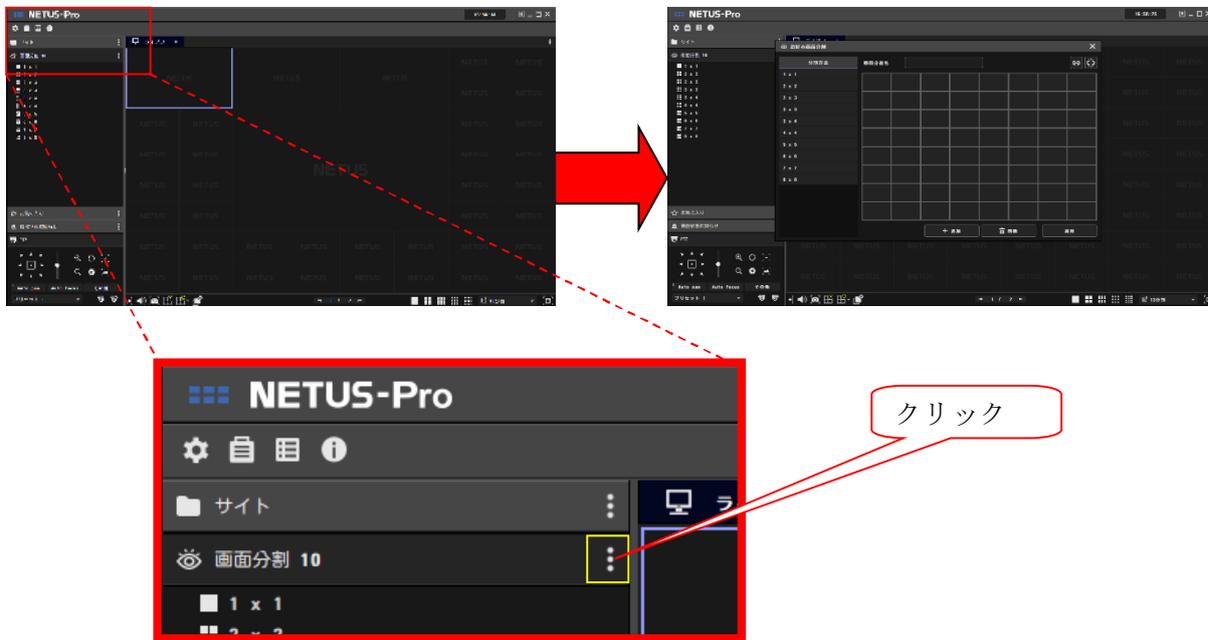
2.3.2.2. お好み画面分割

「お好み画面分割」では、画面の分割方法をお客様の都合に合わせて作成することができます。また、お客様の作成した分割方法を保存することができます。

2.3.2.2.1. 分割方法の作成

分割方法の作成は次の手順で操作します。

- (1) サイドメニューの「画面分割」の右側の  ボタンをクリックして「お好み画面分割」を開く



- (2) 「画面分割名」を入力し  ボタンをクリックする



- (3) 結合または分割したい升目を選択して  (結合) または  (分割) ボタンをクリックする
結合の場合



< 注意 >

- 結合可能な範囲は、長方形または正方形になる範囲です。その他のいびつな形状の結合は出来ません。
- 1回の結合操作で結合出来るのは1箇所です、2箇所以上の範囲を選択すると無効になります。

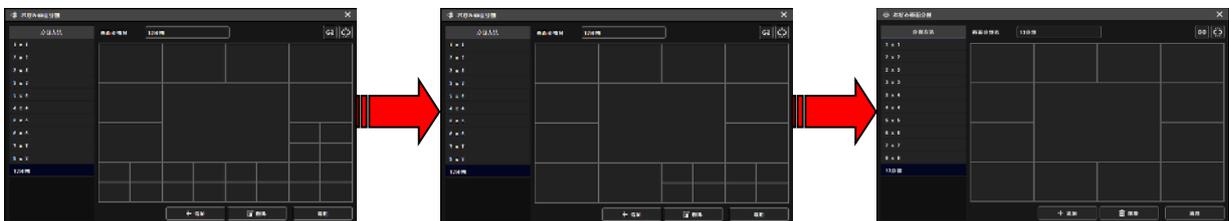
分割の場合



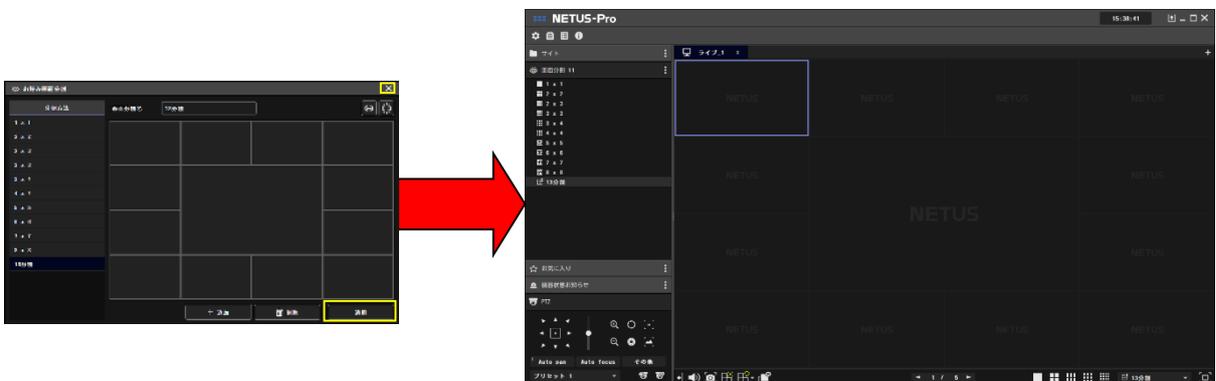
< 注意 >

- 1回の分割操作で分割出来るのは1箇所です。2箇所以上の範囲を選択すると無効になります。

(4) 前の(2)と(3)の操作を繰り返しながら好みの分割数にする



(5) **適用** ボタンをクリックして設定を保存した後 ボタンをクリックし「お好み画面分割」を閉じる
「お好み画面分割」ウィンドウを閉じた後、新しく作成した分割数（例では「13 分割」）を選択すると右のように作成された分割数に切替わります。



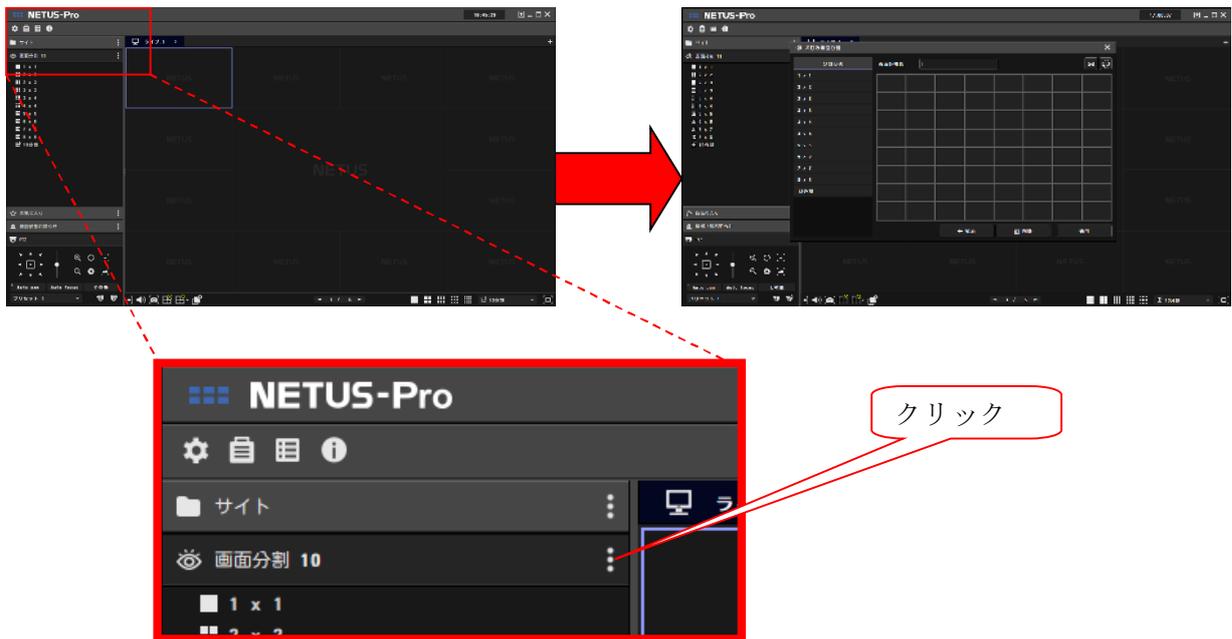
< 注意 >

- お好み画面分割の初期分割数は「8×8」です。他の分割数から始めることは出来ません。
- 上記の制約から、分割された一つの画面の幅と高さは、パネル全体の幅と高さの 1/8 1/4 3/8 1/2 5/8 3/4 7/8 1/1 の 8 通りしか選択できません。従って同一画面サイズによる「3×3 の 9 分割」のような初期設定に存在しても作成できない分割方法があります。

2.3.2.2.2. 分割方法の変更

一度作成した分割方法を変更するには次の手順で操作します。

(1) サイドメニューの「画面分割」の右側のをクリックして「お好み画面分割」を開く



(2) 変更したい画面分割名を「分割方法」から選択する



(3) 結合または分割したい升目を選択する



(4) 分割または結合ボタンをクリックする



(5) 前の(3)と(4)の操作を繰り返しながら好みの分割数にする
結合の場合



< 注意 >

- 結合可能な範囲は、長方形または正方形になる範囲です。その他のいびつな形状の結合は出来ません。
- 1回の結合操作で結合出来るのは1箇所です。2箇所以上の範囲を選択すると無効になります。

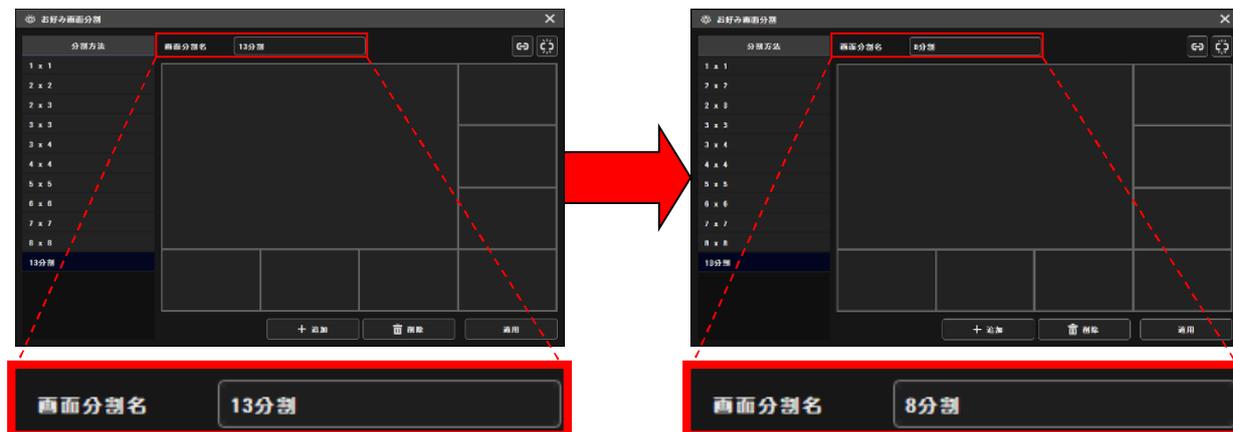
分割の場合



< 注意 >

- 1回の分割操作で分割出来るのは1箇所です。2箇所以上の範囲を選択すると無効になります。

(6) 画面分割名を入力する



(7) 変更結果の保存

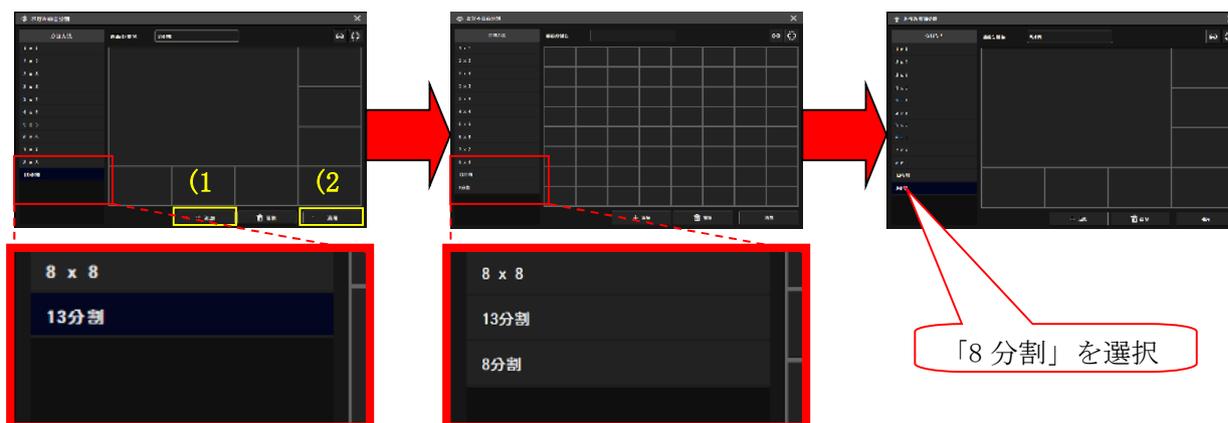
変更結果の保存には2種類の選択肢があります。

既存の画面分割名を変更したい場合はそのまま **適用** ボタンをクリックして設定を保存します。

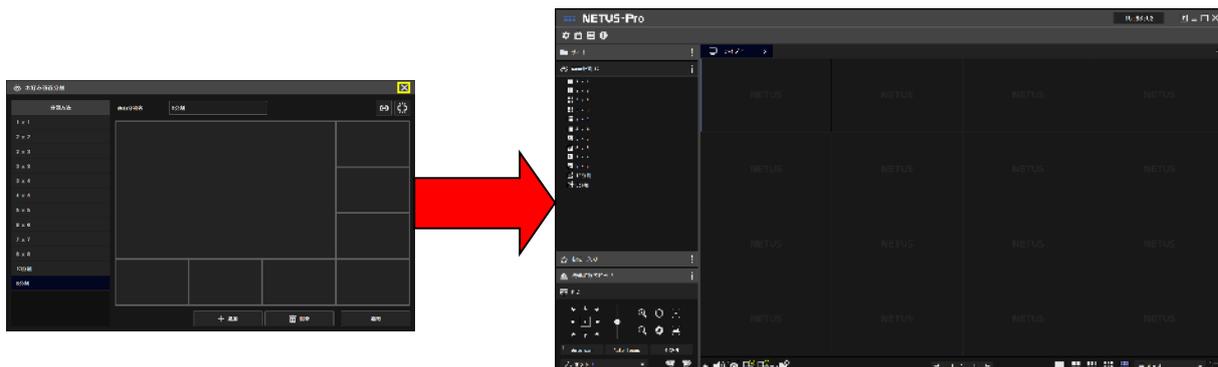


変更結果を新たな画面分割名として保存したい場合は **追加** **適用** の順にクリックします。

追加 をクリックした後に画面上の分割数は一旦「8×8」に戻ったように見えますが、保存した分割方法をクリックすると保存された分割方法で表示します。



(8) ボタンをクリックし「お好み画面分割」を閉じる



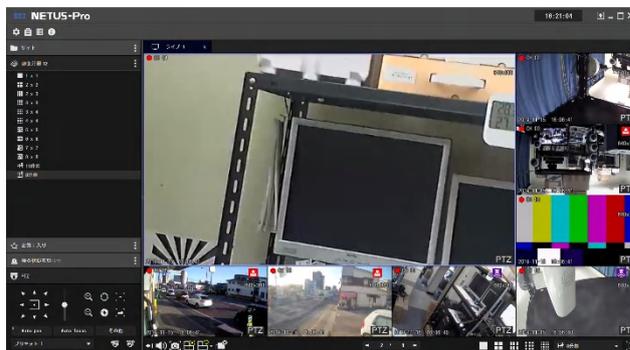
< 注意 >

- お好み画面分割の初期分割数は「8×8」です。他の分割数から始めることは出来ません。
- 上記の制約から、分割された一つの画面の幅と高さは、パネル全体の幅と高さの 1/8 1/4 3/8 1/2 5/8 3/4 7/8 1/1 の 8 通りしか選択出来ません。従って同一画面サイズによる「3×3 の 9 分割」のような初期設定に存在しても作成出来ない分割方法があります。
- NETUS-Pro をインストールしたときに初期設定された 14 種類の分割方法を変更することは出来ません。

上記の 13 分割と 8 分割を実際に適用した映像は次の例のようになります。

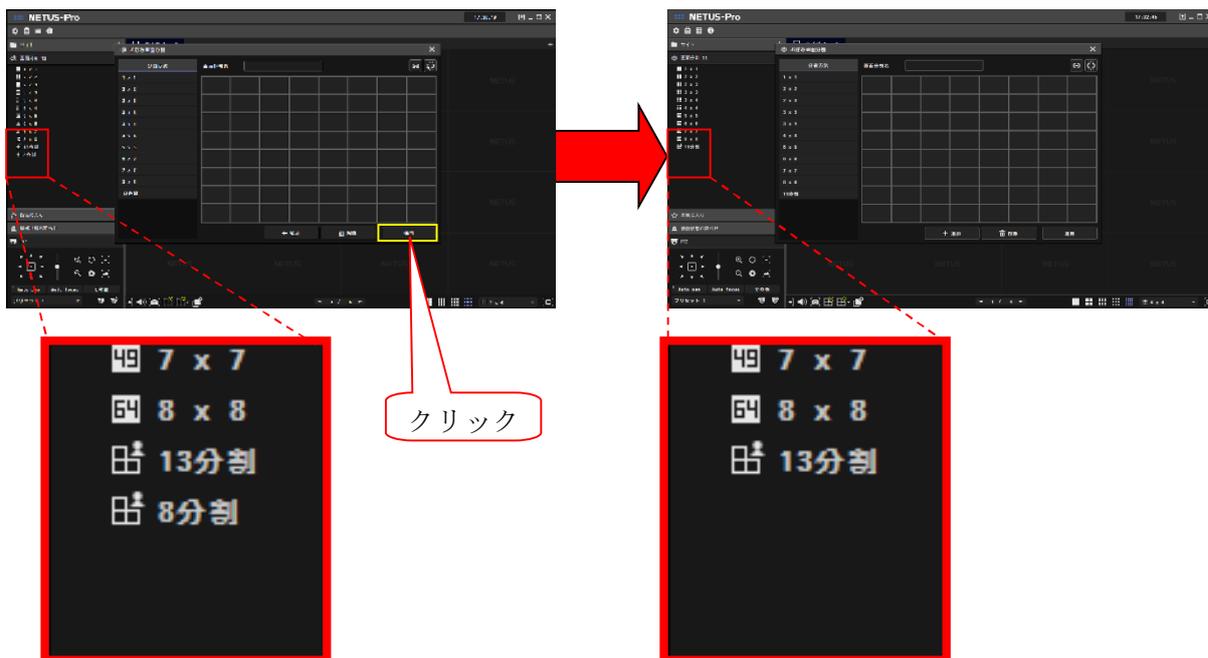


作成した 13 分割の例

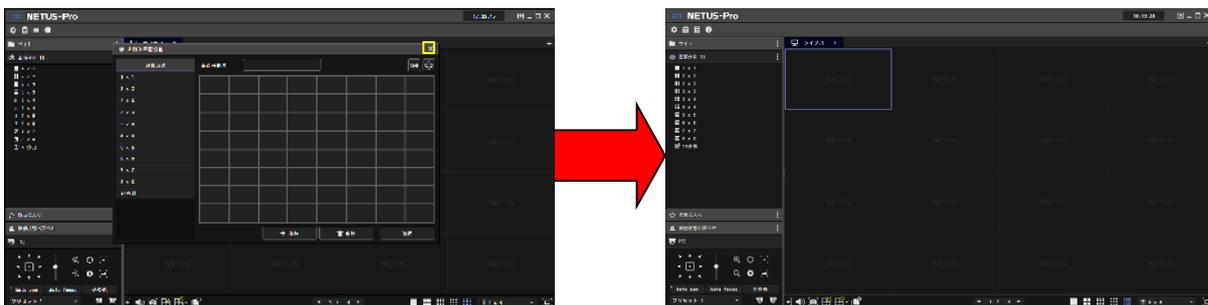


作成した 8 分割の例

(3) **適用** ボタンをクリックして設定を保存する



(4) ボタンをクリックし「お好み画面分割」を閉じる



< 情報 >

場所の順序は下図の例のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

1	2	3	4
5	6		7
8			9
10	11	12	13

< 注意 >

- NETUS-Pro をインストールしたときに初期設定された 14 種類の分割方法を削除することは出来ません。

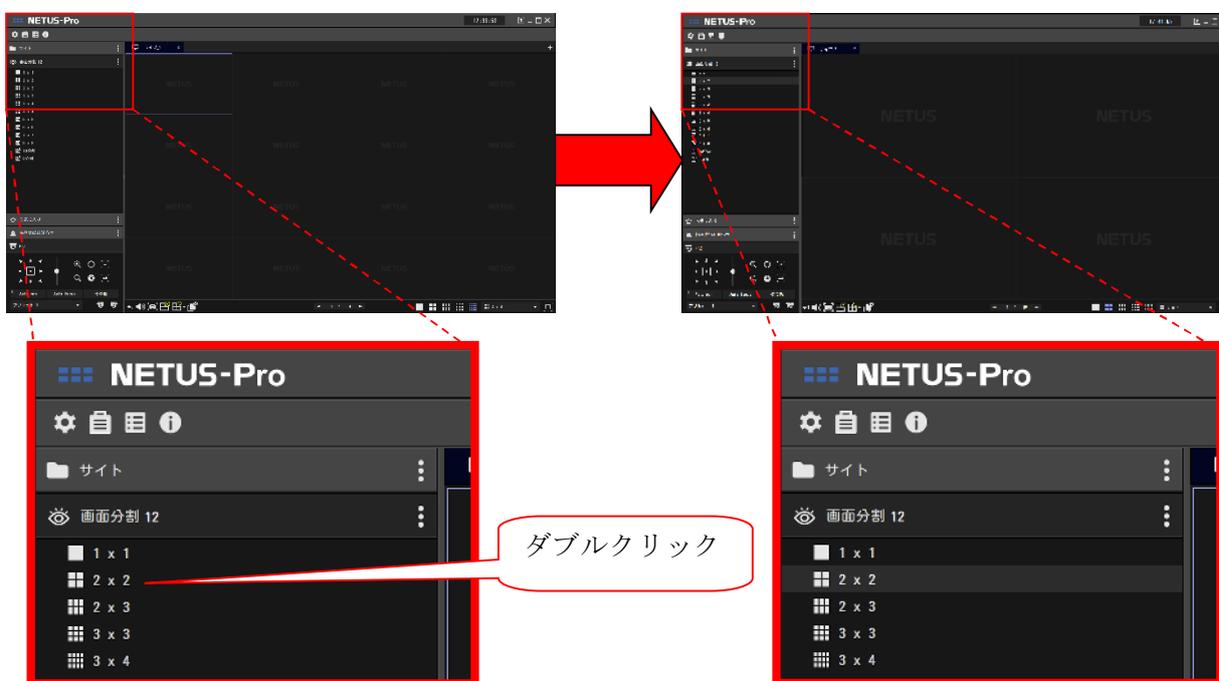
2.3.3. お気に入り

「お気に入り」メニューはライブパネル及び再生パネルの左側に表示されるメニューです。
ここではライブ及び再生パネルを含む全てのパネルに関する多くの動作状態を一元的に保存する事が出来ます。また、複数保存した「お気に入り」の中から一つを選択して起動時に自動的に適用する事が出来ます。

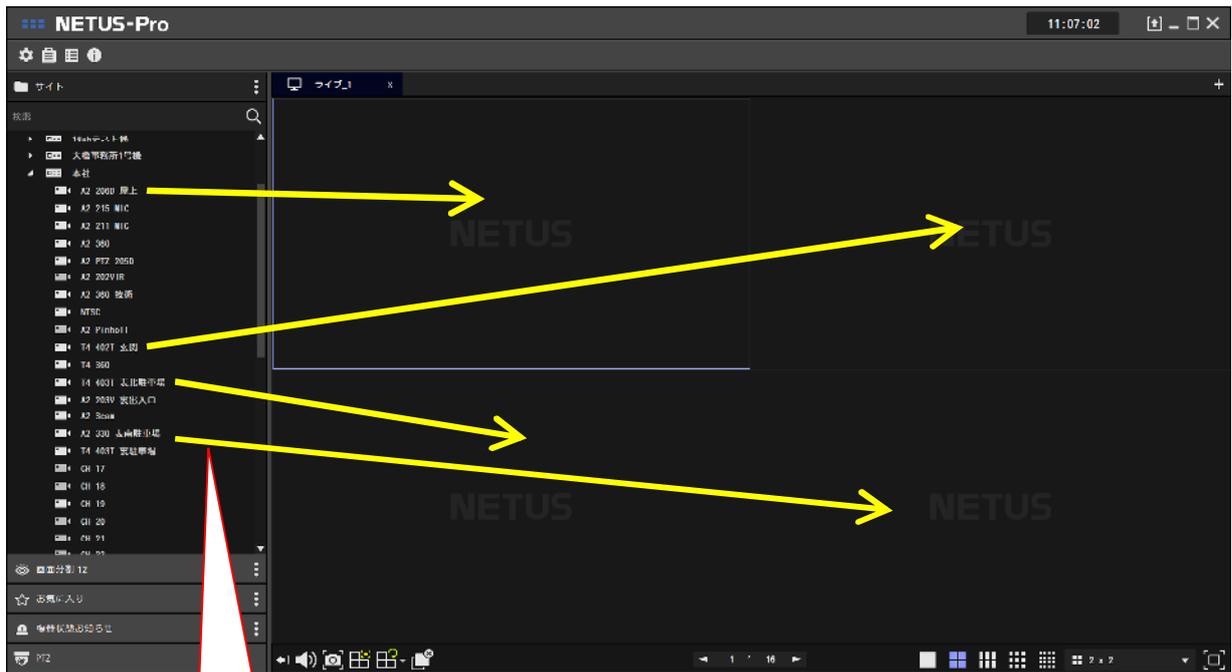
2.3.3.1. お気に入りの追加

お気に入り登録をするには、まず表示したい画面分割方法等を選択してからパネルに必要なカメラを割り当てておき、全てのパネルの表示方法が決まった段階でその状態を「お気に入り」に登録します。
今回の例では、ライブパネルで「2×2」の4分割を選んで、そこに4台のカメラを割り当てる例で説明します。

(1) 分割方法を選択する



(2) パネルにカメラを割り当てる

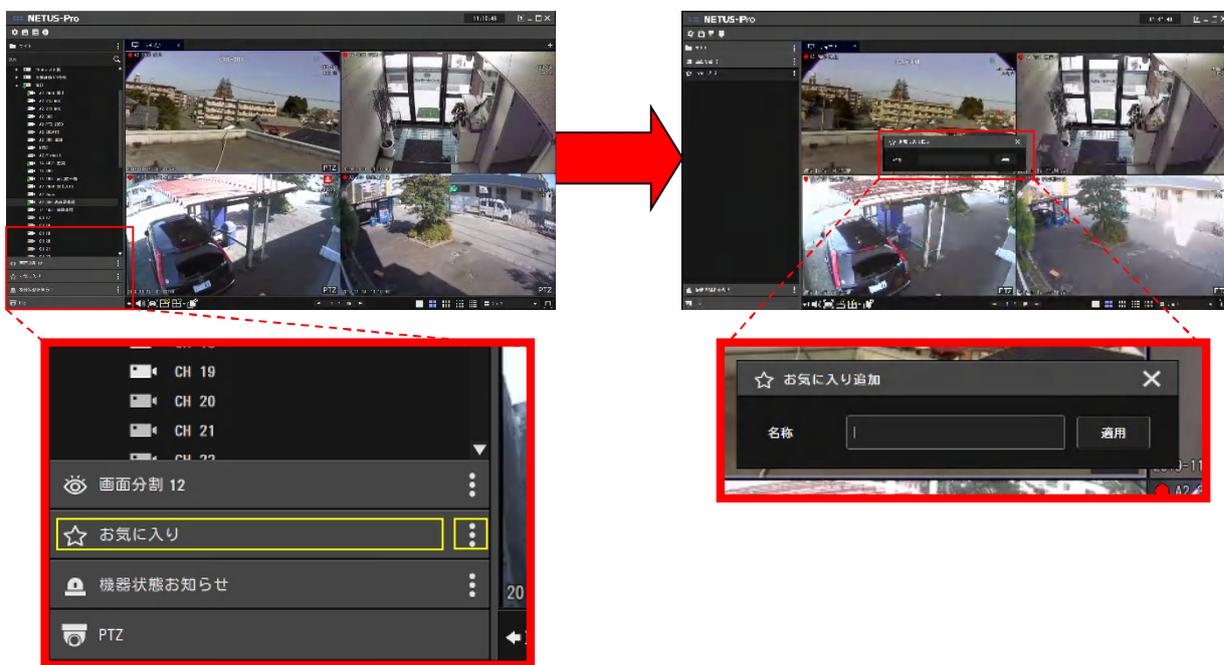


マウスでドラッグアンドドロップ



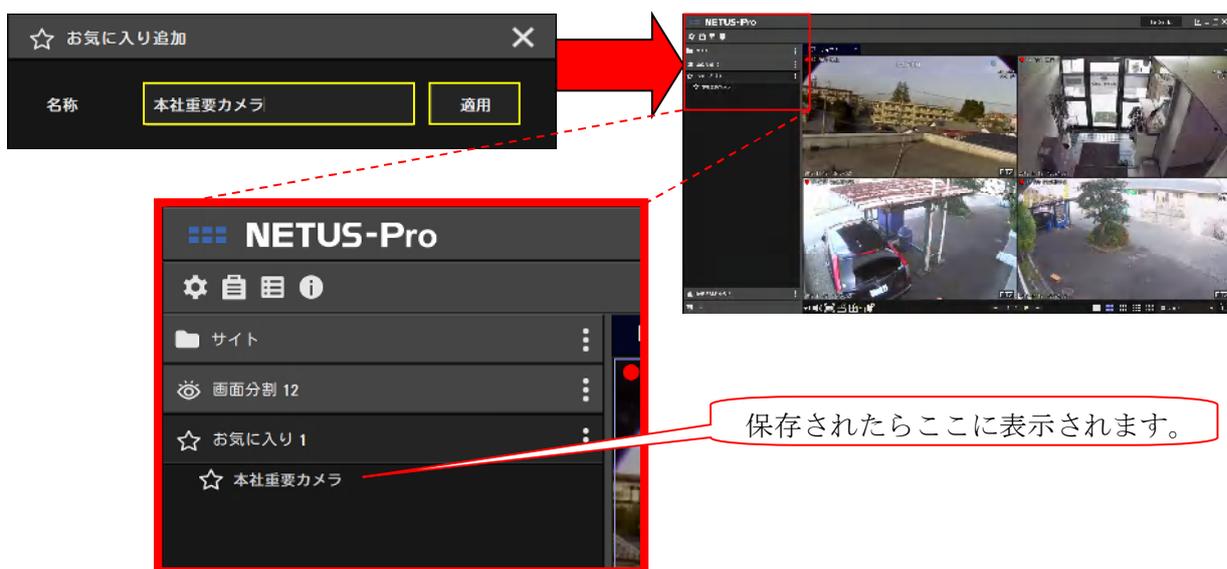
(3) 表示の状態を「お気に入り」に登録する

表示の状態が決まったら「お気に入り」サイドメニューの  ボタンをクリックして「お気に入り追加」ダイアログを開きます。また、この時に「お気に入り」サイドメニューが折り畳まれている状態の場合は  お気に入りタイトルバーをクリックして展開しておくこと、後でお気に入りの保存されたことを確認するのに便利です。



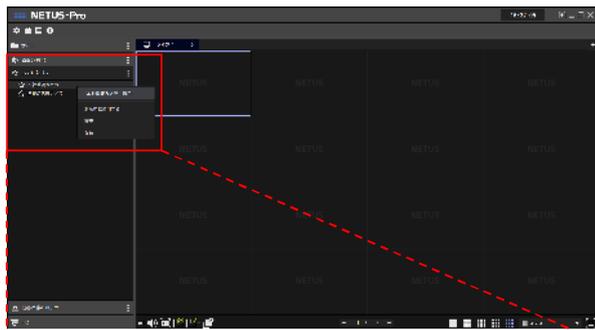
(4) 「お気に入り追加」ダイアログに名称を入力してから  をクリックする

「名称」の欄にはわかりやすい名前を入力し  ボタンをクリックすると、現在の表示設定が保存されます。



2.3.3.2. お気に入りの適用

保存した「お気に入り」を呼び出して適用するには「お気に入り」サイドメニューを開いてから適用したいお気に入りをダブルクリックするか右クリックメニューから「適用」を選択します。

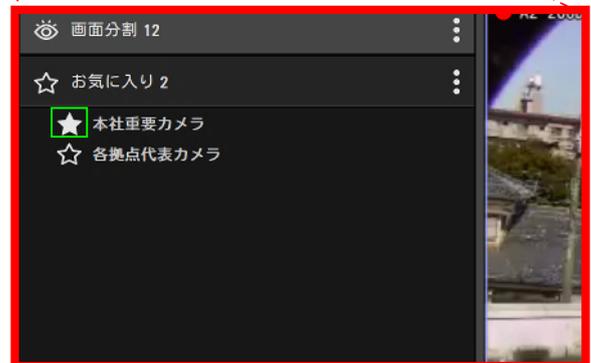
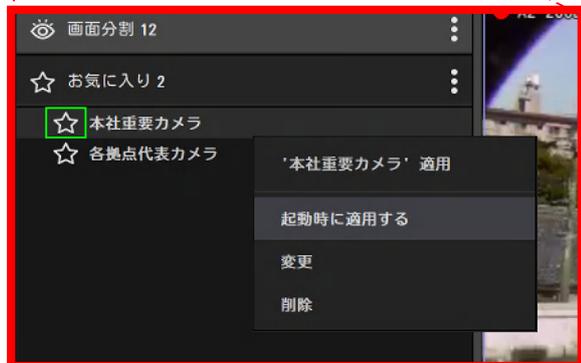


方法1
ここをダブルクリック

方法2
右クリックメニューからここを選択

2.3.3.3. 特定のお気に入りを NETUS-Pro 起動時に適用する

選択した一つの「お気に入り」を NETUS-Pro を起動したときに自動的に適用することが出来ます。お気に入りを NETUS-Pro 起動時に適用するには、適用したいお気に入り項目の右クリックメニューから「起動時に適用する」を選択します。



起動時に適用される「お気に入り」は、名称の前の「☆」が「★」に変わります。

< 注意 >

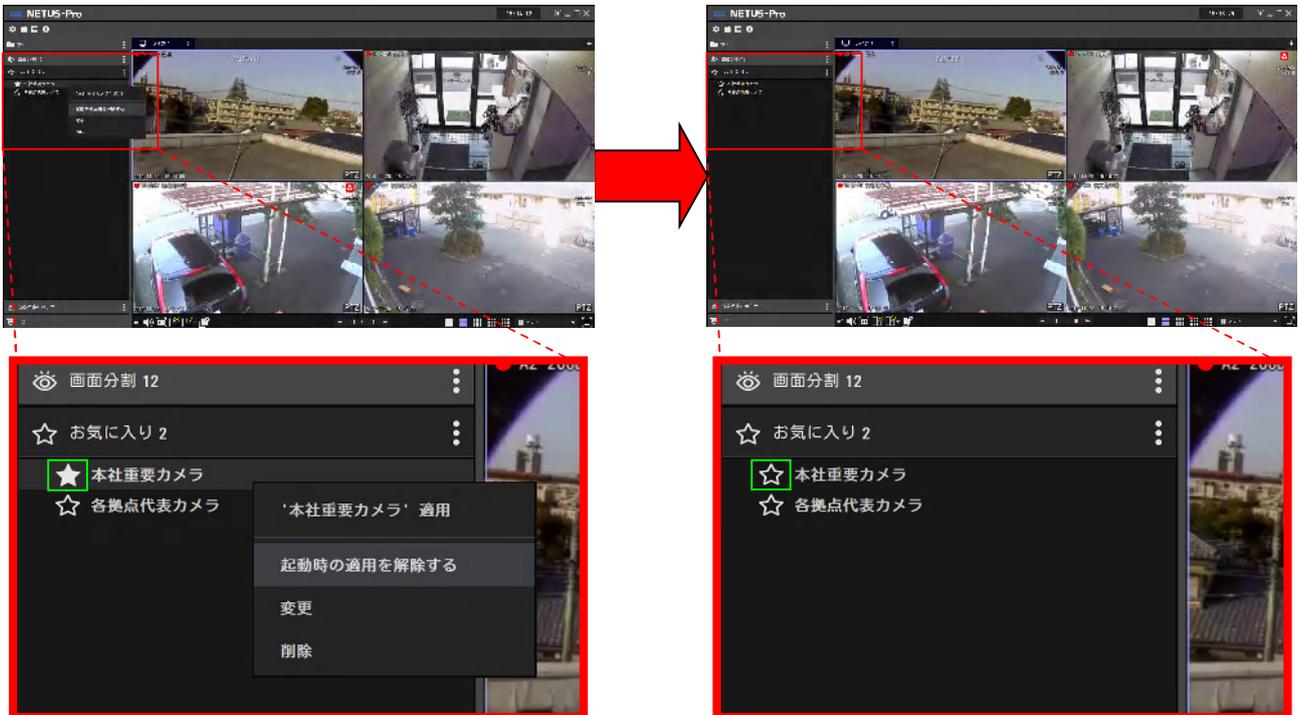
- 環境設定のその他タブでセッションを復元する設定になっている場合、セッション復元が優先されるため起動時に適用するよう設定されたお気に入りには適用されません。
参照→239 ページ
- 接続先に P2P 接続の端末が含まれている場合、お気に入りを起動時に適用してしまうと、P2P 接続に失敗しますので P2P 接続との併用は避けてください。

2.3.3.4. お気に入りの起動時適用を解除する

現在、NETUS-Pro を起動したときに自動的に適用するように設定されている「お気に入り」の起動時適用設定を解除するには、適用を解除したいお気に入り項目の右クリックメニューから「起動時の適用を解除する」を選択します。

NETUS-Pro を起動したときに「お気に入り」は適用されなくなります。

また起動時に適用することを示す「★」も「☆」に戻ります。



2.3.3.5. お気に入りの変更

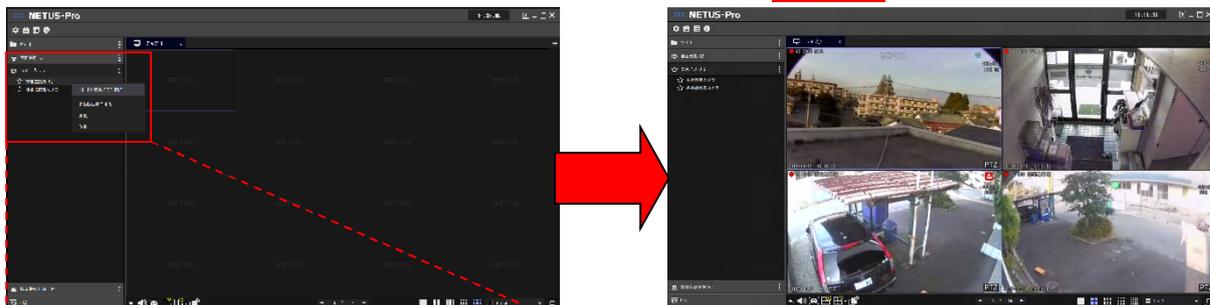
「お気に入り」の右クリックメニューの「変更」では、その名称及び画面の状態を変更することが出来ます。

2.3.3.5.1. 名称の変更

ここでは、名称の変更手順を「本社重要カメラ」から「大塚主要カメラ」に変更する例で説明します。

(1) 名称を変更したいお気に入りを適用する

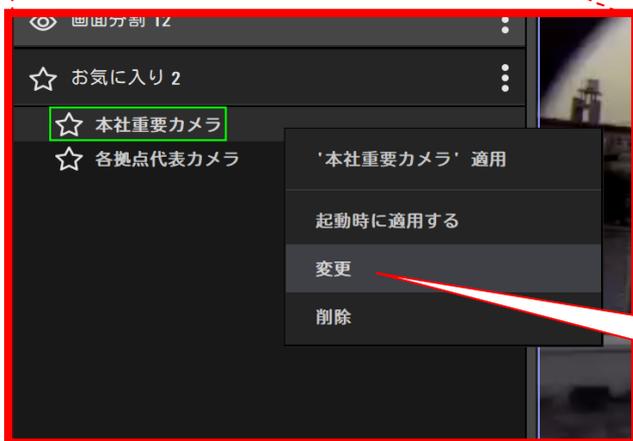
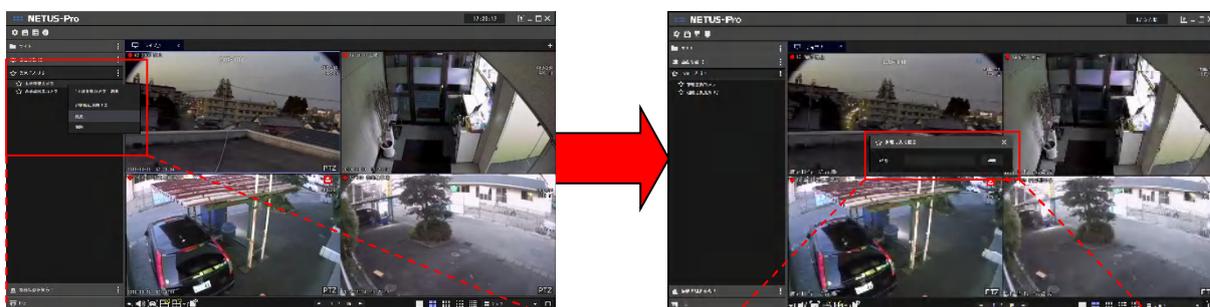
名称を変更したい「お気に入り」を必ずパネルに適用します。**(重要)**



方法1
ここをダブルクリック

方法2
右クリックメニューからここを選択

(2) 右クリックメニューから「変更」を選択する



右クリックメニューからここを選択

(3) 「お気に入り編集」ダイアログに新しい名称を入力して **適用** をクリックする



< 注意 >

手順 (1) の「名称を変更したいお気に入りを適用する」は忘れないように必ず実行してください。
この手順を怠ると、編集中の「お気に入り」の画面レイアウトが失われます。

2.3.3.5.2. 画面レイアウトの変更

ここでは「お気に入り」の画面レイアウトを変更する方法を、分割方法を変更する例で説明します。なお、今回は「2.3.2.2 分割方法の変更」(77 ページ) で作成した「8 分割」を利用します。想定は「屋上カメラを大きく映したくなった」という事情で、分割方法を「2×2」から「8 分割」に変更します。

(1) 画面レイアウトを変更したいお気に入りを適用する

必要に応じて画面レイアウトを変更したい「お気に入り」をパネルに適用します。



(2) 画面レイアウトの変更したい箇所を変更する
今回の例では、分割方法を 4 分割から 8 分割に変更します。



(3) 右クリックメニューから「変更」を選択する



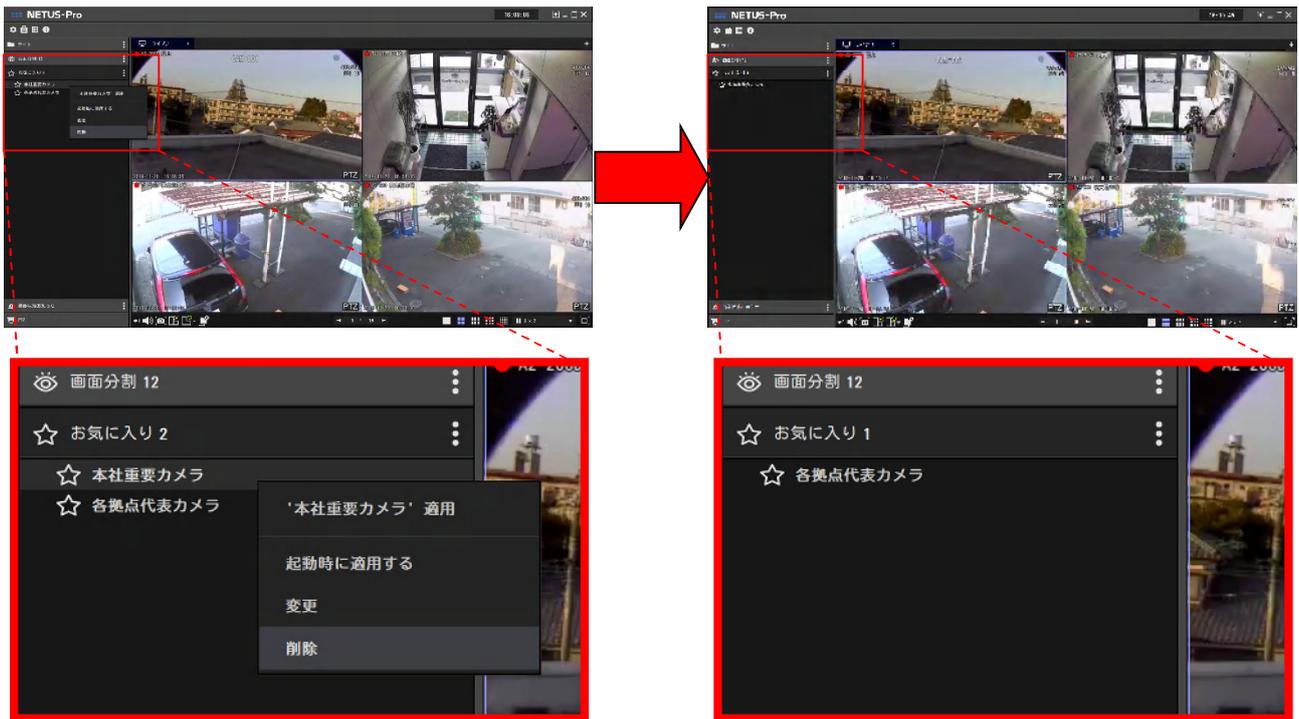
(4) 名称を入力して **適用** をクリックする

「お気に入り編集」ダイアログを開いた時に元の名称は入力されていない状態で開きます。名称を変更しない場合でも変更前の名称を入力してください。名称も変更したい場合はそのまま新しい名称を入力することも出来ます。名称を入力したら **適用** ボタンをクリックすると新しい表示レイアウトが保存されます。



2.3.3.6. お気に入りの削除

「お気に入り」の右クリックメニューの「削除」では、不要になった「お気に入り」を削除することが出来ます。

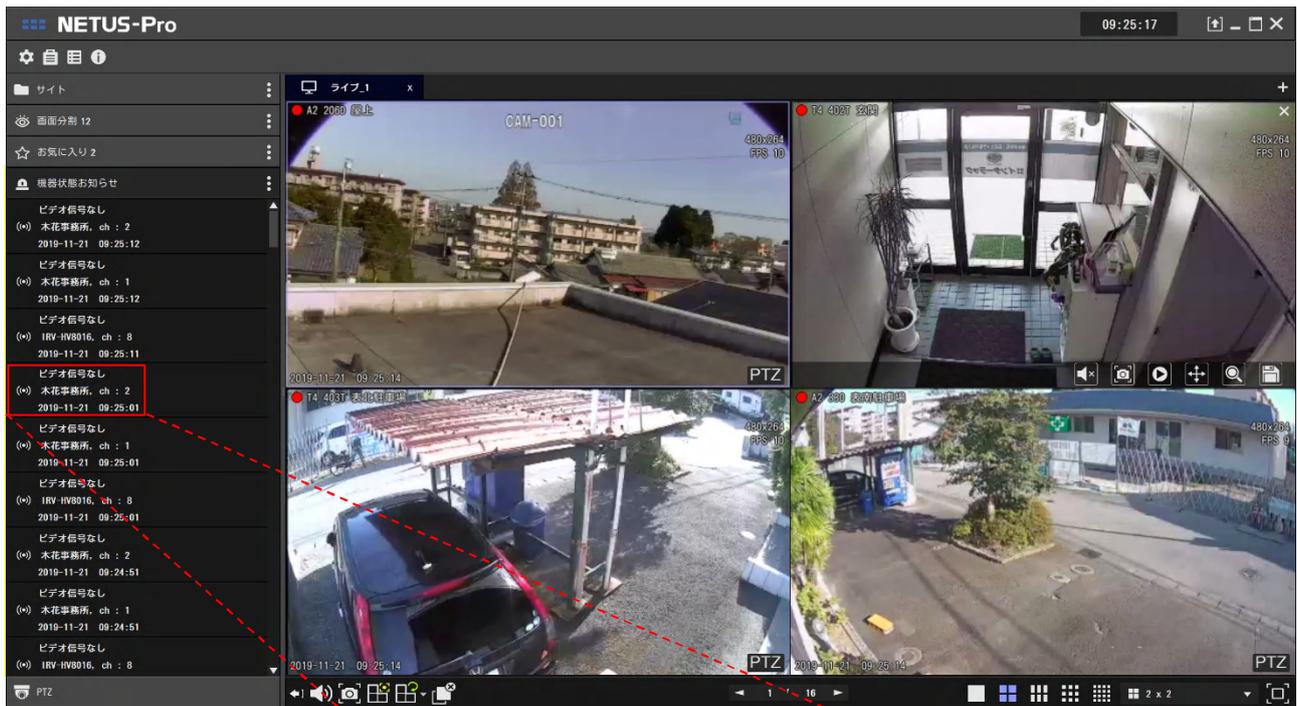


＜ 注 意 ＞

- 起動時に適用するお気に入りは全てのユーザー共通です。
- お気に入りに登録された機器がユーザーに許可されていない場合はアクセス出来ません。

2.3.4. 機器状態お知らせ

「機器状態お知らせ」メニューはライブパネルの左側に表示されるメニューです。
 NETUS-Pro に接続されている機器から送られてくるその機器の異常などを知らせる情報をリアルタイムで表示します。ここに表示される情報は特に整理などはされずに送られて来た順に上に新しい情報が追加され、古い情報は下に流れて行きます。
 例えば、次の例のように「ビデオ信号なし」の異常を示す信号が送られてくる場合は、その機器の異常が発生しているチャンネルに接続されているカメラやケーブルに異常がないか点検してください。もともとカメラを接続しない場合は機器のカメラ設定で「使用」の設定を「オフ」にすることで対処します。



① ビデオ信号なし

② 木花事務所, ch : 2

③ 2019-11-21 09:25:01

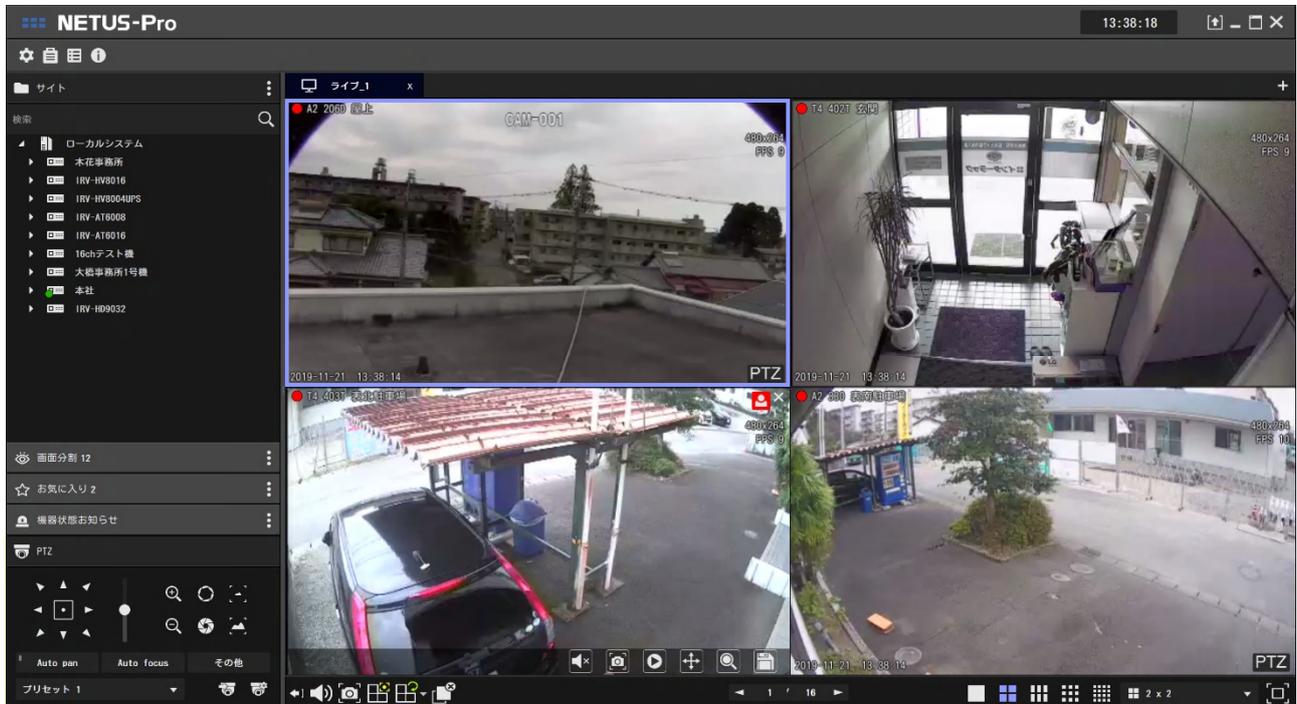
表示の意味は次の表に示します。

番号	説明
①	機器で発生した異常の内容を表示します。
②	発生した機器の機器名と発生したチャンネルを表示します。
③	機器からの信号を受信した日時を表示します。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>< 注 意 ></p> <p>ここに表示される日時は NETUS-Pro を実行している PC の時計で記録した日時です。機器の内臓時計の日時ではありません。</p> </div>

2.3.5. PTZ

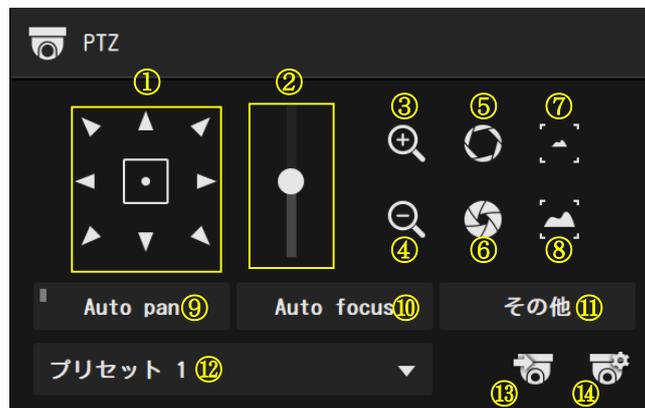
「PTZ」メニューはライブパネルの左側に表示されるメニューです。

「PTZ」メニュー内のボタンでは、ライブパネル内で選択されている（青い枠線が表示されている）チャンネルのPTZ操作を実行出来ます。

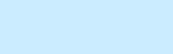
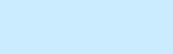


※ 図を見やすくするため、青枠は実際より太く描いています。

各ボタンの役割は次の図と表のようになります。



番号	ボタン	名称	説明
①		方向ボタン	PTZ カメラの方向を上下左右及び斜め方向に移動します。UTC 制御カメラのメニュー内ではカーソル移動に使用しません。

番号	ボタン	名称	説明
②		スピード調整 スライダ	PTZ カメラの方向を移動する速さを調整するスライダです。上にスライドすると速くなり、下にスライドすると遅くなります。 マウスポインタをスライダに重ねたときに表示される「0」～「100」の数値は現在の設定値を示します。
③		ズームアップ ボタン	PTZ カメラ及び 2 モータタイプのカメラでズームレンズを、画像を拡大する方向に動かします。
④		ズームダウン ボタン	PTZ カメラ及び 2 モータタイプのカメラでズームレンズを、画像を縮小する方向に動かします。
⑤		アイリス 開ボタン	PTZ カメラでアイリス（絞り）を開く方向に動かします。 2 モータタイプのカメラではメニューに入ることが出来る場合があります。（機種により異なる）
⑥		アイリス 閉ボタン	PTZ カメラでアイリス（絞り）を閉じる方向に動かします。 2 モータタイプのカメラではメニューに入ることが出来る場合があります。（機種により異なる）
⑦		フォーカス 遠ボタン	PTZ カメラ及び 2 モータタイプのカメラでレンズのフォーカス（焦点）調整を遠距離方向に動かします。 このボタンはカメラのフォーカスモード設定によって利かない場合があります。また、カメラの機種によっては遠近が逆になる場合もあります。
⑧		フォーカス 近ボタン	PTZ カメラ及び 2 モータタイプのカメラでレンズのフォーカス（焦点）調整を近距離方向に動かします。 このボタンはカメラのフォーカスモード設定によって利かない場合があります。また、カメラの機種によっては遠近が逆になる場合もあります。
⑨		オートパン ボタン	PTZ カメラのオートパン機能やスイング機能の実行と停止をします。
⑩		オートフォーカス ボタン <未検証>	PTZ カメラのオートフォーカス（自動焦点）機能を実行します。（対応するカメラのみで動作する機能ですが、弊社では動作について未検証です。）
⑪		その他ボタン <未検証>	このボタンには選択メニューがあり「ツアー」「ライト」「ワイパー」「ウォッシャー」機能のオン／オフを実行することが出来ます。（対応するカメラのみで動作する機能ですが、弊社では動作について未検証です。）
⑫		プリセット番号 選択リスト	⑬と⑭の機能を実行するためのプリセット番号を「1」～「256」から選択します。 ⑬と⑭のボタンをクリックする前に、この番号を選択しておきます。
⑬		プリセット移動 ボタン	PTZ カメラに対して⑫で選択したプリセット番号の位置にカメラのパン・チルト・ズームの位置を合わせます。
⑭		プリセット設定 ボタン	PTZ カメラに対して⑫で選択したプリセット番号に現在のパン・チルト・ズームの位置を登録します。

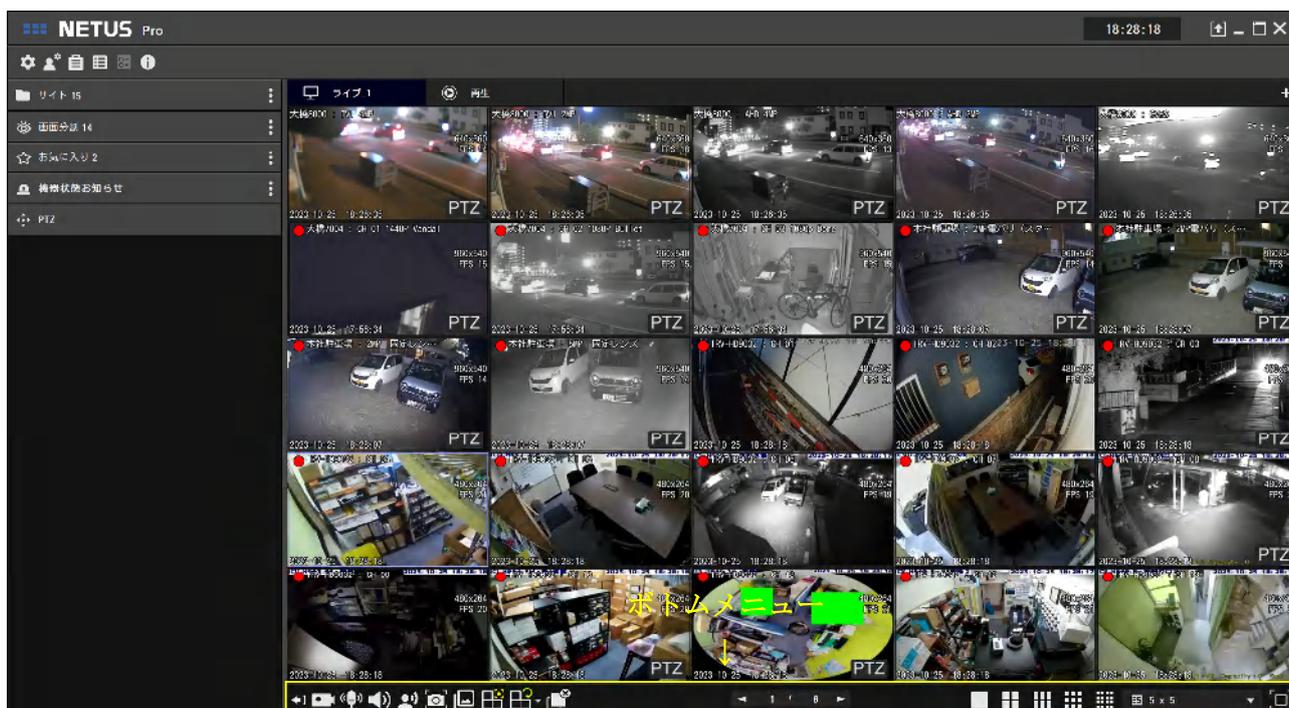


＜ 注 意 ＞

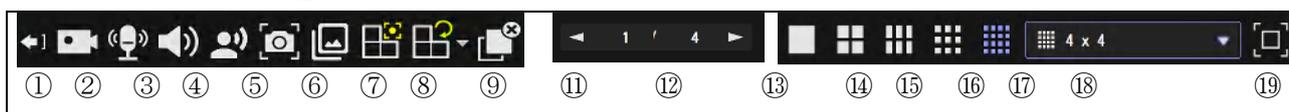
- この機能は、正しく設定しても一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、機器（NVR や DVR）の製造元と、PTZ 及び UTC カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 及び UTC 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。
- ここで説明する UTC（Up The Coax）機能とは、カメラの設定メニューの操作や PTZ 操作をカメラの映像伝送用同軸ケーブルを利用して実行する機能の事です。協定世界時の UTC（Coordinated Universal Time）の事ではありませんのでご注意ください。

2.4. ボトムメニューの操作

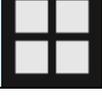
ボトムメニューはウィンドウ下側に表示されるメニューです。ボトムメニューは常に表示されており、表示と非表示を切り替えることは出来ません。なお、ボトムメニューはアイコンと選択リストによって構成されており、サイドメニューのような複雑な操作はありません。

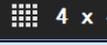


各パネルでのボタンと選択リストの構成は次の表のようになります。



各アイコンと選択リストの機能は次の表のようになります。

番号	アイコン	名称	説明
①		サイドメニュー表示／非表示	サイドメニューの表示と非表示を切り替えます。 左の画像はサイドメニューが表示されているときのアイコンです。サイドメニューが表示されていない時には、矢印の向きが逆になります。 参照 →61 ページ
②		緊急録画	表示されている全てのチャンネルの映像を動画でファイルに保存します。 この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1 画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。緊急録画について詳細は「2.7 緊急録画」のページをご覧ください。 参照 →108 ページ
③		マイク音量	マウスでクリックすると、音量調整スライダを表示し、マイクの音量が調整出来るようになります。
④		音量	マウスでクリックすると、音量調整スライダを表示し、ライブ音声の音量が調整出来るようになります。
⑤		ツーウェイオーディオ	マウスでクリックすると PC に接続したマイクの音声を機器に送って機器の AUDIO OUT に接続したスピーカーから出力する事が出来ます。
⑥		スナップショット	スナップショットを保存します。 参照 →102 ページ
⑦		イメージフィルター	撮影されたライブ映像の映像の明るさ等を補正して表示する事が出来ます。
⑧		イベントスポット	イベントスポット機能で映像を表示するライブパネル上の範囲を指定又は解除するモードに入ります。
⑨		シーケンス実行	シーケンス（画面自動切換え）表示の実行と停止を切り替えます。 実行中は線の色が青色に変化します。 参照 →111 ページ
⑩		表示オフ（パネルの割り当てを解除）	現在のパネルに割り当てている全てのチャンネルを解除して画面を消去します。
⑪		前のページ	画面の分割数に表示チャンネル数が納まらない場合に前のページに移動するために使います。
⑫		ページ	スラッシュ “/” の左側に現在表示しているページのページ数を表示し、右側に全ページ数を表示します。
⑬		次のページ	画面の分割数に表示チャンネル数が納まらない場合に次のページに移動するために使います。
⑭		1×1 (1 画面表示)	パネルの分割方法を 1×1 (1 画面) に切り替えます。 現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑮		2×2	パネルの分割方法を 2×2 (4 画面) に切り替えます。 現在選択されている分割方法が青色に変化します。

番号	アイコン	名称	説明
⑯		3×2	パネルの分割方法を3×2（6画面）に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑰		3×3	パネルの分割方法を3×3（9画面）に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑱		4×4	パネルの分割方法を4×4（16画面）に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑲	 4 x 4 分割方法選択メニュー		パネルの分割方法をドロップダウンリストで選択できます。この方法では左側の5種類の選択肢に無い分割方法も選択可能です。
⑳		全体画面 （全画面表示）	パネルの映像を全画面で表示します。全画面表示の場合、操作のためのバーやボタンはほとんど表示されなくなるため、多くの操作に制限が発生します。元の画面に戻すにはキーボードの ESC キーを押します。

2.5. スナップショット

スナップショットは、現在表示されているカメラの映像を静止画で保存します。

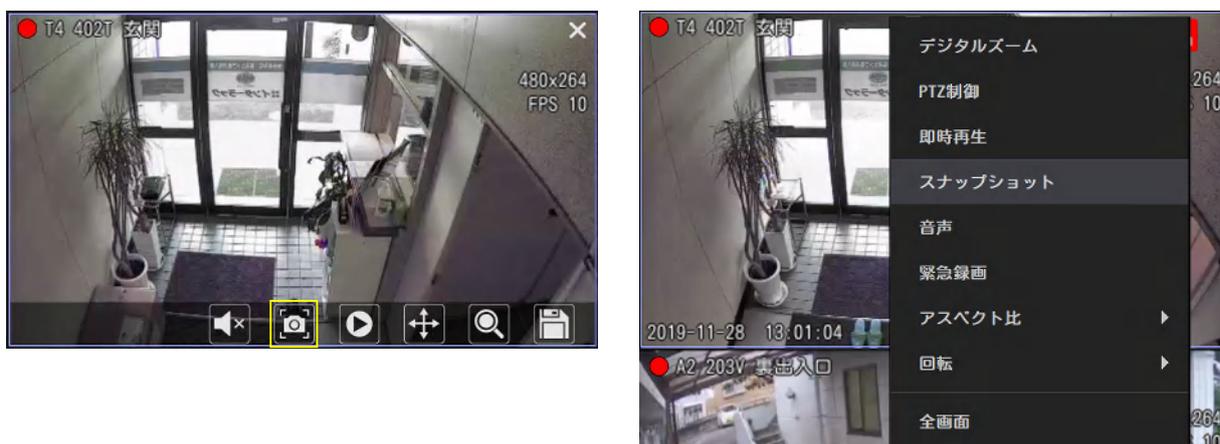
画像を保存するには、2通りの方法があり、それぞれ保存される映像が異なります。

2.5.1. 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法

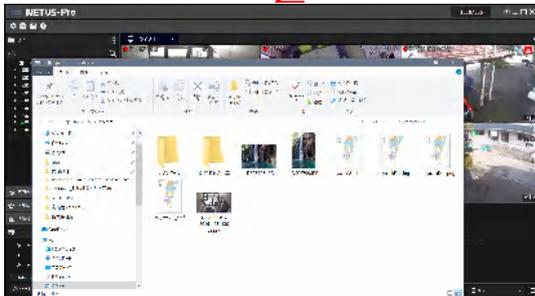
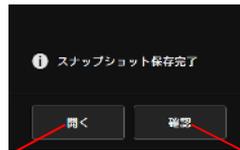
このチャンネルの映像を静止画でファイルに保存します。

この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。

(1) 画面内の （スナップショット）ボタンをクリックする。



(2) 「スナップショット保存完了」ダイアログが表示されたら次の処理を選択



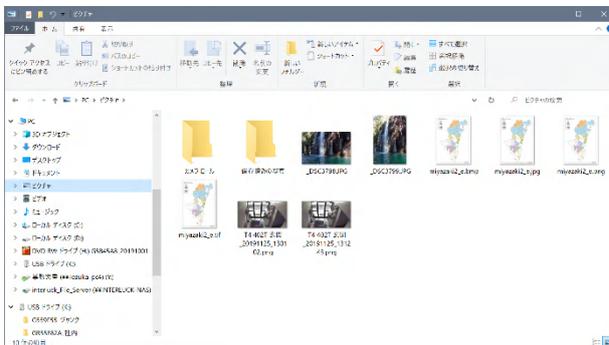
「開く」を選択するとダイアログを閉じると同時に画像を保存したフォルダを開きます。



「確認」を選択するとダイアログを閉じます。

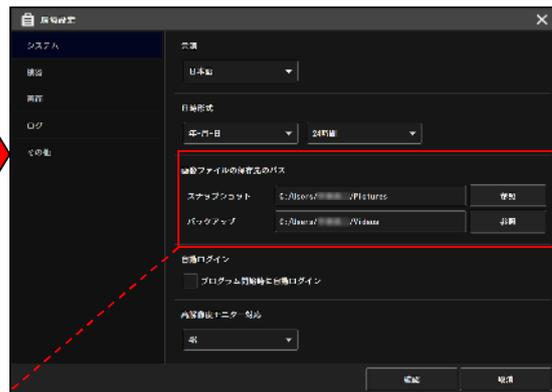
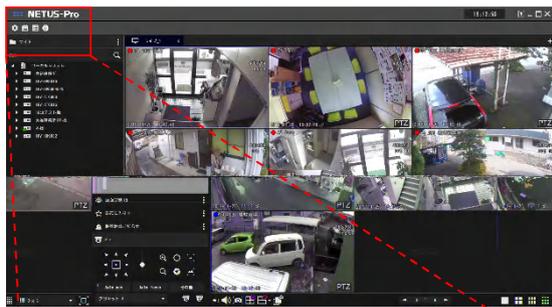
(3) 画像が保存されたフォルダを開く

後から保存されたフォルダを開く場合は、エクスプローラから「ピクチャ」を開きます。(初期設定の場合)



初期設定からフォルダを変更していて保存されたフォルダがわからない場合は環境設定から確認してください。

参照 → 231 ページ



保存された画像は次のような画像になります。(カメラの解像度は 1920×1080 の場合)



例 1

1 画面表示の場合のスナップショット



例 2

3×3 画面表示の場合のスナップショット

< 注意 >

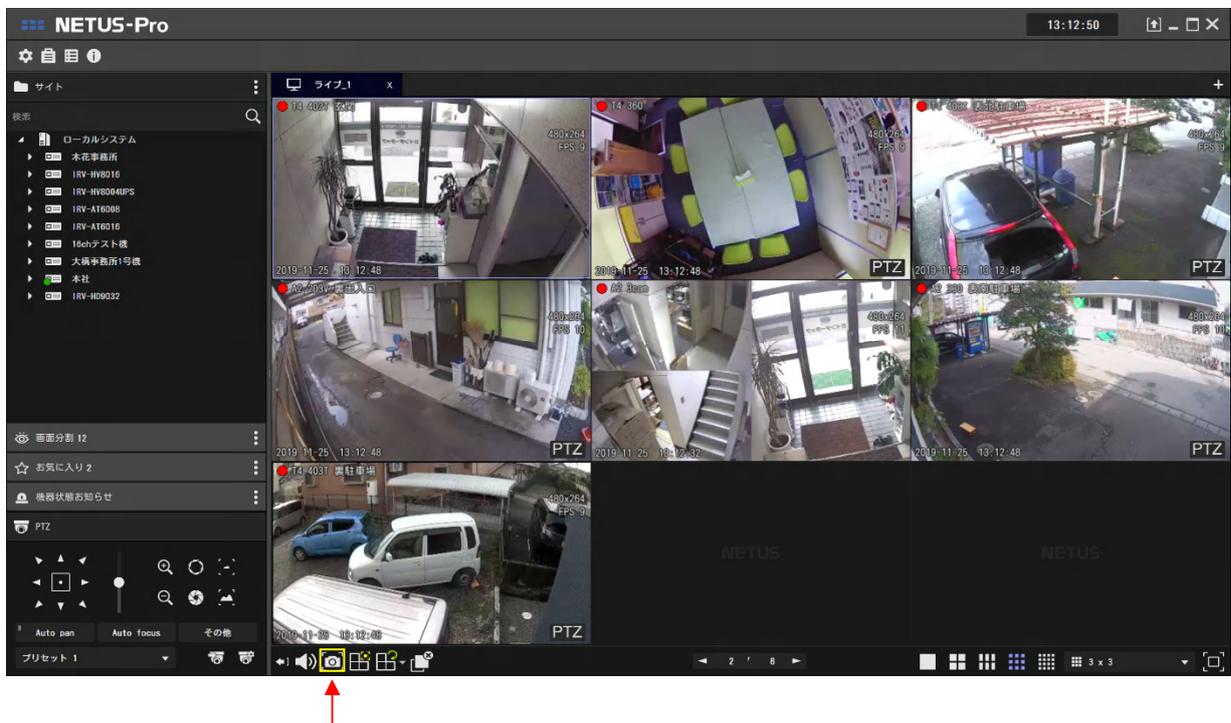
- NETUS-Pro が初期設定の状態での分割画面表示の場合、機器から NETUS-Pro を実行している PC に伝送される映像の解像度は、ネットワークの帯域を節約するために縮小されています。従って分割画面のスナップショットは、前の「図2」のように小さな画像になります。（縮小する比率は画面分割の比率とは異なります）
- IRV-HV8032 に接続された 4Mpixel のカメラの場合、1 画面表示によるスナップショットは、縦長の映像となり正しいアスペクト（横縦）比を維持できません。



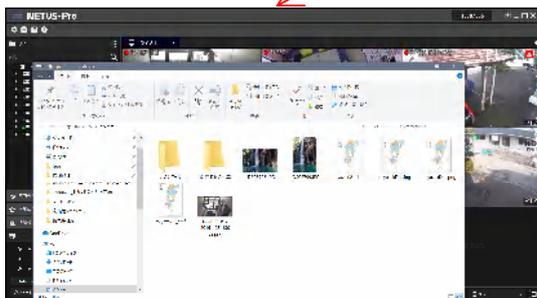
2.5.2. ボトムメニューのアイコンをクリックする方法

ボトムメニューのアイコンをクリックする方法の場合、次の操作を実行することで現在画面に表示されている映像を保存します。

- (1) ボトムメニューの  (スナップショット) ボタンをクリックする



(2) 「スナップショット保存完了」ダイアログが表示されたら次の処理を選択



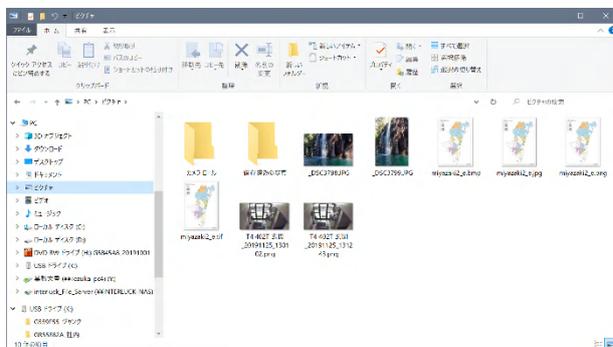
「開く」を選択するとダイアログを閉じると同時に画像を保存したフォルダを開きます。



「確認」を選択するとダイアログを閉じます。

(3) 画像が保存されたフォルダが開く

後から保存されたフォルダを開く場合は、エクスプローラから「ピクチャ」を開きます。(初期設定の場合)

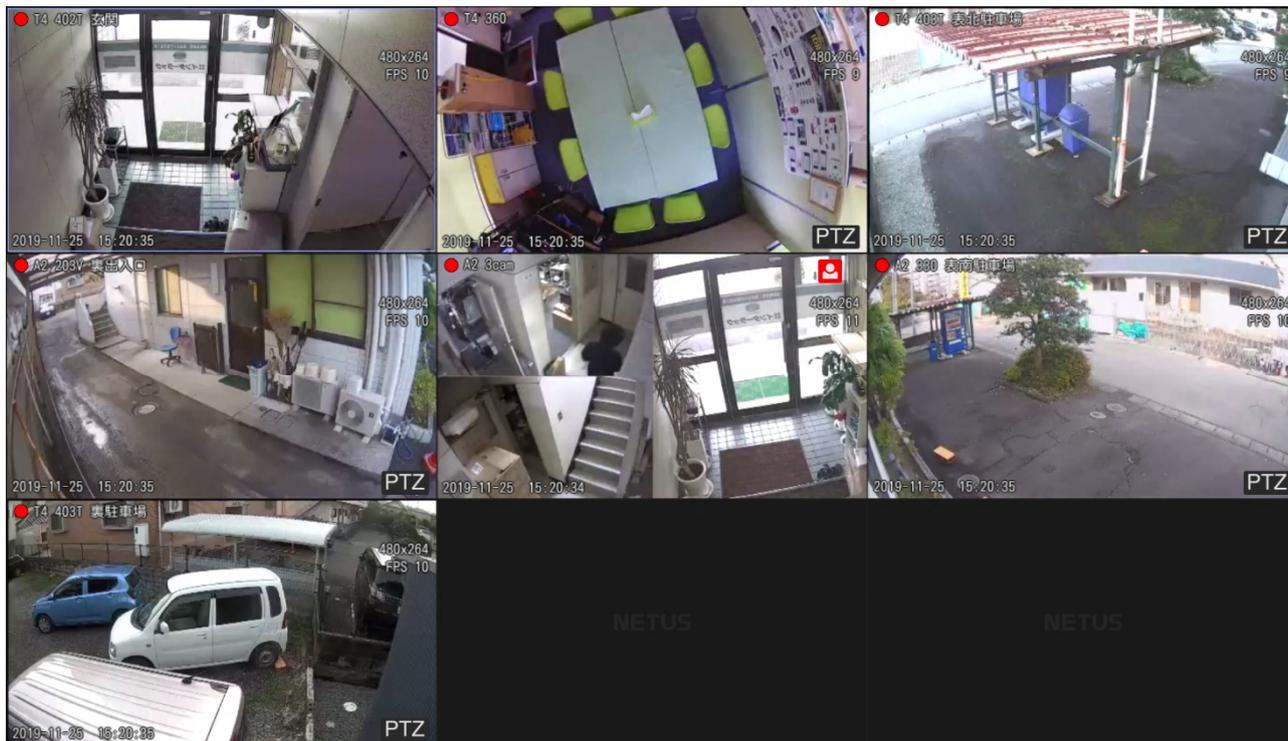


初期設定からフォルダを変更して保存されたフォルダがわからない場合は環境設定から確認してください。

参照→231 ページ



保存された画像は次のような画像になります。(画像サイズはPCの表示サイズに依存します)



< 注 意 >

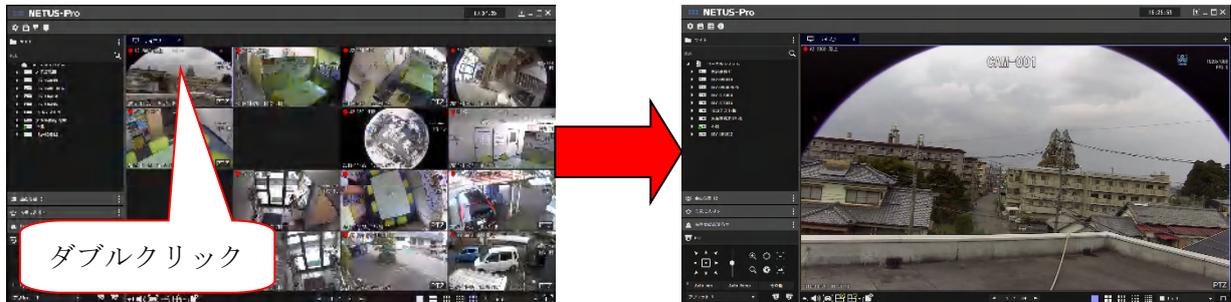
PC のモニター画面に表示されている映像からライブパネル内だけを切り取った映像が保存されます。従って次のような点にご注意ください。

- 画面内の OSD 表示の文字やアイコンも一緒に保存されます。
- 複数回の解像度変換が行われるため、荒い映像になる場合があります。
- アスペクト（横縦）比は画面表示の状態に従います。

2.6. デジタルズーム

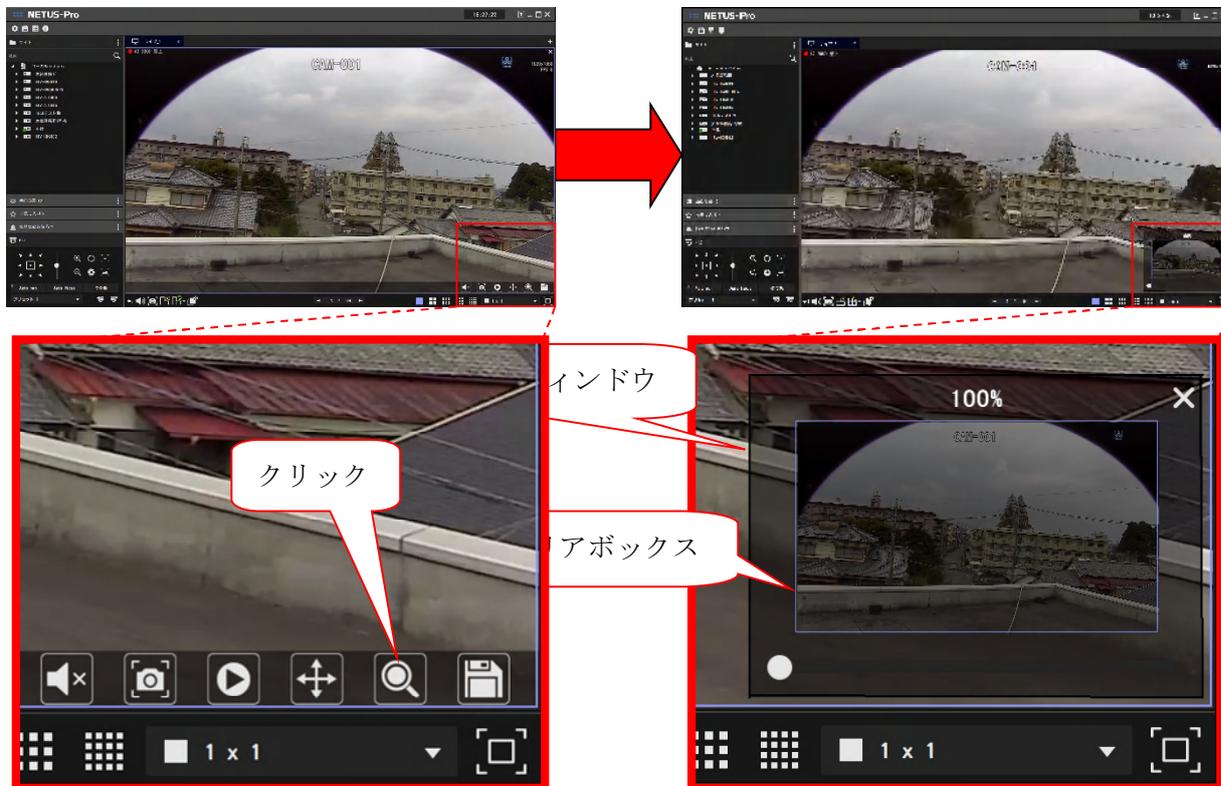
デジタルズーム機能は、特定チャンネルのカメラ映像をモニター上で拡大表示する機能です。この機能は1画面表示の場合と一部の分割方法の場合に利用可能です。但し、分割画面表示の場合はネットワーク伝送時に解像度が自動的に下げられるため拡大表示に適しません。1画面表示での利用を強くお勧めします。デジタルズームは次の手順で操作します。

(1) 見たいチャンネルを1画面表示にする



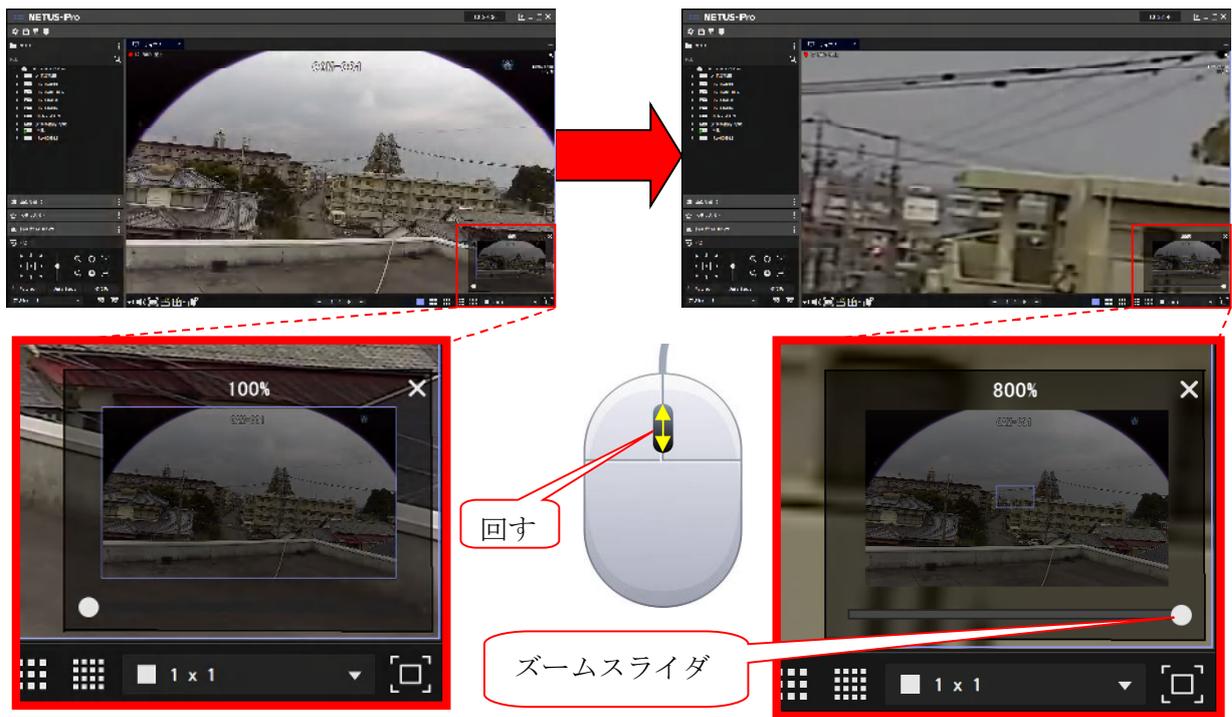
(2) デジタルズームを開始する

画面内にマウスポインタを合わせて🔍 (デジタルズーム) ボタンをクリックすると、画面右下にプレビューウィンドウが表示され、さらにその中にズームエリアボックスが表示されます。



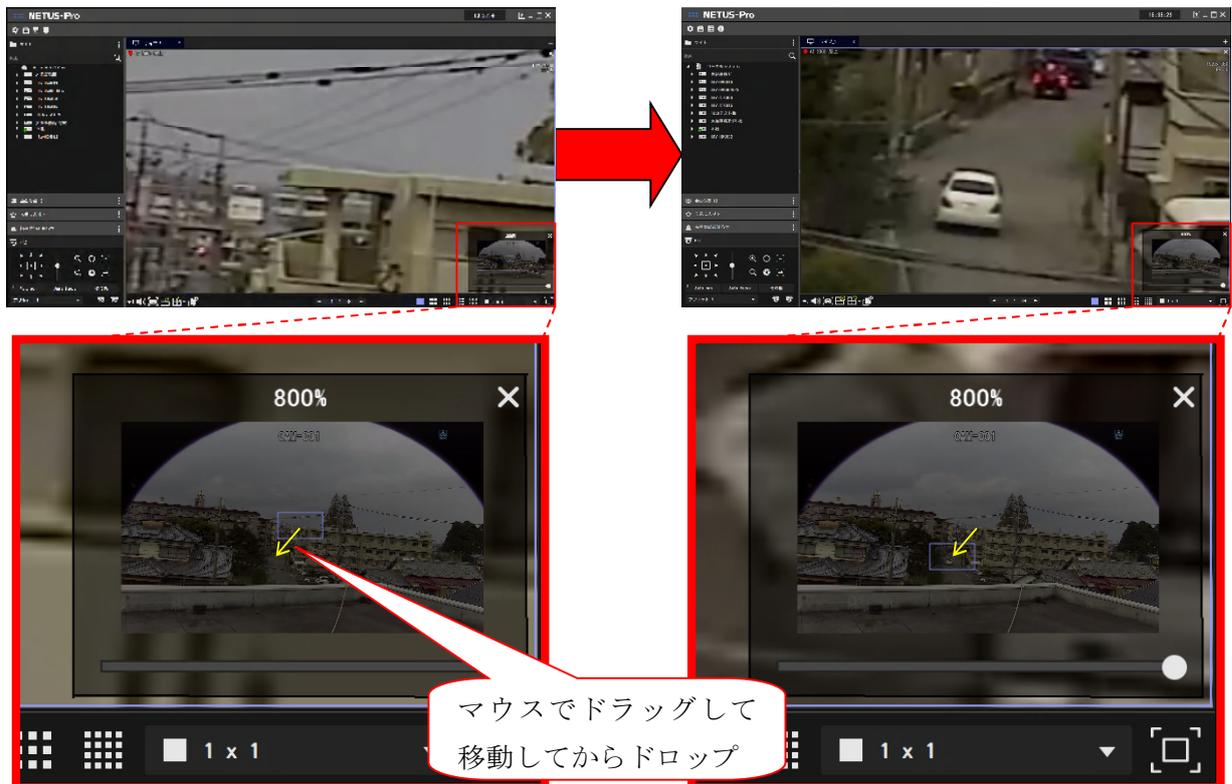
(3) 倍率を決める

倍率はズームスライダを左右に動かすかマウスのスクロールホイールを回して決めます。倍率は 100~800%の間で調整出来、ズームスライダを使用した場合は 70%刻みで、マウスのスクロールホイールを使用した場合は 140%刻みで変化します。



(4) ズームエリアボックスを見たい位置に合わせる

ズームエリアボックスをマウスでドラッグして見たい位置でドロップすると、見たい位置を合わせる事が出来ます。



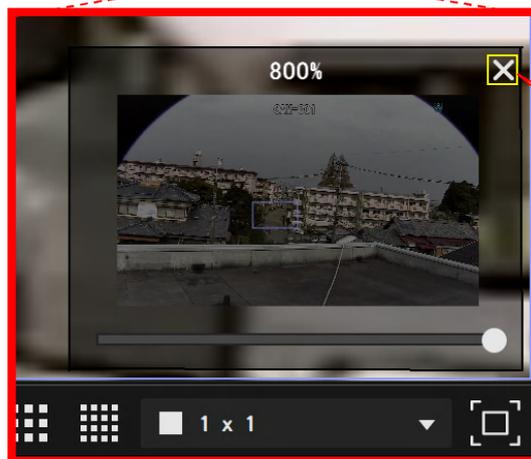
なお、プレビューウィンドウが邪魔になる場合は、マウスポインタを画面内から外側に移動することでプレビューウィンドウを消すことが出来ます。



※ 図を見やすくするためマウスポインタは実際より大きく描いています。

(5) デジタルズームを終了する

プレビューウィンドウの右上にある  (終了) ボタンをクリックするとデジタルズームを終了します。



ここをクリック

2.7. 緊急録画

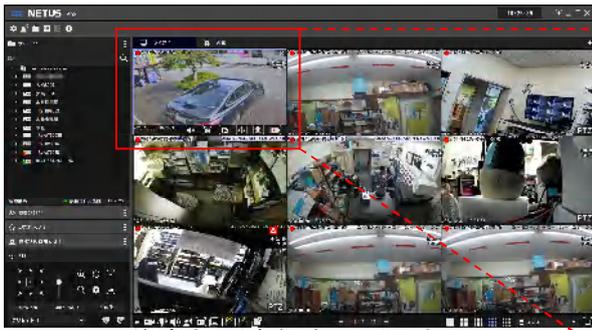
緊急録画機能は、選択したチャンネルのライブ映像を動画で PC に保存します。

画面内の  ボタンまたは右クリックメニューの「緊急録画」で開始と停止をします。

録画中はボタンの ● (黒丸) が ● (赤丸) に変化します。

	緊急録画が実行されていない状態を示します。
	緊急録画が実行されている状態を示します。

この際に保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1 画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。

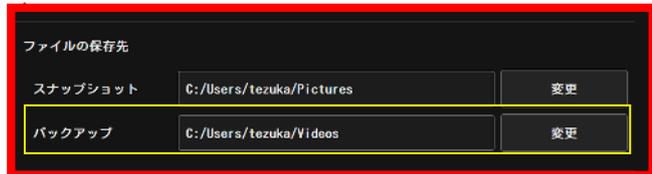
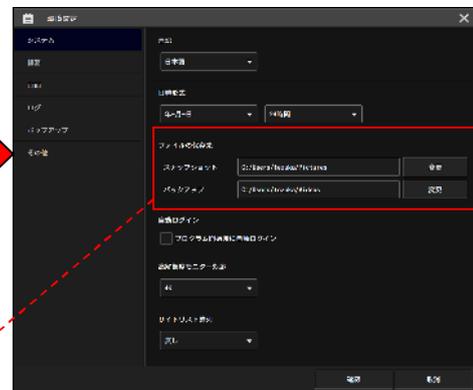


緊急録画実行中の画面表示



緊急録画された動画を再生するにはエクスプローラから「ビデオ」を開きます。
保存場所が分からない場合は「環境設定」→「システム」で確認と変更が出来ます。

参照→231 ページ



< 注意 >

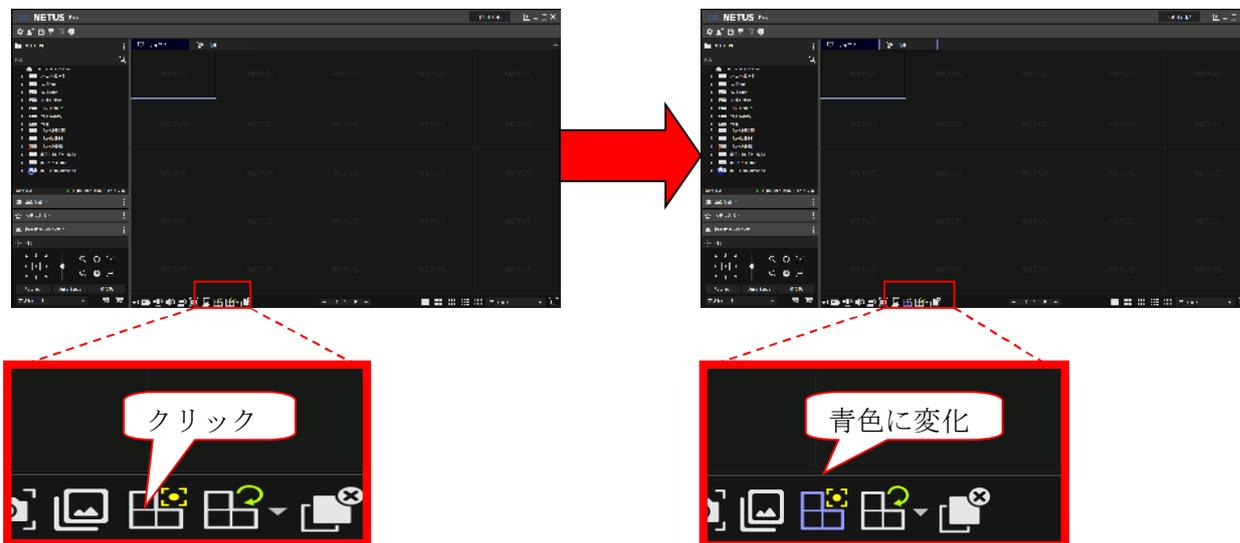
- 緊急録画は mp4 形式の動画ファイルで保存されます。
- 保存される画像の解像度は、機器から NETUS-Pro へリアルタイムに送られているビデオストリームの解像度に依存しますので、1 画面表示の場合と分割画面表示の場合では解像度が異なります。
- 緊急録画中に分割表示と 1 画面表示を切り替えると同じファイル内で解像度が切替わります。
- 緊急録画中を示す表示 (赤丸) はマウスポインタを画面の枠内から外に出すと表示されなくなります。緊急録画の止め忘れに注意してください。(PC の HDD の空き容量が足りなくなる原因になる場合があります。)

2.8. イベントスポット

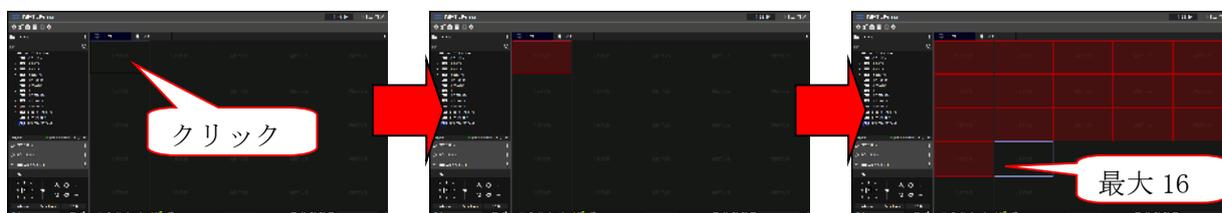
イベントスポット機能はイベント設定で予めイベントスポットが設定されているカメラの映像をイベント発生時にライブパネルのイベントスポットに割り当てられた範囲に表示する機能です。

ここでは、イベントスポット機能に割り当てるライブパネルの表示範囲を選択と解除をします。

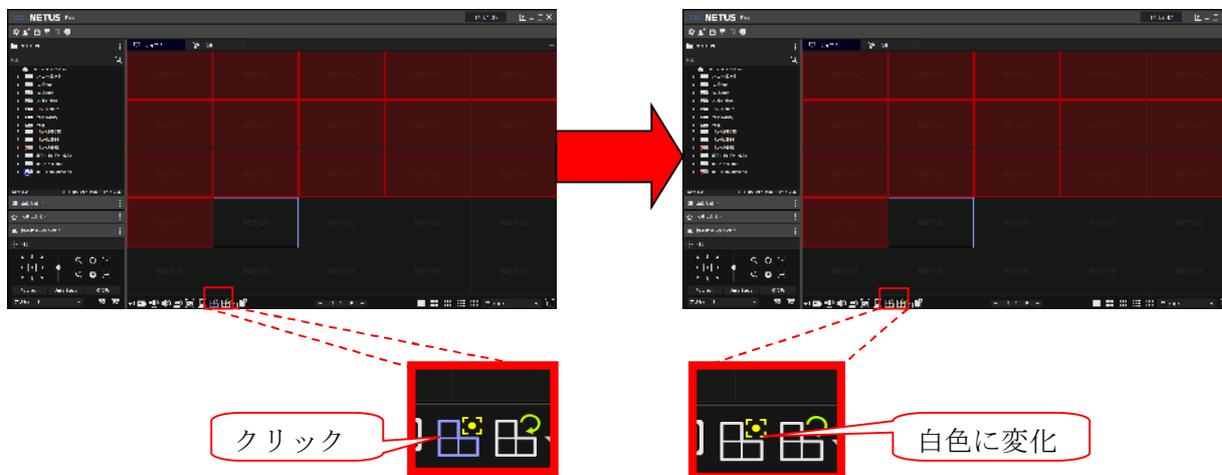
- (1) 希望する分割数のライブパネルを開いた状態でイベントスポットボタンをクリックするとボタンが白色から青色に変わります。



- (2) チャンネルに割り当てられていない範囲の中からイベントスポットに使用したい範囲を順番にクリックすると、クリックした部分が黒色から暗い赤色に変化します。もう一度クリックすると黒色に戻ります。(赤色=選択 黒色=非選択)



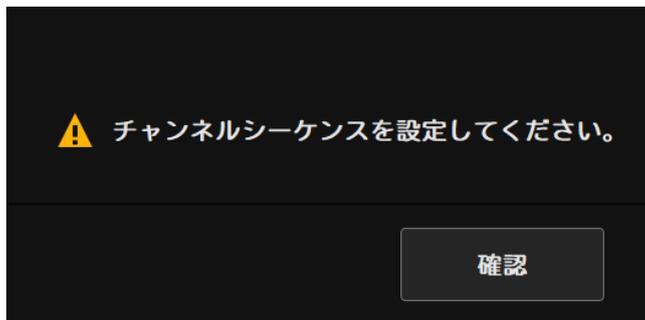
- (3) イベントスポットに割り当てる範囲が決まったら、もう一度イベントスポットボタンをクリックするとボタンの色が青色から白色に戻ります。



2.9. チャンネルシーケンス

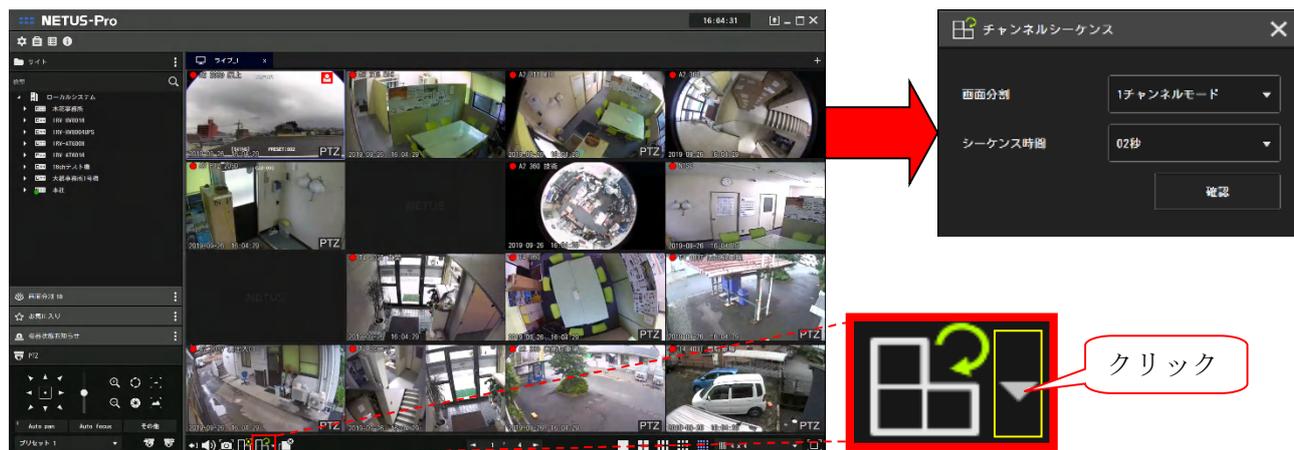
ライブパネルに割り当てたチャンネルを予め選択した分割方法と時間で自動的に切り替えて表示する表示方法をチャンネルシーケンスといいます。

チャンネルシーケンスを実行するには、まずその前にチャンネルシーケンスに使用する分割方法と画面の切り替え時間を設定しておく必要があります。チャンネルシーケンスの設定をせずにシーケンスを実行しようとするすると「チャンネルシーケンスを設定してください。」というエラーメッセージが表示され、チャンネルシーケンスを実行することは出来ません。



2.9.1. チャンネルシーケンスの設定

 (シーケンス実行) ボタンの右側にある  ボタンをクリックすると「チャンネルシーケンス」ウィンドウが開きます。



各設定項目を選択したら **確認** をクリックしてウィンドウを閉じます。各項目の説明は次表に示します。

項目	説明
画面分割	画面の分割方法を選択します。初期設定された分割方法の名称はそれぞれ「1×1」から「12×12」に対応する分割数に相当する「チャンネルモード」に置き換えられています。 使用者が個別に設定した好み画面分割の名称はそのまま表示されます。
シーケンス時間	画面を切り替える時間を 2 4 8 15 30 60 [秒] から選択します。

2.9.2. チャンネルシーケンスの実行と停止

ボトムメニューのシーケンス実行ボタンをクリックすると、チャンネルシーケンスの実行と停止が出来ます。実行中はボタンの線の色が白から青に変化します。



3. 遠隔再生とダウンロード（バックアップ）

各機器の内臓ハードディスクに記録された映像の PC 画面上での再生やバックアップ（PC の記憶装置への録画データの複製）を実行するには再生パネルを使います。

3.1. 再生パネルの追加（遠隔再生／バックアップの準備）

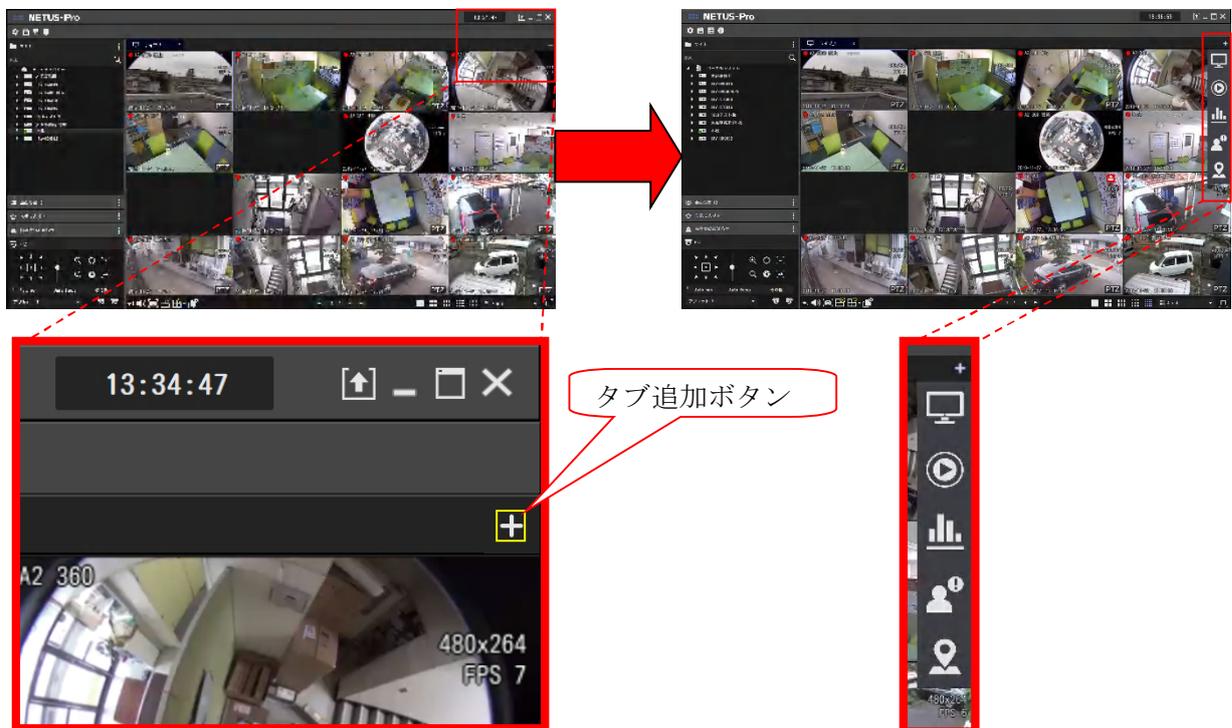
< 情報 >

- 再生パネルを追加する操作は V 1.0.0.44 までの古いバージョンで必要な操作です。それより新しいバージョンをお使いの場合は読み飛ばしてください。

再生パネルは次の手順で追加します。

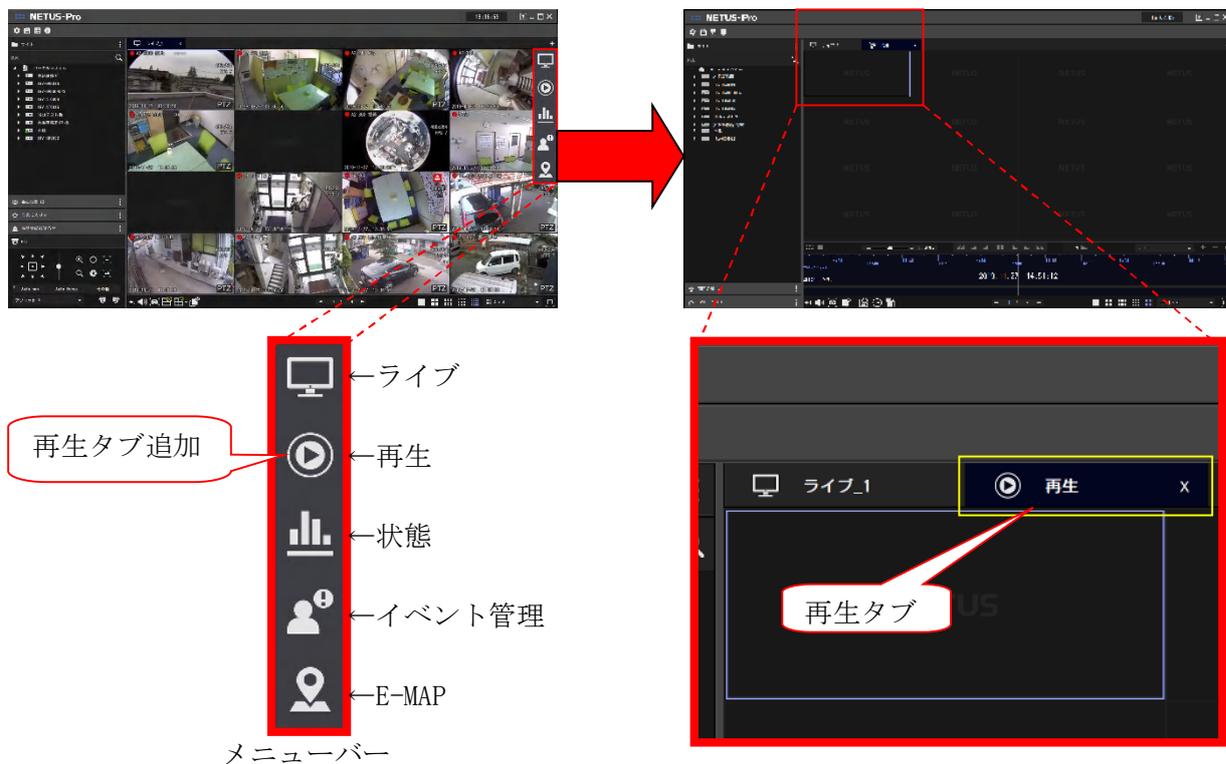
(1) +（タブ追加）ボタンをクリック

タブ追加ボタンをクリックすると、その下にメニューバーが表示されます。



(2) 再生アイコンをクリック

メニューバー内の再生アイコン（再生）をクリックすると、タブメニューに「再生」タブが現れます。



再生パネルが表示され、遠隔再生及びバックアップの機能が使える状態になります。

< 注意 >

- 再生パネルは2つ以上作ることは出来ません。

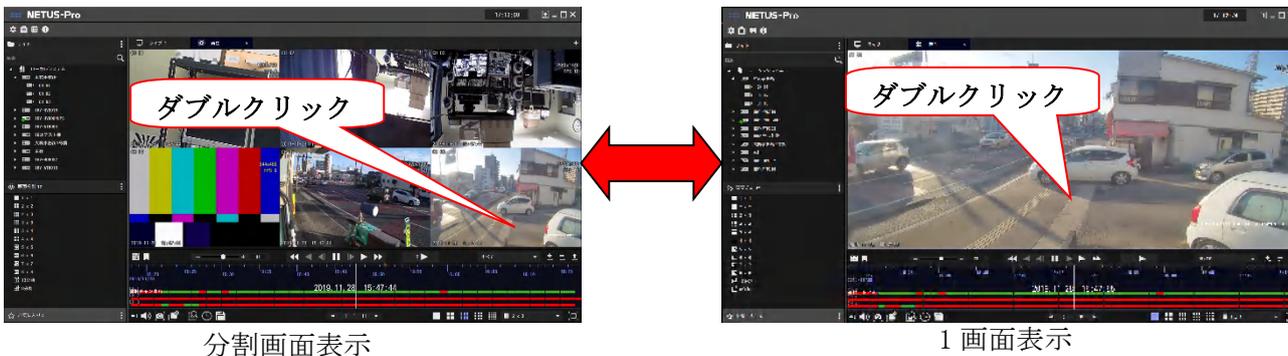
3.2. 再生パネルの操作

再生パネルは次のような画面構成になっています。



3.2.1. 分割画面表示と1画面表示

分割画面表示の時に各分割画面のアイコンやボタンの無い部分をダブルクリックすると1画面表示に切り替わります。1画面表示の時に画面内のボタンの無い部分をダブルクリックすると分割画面に切り替わります。



< 注意 >

- 1画面表示の状態でもダブルクリックしても分割画面表示にならない場合は、ボトムメニューまたはサイドメニューで分割数を選択してください。

3.2.2. 画面内のボタン

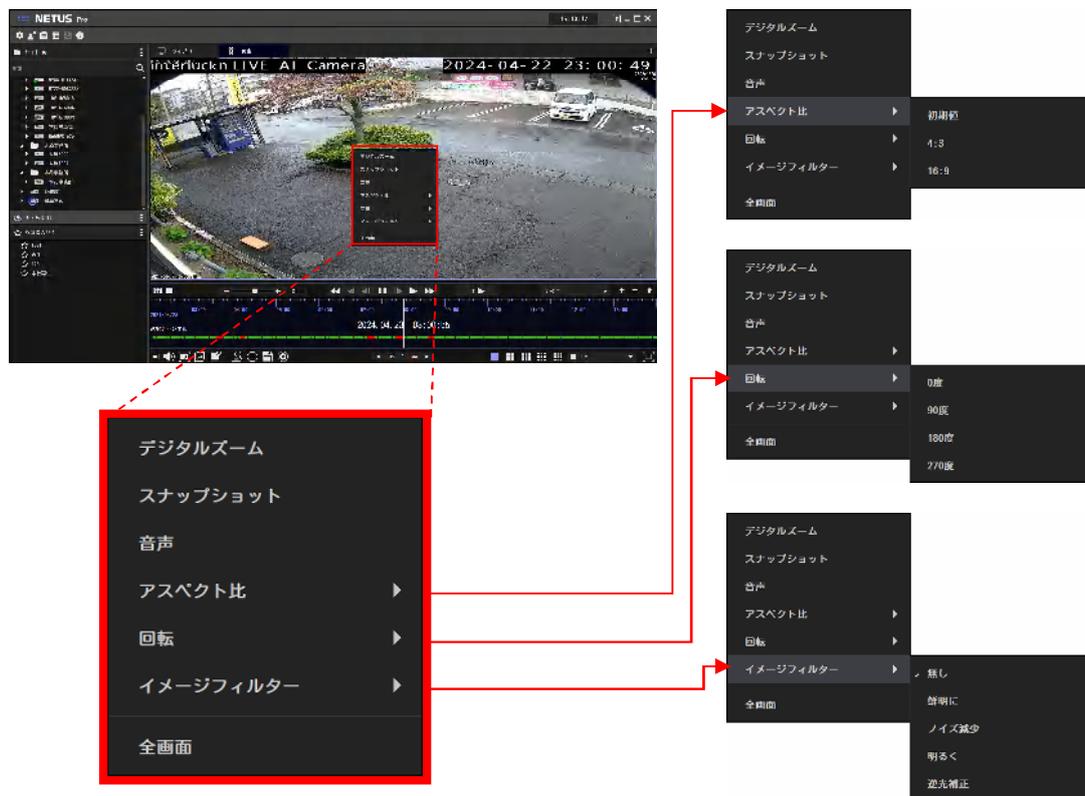
各チャンネルの画面内にマウスポインタを合わせると、そのチャンネルに関連した操作をするためのボタンが表示されます。それぞれのボタンの意味は次表のようになります。



	意味	説明
	画像オフ	再生パネルから、そのチャンネルを削除します。
	音声	クリックする毎に、そのチャンネルの音声のオンとオフを切り換えます。 ボタンの表示は現在の状態を示します。 🔊: PC のスピーカーでこのチャンネルの音声が出力されない状態 🔇: PC のスピーカーでこのチャンネルの音声が出力される状態
	スナップショット	このチャンネルの映像を静止画でファイルに保存します。 この際に保存される画像の解像度は、機器で録画された解像度に依存します。スナップショットについては「3.7.1 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法」のページをご覧ください。 参照 →142 ページ
	デジタルズーム	このチャンネルのデジタルズームを実行するための画面を表示します。 この機能の詳細については「3.8 デジタルズーム」のページをご覧ください。 参照 →147 ページ

3.2.3. 画面内の右クリックメニュー

画面内を右クリックすると右クリックしたチャンネルに対して次表のメニューが利用できます。



右クリックメニュー		説明
デジタルズーム		このチャンネルの映像を拡大表示します。デジタルズームの操作については「 3.8 デジタルズーム 」のページをご覧ください。 参照 → 147 ページ
スナップショット		このチャンネルの映像を静止画像としてファイルに保存します。☑ボタンと同じ動作になります。 この際に保存される画像の解像度は、機器で録画された映像の解像度に依存します。スナップショットについて詳細は「 3.7.1 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法 」のページをご覧ください。 参照 → 142 ページ
音声		このチャンネルの音声出力のオンとオフを切り替えます。☑ボタンと同じ動作になります。 ボタンの表示は現在の状態を示します。 ☑: PC のスピーカーでこのチャンネルの音声出力されていない状態 ☑: PC のスピーカーでこのチャンネルの音声出力されている状態
アスペクト比	チェックなし	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比をそのチャンネルの枠の比率に合わせます。
	初期値	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比を、そのチャンネルの枠内に収まる大きさで横縦の画素数の比率で表示します。
	4:3	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比を、そのチャンネルの枠内に収まる大きさで 4:3 の比率で表示します。
	16:9	このチャンネルの画面のアスペクト（横縦）比を、そのチャンネルの枠内に収まる大きさで 16:9 の比率で表示します。

右クリックメニュー		説明
回転	0度 (未チェック)	このチャンネルのカメラの上側が上になるように映像を撮影された向きで表示します。
	90度	このチャンネルのカメラの上側が右になるように映像を回転させて表示します。
	180度	このチャンネルのカメラの上側が下になるように映像を回転させて表示します。
	270度	このチャンネルのカメラの上側が左になるように映像を回転させて表示します。
イメージ フィルター	なし	このチャンネルの映像をそのまま表示します。
	鮮明に	このチャンネルの映像に輪郭補正をかけて表示します。
	ノイズ減少	このチャンネルの映像にノイズ低減処理をして表示します。
	明るく	このチャンネルの映像を明るく処理して表示します。
	逆光補正	このチャンネルの映像に逆光補正をかけて表示します。
全画面	このチャンネルの映像を全画面で表示します。全画面表示の場合、操作のためのバーやボタンはほとんど表示されなくなるため、多くの操作に制限が発生します。操作が必要な場合は元の画面に戻ります。元の画面に戻すにはキーボードの ESC キーを押します。	

3.3. サイドメニューの操作（再生パネル用）

サイドメニューはライブ・再生及びE-MAPタブ（パネル）を選択した場合にだけウィンドウ左側に表示されるメニューです。サイドメニューはボトムメニューの （サイドメニュー非表示）ボタンを使って非表示にすることが出来ます。またこのボタンは、サイドメニュー非表示中は （サイドメニュー表示）ボタンに変わります。

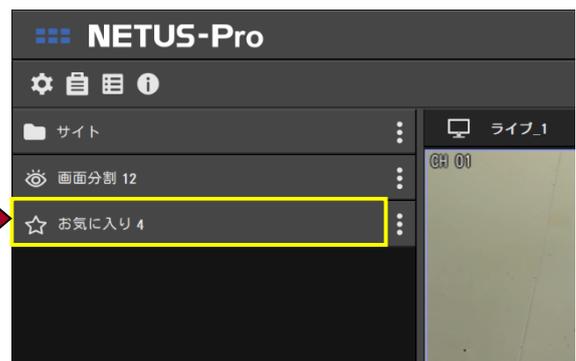


サイドメニュー表示中の状態

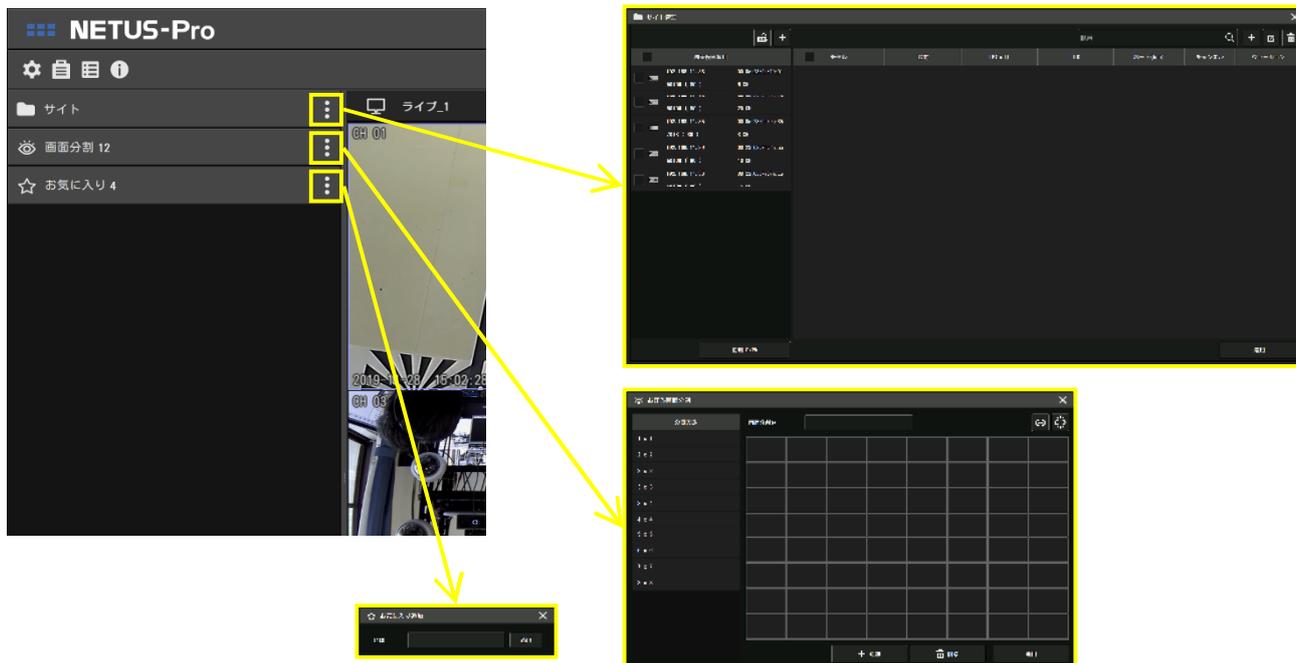


サイドメニュー非表示中の状態

サイドメニューの各項目の内容は項目名の書かれたタイトルバーをクリックすることで表示と非表示を切り換えることが出来ます。



各項目のタイトルバーの右側にある☰ボタンをクリックするとそれぞれのメニューに関する設定ウィンドウが開きます。



3.3.1. サイト

「サイト」メニューはライブパネル及び再生パネルの左側に表示されるメニューです。サイドメニューの「サイト」メニューでは、再生パネルに機器を割り当てたり機器に対する各種の操作を実行したりすることが出来ます。操作は次表の右クリックメニューでおこないます。また、一部の操作はマウスによるドラッグ&ドロップでも可能です。

DVR や NVR アイコンの右クリックメニュー

第1階層	第2階層	説明
映像を表示 (パネルに割当)	全てのチャンネルの映像を表示 (パネルに割当)	アイコンが示す機器の全てのチャンネルを再生パネルに割り当てます。 参照 →121 ページ
	全てのチャンネルの映像を消去 (パネルの割り当てを解除)	再生パネルからアイコンが示す機器のチャンネルを全て削除します。 参照 →121 ページ
機器管理	遠隔設定	Web ブラウザを起動し、遠隔設定用のログイン画面を開きます。 参照 →125 ページ <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <p>● 遠隔設定機能を利用するためには、機器の Web ポートに接続可能な条件が整っている必要があります。</p> </div>

第1階層	第2階層	説明
機器管理	機器に再接続	NETUS-Pro を機器に再接続します。 ライブパネルにチャンネルを割り当てても映像が表示されない場合に実行します。 参照 →126 ページ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <p>「機器に再接続」を実行するとライブパネルの接続は復旧しますが、再生パネルの接続は一旦失われます。再生パネルの接続を復旧させるには、ボトムメニューの (表示オフ) ボタンで再生パネルの割り当てを全て解除してから、再度割り当ててください。</p> </div>
	機器再起動	機器を再起動します。ここで入力を求められるパスワードは機器のユーザーパスワードではなく NET-US-Pro ユーザーのパスワードです。 参照 →126 ページ
Remote Viewer		Remote Viewer を起動します。 Remote Viewer では、機器の操作画面をパソコンのリモートデスクトップのような感覚で直接操作することができます。 参照 →127 ページ
機器情報		機器のシステム情報を表示します。 参照 →129 ページ

カメラの右クリックメニュー

第1階層	第2階層	説明
設定	遠隔設定	Web ブラウザを起動し、機器の遠隔設定用のログイン画面を開きます。 参照 →125 ページ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遠隔設定機能を利用するためには、機器の Web ポートに接続可能な条件が整っている必要があります。 ● ここで開くログイン画面は、個別のカメラの設定画面ではなく、それらが接続されている機器 (DVR や NVR) を設定するためのログイン画面です。 </div>
	映像を表示 (パネルに割り当)	アイコンが示すチャンネルを再生パネルに割り当てます。 参照 →121 ページ
映像を表示 (パネルに割り当)	映像を消去 (パネルの割り当てを解除)	再生パネルからアイコンが示すチャンネルを削除します。 参照 →121 ページ

3.3.1.1. 再生パネルへのチャンネルの割り当てと解除

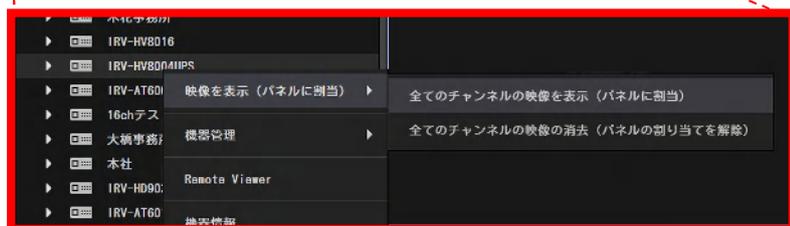
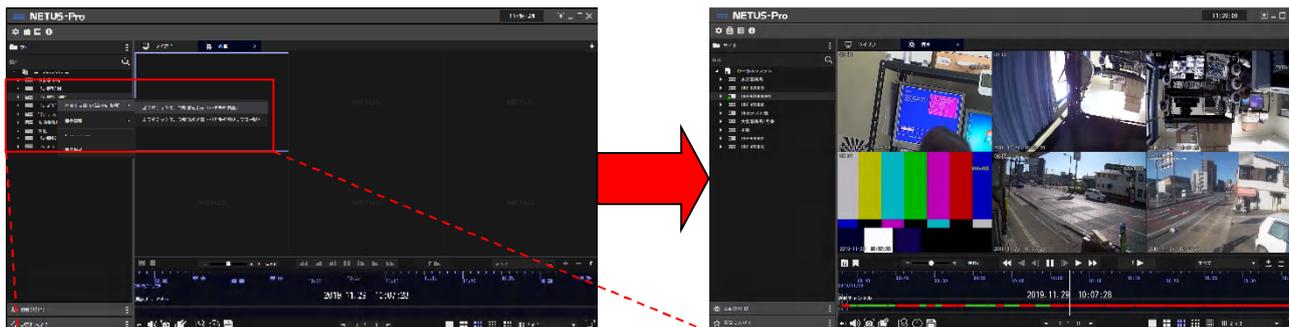
再生パネルにチャンネルを割り当てるには、右クリックメニューで割り当てる方法とドラッグ&ドロップで割り当てる方法があります。

右クリックメニューから割り当てる場合は、空いている部分がある最も上段の左側から連続したチャンネル数分の場所に割り当てられます。

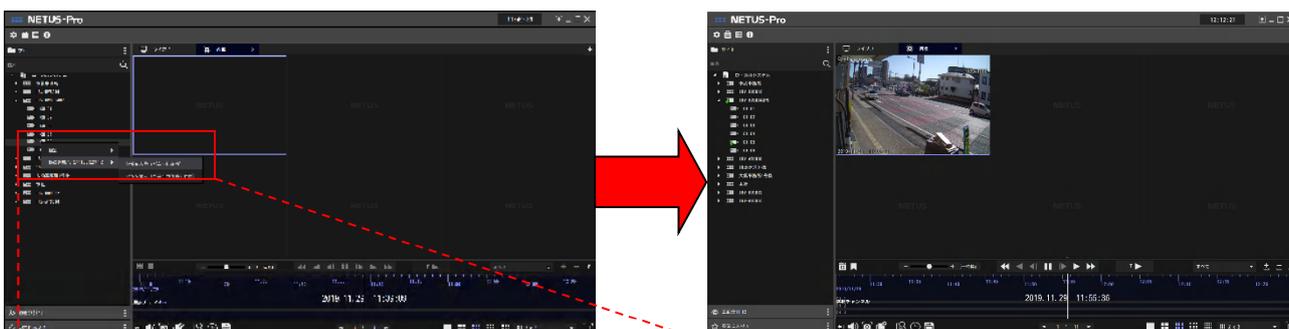
< 注意 >

- 再生パネルでは同じパネルの中に複数の機器のチャンネルを割り当てることは出来ません。

各機器のチャンネルを全て割り当てるには、機器のアイコンを右クリックして割り当てます。



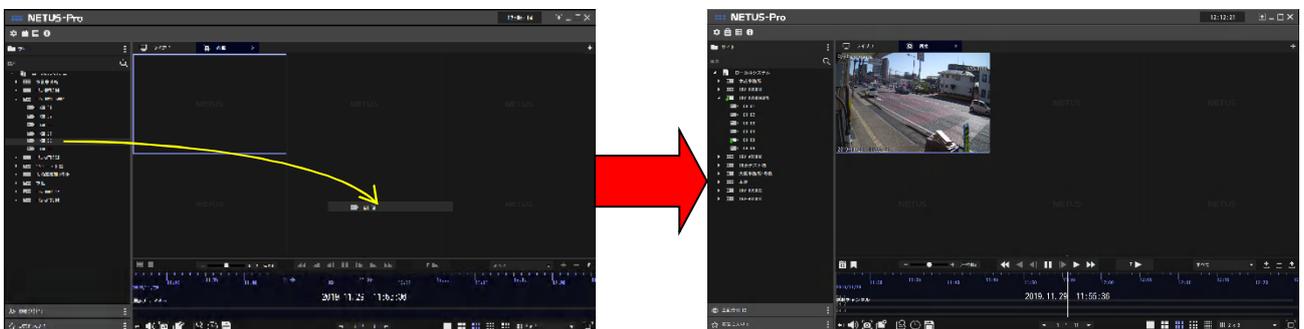
各機器の特定のチャンネルのアイコンを右クリックして割り当てると、1つのチャンネル毎に割り当てることも出来ます。



ドラッグ&ドロップで割り当てる場合にはドロップした場所とは関係なく左上から順に連続したチャンネル数分の場所に割り当てられます。



右クリックの場合と同様に各チャンネルのアイコンをドラッグ&ドロップすると1つのチャンネル毎に割り当てることができます。



< 情報 >

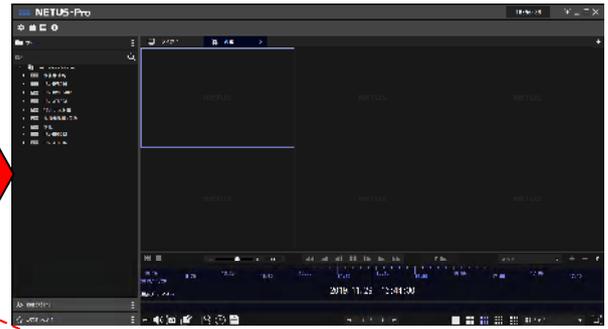
場所の順序は下図の例のようになります。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

1	2	3	4
5	6		7
8			9
10	11	12	13

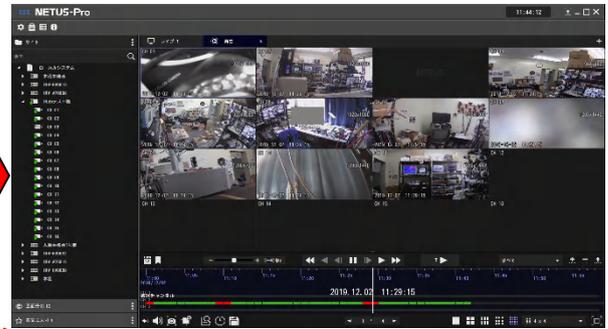
再生パネルに既に割り当てられたチャンネルを解除（パネルから消去）するには、右クリックメニューで解除する方法とパネル内の☒ボタンをクリックして解除する方法及びボトムメニューのボタンで解除する方法があります。

右クリックメニューでパネルに割り当てられた特定の機器の全てのチャンネルを解除するには、機器のアイコンを右クリックし「映像を表示（パネルに割り当）」→「全てのチャンネルの映像を消去（パネルの割り当てを解除）」を選択します。



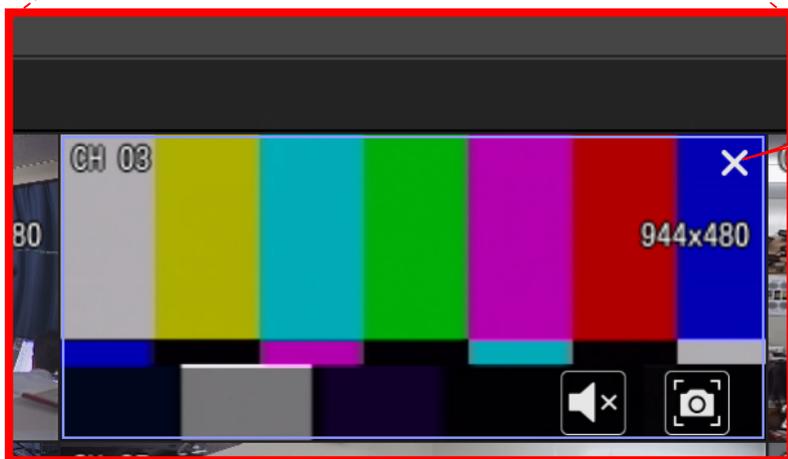
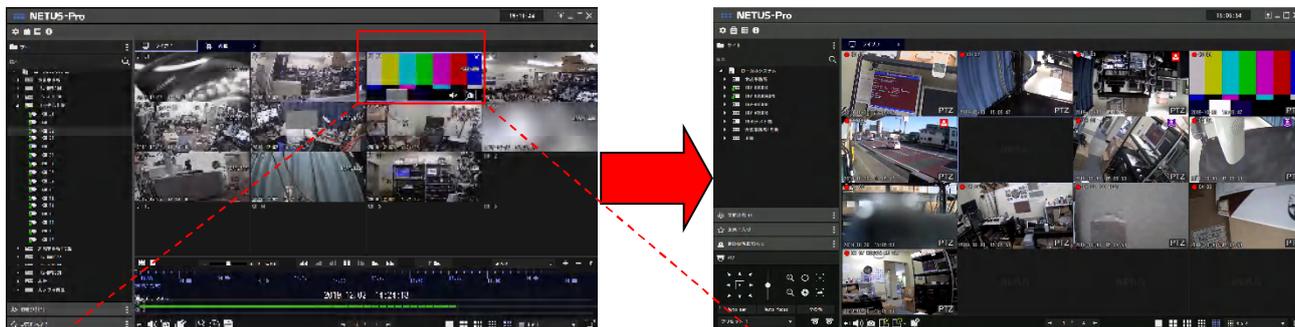
ここをクリック

各機器の特定のカメラのアイコンを右クリックして割り当てを解除すると、1つのチャンネル毎に割り当てを解除することも出来ます。



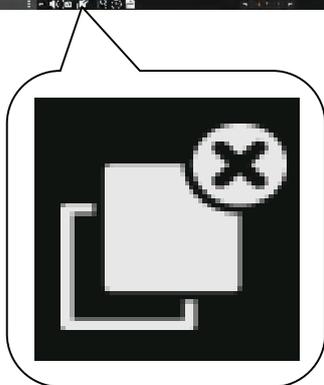
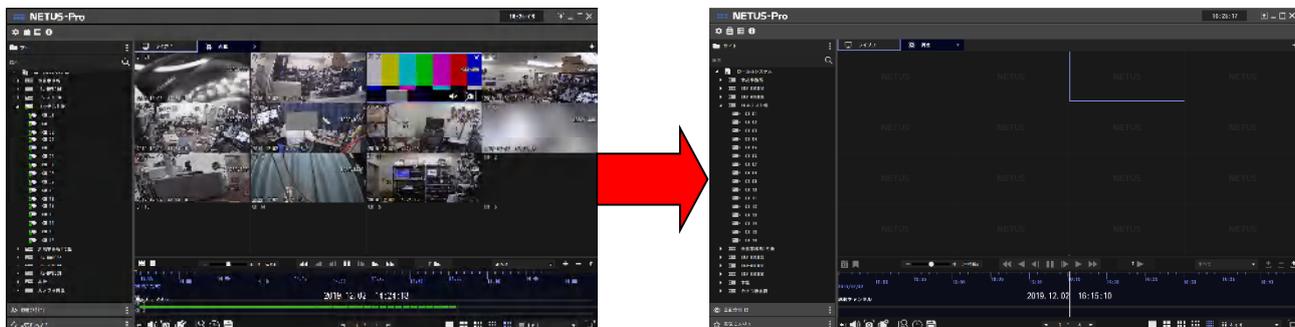
ここをクリック

パネルの各チャンネルの画面内の右上にある “×” をクリックして割り当てを解除すると、1 つのチャンネル毎に割り当てを解除することができます。



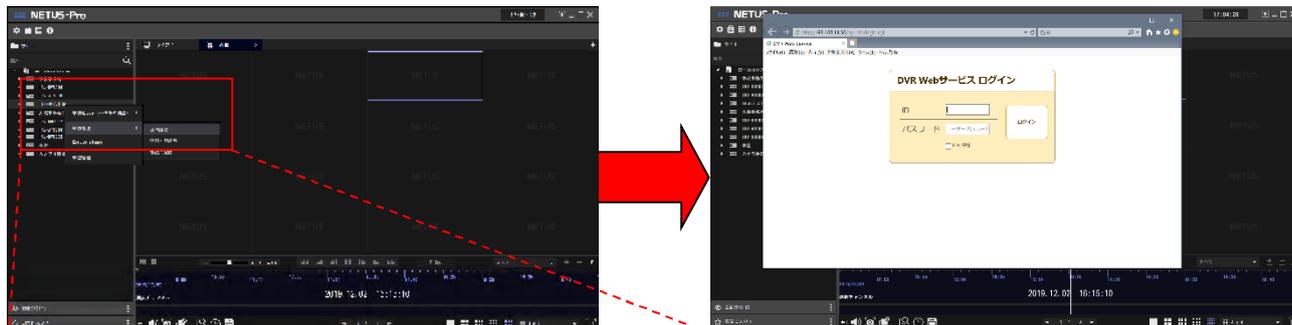
ここをクリック

ボトムメニューの  (表示オフ) ボタンをクリックすると、再生パネルに割り当てられた機器の全てのチャンネルを消去 (割り当てを解除) します。



3.3.1.2. 遠隔設定

Web ブラウザ を起動し、機器の Web アクセス用ログイン画面を表示します。

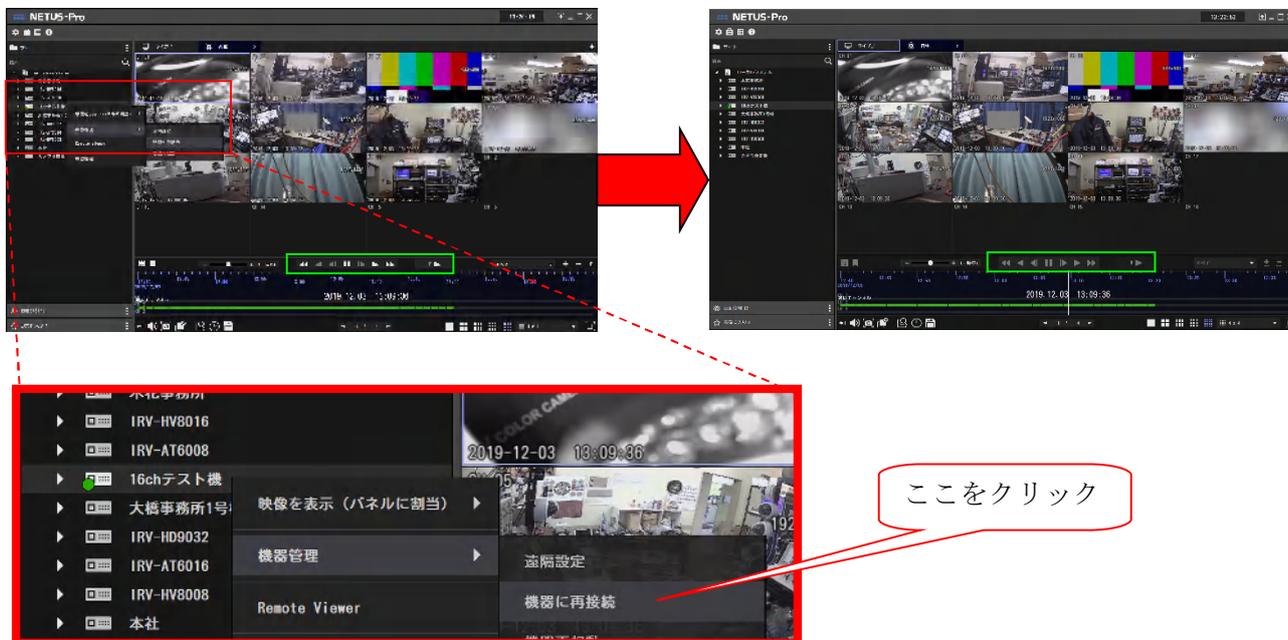


< 注意 >

- Web アクセスをするには、NETUS-Pro を実行している PC から機器の Web ポートにアクセス出来る必要があります。従って機器がインターネット経由のローカルネットワーク内にある場合は Web ポートに対してもルータ等のポートフォワーディング (ポート開放等) を設定する必要があります。
- P2P 接続の場合、遠隔設定機能は利用できません。

3.3.1.3. 機器に再接続

ライブパネルで機器に接続している状態のときに、その機器のチャンネルをパネルに割当てていない時間が長く続くと、チャンネルをパネルに割当てて映像を表示しようとしても、稀に表示できない場合があります。そのような現象が発生した場合に機器に再接続する事で映像が表示出来るようになります。



「機器に再接続」を実行すると再生パネルでは再生コントロールが出来なくなり、再生コントロールボタンがグレーアウト状態になります。(前の図の緑色の枠内)

< 注意 >

- 「機器に再接続」を実行するとライブパネルの接続は復旧しますが、再生パネルの接続は一旦失われます。再生パネルの接続を復旧させるには、ボトムメニューの [表示オフ] ボタンで再生パネルの割り当てを全て解除してから、再度割り当ててください。

3.3.1.4. 機器再起動

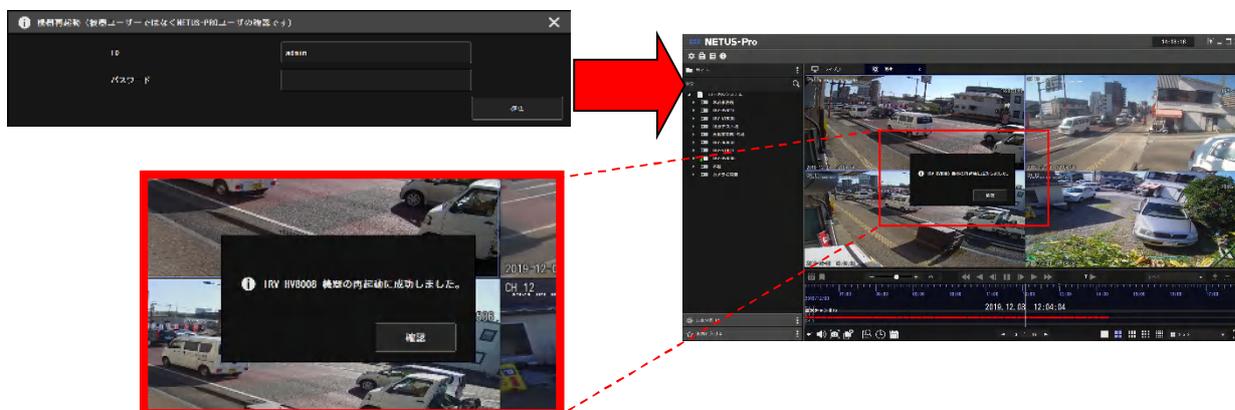
機器の動作が不安定になった場合に、遠隔操作で機器の再起動を実行することが出来ます。機器の再起動は次の手順で実行します。

(1) 再起動したい機器のアイコンの右クリックメニューから「機器管理」→「機器再起動」



(2) ID パスワードを入力

NETUS-Pro の起動用の ID とパスワードを入力します。

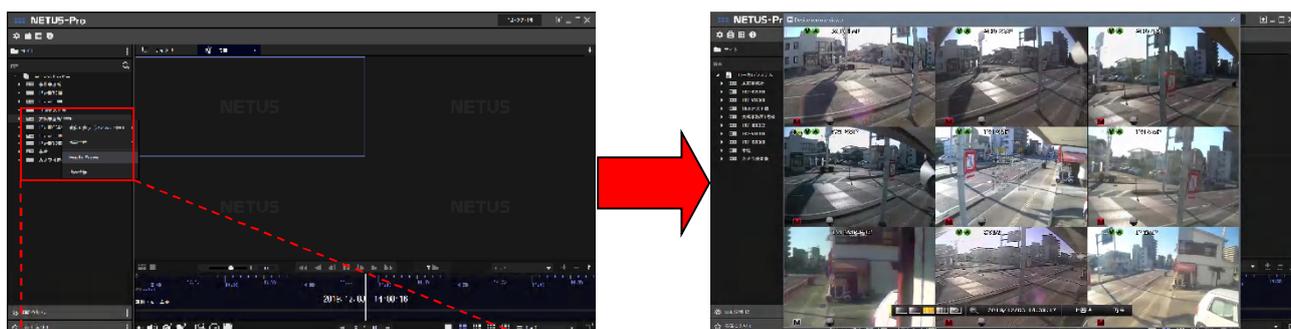


< 注意 >

- ここで入力する ID とパスワードは NETUS-Pro の起動用に使用する ID とパスワードです。機器の本体操作に使用するものとは別です。
- 機器の再起動には 1 分程度の時間がかかります。
- 機器の再起動中は録画や通信等、機器のほぼ全ての機能が停止します。

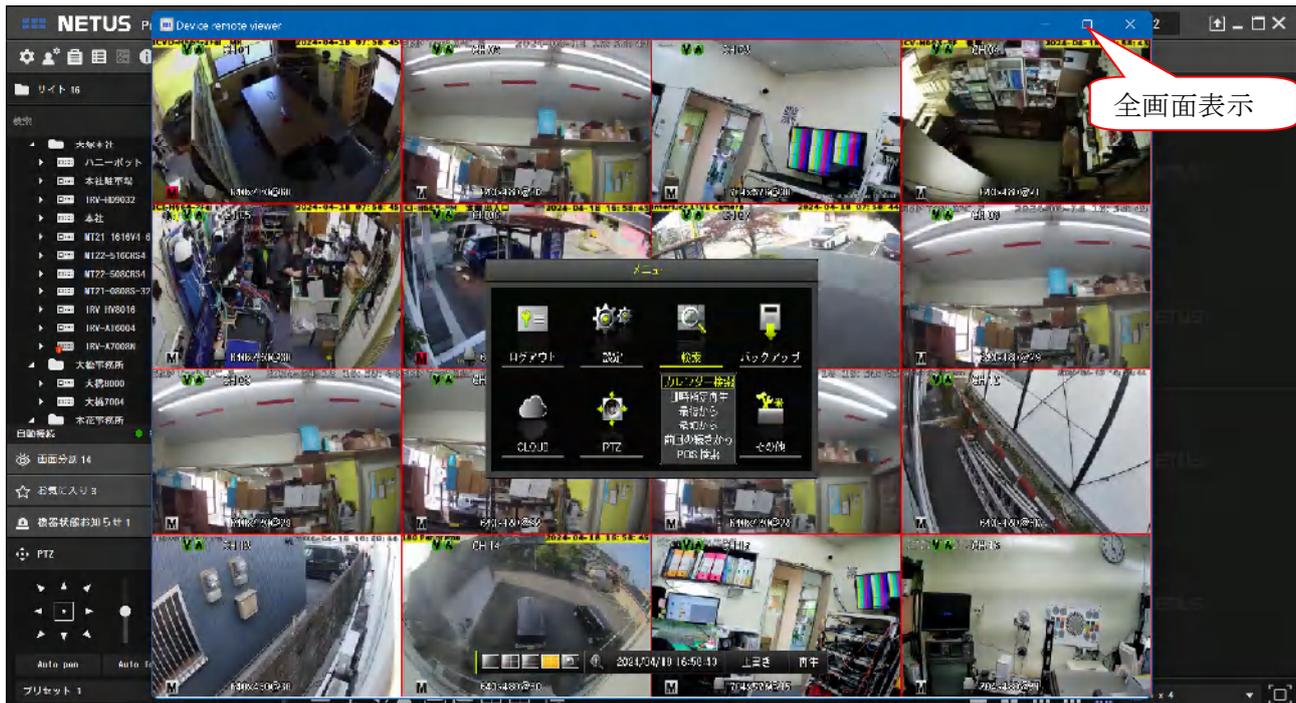
3.3.1.5. Remote Viewer

PC の画面の上に機器のメインモニターの映像を縮小したものが表示されます。そして PC のリモートデスクトップのように PC のマウスを使って機器を操作する事ができます。



ここをクリック

また、機器に接続したメインモニターでは同時にその様子を見る事が出来ます。

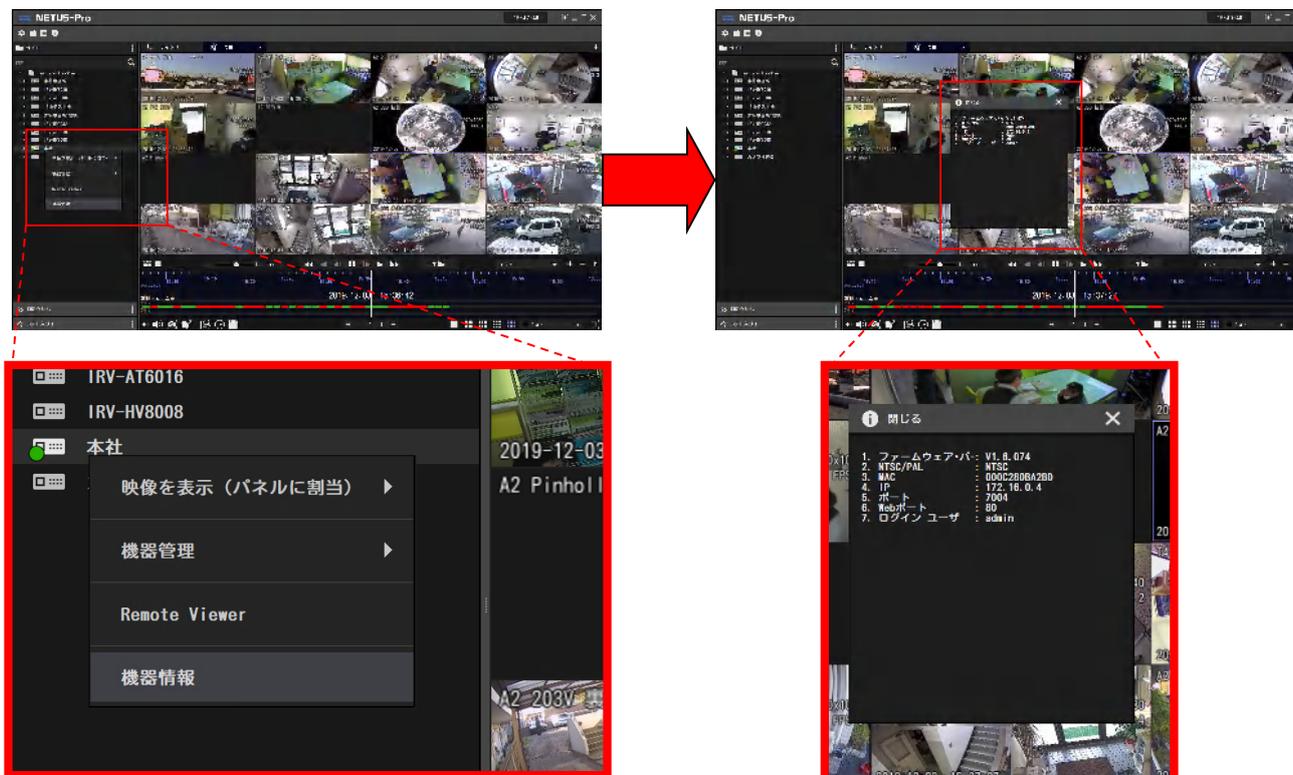


< 注意 >

- Remote Viewer で表示される画面は縮小画像です。漢字等の細かな文字は読み取れない場合があります。
- 小さな文字等が見辛い場合は全画面表示に切替える事で見やすくなります。全画面表示からウィンドウ表示に戻る場合はタイトルバーをダブルクリックします。
- マウスポインタの表示は、PC 側では PC と機器の両方のマウスポインタを見る事が出来ますが、機器のメインモニターでは PC 側のマウスポインタは表示されません。
- PC と機器の両方で同時にマウス操作を実行した場合、両方のマウスのクリックを受け付けた順序でコマンドが実行されるため、操作が混乱します。Remote Viewer を使用される際は、機器の設置場所に居る人に事前に連絡してから操作するようにしてください。

3.3.1.6. 機器情報

右クリックで選択した機器の情報を表示します。

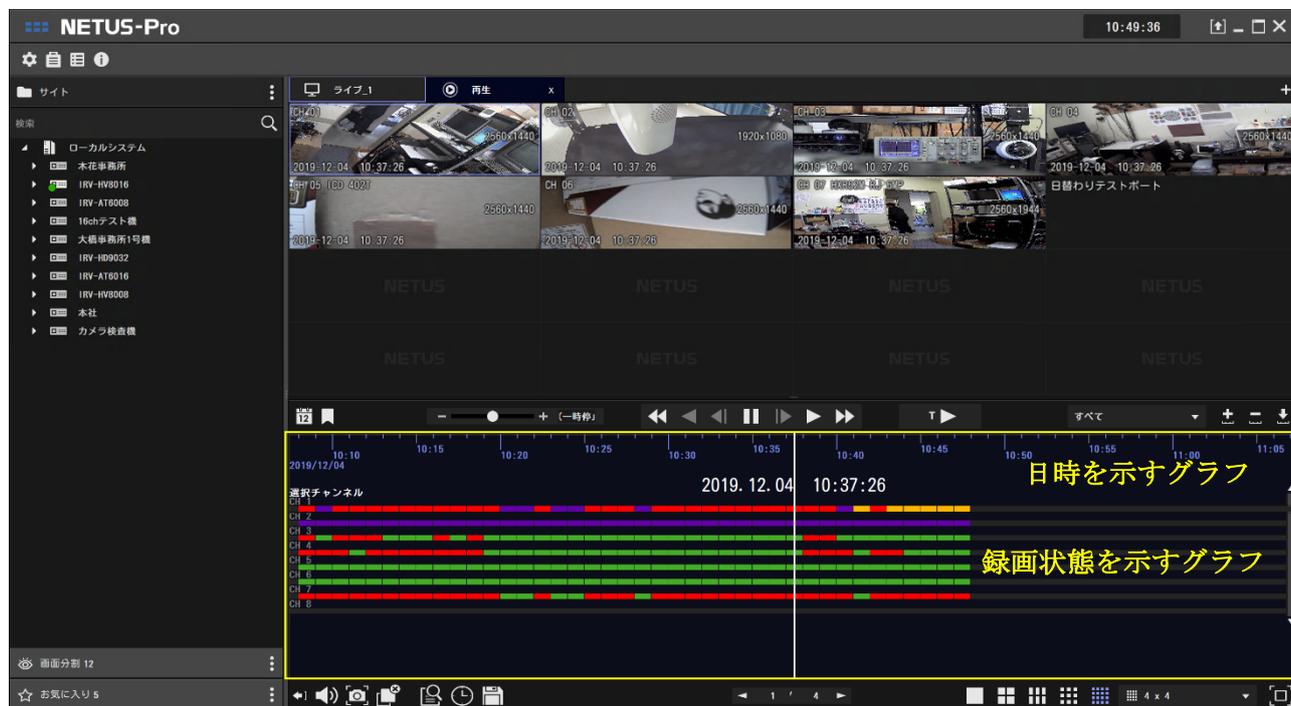


ここでは次の項目を表示します。

項目	説明
1 ファームウェア	機器のファームウェアのバージョンを表示します。
2 NTSC/PAL	機器のビデオモードを「NTSC」または「PAL」で表示します。
3 MAC	機器のMACアドレスを表示します。
4 IP	NETUS-Pro の接続先アドレス (IP, DDNS, P2P) を表示します。
5 ポート	NETUS-Pro の接続先ポート番号を表示します。
6 Web ポート	機器の Web ポートのポート番号を表示します。
7 ログインユーザー	NETUS-Pro の接続先に対して使用しているユーザー名を表示します。

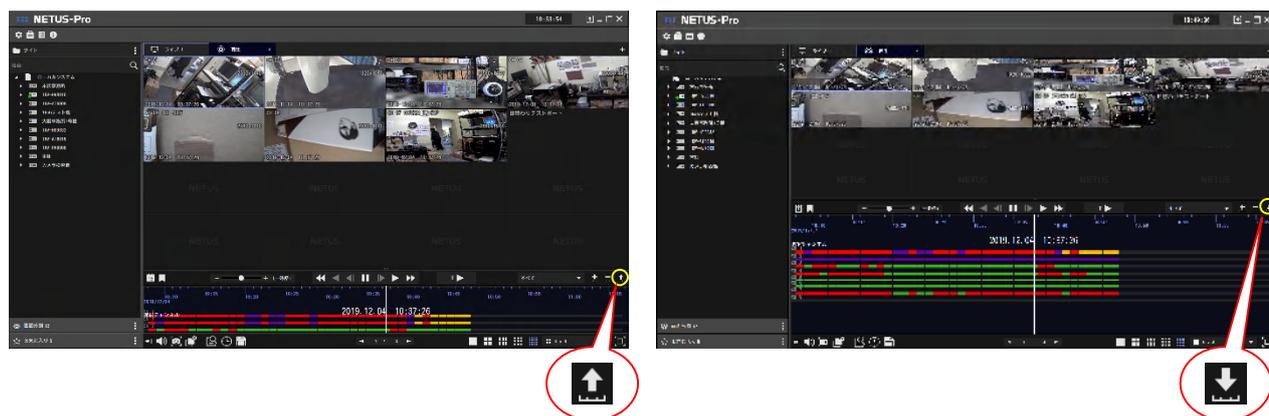
3.4. タイムライン

タイムラインは、上段が再生中の映像が録画された日時の前後を連続した帯状のグラフで示し、下段がその時間帯の機器の録画状態を直線状のグラフで示します。



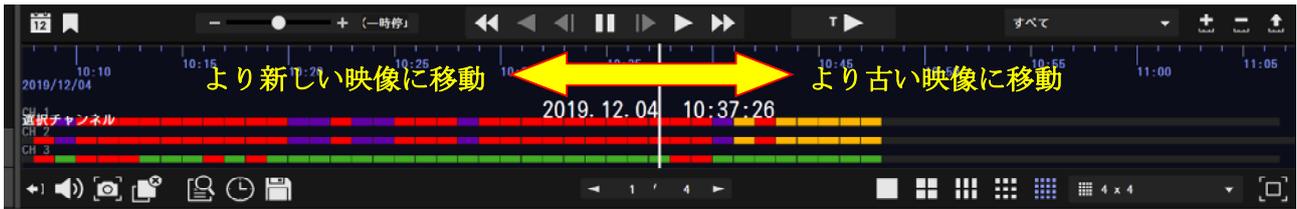
3.4.1. 表示範囲の拡張と折り畳み

タイムラインは再生パネルの  (タイムライン拡張) ボタンと  (タイムライン折り畳み) ボタンで機器の録画状態を示す下段グラフの表示の縦の幅を変えることができます。



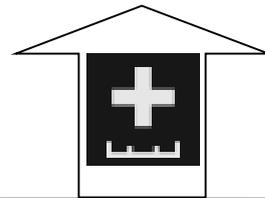
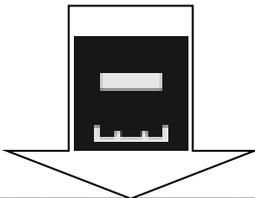
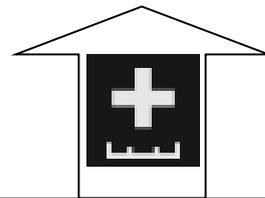
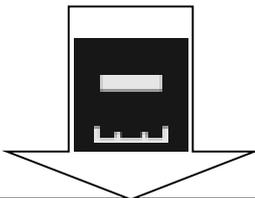
3.4.2. 日時移動

タイムラインで日時を移動するには、日時を示す青色の目盛りをマウスでドラッグして左右に動かす方法で実行します。(中央の白い線を動かす方法での日時移動は出来ません。)



3.4.3. 日時の表示範囲を変える

タイムラインに表示する日時の目盛りの幅を変えるには、再生メニューの  (タイムライン目盛縮小) ボタンと  (タイムライン目盛拡大) ボタンを使います。



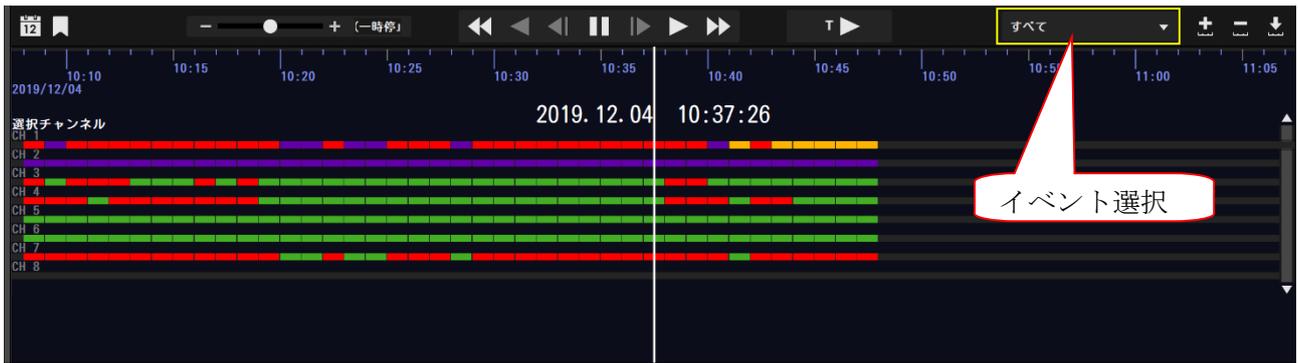
< 情報 >

- 再生したい日時が現在再生中の日時から離れている場合は「カレンダー検索」機能のご利用が便利です。

[参照](#) → 133 ページ

3.4.4. 録画状態を示すグラフの色分け

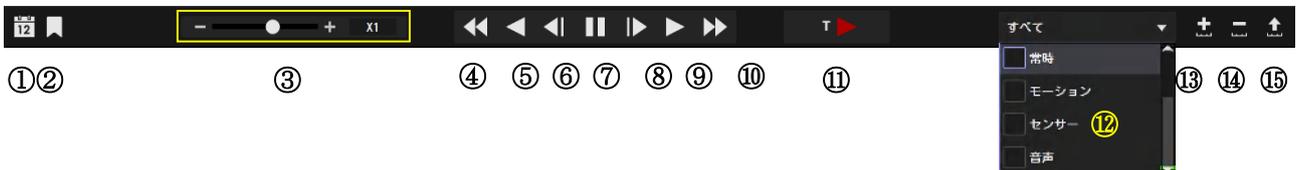
録画状態を示すグラフの線の色は、録画の理由を示します。



色	説明
黒色	再生メニューのイベント選択で現在選択されたイベントで映像が録画されていない部分を表示します。
緑色	再生メニューのイベント選択で「常時」または「すべて」が選択されている場合に、常時録画（通常記録）されている部分を示します。
赤色	再生メニューのイベント選択で「モーション」または「すべて」が選択されている場合に、モーションイベントによって録画されている部分を示します。
紫色	再生メニューのイベント選択で「センサー」または「すべて」が選択されている場合に、センサーイベントによって録画されている部分を示します。
橙色	再生メニューのイベント選択で「音声」または「すべて」が選択されている場合に、音声検知によって録画されている部分を示します。

3.5. 再生メニューの操作

再生メニューでは、タイムラインと再生に関する操作を実行することが出来ます。各ボタンと選択リストの機能を次の図と表に示します。



番号	イメージ	名称	説明
①		カレンダー検索	カレンダー検索機能を起動します。この機能では、再生開始日をカレンダーの日付をクリックすることで選択出来ます。 参照→133 ページ
②		しおり	しおりの登録を実行します。しおり機能は録画映像の特定の箇所に目印を付けることで、後からその箇所を探すときの目印にする機能です。しおりを付けた箇所は、タイムライン上のマークとイベント検索で見つけることが出来ます。しおり機能について詳細は「3.5.2 しおり（タイムラインに付ける目印）」のページをご覧ください。 参照→137 ページ
③		再生速度調整	再生の速度と向きを、スライダを動かして調整できます。スライダを「+」方向に動かすと送り方向、「-」方向に動かすと戻し方向です。 参照→139 ページ
④		早戻し	早戻し再生をします。

番号	イメージ	名称	説明
⑤		逆再生	逆方向（時間を遡る方向）に再生をします。
⑥		逆コマ送り	逆方向（時間を遡る方向）にコマ送り再生をします。
⑦		一時停止（スチル）	再生を一時停止します。
⑧		コマ送り	コマ送り再生をします。
⑨		再生	通常の方法で再生します。
⑩		早送り	早送り再生をします。
⑪		高機能再生モード	高機能再生モードのオンとオフを切り替えます。詳しくは「3.5.5 高機能再生モード」のページをご覧ください。 参照→139 ページ
⑫		イベント選択	タイムラインの下段に表示する録画状態を示すグラフに反映するイベント録画の種別を選択できます。 参照→140 ページ
⑬		タイムライン拡大	タイムラインの日時を示す目盛り幅を拡大します。(全体の表示範囲は狭くなります) 参照→131 ページ
⑭		タイムライン縮小	タイムラインの日時を示す目盛り幅を縮小します。(全体の表示範囲は広くなります) 参照→131 ページ
⑮		タイムライン拡張 タイムライン折畳み	タイムラインの下側に表示する録画状態を示すグラフの表示チャンネル数を増減します。 参照→130 ページ

3.5.1. カレンダー検索

カレンダー検索では、再生を開始したい日付をカレンダーで選択することで、再生開始位置の指定を素早く実行することが出来ます。

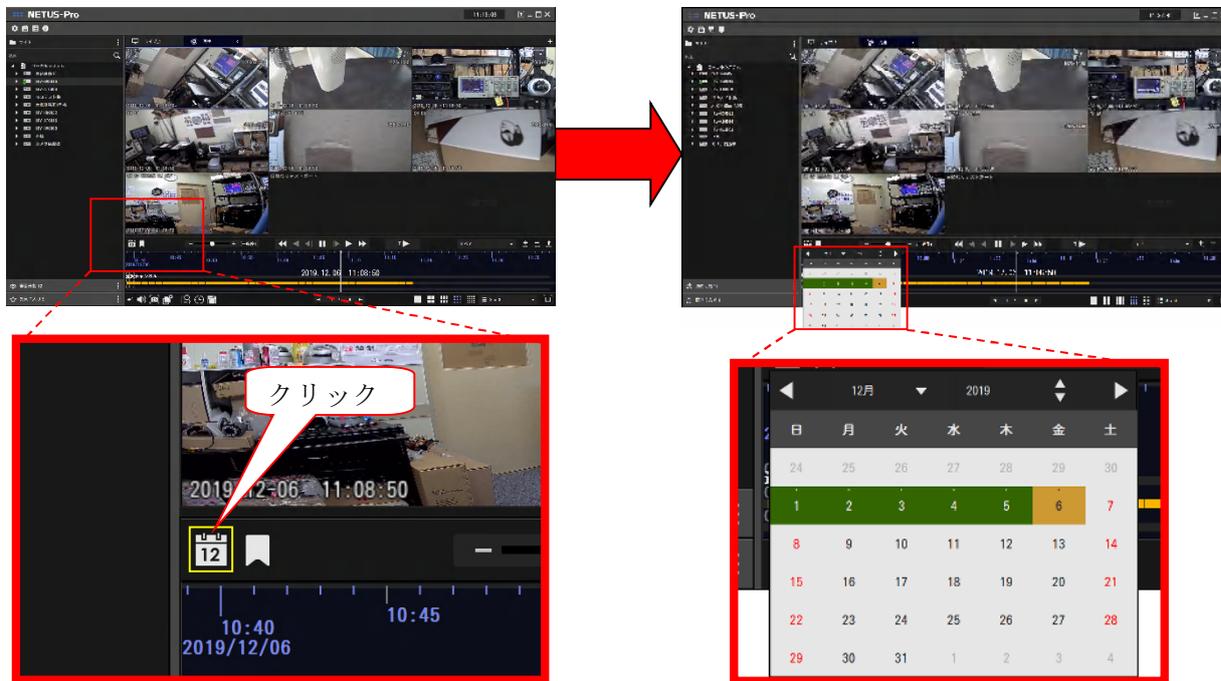
なお、以降の説明は、再生パネルが既に開かれていて、機器がそのパネルに割り当てられている事を前提とします。

< 情報 >

- 再生パネルを追加するには「3.1 再生パネルの追加（遠隔再生/バックアップの準備）」をご覧ください。
[参照→113 ページ](#)
- 再生パネルに機器を割り当てるには「3.3.1.1 再生パネルへのチャンネルの割り当てと解除」をご覧ください。
[参照→121 ページ](#)

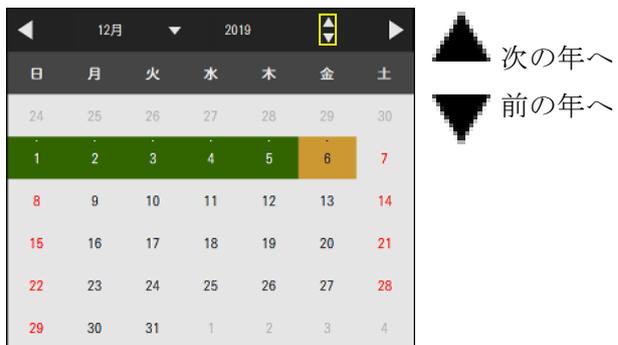
(1) 再生メニューの罫 (カレンダー検索) ボタンをクリック

再生メニューの左端にある罫 (カレンダー検索) ボタンをクリックすると、ボタンの下にカレンダーが開きます。



(2) 年を選択 (今年の場合はスキップして次へ進む)

カレンダーが開いたら、年を選択します。年は西暦を示す数字の右にある ◀ ▶ ボタンで増減させることができます。



(3) 月を選択（今月の場合はスキップして次へ進む）

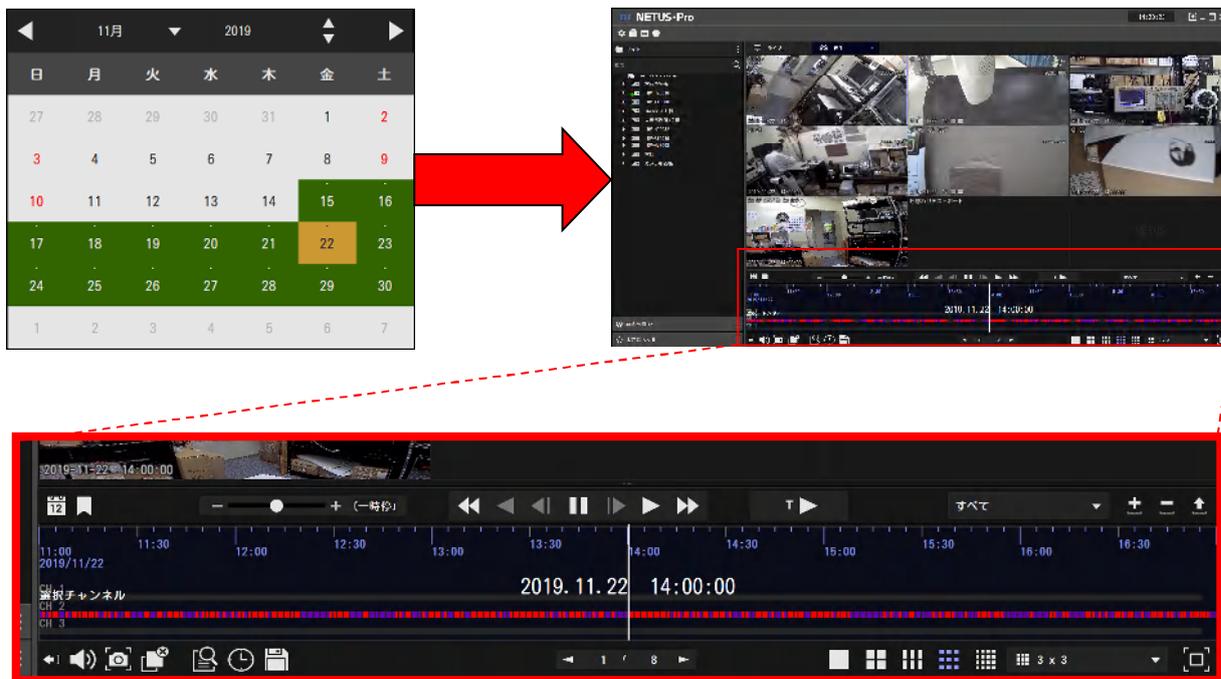
月を選択するには、カレンダー左上の選択リストで直接選択する方法とカレンダー上部の左右にある ◀ と ▶ ボタンで増減させる方法の2通りの方法があります。



(4) 日付をダブルクリック

最後に日付をダブルクリックすると選択した日付から再生を開始します。この場合の再生開始時刻は、選択した日付の現在の時の 00 分 00 秒になります。例えば、現在時刻が 12 月 6 日の 14 時 34 分の場合、選択した日付の 14 時 00 分 00 秒から再生されます。その後、別の時刻から再生したい場合は、タイムラインの上側の目盛りを動かして見たい時刻に合わせてください。

参照→130 ページ



カレンダーに、次の図のような薄い青紫色の印が表示される場合には、複数のタイムインデックスがあります。クリックすると選択リストが表示されますので、希望するタイムインデックスを選択してください。



< 情報 >

- 再生開始日時がはっきり決まっている場合には、日時指定検索が便利です。

参照→155 ページ

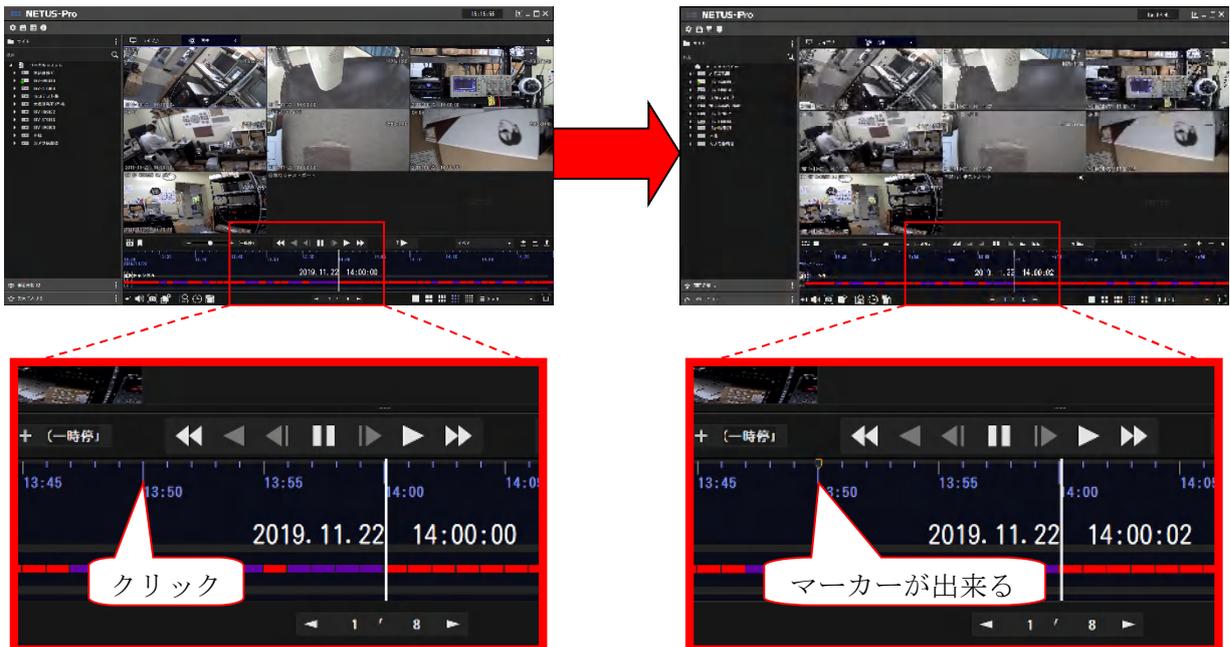
3.5.2. しおり（タイムラインに付ける目印）

しおり機能は重要な映像が記録された日時等をタイムライン上に目印を付けることで記録します。この目印はタイムライン上だけではなくイベント検索からも確認することができます。

次の例では、13時50分頃にしおりを付ける例で説明します。

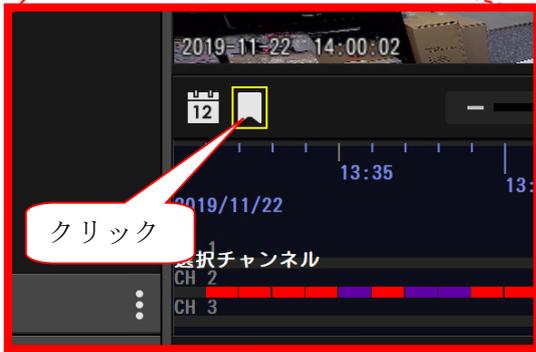
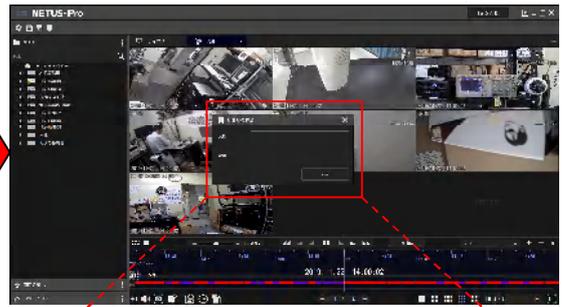
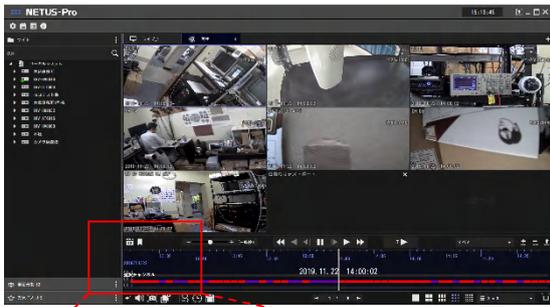
- (1) タイムラインをクリックしてマーカーを表示させる

タイムライン上の青い目盛りの帯をクリックすると、（マーカー）が表示されます。

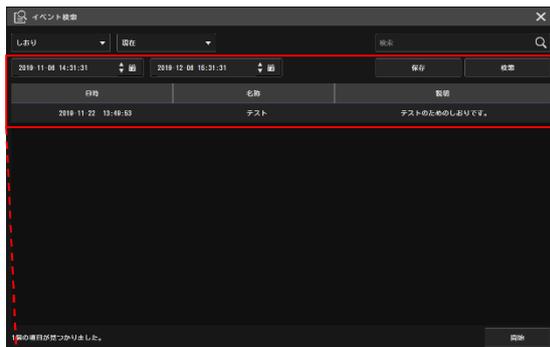
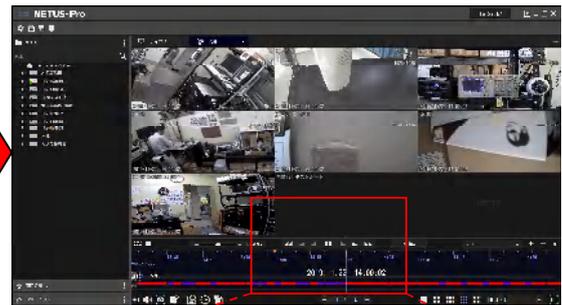
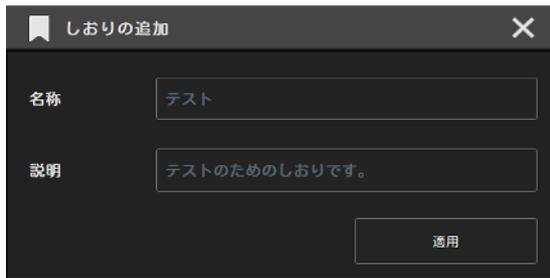


- (2)  ボタンをクリックする

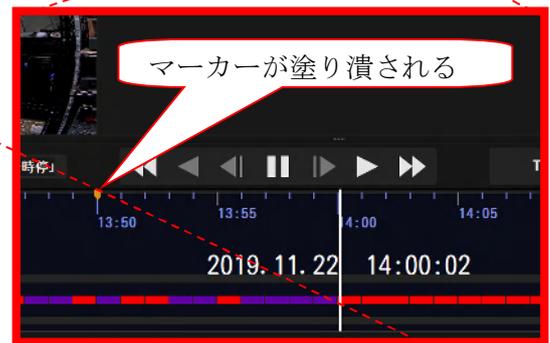
再生メニューの（しおり）ボタンをクリックすると「しおりの追加」ウィンドウが開きます。



- (3) 名称と説明を入力して **適用** ボタンをクリックする
 名称と説明はタイムラインには表示されませんがイベント検索機能のログには表示されます。



イベント検索



< 情報 >

- イベント検索の見方については「3.9 イベント検索」のページをご覧ください。

参照 → 150 ページ

3.5.3. 再生速度調整

再生速度調整機能は、スライダを左右に動かすことで、再生の方向と速さを制御します。



この機能は、次の表のように通常再生モードと高機能再生モードで選択可能な再生速度が異なります。

再生モード	-×30	-×16	-×8	-×4	-×2	-×1
通常	○	×	×	×	×	×
高機能	○	○	○	○	○	○

再生モード	一時停止	×1	×2	×4	×8	×16	×30
通常	○	○	×	×	×	×	○
高機能	○	○	○	○	○	○	○

3.5.4. 再生コントロールボタン

再生コントロールボタンは、ボタンで再生の方向と速さを制御します。

この機能は、次の図のように通常再生モードと高機能再生モードで利用可能なボタンが異なります。

再生モード	再生コントロールボタン
通常	
高機能	

上の図でグレーアウトされている（薄く表示されている）ボタンは利用できないボタンです。

3.5.5. 高機能再生モード

< 重要 >

- 高機能再生モードは1台の機器に対して同時に1台の遠隔監視端末しか利用できません。
- 本体が再生中のときは高機能再生モードは利用出来ません。

高機能再生モードは、遠隔再生での変速再生やコマ送りを可能にする高度な再生モードです。

高機能再生モードのボタンをクリックすると、ボタンが (白) から (赤) に変化します。

ボタンの状態	説明
白色	通常再生モードを示します。 1台の機器に対して利用可能な遠隔監視端末の台数に制限はありませんが、利用可能な再生制御に制限があります。
赤色	高機能再生モードを示します。 1台の機器に対して利用可能な遠隔監視端末の台数は1台です。2台目以降の端末が高機能再生モードへの変更操作を実行しようとした場合、その操作は受け付けられません。(ボタンの色が変化しません)

通常再生モードと高機能再生モードで選択可能な再生速度は次表の通りです。

再生モード	-×30	-×16	-×8	-×4	-×2	-×1
通常	○	×	×	×	×	×
高機能	○	○	○	○	○	○

再生モード	一時停止	×1	×2	×4	×8	×16	×30
通常	○	○	×	×	×	×	○
高機能	○	○	○	○	○	○	○

< 注 意 >

- 高機能再生モードは1台の機器に対して同時に1台の遠隔監視端末が利用できます。2台目以降の遠隔監視端末は利用できません。
- 複数の遠隔監視端末が同時に1台の機器を利用している状態では、最初に高機能再生モードボタンをクリックした遠隔監視端末が、優先されます。(先取優先)
- 高機能再生モードを利用中の遠隔監視端末が通常再生モードに戻ったら、別の遠隔監視端末が高機能再生モードを利用できるようになります。

3.5.6. イベント選択

イベント選択では、タイムライン下段に表示するグラフに、録画を起こしたイベントの種類を選択して表示することが出来ます。

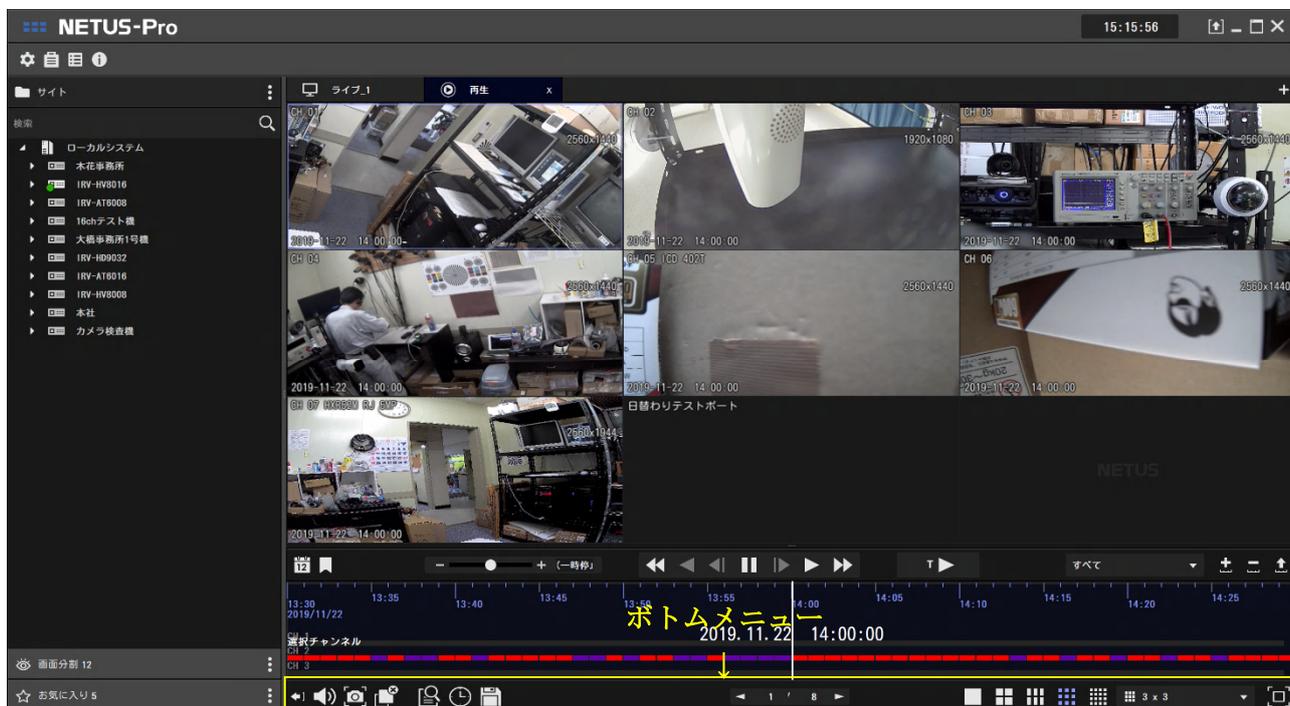
選択肢	説明
すべて	全てのイベント録画と常時録画のグラフを表示します。但し、複数のイベント録画が同時に発生する時間帯では次の優先順位に従って表示されます。 音声検知録画 > センサー検知録画 > モーション検知録画 > 常時録画
常時	常時録画として録画した時間帯だけを緑色のグラフで表示します。
モーション	モーション検知によって録画した時間帯だけを赤色のグラフで表示します。
センサー	センサー検知によって録画した時間帯だけを紫色のグラフで表示します。
音声	音声検知によって録画した時間帯だけを橙色のグラフで表示します。

< 注 意 >

- グラフの優先順位については、稀に正しく表示されないケースがあります。正確に確認したい場合は、それぞれのイベントを選択して確認するようにしてください。

3.6. ボトムメニューの操作（再生パネル用）

ボトムメニューはウィンドウ下側に表示されるメニューです。ボトムメニューは常に表示されており、表示と非表示を切り替えることは出来ません。なお、ボトムメニューはアイコンと選択リストによって構成されており、サイドメニューのような複雑な操作はありません。

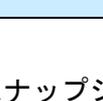
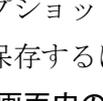


各パネルでのボタンと選択リストの構成は次の表のようになります。



各アイコンと選択リストの機能は次の表のようになります。

番号	アイコン	名称	説明
①		サイドメニュー表示／非表示	サイドメニューの表示と非表示を切り替えます。 左の画像はサイドメニューが表示されているときのアイコンです。サイドメニューが表示されていないときには、矢印の向きが逆になります。
②		音量	マウスでクリックすると、音量調整スライダを表示し、音量が調整出来るようになります。
③		スナップショット	スナップショットを保存します。 参照→145 ページ < 注意 > ● 分割画面表示の状態で保存したスナップショットは分割画面表示の画像になります。
④		表示オフ（パネルの割り当てを解除）	現在のパネルに割り当てている全てのチャンネルを解除して画面を消去します。
⑤		イベント検索	機器のログに記録されているイベントから該当する日時の録画映像を検索して再生します。 参照→150 ページ

番号	アイコン	名称	説明
⑥		日時指定検索	機器に記録されている録画映像から指定した日時の録画映像を検索して再生します。 参照 →155 ページ
⑦		バックアップ	機器に記録されている録画映像を、範囲を指定して NETUS-Pro を実行している PC の記憶装置に保存するための「バックアップ」ウィンドウを開きます。詳細については「3.11 バックアップ」のページをご覧ください。 参照 →158 ページ
⑧		前のページ	画面の分割数に表示チャンネル数が納まらない場合に前のページに移動するために使います。
⑨		ページ	スラッシュ “/” の左側に現在表示しているページのページ数を表示し、右側に全ページ数を表示します。
⑩		次のページ	画面の分割数に表示チャンネル数が納まらない場合に次のページに移動するために使います。
⑪		1×1 (1 画面表示)	パネルの分割方法を 1×1 (1 画面) に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑫		2×2	パネルの分割方法を 2×2 (4 画面) に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑬		3×2	パネルの分割方法を 3×2 (6 画面) に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑭		3×3	パネルの分割方法を 3×3 (9 画面) に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑮		4×4	パネルの分割方法を 4×4 (16 画面) に切り替えます。現在選択されている分割方法が青色に変化します。
⑯		分割方法選択メニュー	パネルの分割方法をドロップダウンリストで選択できます。
			この方法では左側の 5 種類の選択肢に無い分割方法も選択可能です。
⑰		全体画面 (全画面表示)	パネルの映像を全画面で表示します。全画面表示の場合、操作のためのバーやボタンはほとんど表示されなくなるため、多くの操作に制限が発生します。元の画面に戻すにはキーボードの ESC キーを押します。

3.7. スナップショット

スナップショットは、現在表示されている遠隔再生映像を静止画で保存します。

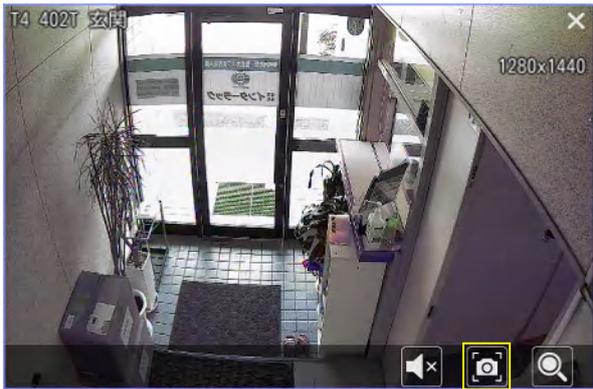
画像を保存するには、2 通りの方法があり、それぞれ保存される映像が異なります。

3.7.1. 画面内のボタンまたは右クリックメニューをクリックする方法

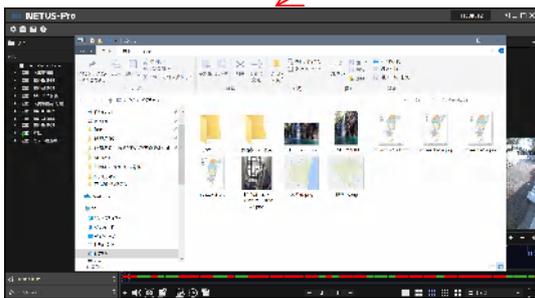
このチャンネルの映像を静止画でファイルに保存します。

この際に保存される画像の解像度は、機器の録画用 HDD に記録されている録画解像度に依存します。

- (1) 画面内の  (スナップショット) ボタンをクリックするか、または画面内を右クリックして「スナップショット」を選択する。



(2) 「スナップショット保存完了」ダイアログが表示されたら次の処理を選択



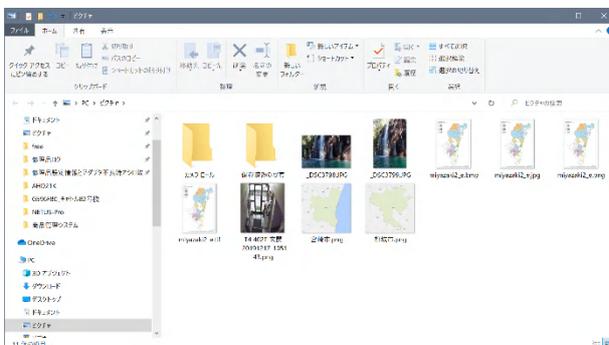
「開く」を選択するとダイアログを閉じると同時に画像を保存したフォルダを開きます。



「確認」を選択するとダイアログを閉じます。

(3) 画像が保存されたフォルダを開く

後から保存されたフォルダを開く場合は、エクスプローラから「ピクチャ」を開きます。(初期設定の場合)



初期設定からフォルダを変更していて保存されたフォルダがわからない場合は環境設定から確認してください。



< 注意 >

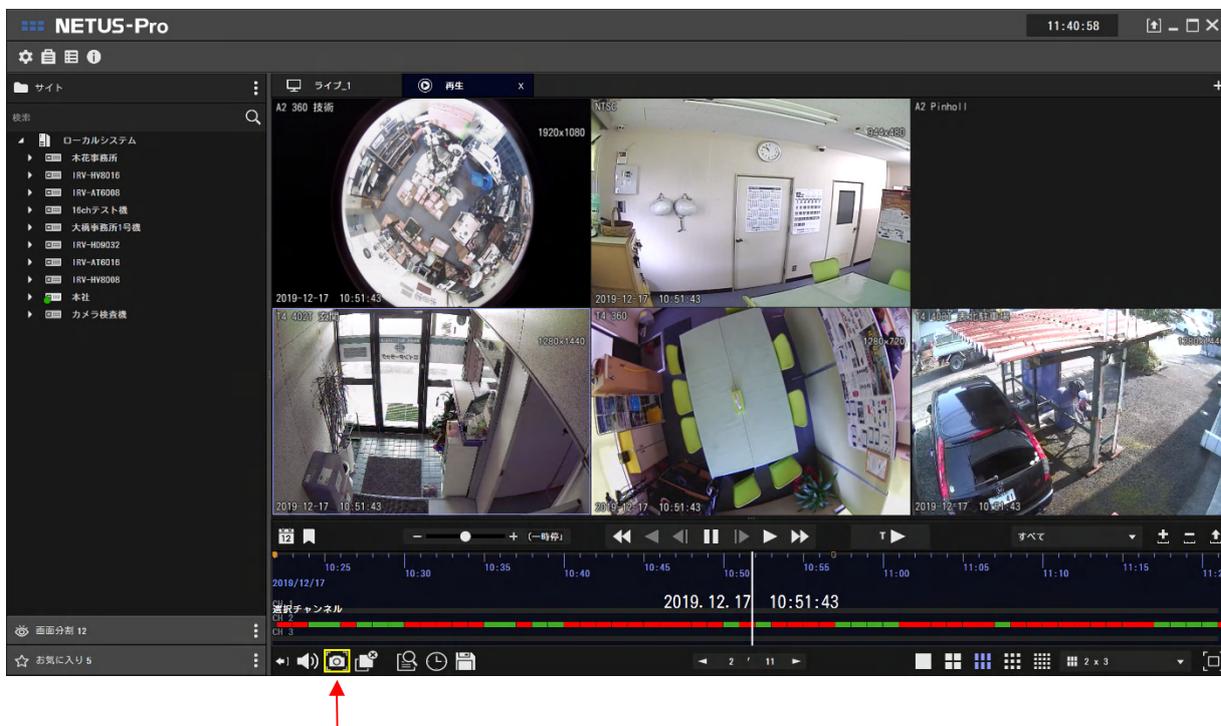
- IRV-HV8032 で 4Mpixel の解像度で録画されたチャンネルの場合、画面内のボタンまたは右クリックメニューによって保存されたスナップショットは、縦長の映像となり正しいアスペクト（横縦）比を維持できません。



3.7.2. ボトムメニューのアイコンをクリックする方法

ボトムメニューのアイコンをクリックする方法の場合、次の操作を実行することで現在表示されている映像を静止画で保存することができます。

- (1) ボトムメニューの📷 (スナップショット) ボタンをクリックする

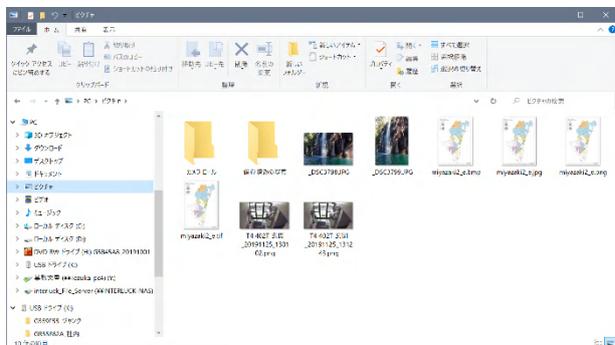


- (2) 「スナップショット保存完了」ダイアログが表示されたら次の処理を選択



(3) 画像が保存されたフォルダを開く

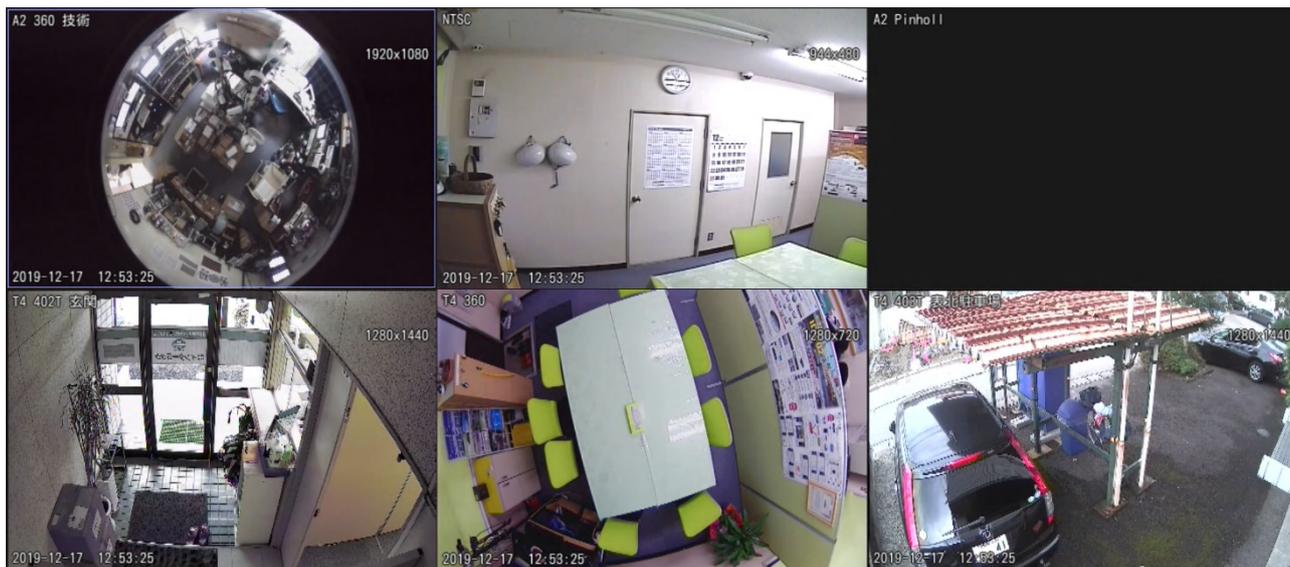
後から保存されたフォルダを開く場合は、エクスプローラから「ピクチャ」を開きます。(初期設定の場合)



初期設定からフォルダを変更して保存されたフォルダがわからない場合は環境設定から確認してください。



保存された画像は次のような画像になります。(画像サイズはPCの表示サイズに依存します)



< 注意 >

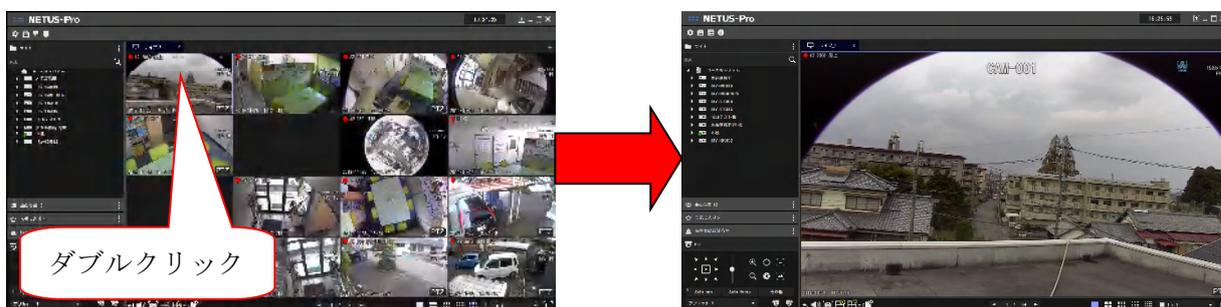
PCのモニター画面に表示されている映像から再生パネル内だけを切り取った映像が保存されます。従って次のような点にご注意ください。

- 画面内の OSD 表示の文字やアイコンも一緒に保存されます。
- 複数回の解像度変換が行われるため、粗い映像になる場合があります。
- アスペクト（横縦）比は画面表示の状態に従います。

3.8. デジタルズーム

デジタルズーム機能は、特定チャンネルの再生映像をモニター上で拡大表示する機能です。この機能は1画面表示の場合と一部の分割方法の場合に利用可能です。デジタルズームは次の手順で操作します。

(1) 見たいチャンネルを1画面表示にする



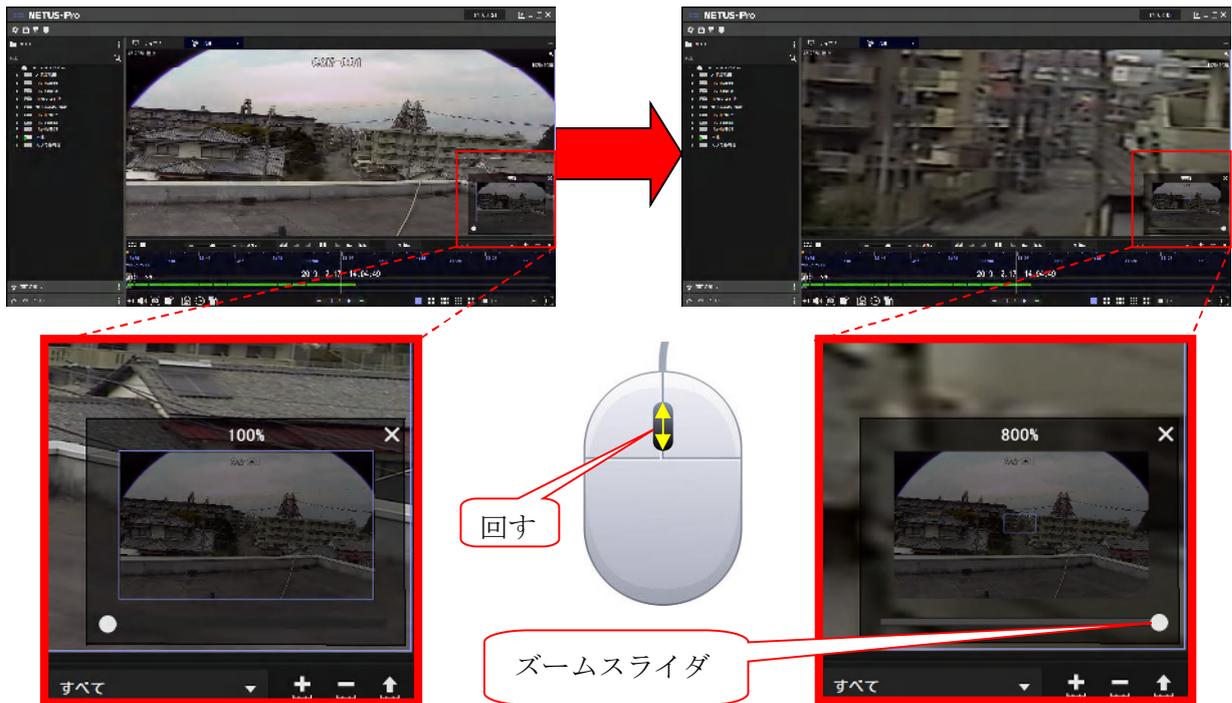
(2) デジタルズームを開始する

画面内にマウスポインタを合わせて🔍 (デジタルズーム) ボタンをクリックすると、画面右下にプレビューウィンドウが表示され、さらにその中にズームエリアボックスが表示されます。



(3) 倍率を決める

倍率はズームスライダを左右に動かすかマウスのスクロールホイールを回して決めます。
倍率は 100~800%の間で調整でき、ズームスライダを使用した場合は 70%刻みで、マウスのスクロールホイールを使用した場合は 140%刻みで変化します。

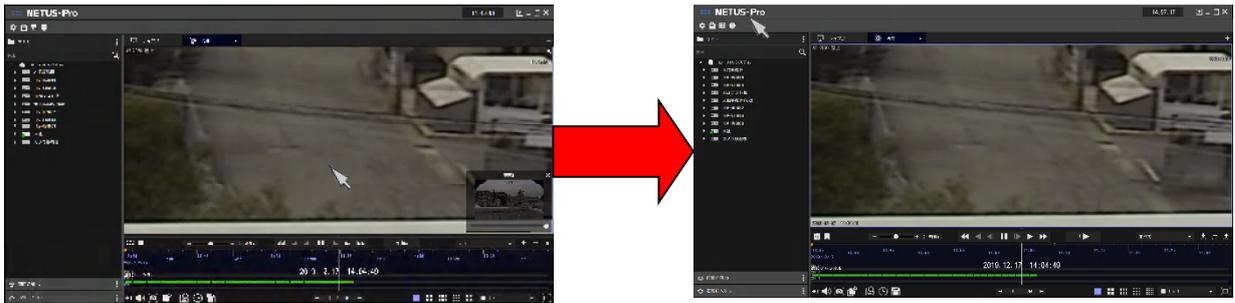


(4) ズームエリアボックスを見たい位置に合わせる

ズームエリアボックスを見たい位置に合わせるには、ズームエリアボックスをマウスでドラッグして見たい位置でドロップします。



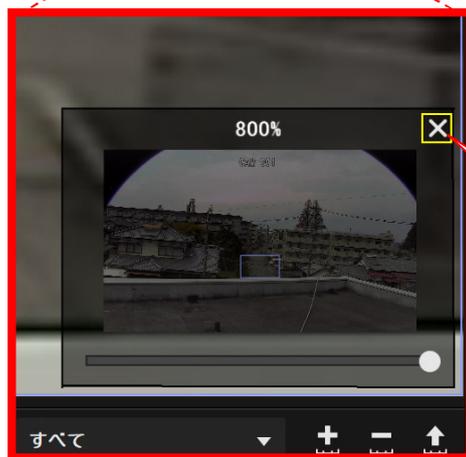
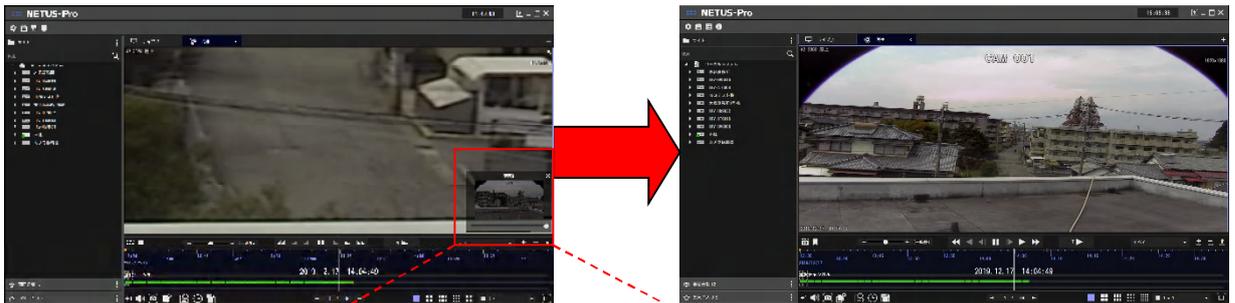
なお、プレビューウィンドウが邪魔になる場合は、マウスポインタを画面内から外側に移動することでプレビューウィンドウを消すことができます。



※ 図を見やすくするためマウスポインタは実際より大きく描いています。

(5) デジタルズームを終了する

プレビューウィンドウの右上にある✕ (終了) ボタンをクリックするとデジタルズームを終了します。



ここをクリック

3.9. イベント検索

イベント検索では、現在再生パネルに割り当てられている機器のログの中から、イベント録画を起こしたイベントまたはNETUS-Proでしおりを付けた日時をリスト形式で表示します。さらに、機器に録画されている映像を、それらのイベントが起きた日時から遠隔再生することも出来ます。

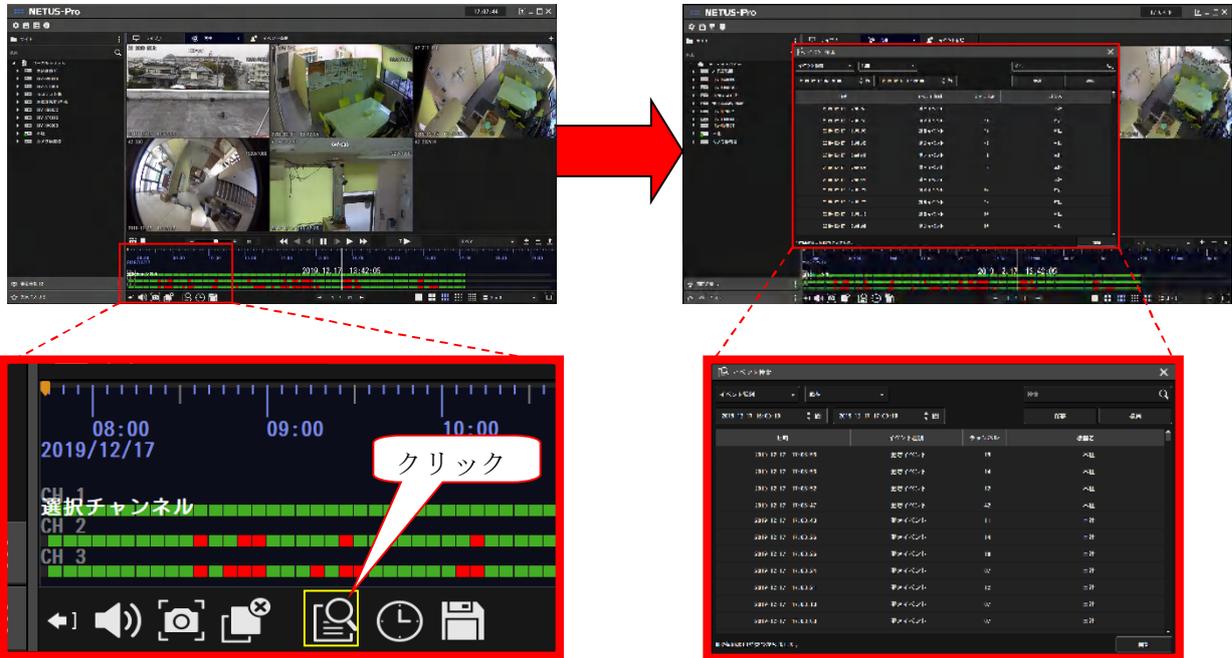
< 注意 >

- イベント検索機能では、イベント録画を伴わないイベント（機器の不調を警告するイベントや遠隔監視の通信ログ等）は表示されません。

イベント検索は、次の手順で実行します。

(1)  (イベント検索) をクリックする

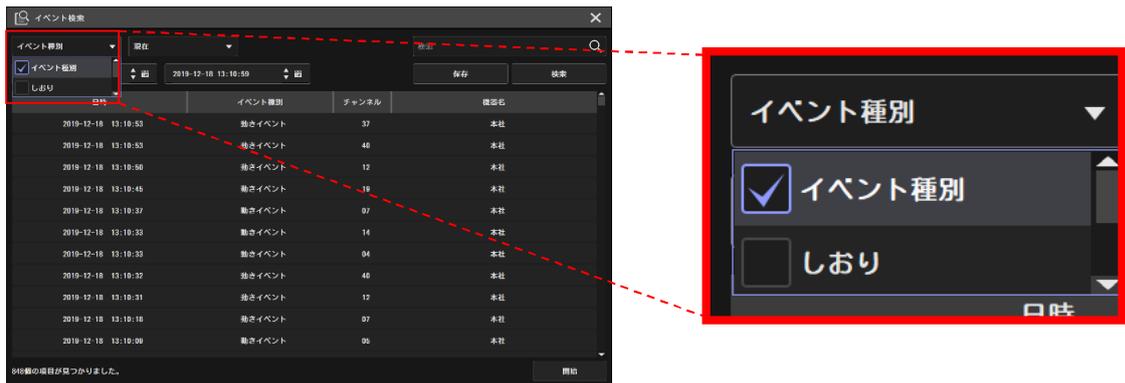
ボトムメニューの (イベント検索) ボタンをクリックすると「イベント検索」ウィンドウが開きます。



「イベント検索」ウィンドウを開いた直後には、最も新しい 1 時間のイベントを表示します。(最も新しい 1 時間のイベントが 1000 件を超える場合は最も新しい 1000 件を表示)

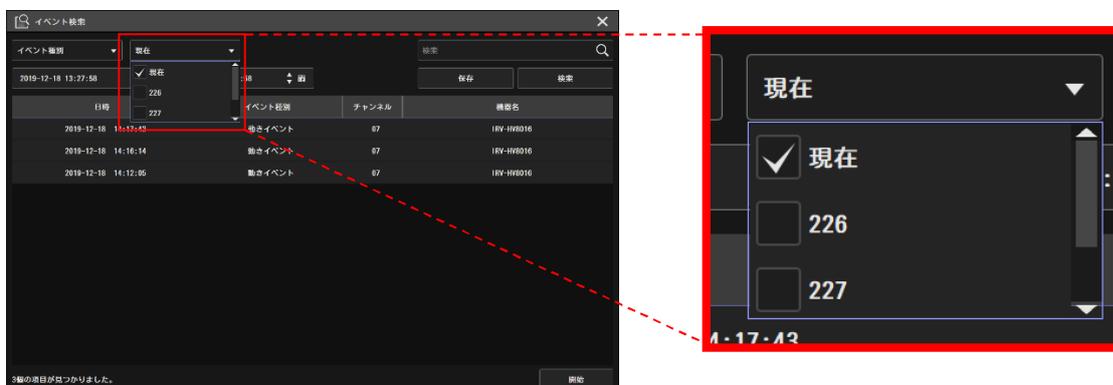
(2) 検索対象を選択する

録画イベントを検索する場合は「イベント種別」を、しおりを検索する場合は「しおり」を選択します。



(3) 必要に応じてタイムインデックスを選択する

機器の時計合わせによって、録画時刻に重複が生じた場合には、複数のタイムインデックスが生成されます。



タイムインデックスの番号は、現在録画のために使用中のタイムインデックスは「現在」と表示され、それ以外のタイムインデックスは数字で示されます。

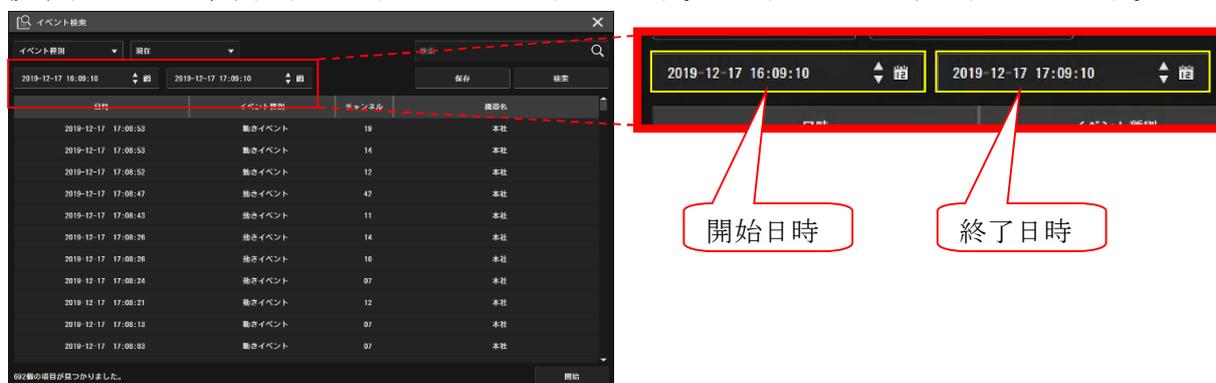
タイムインデックスの数字は大きい方が新しい録画映像です。

< 注意 >

- NETUS-Pro で表示されるタイムインデックスの番号と、機器の操作画面に表示されるタイムインデックスの番号には互換性はありません。

(4) 日時の範囲を指定する

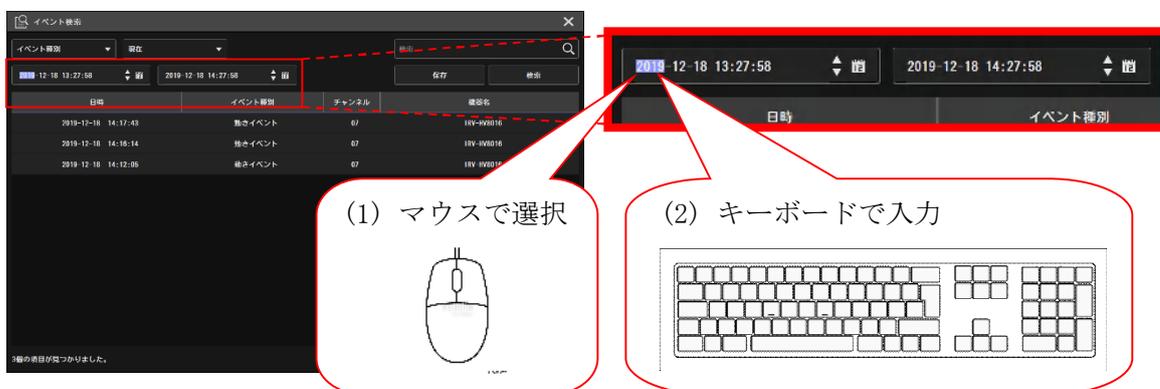
検索する日時の範囲を開始と終了の日時で指定します。左が開始日時で右が終了日時です。



範囲を指定する方法には、次の3つの方法があります。

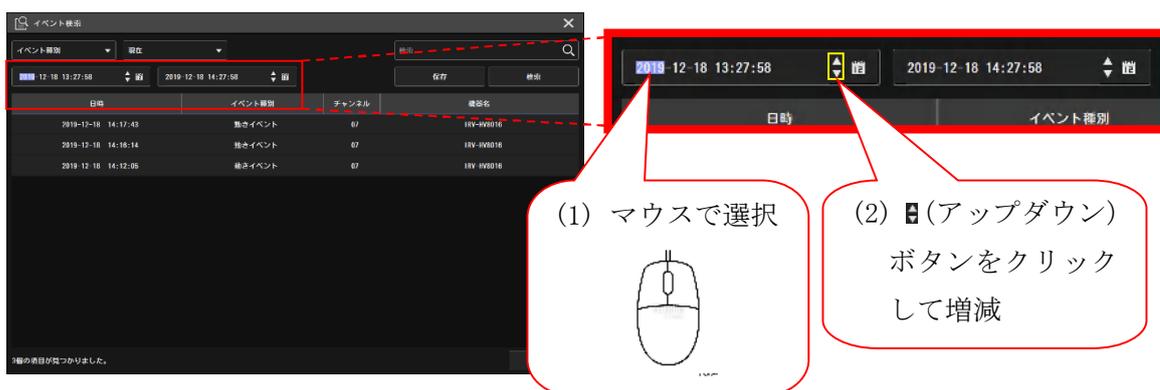
A) 数値をキーボードで入力する

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、キーボードの数字キーで入力します。この方法では、日付も時刻も入力可能です。



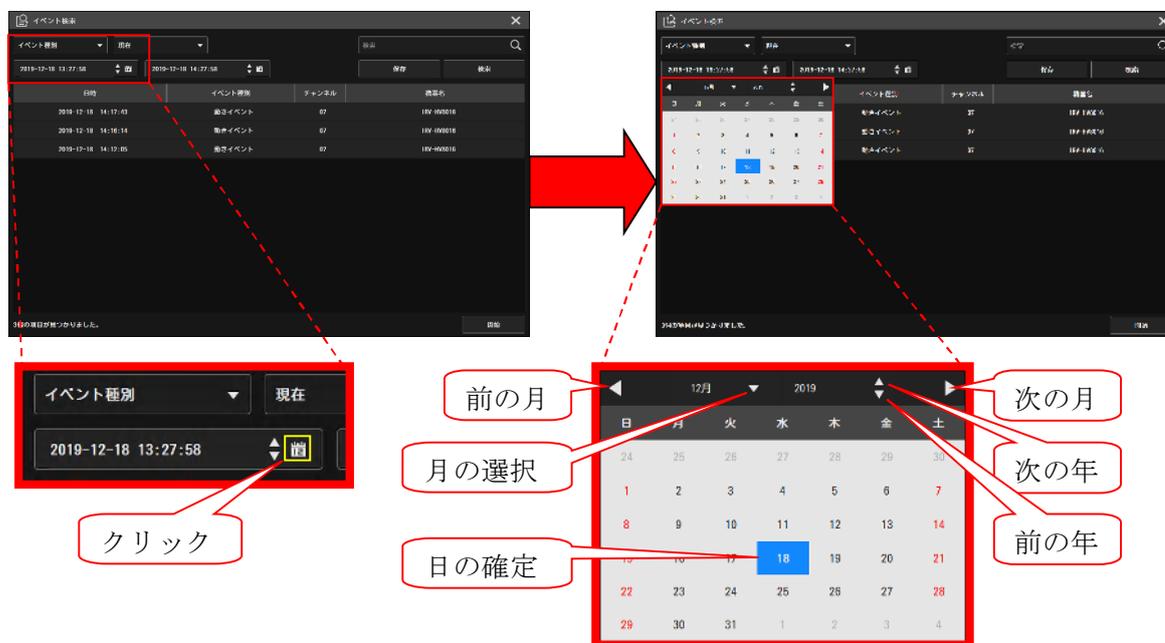
B)  ボタンで数値を増減する

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、日時表示の右側にある (アップダウン) ボタンで数値を増減させて日時を決めます。この方法では、日付も時刻も入力可能です。



C) カレンダーから選択する

☒ (カレンダー) ボタンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。この方法では日付は入力可能ですが、時刻は入力できません。時刻の入力は他の入力方法を併用してください。



前の図の説明では、開始日時を例に描いていますが、終了日時も右側のフィールドで同様の操作になります。

(5) 必要に応じて検索条件を入力する

イベントのログまたはしおりに含まれる文字列を条件に検索することが出来ます。何も入力しない場合は対象期間の全てのイベントまたはしおりが含まれます。

(6) **検索** ボタンをクリックする

この操作によって、これまでの手順で指定した(2)～(5)までの条件に一致する検索結果が最大1000件まで表形式で表示されます。

3.10. 日時指定検索

日時指定検索は、遠隔再生したい日時を直接キーボードから入力して、その日時の録画映像にジャンプします。

日時指定検索は、次の手順で実行します。

(1) 検索ボタンをクリック

ボトムメニューの検索ボタン（日時指定検索）をクリックすると「日時指定検索」ウィンドウが開きます。



(2) 再生したい日の日付を入力

日付を入力する方法には、次の2通りの方法があります。

A) キーボードから入力

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、キーボードの数字キーで入力します。



B) カレンダーで選択

☐ (カレンダー) ボタンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。



(3) 再生したい時刻を入力

時刻を入力する方法には、次の2通りの方法があります。

A) 数値をキーボードで入力する

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、キーボードの数字キーで入力します。



B)  ボタンで数値を増減する

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、時刻表示の右側にある  (アップダウン) ボタンで数値を増減させて時刻を決めます。



(4) **開始** ボタンをクリック

最後に **開始** ボタンをクリックすると、指定した日時にジャンプします。
し

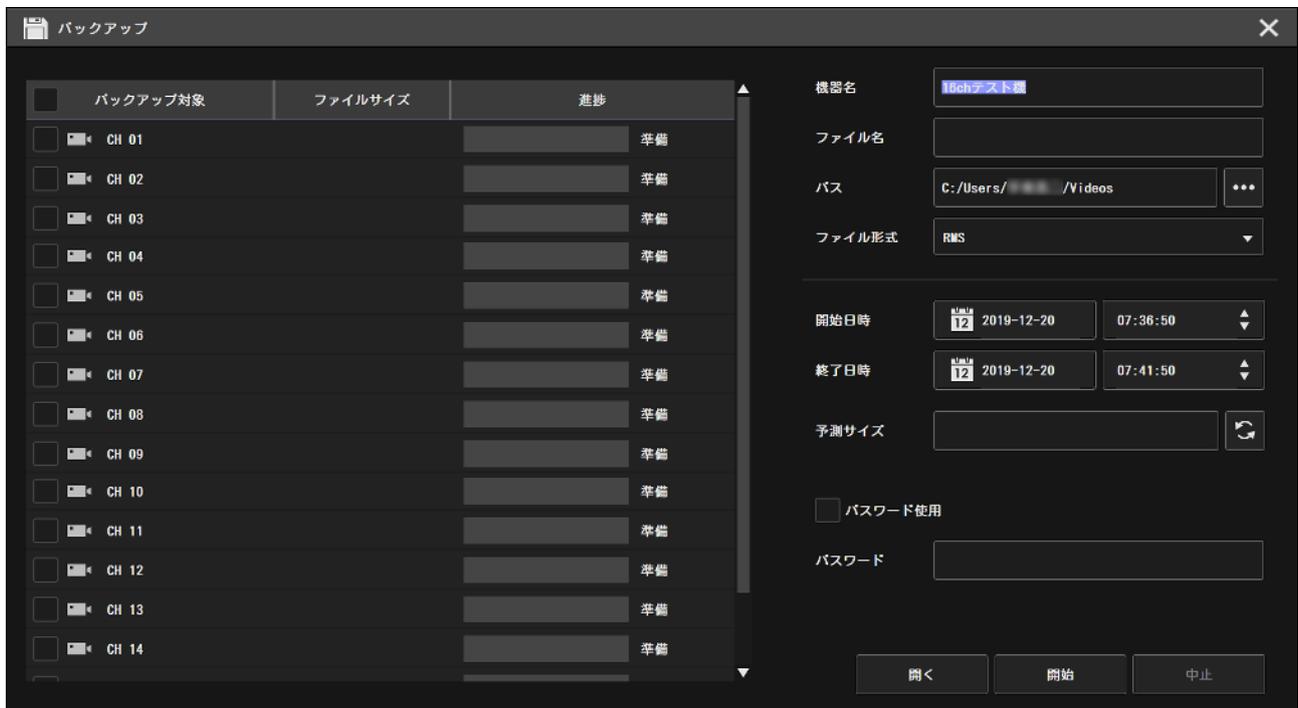


< 注意 >

- 実際の再生開始日時は、指定した日時から数秒程度前後することがあります。
- 指定した再生開始日時に映像が記録されていない場合、指定された日時の後の日時の中で最も古い映像から再生します。

3.11. バックアップ

バックアップ機能では、登録されている機器の録画用 HDD に記録されている映像を指定した範囲 NETUS-Pro を実行している PC の記憶装置に保存することが出来ます。



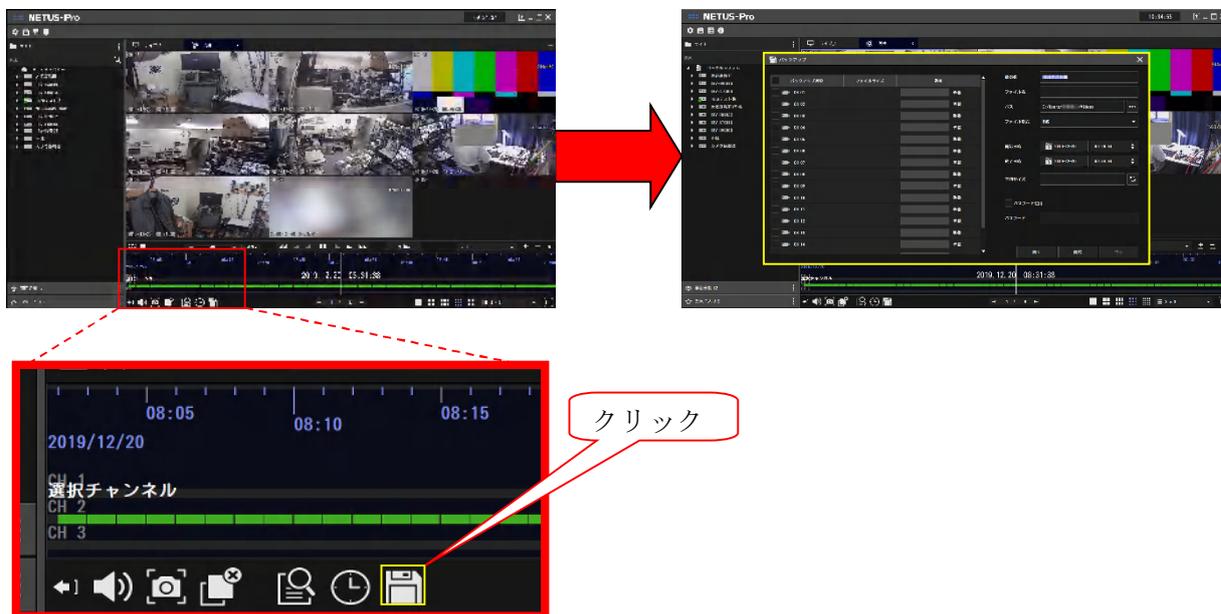
バックアップは、次の手順を実行します。なお、以降の説明は、再生パネルが既に開かれていて、機器がそのパネルに割り当てられている事を前提とします。

< 情報 >

- 再生パネルを追加するには「3.1 再生パネルの追加 (遠隔再生/バックアップの準備)」をご覧ください。[参照](#)→113 ページ
- 再生パネルに機器を割り当てるには「3.3.1.1 再生パネルへのチャンネルの割り当てと解除」をご覧ください。[参照](#)→121 ページ

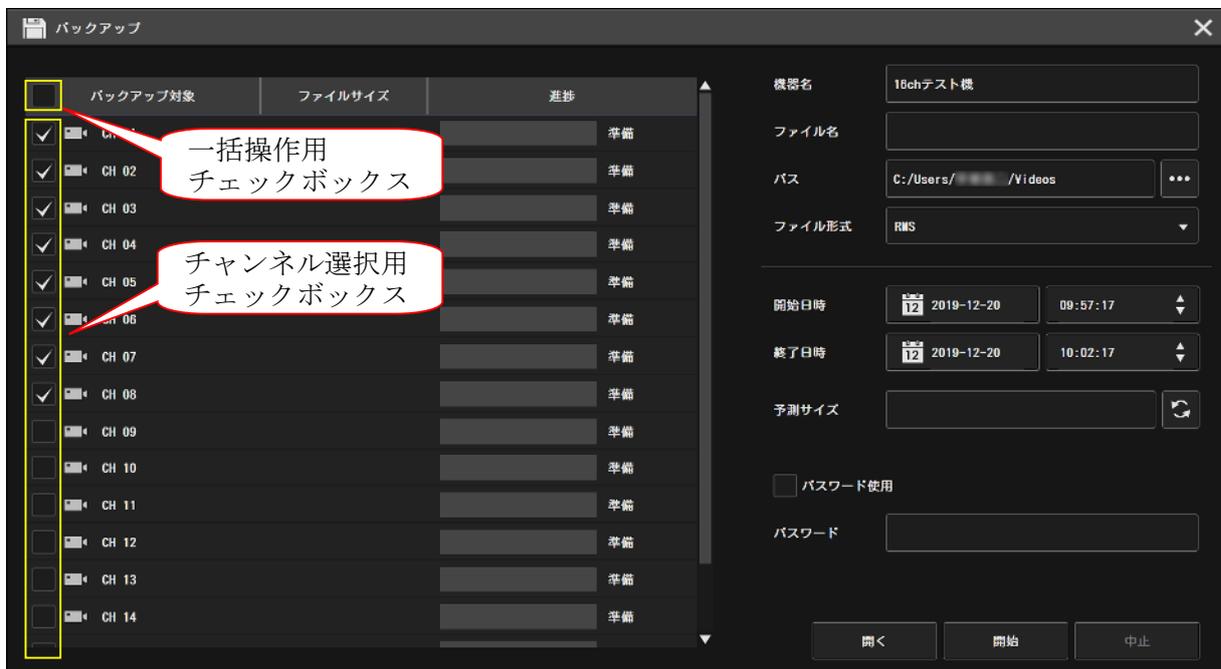
(1) 𠄎ボタンをクリック

ボトムメニューの𠄎 (バックアップ) ボタンをクリックすると「バックアップ」ウィンドウが開きます。



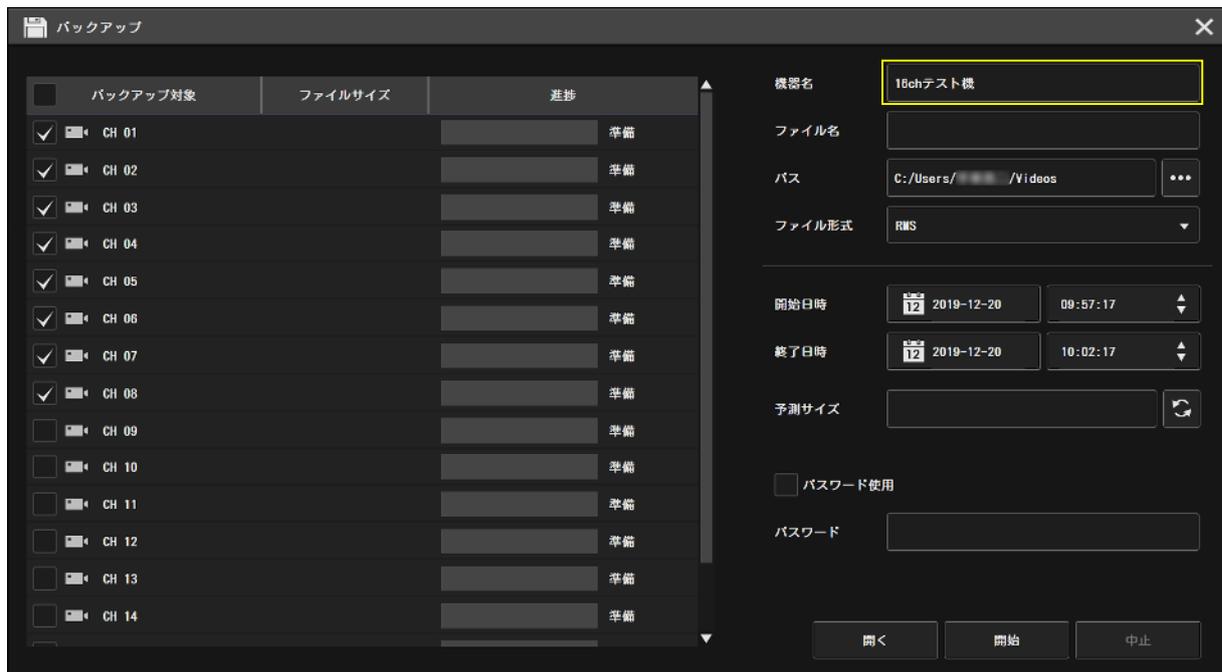
(2) バックアップ対象のチャンネルを選択

バックアップしたいチャンネルのチェックボックスをチェックします。一番上のチェックボックスは全チャンネルのチェックボックスをオン/オフできる一括操作のチェックボックスです。



(3) 機器名の入力（必要な場合）

バックアップデータを機器毎に分類するための機器名を入力します。

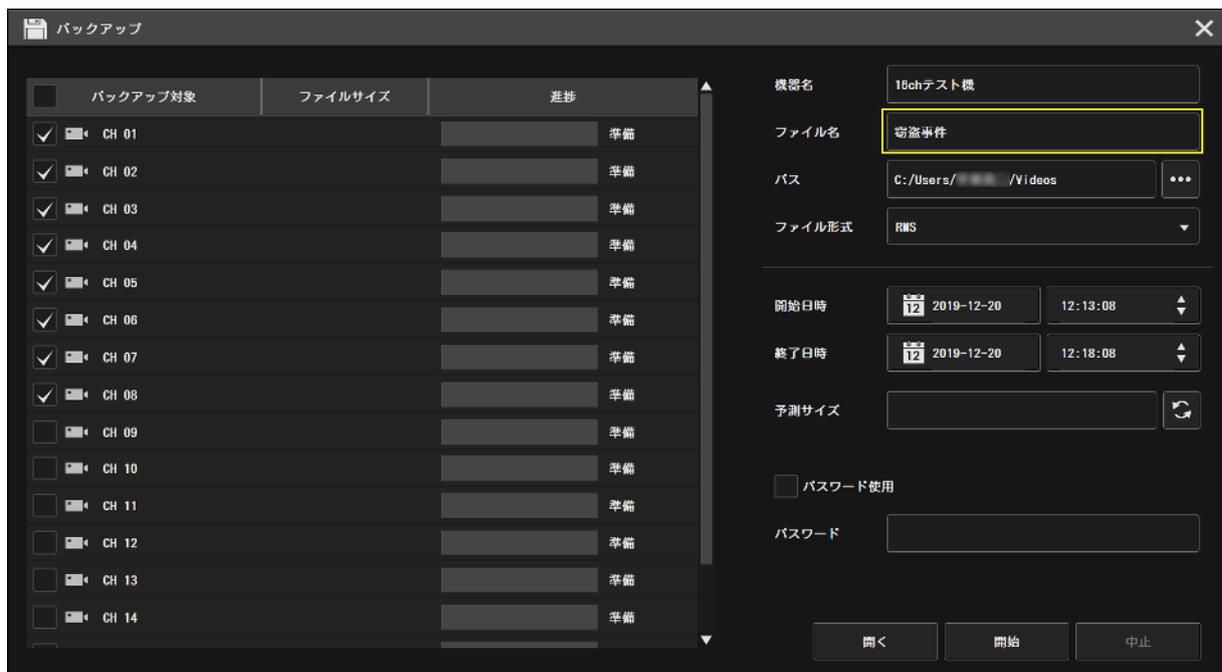


「バックアップ」ウィンドウを開いた時には NETUS-Pro に登録されている機器名が既に入力された状態になっていますので、変更の必要がなければ入力の必要はありません。

ここで入力された名称はバックアップファイルを格納するフォルダの名称に使用されます。

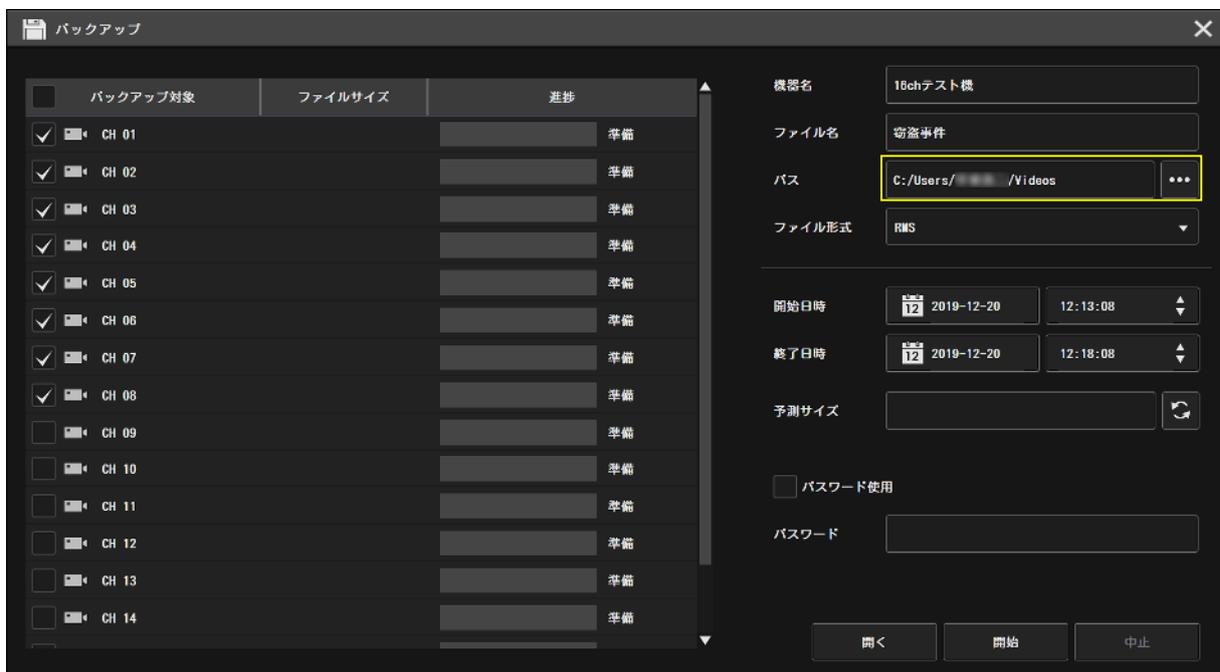
(4) ファイル名の入力 **<予定機能>**

ファイル名の一部にこの名称を付けることを意図された機能ですが、現在は開発中のため意図しない動作をすることがあります。使用しないでください。

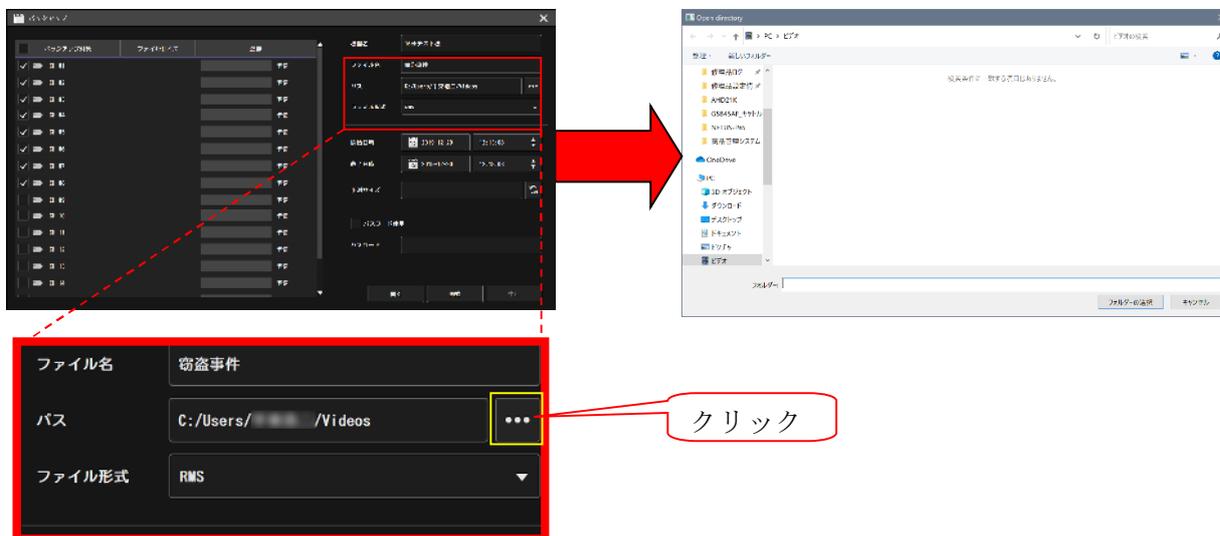


(5) パス（保存先）の選択

バックアップデータの保存先を指定します。この保存先の中に「機器名」で指定されたフォルダが作成され、そこにバックアップファイルが保存されます。

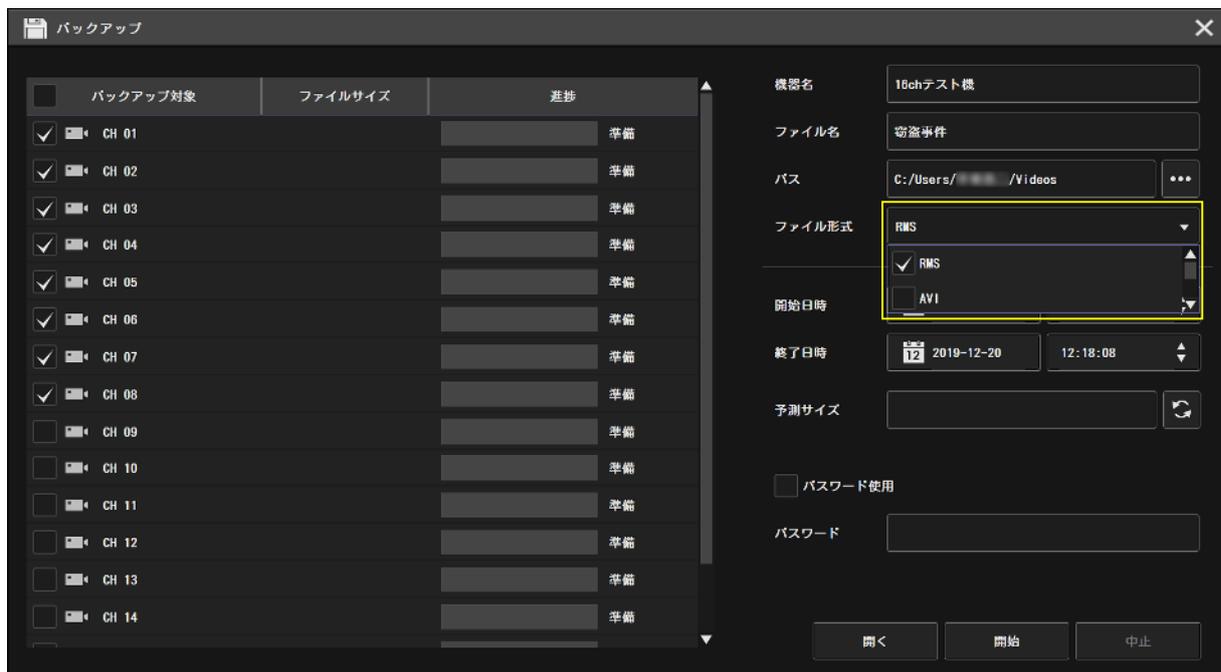


パスは文字列を直接編集して入力することも出来ますが、誤入力を防止するために...ボタンを使ってフォルダを選択する方法が便利です。



(6) ファイル形式の選択

バックアップするファイルのファイル形式を選択します。

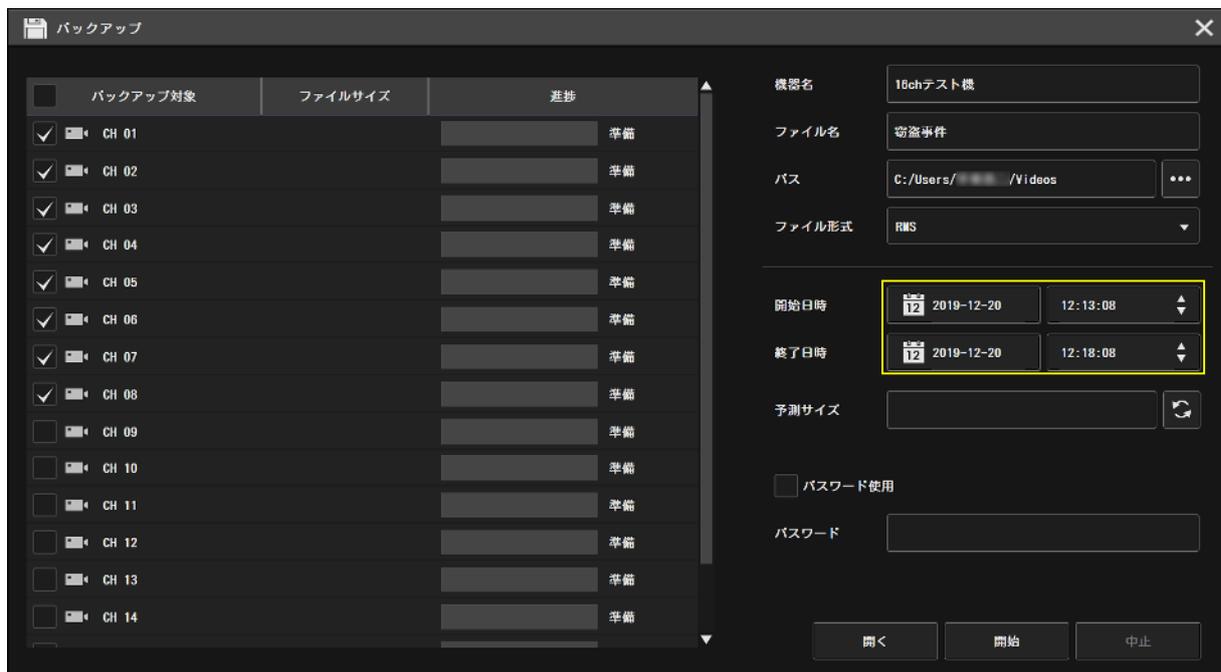


それぞれのファイル形式には長所と短所がありますので、次表で確認して適切なファイル形式をご利用ください。

ファイル形式	特徴
RMS 形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器専用の動画ファイル形式です。 ● 録画された日時表示と一緒に複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ます。 ● 録画映像の再生にはWindows用の専用ソフトウェア「BackupPlayer.exe」が必要です。「BackupPlayer.exe」はバックアップ時に同時にインストールされます。 ● Windows以外のOSでの再生はサポートされていません。
AVI 形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般に広く普及した汎用の動画ファイル形式です。 ● 録画された日時を表示することや複数のチャンネルの映像を同時に見ることが出来ません。 ● 録画映像の再生には汎用のH.264・H.265コーデックのAVIファイルを再生可能な動画再生ソフトが利用出来ます。「BackupPlayer.exe」は、AVI形式のファイルを再生することは出来ません。 ● Windows以外のOSであっても、H.264・H.265コーデックのAVIファイルを再生可能な動画再生ソフトがあれば再生出来る場合があります。

(7) 開始日時と終了日時の指定

バックアップ開始日時と終了日時を指定します。



日付の指定には次の2通りの方法があります。

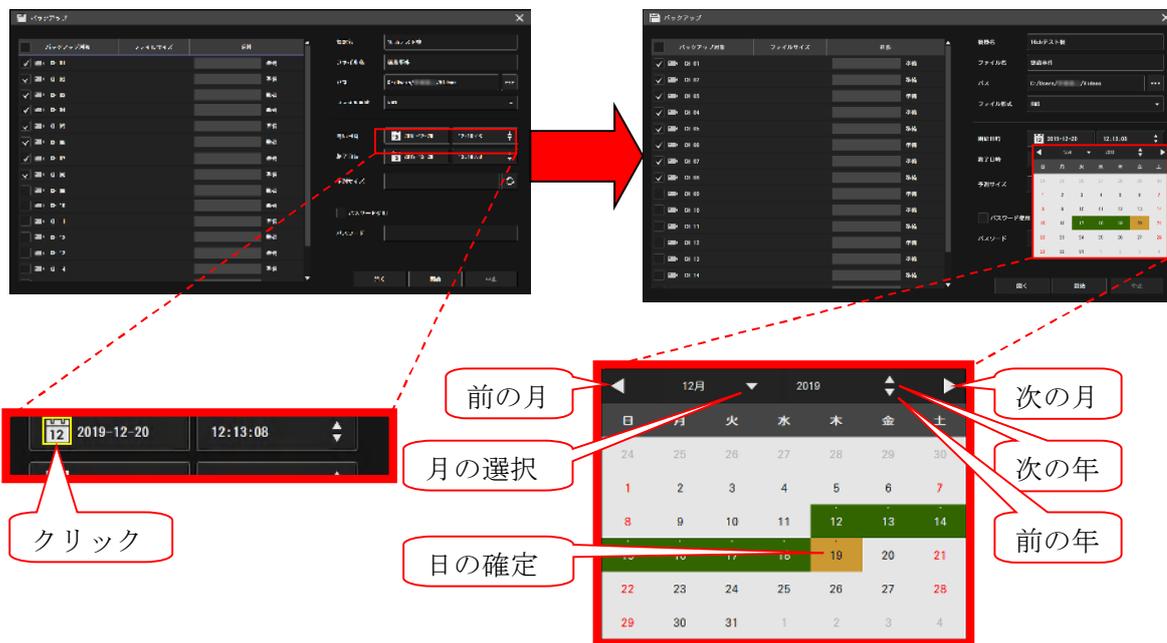
A) キーボードから入力

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、キーボードの数字キーで入力します。



B) カレンダーで選択

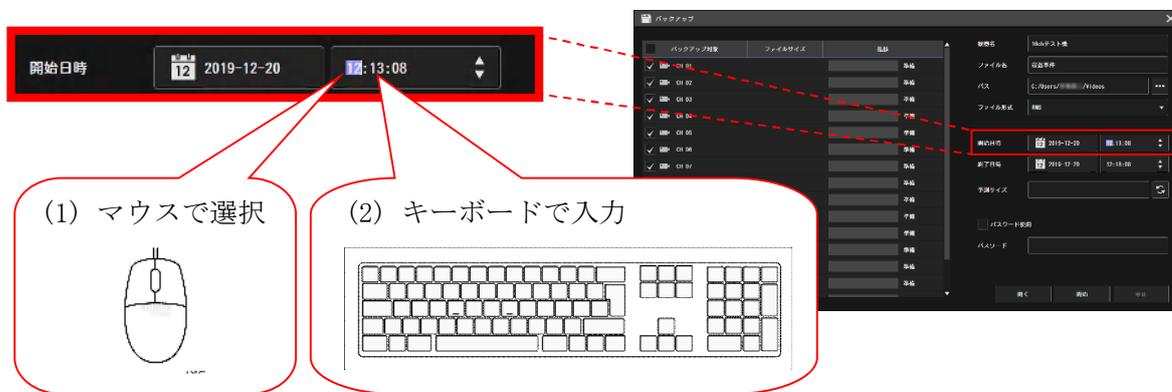
☐ (カレンダー) ボタンをクリックしてカレンダーを開き、日付を選択します。



時刻の指定には次の2通りの方法があります。

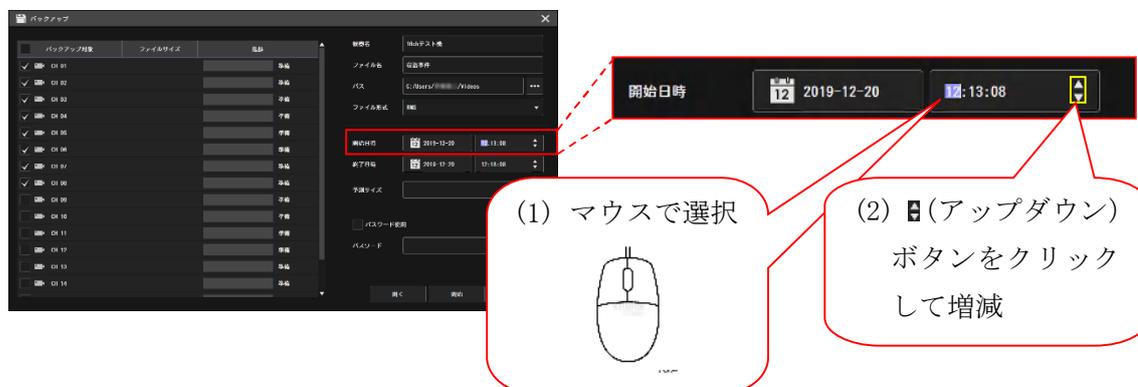
A) 数値をキーボードで入力する

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、キーボードの数字キーで入力します。



B)  ボタンで数値を増減する

変更したい数値をマウスでクリックして選択状態にし、時刻表示の右側にある  (アップダウン) ボタンで数値を増減させて時刻を決めます。

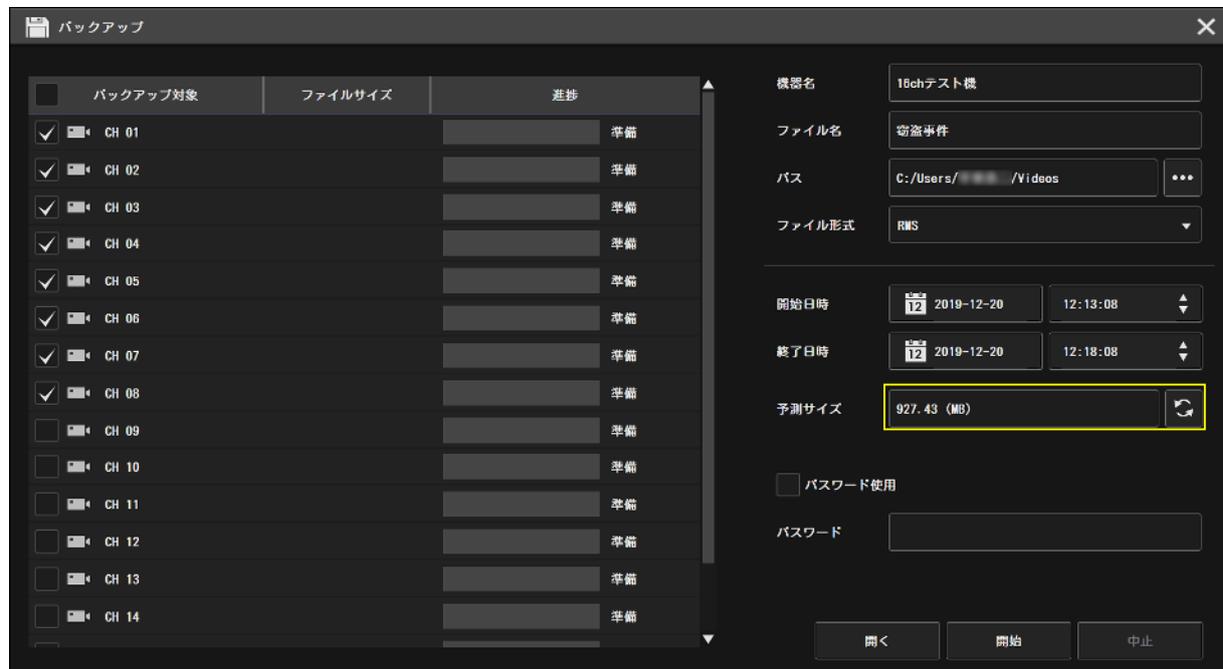


前の図では再生日時を例に描いていますが、終了日時の場合も同様です。

(8) データサイズの確認

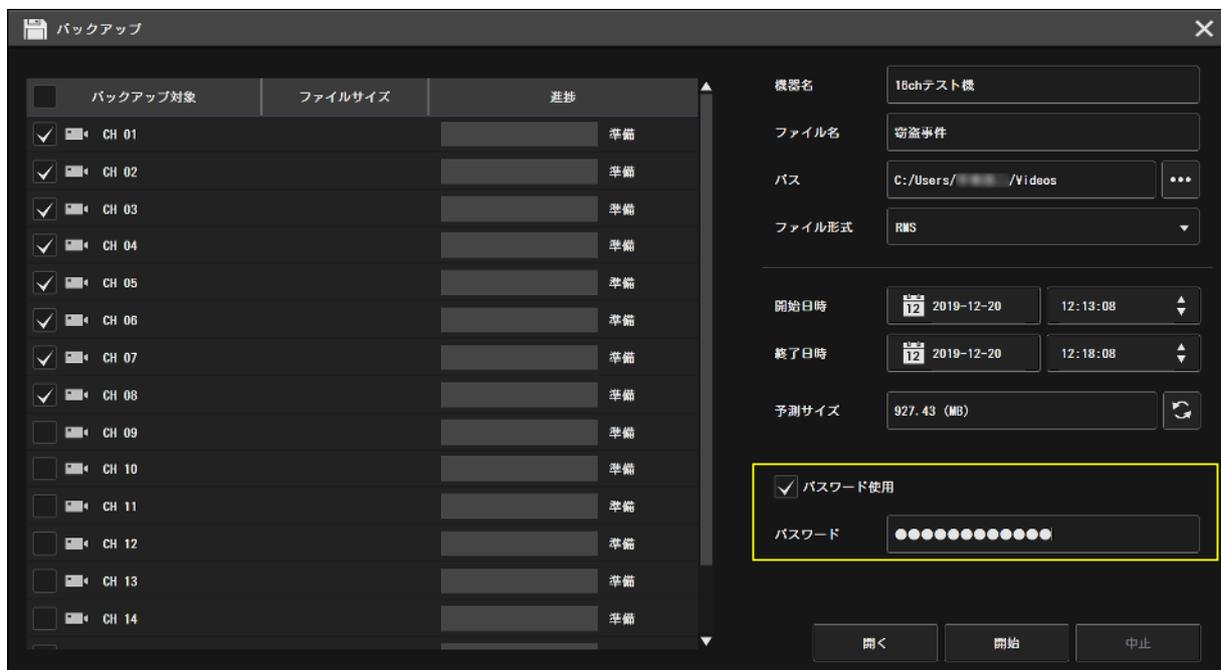
バックアップされるファイルの大きさを予測します。多チャンネルの動画を長時間バックアップすると、非常に大きなデータになることがありますので、バックアップを実行する前に PC の記憶装置の空き容量より十分に小さい事を必ず確認してください。

データサイズは、バックアップの条件を全て入力し終えてから  (データサイズ確認) ボタンをクリックすると表示されます。



(9) パスワードの設定（必要な場合）

バックアップされたデータが、みだりに再生されないように再生用のパスワードを設定することが出来ます。パスワードを使用する場合には「パスワード使用」のチェックボックスにチェックを入れ、「パスワード」の欄にパスワードの文字列を入力してください。

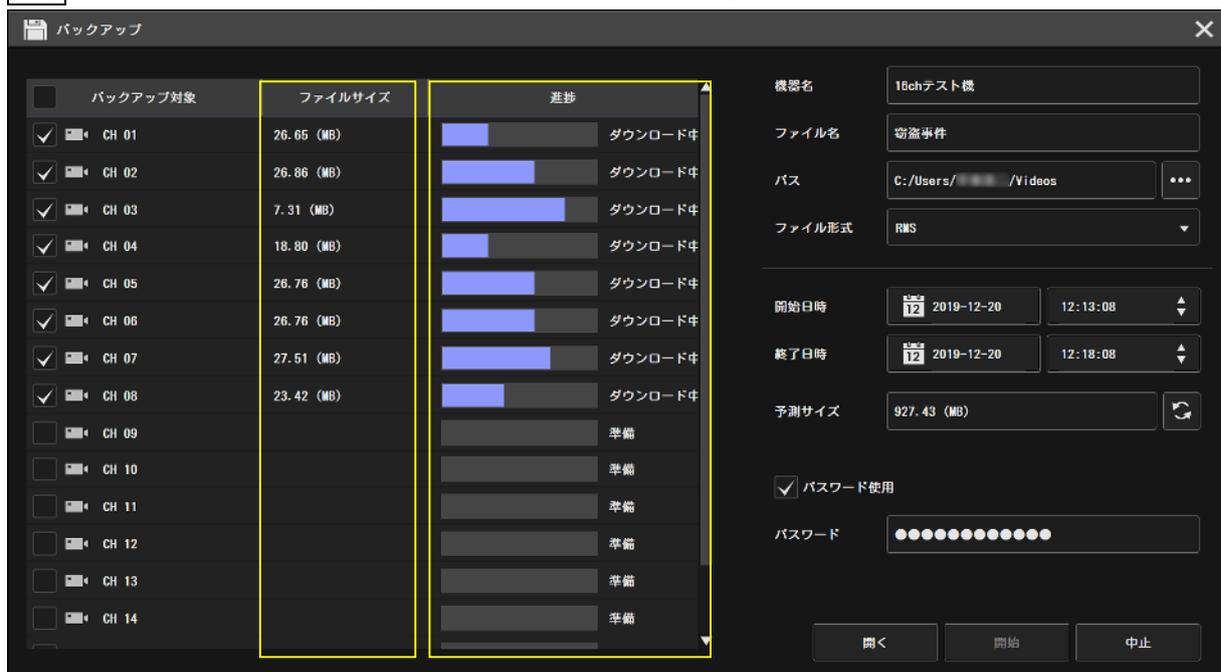


< 注 意 >

● パスワードは RMS 形式の機能です。AVI 形式では利用出来ません。

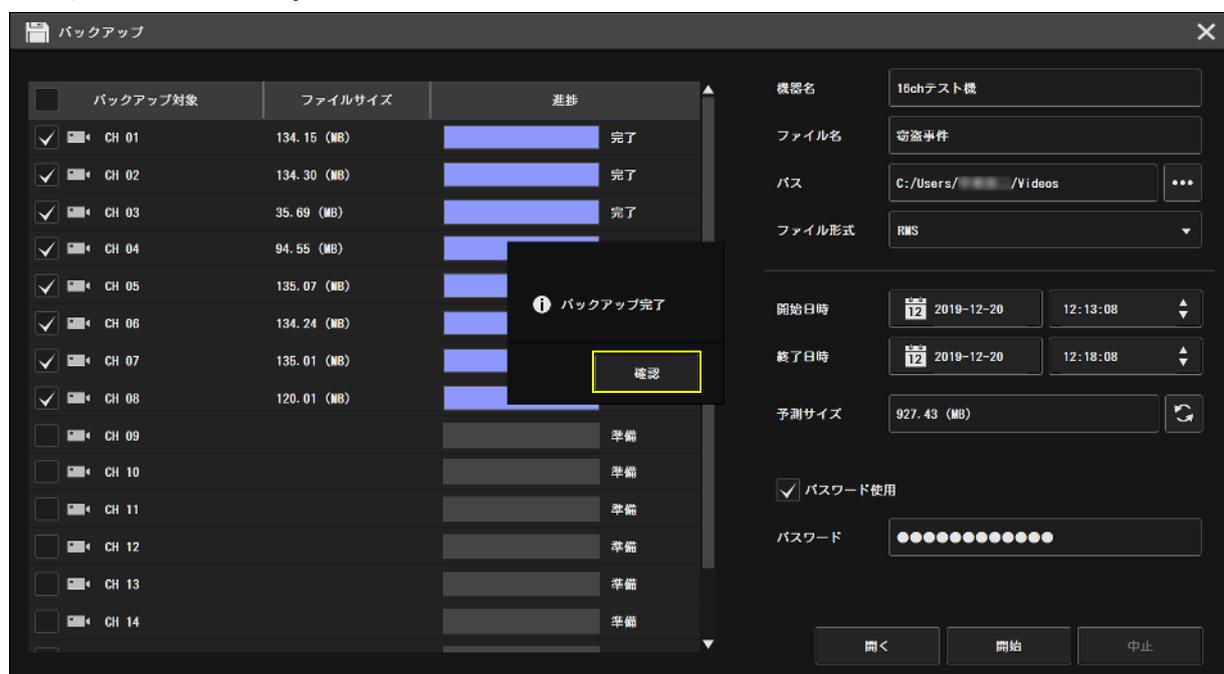
(10) バックアップを開始する

開始 ボタンをクリックして、バックアップを開始します。



バックアップ中は進捗のグラフが絶えず変化します。このグラフは全体の進捗ではなく、小分けさ

れたファイルの進捗なので、バックアップ中は同じ動作を繰り返しているように見えますが、異常ではありません。「ファイルサイズ」は各チャンネルの全体の進捗を示しています。バックアップが完了すると「バックアップ完了」ダイアログが表示されますので、**確認** ボタンをクリックしてください。



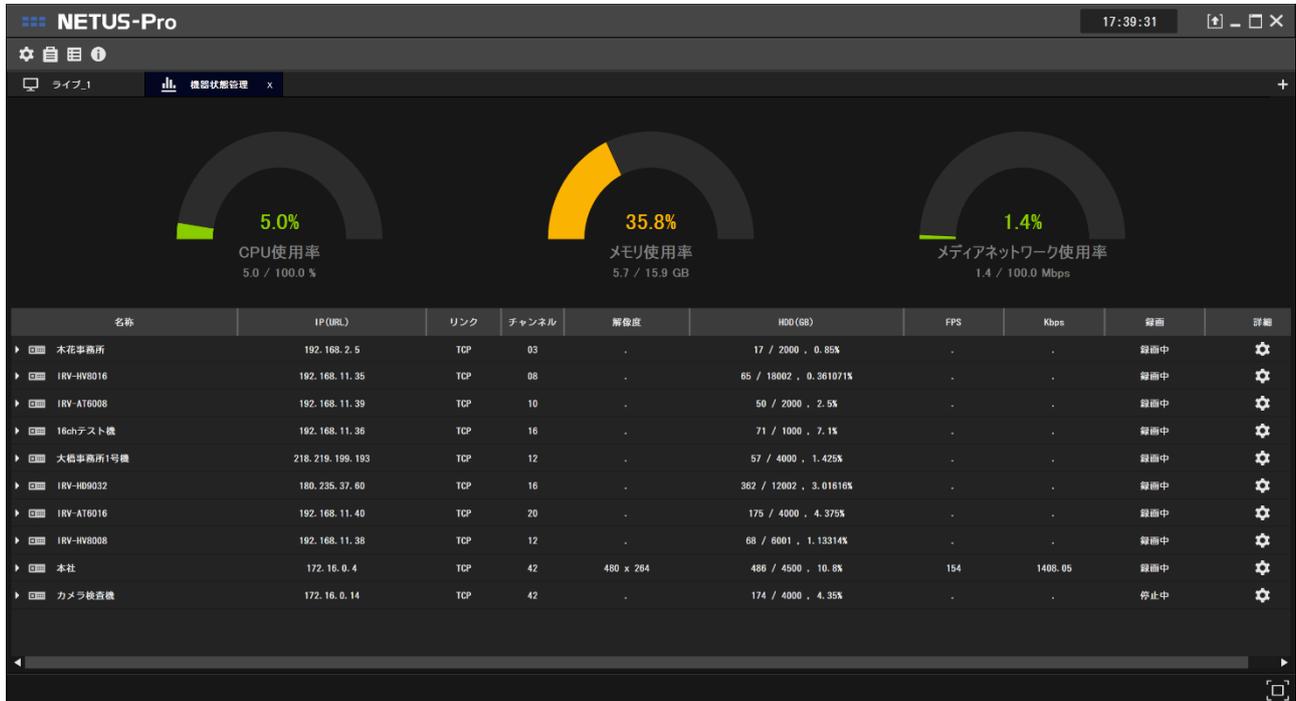
< 注意 >

- バックアップ機能は機器との接続方式が P2P 方式の場合には利用出来ません。バックアップ機能を利用したい場合は DDNS 方式か IP アドレスを指定して接続する方式をご利用ください。
- ファイルサイズの確認は確実に実施してください。初期設定の「ビデオ」フォルダは Windows の一般的な環境ではシステムドライブに作成されています。**システムドライブの空き容量が不足すると、Windows を起動出来なくなるなどの深刻なシステムトラブルを起こす場合があります**ので、特にご注意ください。
- パスワードの文字列に使用可能な文字は、8 文字以上 12 文字以内の半角英数と一部の特殊記号です。
- パスワードの文字列には、アルファベット・数字・特殊記号 の 3 種の文字種を必ず 1 文字以上含んでいなければなりません。
- パスワードの文字列には、同じ文字が 3 回以上含まれてはいけません。
- 「バックアップ完了」ダイアログを **確認** ボタンをクリックして閉じると、バックアップウィンドウ内の進捗を示す表示は全て消去されます。

4. 機器状態管理

機器状態管理機能は、登録されている各機器の動作状態を一覧表形式で表示することができます。また同時に NETUS-Pro を実行している PC のリソース情報（CPU 使用率・メモリ使用率・メディアネットワーク使用率）も同時に表示します。

機器状態管理パネルには、サイドメニューとボトムメニューはありません。

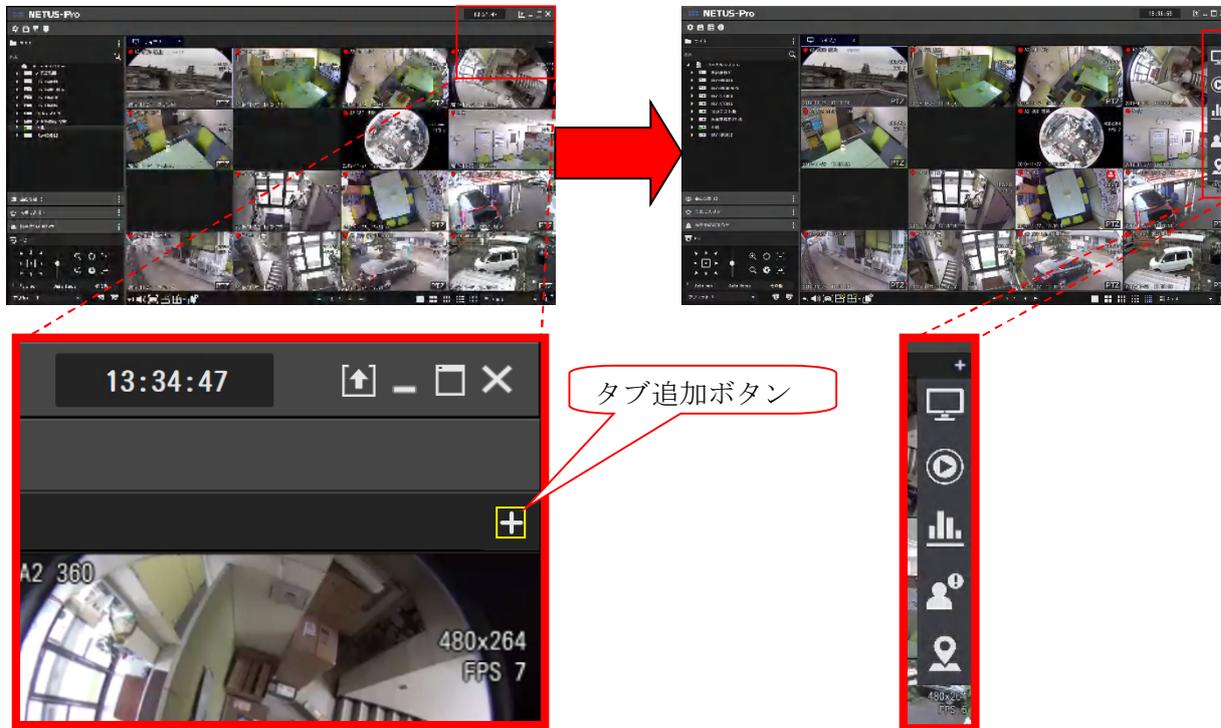


4.1. 機器状態管理パネルの追加

機器状態管理パネルは次の手順で追加します。

(1) **+** ボタンをクリック

+ (タブ追加ボタン) をクリックすると、その下にメニューバーが表示されます。



(2) **■** (状態) をクリック

メニューバー内の **■** (状態) をクリックすると、タブメニューに「機器状態管理」タブが現れます。



機器状態管理パネルが表示され、機器状態管理機能が使える状態になります。

＜ 注 意 ＞

- 機器状態管理パネルは2つ以上作ることは出来ません。

4.2. 機器状態管理パネルの表示と操作

機器状態管理パネルには、パネル上部は NETUS-Pro を実行している PC のリソースに関する情報が表示されます。パネル下部には NETUS-Pro に接続されている各機器に関する情報が表示されます。



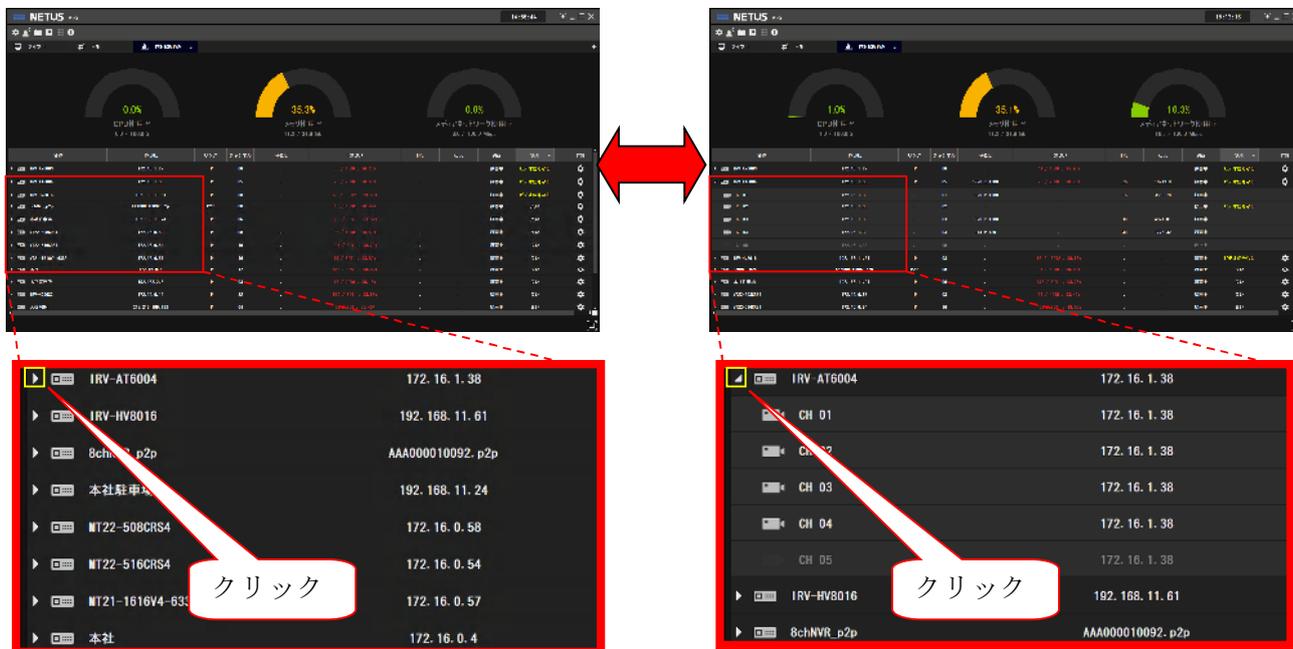
4.2.1. リソースに関する表示

リソースに関する次表の内容を表示します。

項目	説明
CPU 使用率	PC 全体の CPU 使用率を表示します。
メモリー使用率	PC 全体のメモリー使用率を表示します。
メディアネットワーク使用率	NETUS-Pro が使用するネットワークの使用率を表示します。

4.2.2. 機器の状態に関する表示

機器の状態は一覧表形式で表示されます。また、各機器の名称の左側にある▶ (展開) ボタンをクリックすると、各機器に接続されたカメラ毎の情報も表示されます。展開中は名称の左側のボタンが▣ (折畳み) ボタンに変化します。



一覧表の各項目の説明は次表に示します。

項目	説明
名称	各機器を NETUS-Pro に登録した登録名を表示します。
IP(URL)	各機器のアドレス (IP, DDNS, P2P) を表示します。
リンク	機器との接続状態を表示します。
チャンネル	各機器のチャンネル数を表示します。(IRV-HV8000, AT6000, A7000 シリーズではオペレーションタイプによって変化します。)
解像度	現在表示しているライブストリームの解像度を表示します。 分割画面表示の場合は 480×264 になります。 1 画面表示の場合は、カメラの解像度と機器のネットワーク設定によって異なります。
HDD (GB)	機器の録画用 HDD の容量を “空き容量/全容量” の形式で表示します。単位はギガバイト (GB) です。 録画用 HDD を複数搭載する機器の場合、全容量はそれらの合計容量になります。
FPS	機器または各カメラのライブストリームの毎秒フレーム数を表示します。
Kbps	機器または各カメラのライブストリームの毎秒データ量を Kbps (キロビット毎秒) の単位で表示します。
録画	機器の現在の録画状態を表示します。 録画中：現在録画動作中 (イベント録画待機状態を含む) です。 停止中：現在録画停止中です。
詳細	機器の▶ ボタンをクリックすると「機器状態詳細」ウィンドウを開きます。このボタンは機器の行にはありますがカメラの行にはありません。

4.2.3. 機器状態詳細

「機器状態詳細」ウィンドウには、次表の項目があります。



項目	説明
機器名	各機器を NETUS-Pro に登録した登録名を表示します。
IP (URL) MAC	カンマ「,」で区切られた左側に各機器のアドレス (IP, DDNS, P2P) を表示します。右側には MAC アドレスを表示します。 IRV-HV8000 シリーズの場合は、ETHERNET 1 ポートの MAC アドレスが表示されます。
最大チャンネル数	各機器のチャンネル数を表示します。(IRV-HV8000, AT6000, A7000 シリーズではオペレーションタイプによって変化します。)
解像度	現在表示しているライブストリームの解像度を表示します。 分割画面表示の場合は 480×264 になります。 1 画面表示の場合は、カメラの解像度と機器のネットワーク設定によって異なります。
NTSC/PAL	各機器のビデオモードを表示します。日本市場向けの機器の場合「NTSC」と表示されます。
HDD (GB)	カンマで区切られた最初の項目には、機器の録画用 HDD の容量を “空き容量 / 全容量” の形式で表示します。単位はギガバイト (GB) です。 録画用 HDD を複数搭載する機器の場合、全容量はそれらの合計容量になります。 2 番目の項目には空き容量の全容量に対する割合をパーセントで示した値とカッコ内に映像が録画された期間が表示されます。 3 番目の項目に「上書き」と表示されている場合は、機器のストレージ設定で上書き録画がオンに設定されていることを示します。上書き録画がオフの場合は空欄になります。
録画	機器の現在の録画状態を表示します。 録画中：現在録画動作中 (イベント録画待機状態を含む) です。 停止中：現在録画停止中です。

5. イベント管理

イベント管理パネルでは、イベント設定に従って NETUS-Pro で実行されたイベントのログを確認することが出来ます。

イベント設定については「7.1.2 イベント (イベントアクション)」のページをご覧ください。

[参照](#)→209 ページ

< 注意 >

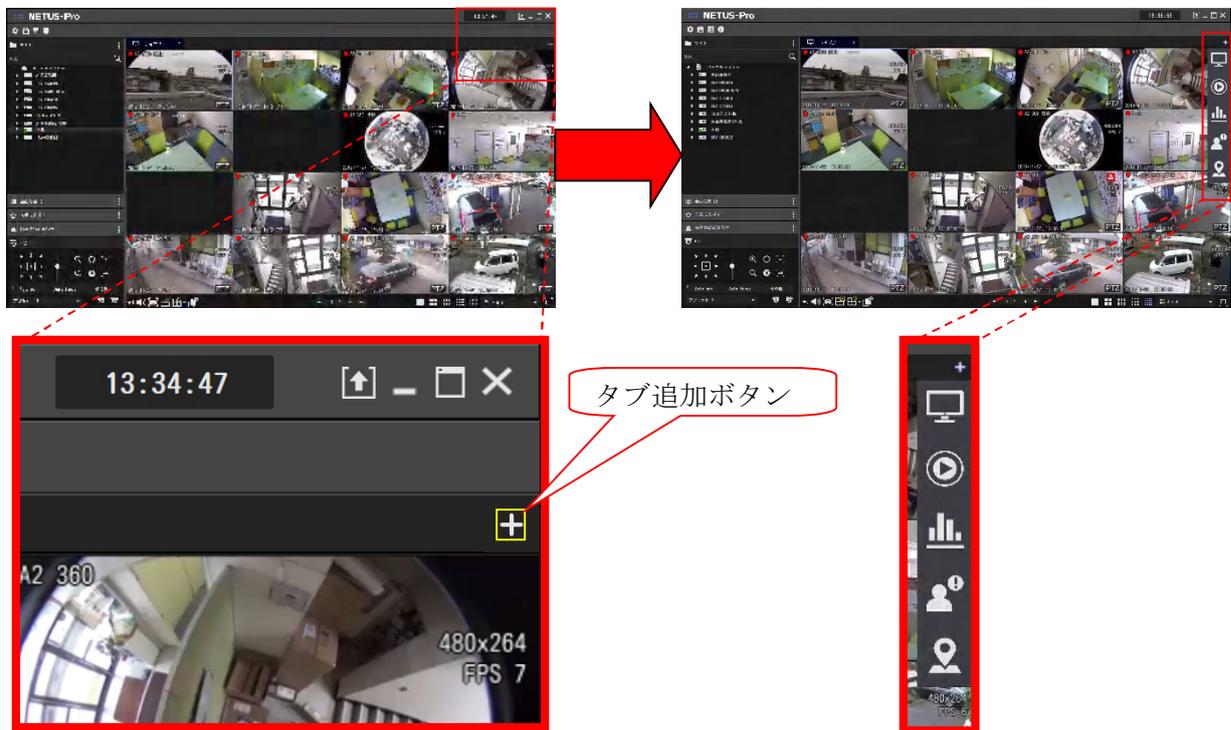
- イベント設定に何も登録されていない状態では、ここにログは表示されません。

5.1. イベント管理パネルの追加

イベント管理パネルは次の手順で追加します。

(1) タブ追加ボタンをクリック

+ (タブ追加) ボタンをクリックすると、その下にメニューバーが表示されます。



(2) メニューバーから **+** を選択

メニューバー内の **+** (イベント管理) をクリックすると、タブメニューに「イベント管理」タブが現れます。



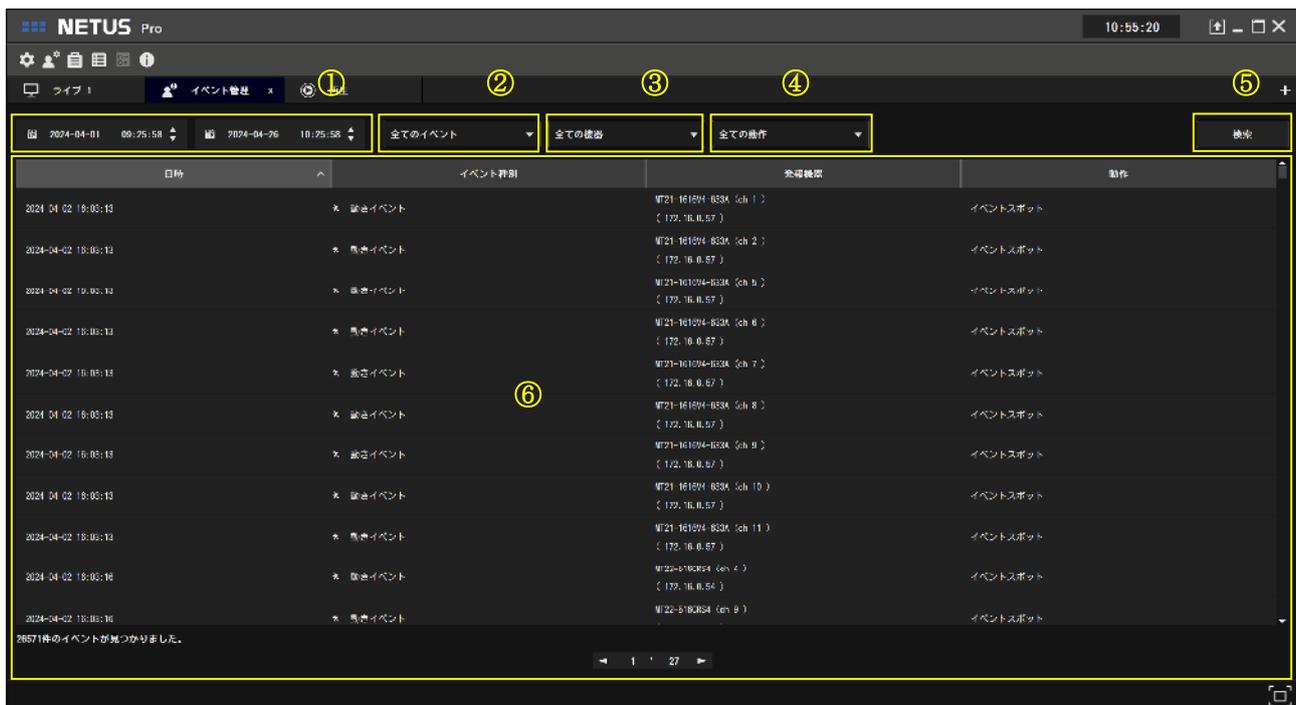
イベント管理パネルが表示され、イベント管理機能が使える状態になります。

< 注意 >

- イベント管理パネルは2つ以上作ることは出来ません。

5.2. イベント管理パネルの表示と操作

イベント管理パネルは次の図のような構成になっています。



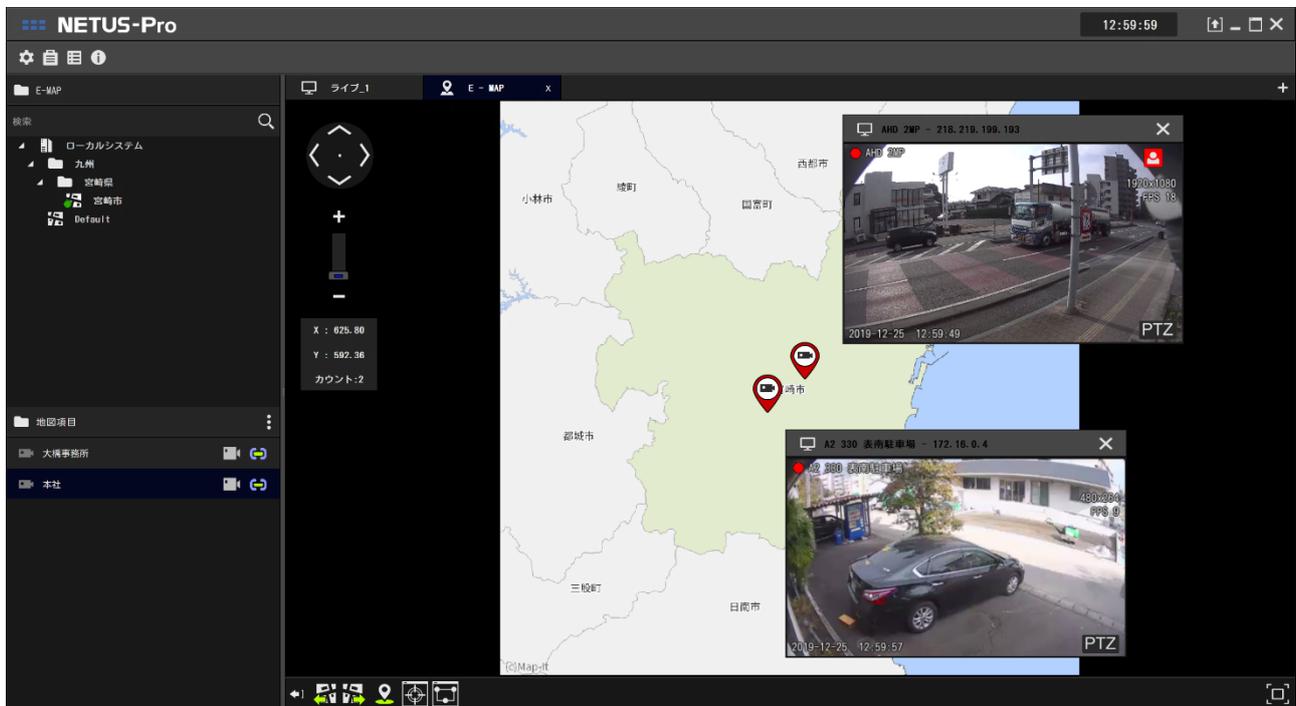
番号	項目	説明
①	開始日時 終了日時	ログの表示開始日時（左）と表示終了日時（右）を入力します。
②	イベント選択	NETUS-Pro がイベントを実行するきっかけとなったイベントの種類を「全てのイベント」「モーション」「センサー」「デバイスアラーム」「警備」から選択します。
③	機器選択	NETUS-Pro がイベントを実行するきっかけとなった機器を選択します。選択肢は「全ての機器」または登録されている機器のうち1台です。
④	動作選択	NETUS-Pro が実行した動作の種類を「全ての動作」「PTZ」「スポット」「音声」「ポップアップ表示」「ポップアップイメージ」「イベント通知」「アラムポップアップ」から選択します。
⑤	検索ボタン	上記①～④で指定した検索条件に一致するログを検索します。
⑥	ログ表示エリア	上記⑤の検索結果をこのエリアに表示します。

ログ表示エリアの各項目に表示される内容を次の表に示します。

項目	説明
日時	イベントが発生した日時を示します。ここに表示される日時は、きっかけとなるイベントが発生した機器の時計が記録した日時を表示します。
イベント種別	きっかけとなった機器側のイベント種別を表示します。
発報機器	きっかけとなった機器の機器名と IP アドレスを表示します。
動作	NETUS-Pro がこのイベントによって実行した動作の内容を表示します。

6. E-MAP

E-MAP 機能は、画面上の地図や見取り図の上に各機器のチャンネルのライブ映像を重ねて表示する機能です。これによりカメラの実際の設置場所を直感的に理解しやすくする効果があります。

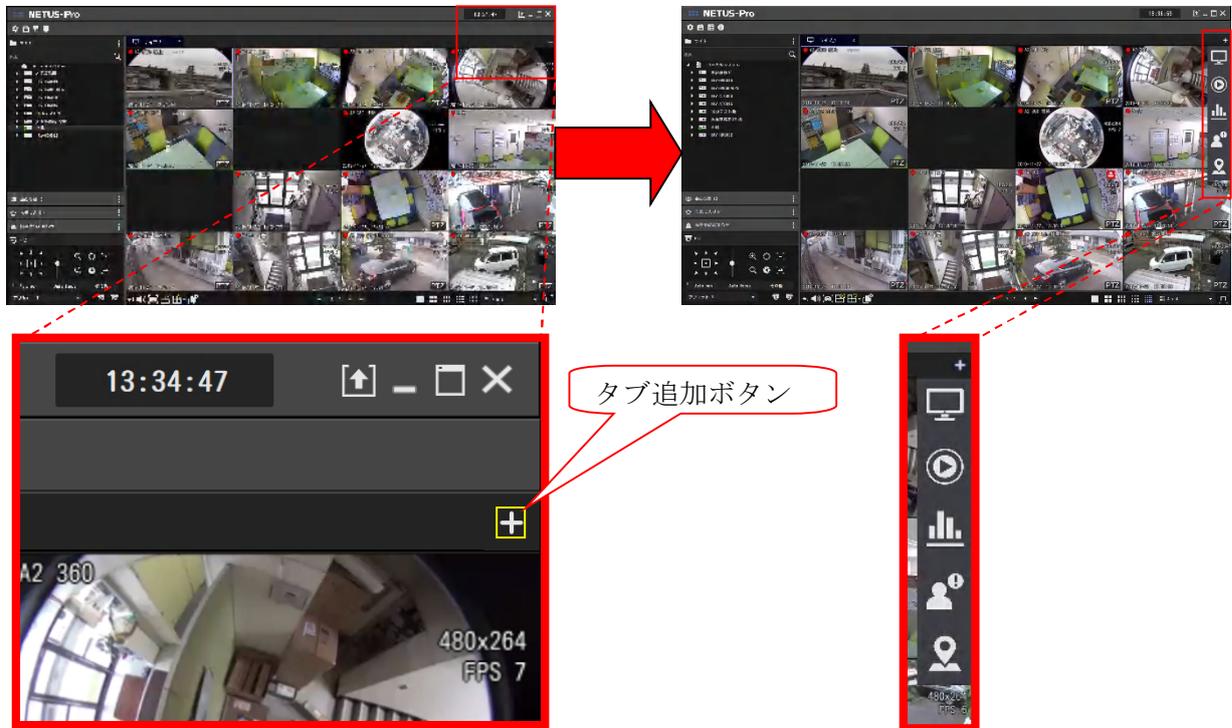


6.1. E-MAP パネルの追加

E-MAP パネルは次の手順で追加します。

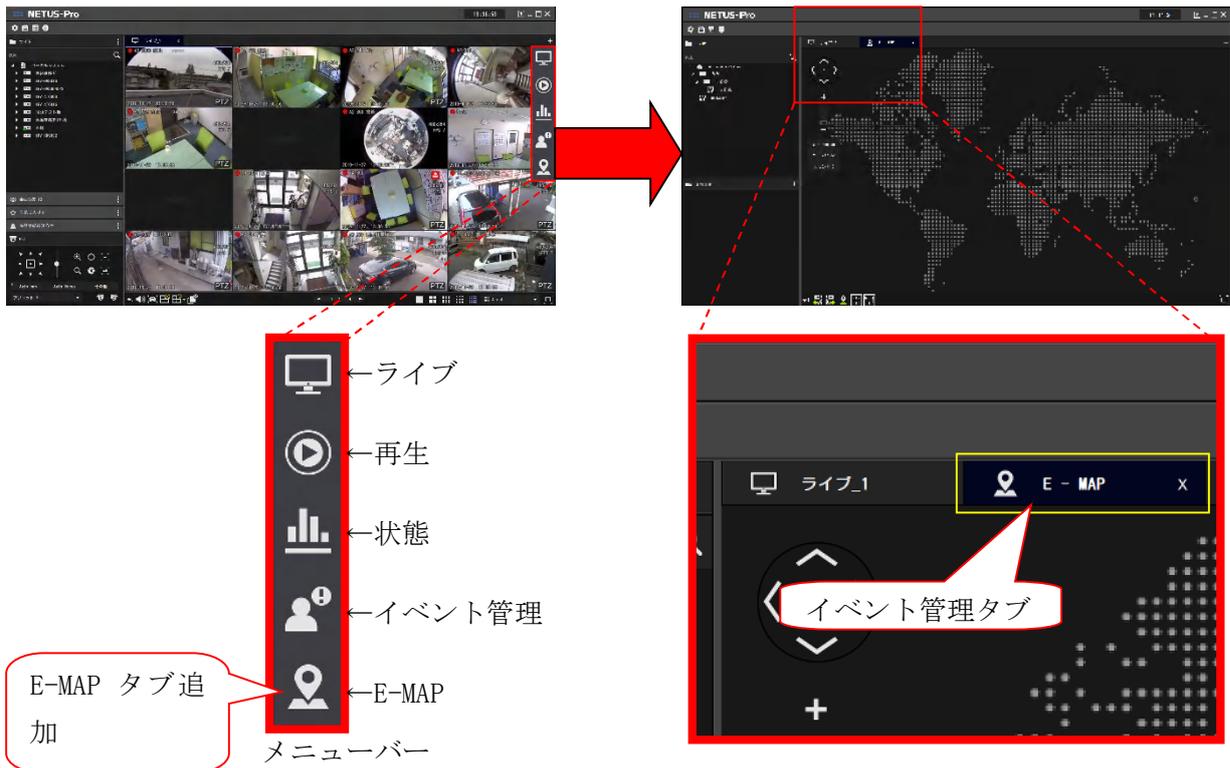
(1) + ボタンをクリック

+ (タブ追加) ボタンをクリックすると、その下にメニューバーが表示されます。



(2) メニューバーから📍を選択

メニューバー内の📍 (E-MAP) をクリックすると、タブメニューに「E-MAP」タブが現れます。



E-MAP パネルが表示され、E-MAP 機能が使える状態になります。

＜ 注 意 ＞

- E-MAP パネルは2つ以上作ることは出来ません。

6.2. E-MAP パネルの構成

E-MAP パネルには、サイドメニューとボトムメニューがあり、サイドメニューのツリー内に予め地図を登録しておき、それを E-MAP パネルにドラッグ&ドロップして使用します。

それぞれの地図には、特定の位置に機器のカメラのアイコンを配置して使います。

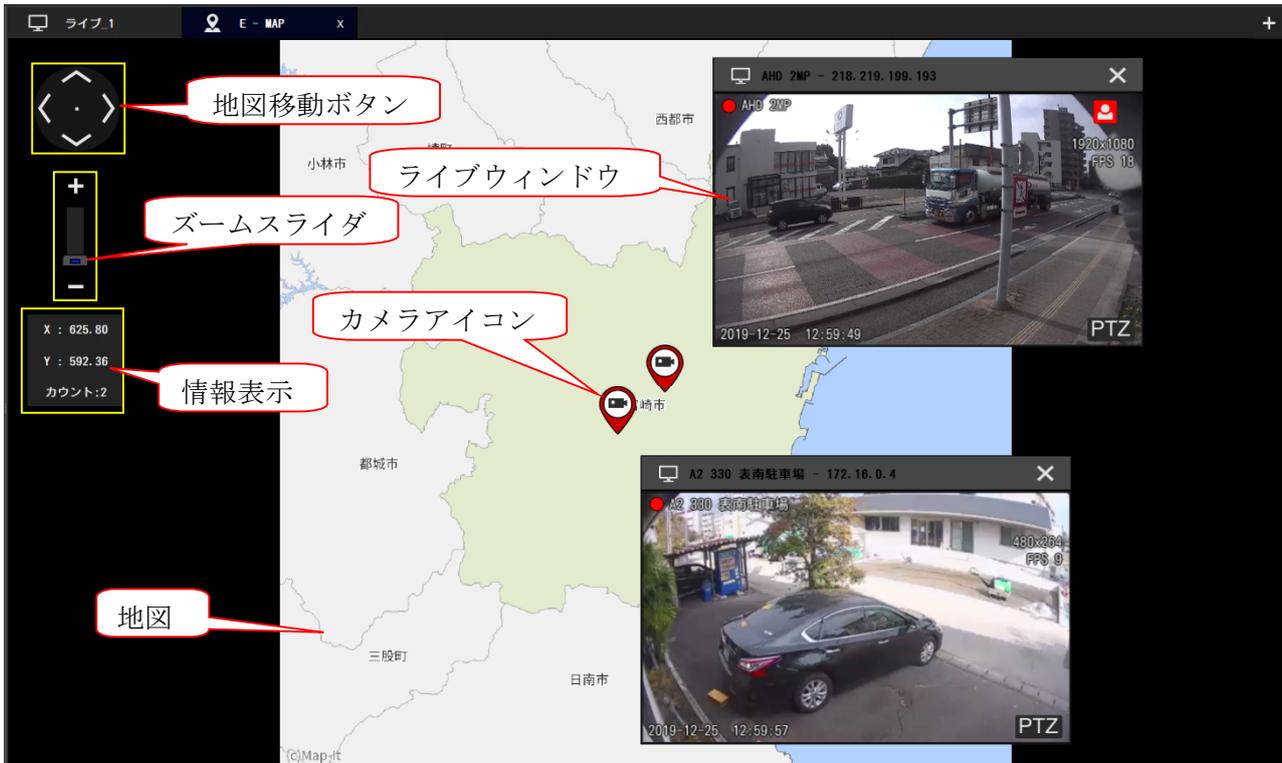


なお、以降の基本操作では E-MAP に地図とカメラが既に登録されている状態を前提に説明を進めます。地図とカメラの登録については「6.3 地図の登録と関係性の設定」のページをご覧ください。

参照→182 ページ

6.2.1. E-MAP パネルの表示と基本操作

E-MAP パネルは次の図のような構成になっています。



名称	説明	
地図	登録した地図を表示します。地図が表示されていない場合はサイドメニューからドラッグ&ドロップして割り当てます。	
地図移動ボタン	地図を拡大表示している場合に、拡大範囲を上下左右に移動します。地図のカメラアイコンが無い部分をドラッグして移動する方法でも地図を移動させることができます。	
ズームスライダ	地図の拡大率を調整します。上にスライドさせると拡大します。下にスライドさせると縮小します。	
情報表示	“X” と “Y” は、地図上にあるマウスポインタの位置を地図上の座標で表示します。座標の数値は地図画像の左上の角を “0” として地図の画像ファイルの画素数で示します。	
カメラアイコン	カメラの場所を示すアイコンです。地図上にドラッグ&ドロップすることで、自由な場所に置くことができます。 このアイコンは、登録時は白黒表示ですが、カメラからの信号を検知するか、このカメラのライブウィンドウを表示しようとするか、このカメラのライブウィンドウを表示しようとするとカラー表示になります。但し、ビデオロスになっても白黒表示には戻りません。	
	白黒表示	カラー表示
ライブウィンドウ	カメラのライブ映像を表示します。	

6.3. 地図の登録と関係性の設定

地図の登録とそれらの関係性に関する設定は、設定メニューの E-MAP タブで行います。

< 注意 >

- 以降の E-MAP に関する全ての操作は、地図が登録されていなければ実行することは出来ません。E-MAP 機能を利用される場合は、必ずこの作業を先に実施してください。

(1) 地図データを準備する

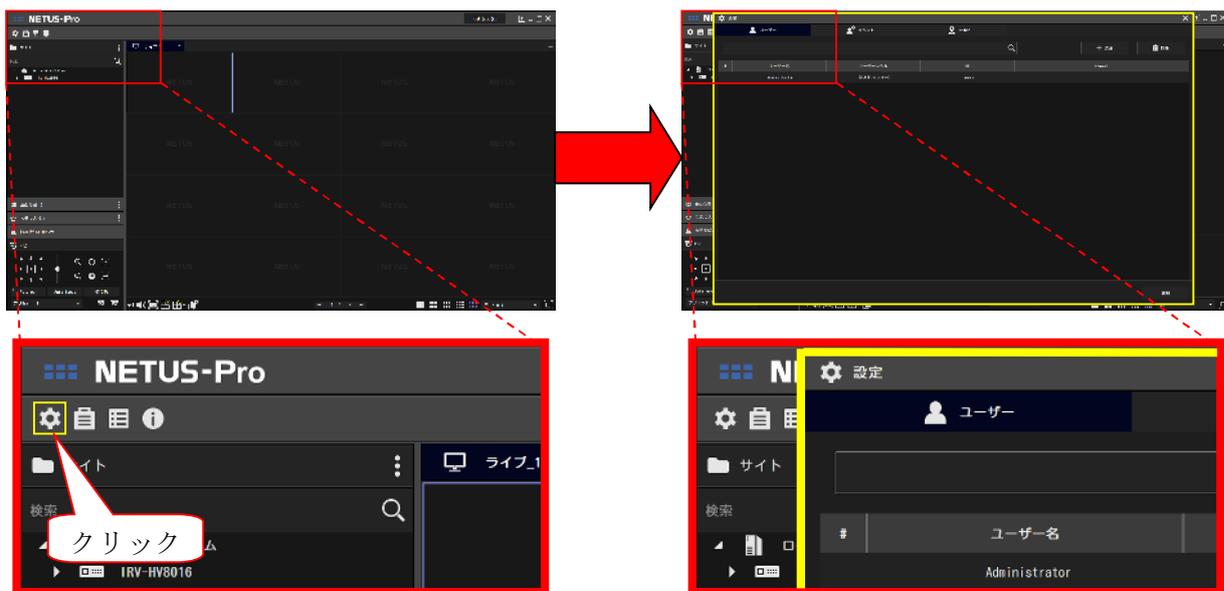
まず、地図データを準備してください。地図データとして使えるファイルの形式は “jpg” “bmp” “png” のいずれかの形式の画像ファイルです。

地図データは、NETUS-Pro が必要に応じてその都度読み出して使用しますので、PC のローカルディスク内の適当なフォルダに保存しておいてください。

NETUS-Pro の初期設定では、Windows の「ピクチャ」または「画像」フォルダが使用されます。(ほかの場所でも選択可)

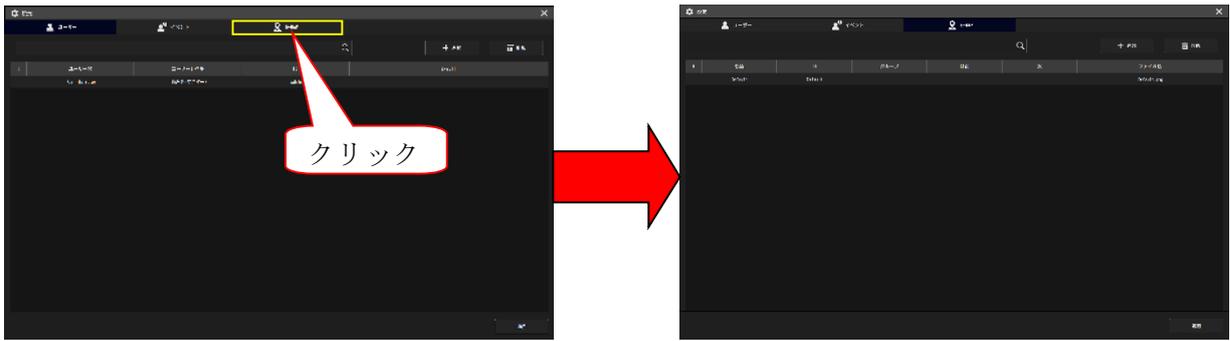
(2) 設定を開く

システムメニューの  (設定) ボタンをクリックすると「設定」ウィンドウが開きます。



(3) E-MAP タブを選択する

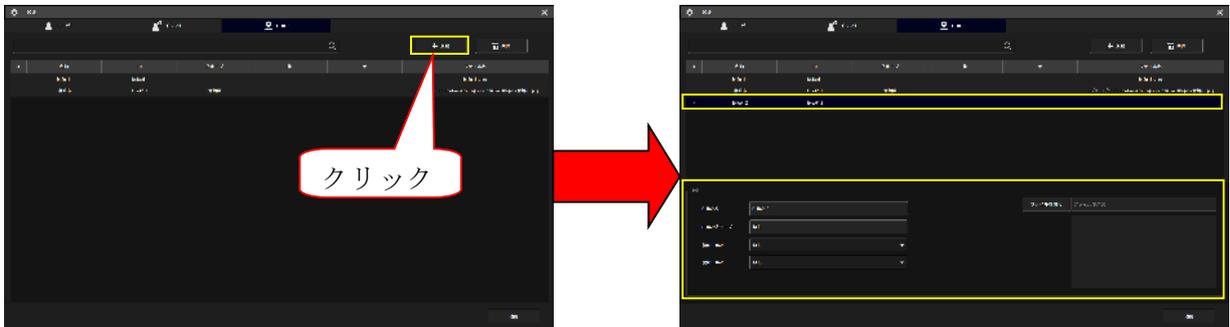
「設定」ウィンドウの右上の「E-MAP」タブをクリックして選択します。ウィンドウ内のリストには初期設定された “Default” というデモ用の地図だけが表示されます。



(4) **+追加** ボタンをクリックする

+追加 ボタンをクリックすると、ウィンドウが上下 2 段に分かれ、下段に地図情報を入力するためのフォームが表示されます。そして、上段には新規に作成された “E-MAP 1” という地図設定情報が表示されます。

この 2 段表示の画面では、上段のリストで選択されている（紺色背景）の設定情報を下段のフォームで編集することができます。



(5) 情報を入力する

ウィンドウ下段のフォームに地図に関する設定情報を入力します。

項目	説明
E-MAP 名	地図の名称を入力します。ここで入力された名称はサイドメニューの E-MAP ツリー内に表示する名称として使用されます。
E-MAP グループ	サイドメニューの E-MAP ツリー内でこの地図を表示する E-MAP グループを選択します。
前の E-MAP	E-MAP パネルにこの E-MAP を表示している状態でボトムメニューの  (前の E-MAP) ボタンをクリックした場合に、表示する E-MAP を選択します。
次の E-MAP	E-MAP パネルにこの E-MAP を表示している状態でボトムメニューの  (次の E-MAP) ボタンをクリックした場合に、表示する E-MAP を選択します。

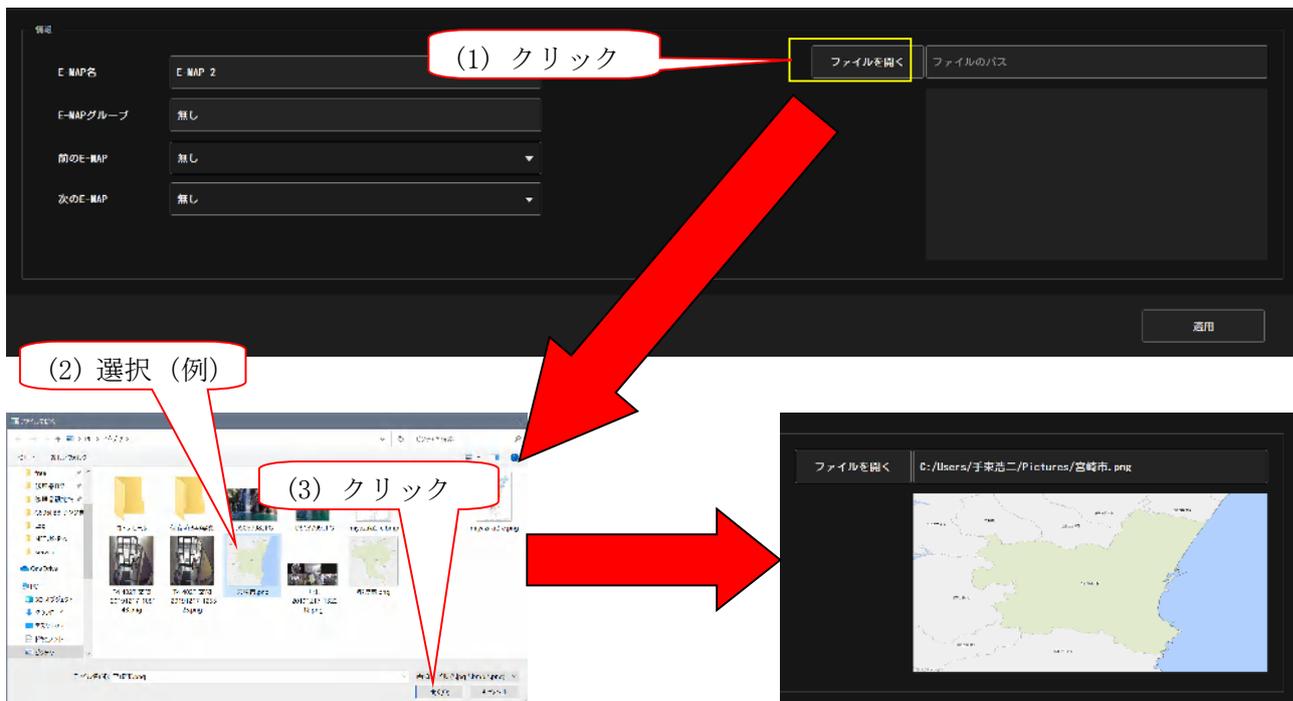
< 注 意 >

● 「前の E-MAP」と「次の E-MAP」は、E-MAP が 1 つだけの場合には使用できません。

(6) 地図ファイルを選択する

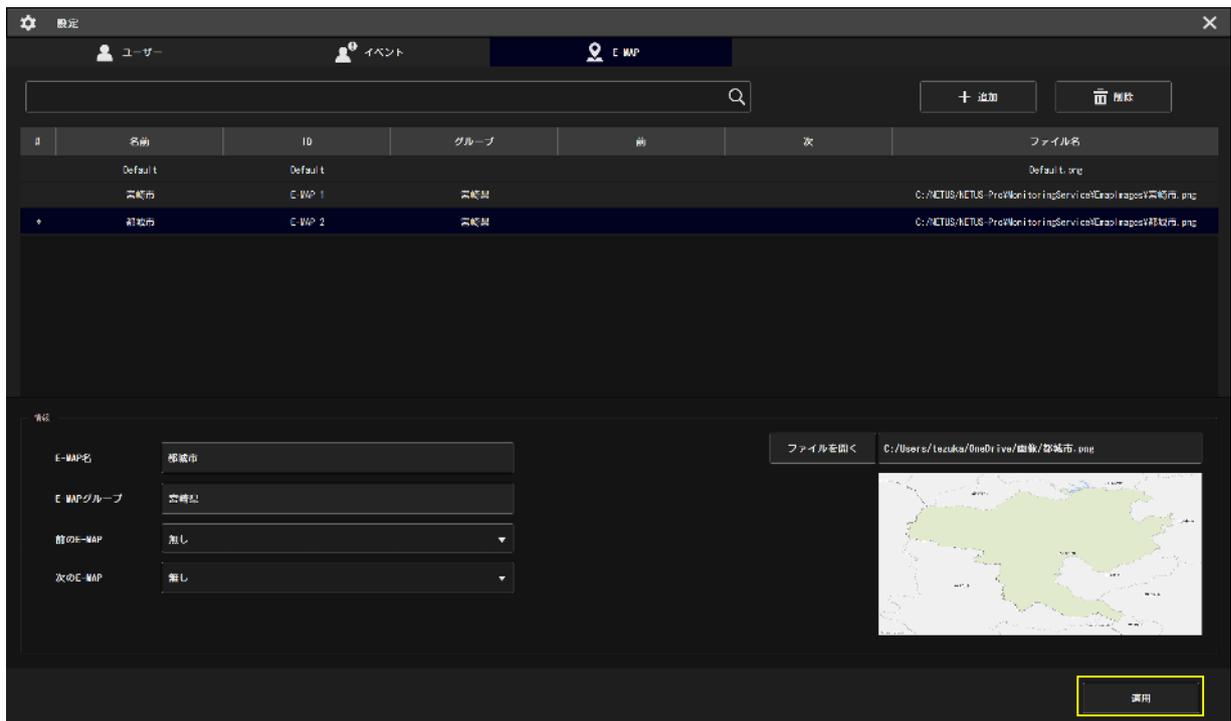
E-MAP パネルに表示する地図の画像ファイルを選択します。利用可能なファイル形式は “jpg” “bmp” “png” です。

ファイルを開く ボタンをクリックすると、「ピクチャ」または「画像」フォルダが開きます。ファイルのフルパスがわかっている場合は「ファイルのパス」項目に直接フルパスをタイプして入力する事も出来ます。



(7) 適用する

最後に **適用** ボタンをクリックすると、入力された設定が保存されます。



(8) 設定ウィンドウを閉じる

「設定」ウィンドウを閉じる場合は右上の☒（終了）ボタンをクリックします。別の E-MAP 設定をする場合は(4)の手順に戻ります

< 情報 >

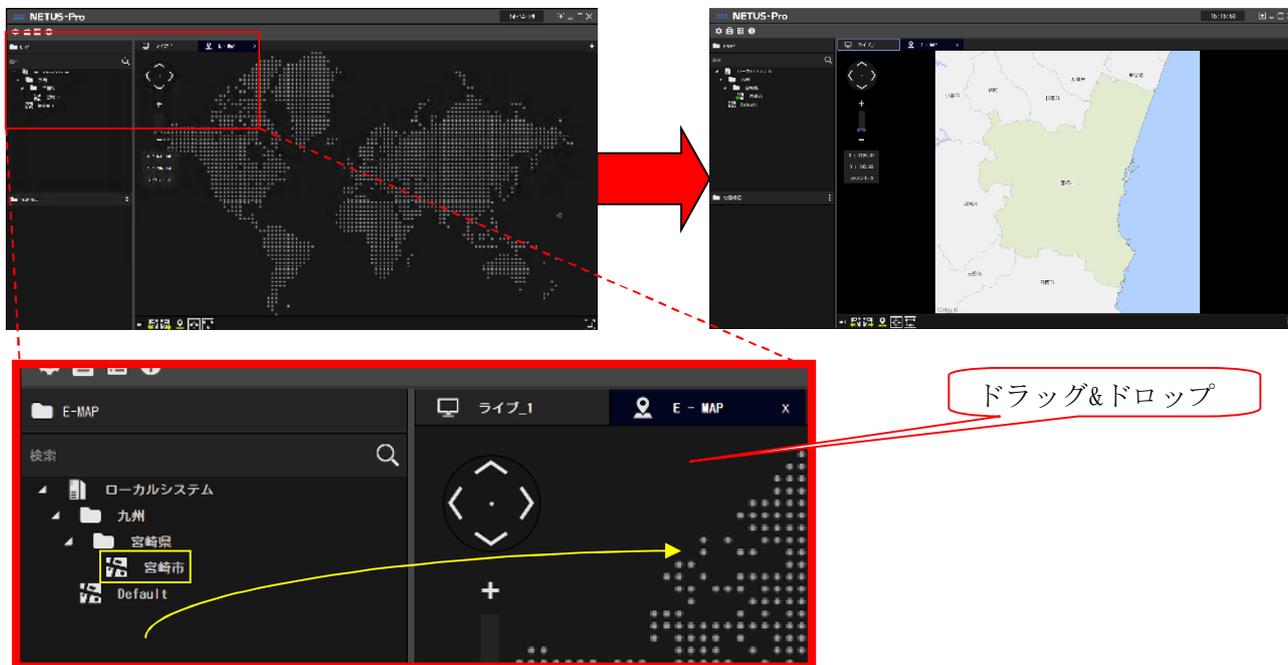
- サイドメニューの E-MAP ツリーの正しい位置に表示されない場合は、NETUS-Pro を一旦終了してから再起動することで正しい位置に表示されるようになります。

6.4. サイドメニューの操作

サイドメニューには「E-MAP」と「地図項目」の2つの項目があります。

6.4.1. E-MAP

E-MAP では、フォルダのようなツリー構造の中に地図を位置付けて、その地図を E-MAP パネルにドラッグ&ドロップして使用します。



6.4.2. 地図項目

地図項目では、現在 E-MAP パネルに表示している地図に関連付けられたカメラの情報を表示及び編集します。従って、ここに表示される内容は、現在表示している地図によって変化します。

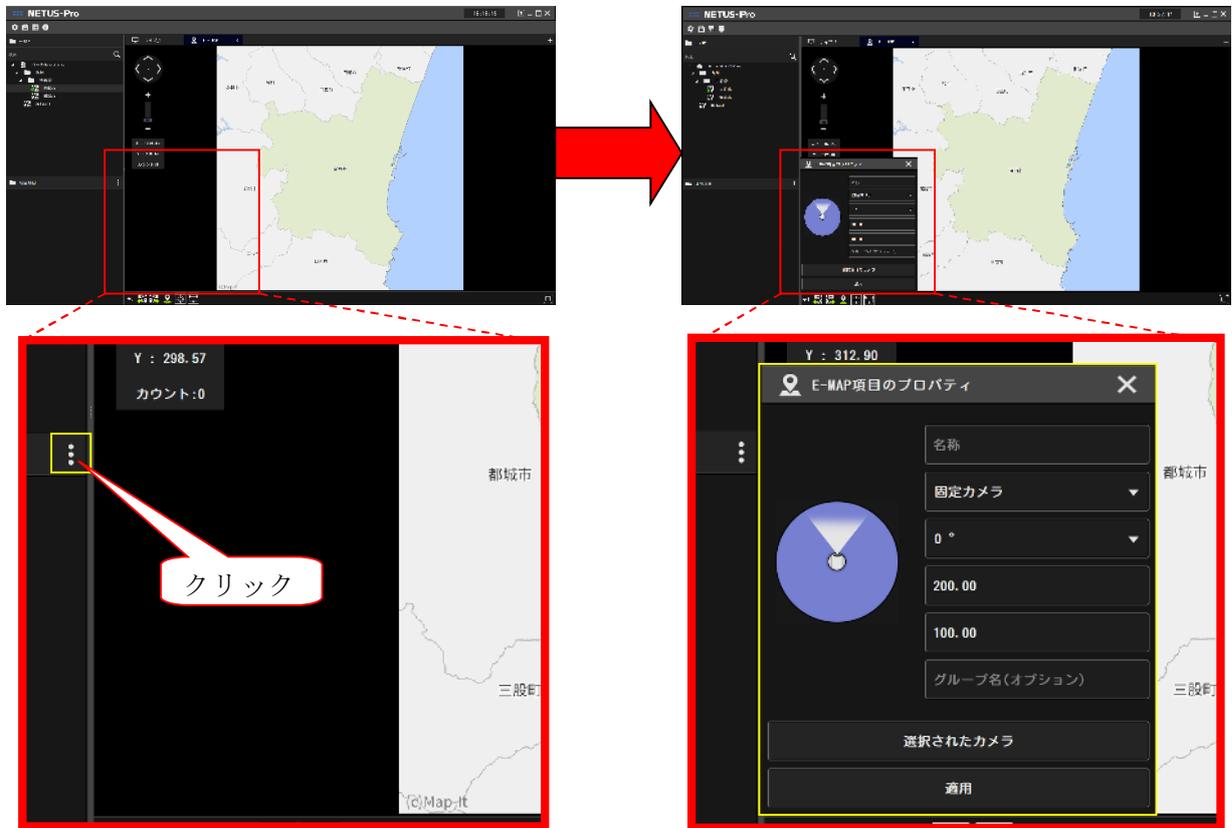


6.4.2.1. 地図にカメラを追加する

地図にカメラを追加するには、次の手順を実行します。

(1) 地図項目バー右端の☰ボタンをクリック

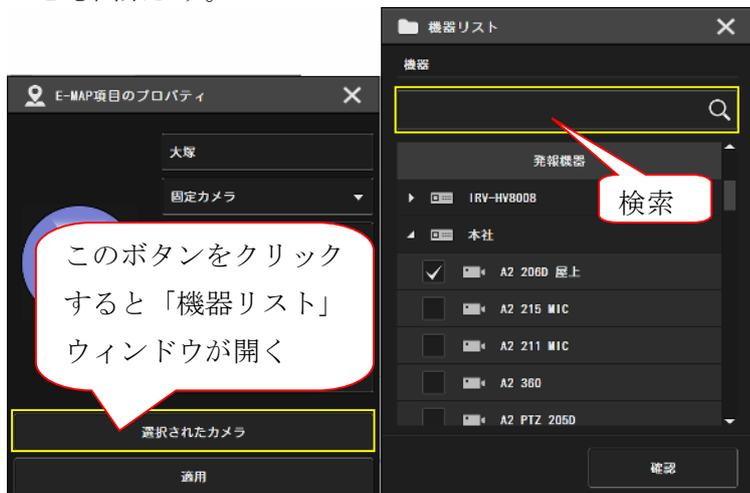
地図項目バーの☰ボタンをクリックすると「E-MAP 項目のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



(2) 各項目を入力する

E-MAP 項目のプロパティの各項目を入力します。

番号	名称	説明								
①	名称	カメラの設置場所等がわかる名称を入力してください。入力しなくても保存は出来るので必須項目ではありませんが、この項目に入力した文字列はサイドメニューの地図項目に表示されますので、必ず入力する事をお勧めします。								
②	カメラタイプ	<p>地図上に表示するカメラのアイコンをカメラの種類に合わせて選択することが出来ます。</p> <table border="1"> <tr> <td>固定カメラ</td> <td></td> <td>PTZ カメラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドームカメラ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PTZ カメラとドームカメラは同じアイコンが使用されます。</p>	固定カメラ		PTZ カメラ		ドームカメラ			
固定カメラ		PTZ カメラ								
ドームカメラ										
③	方位角	<p>カメラの向き(方角)を登録することが出来ます。方位角は、北が0°、東が90°、南が180°、西が270°のように、地図を上から見て時計回りの10°刻みで選択することが出来ます。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0°</td> <td>90°</td> <td>180°</td> <td>270°</td> </tr> </table>					0°	90°	180°	270°
0°	90°	180°	270°							
④	X (横軸) 座標	<p>このカメラのアイコンを配置する地図上の位置の横軸の値を入力します。左端が0で右に行くほど値が大きくなります。この項目は、地図上でアイコンを動かす方法でも変更可能です。</p>								

番号	名称	説明
⑤	Y (縦軸) 座標	このカメラのアイコンを配置する地図上の位置の縦軸の値を入力します。上端が0で下に行くほど値が大きくなります。 この項目は、地図上でアイコンを動かす方法でも変更可能です。
⑥	グループ名	必要に応じて、グループ名を登録することが出来ます。同じグループ名はマルチビューの際に同じウィンドウに表示されます。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <p>● 1つのグループに登録出来るカメラの台数は6台までです。</p> </div>
⑦	選択されたカメラ	このボタンをクリックすると、「機器リスト」ウィンドウが開き、ここでカメラのアイコンに関連付けるカメラを選択出来ます。また、機器名またはカメラ名称の一部から該当するカメラを検索することも出来ます。  <p>このボタンをクリックすると「機器リスト」ウィンドウが開く</p>
⑧	適用	入力した内容を保存して「E-MAP 項目のプロパティ」ウィンドウを閉じます。

(3) 地図項目を保存する

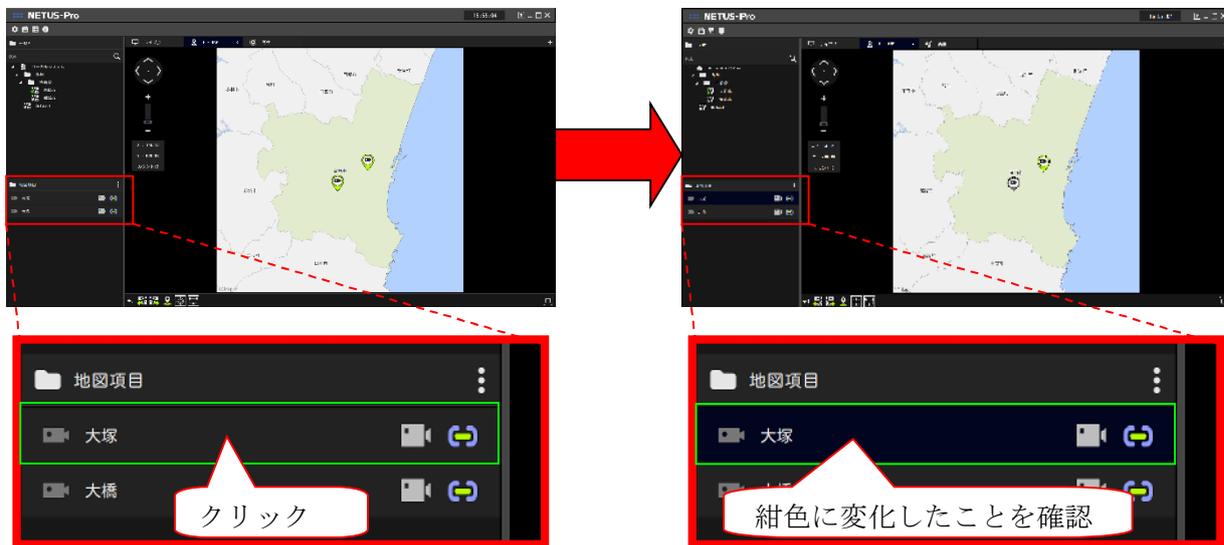
必要な項目の入力とカメラの選択を終えたら **適用** ボタンをクリックして地図項目の内容を保存します。保存したくない場合は **✕** ボタンで閉じます。

6.4.2.2. カメラの情報を編集する

地図に既にあるカメラ情報を変更するには、次の手順を実行します。

- (1) サイドメニューから変更したい地図項目をクリック

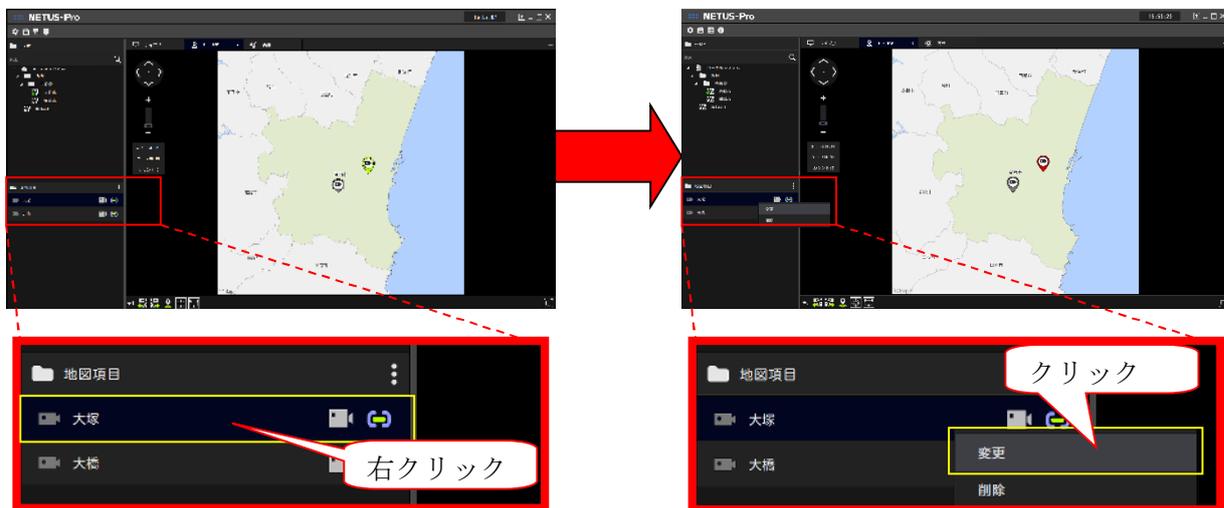
サイドメニューから変更したい地図項目をクリックしてバーが紺色に変化することを確認します。



< 注意 >この手順は省略しないでください。

- (2) そのまま右クリックし、表示されたメニューから「変更」を選択する

紺色に変化した部分を右クリックすると、右クリックメニューが表示されますので、そこから「変更」をクリックします。

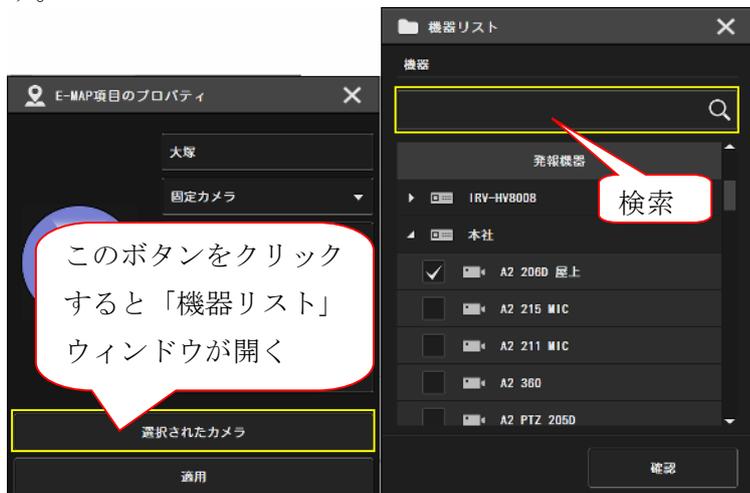


(3) 各項目を入力する

E-MAP 項目のプロパティの各項目を入力します。



番号	名称	説明								
①	名称	カメラの設置場所等がわかる名称を入力してください。入力しなくても保存は出来るので必須項目ではありませんが、この項目に入力した文字列はサイドメニューの地図項目に表示されますので、必ず入力する事をお勧めします。								
②	カメラタイプ	<p>地図上に表示するカメラのアイコンをカメラの種類に合わせて選択することが出来ます。</p> <table border="1"> <tr> <td>固定カメラ</td> <td></td> <td>PTZ カメラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ドームカメラ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PTZ カメラとドームカメラは同じアイコンが使用されます。</p>	固定カメラ		PTZ カメラ		ドームカメラ			
固定カメラ		PTZ カメラ								
ドームカメラ										
③	方位角	<p>カメラの向き(方角)を登録することが出来ます。方位角は、北が0°、東が90°、南が180°、西が270°のように、地図を上から見て時計回りの10°刻みで選択することが出来ます。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>0°</td> <td>90°</td> <td>180°</td> <td>270°</td> </tr> </table> <p>地図上にカメラの向きを表示するには、ボトムメニューの (方向表示) ボタンを使います。</p>					0°	90°	180°	270°
0°	90°	180°	270°							
④	X (横軸) 座標	<p>このカメラのアイコンを配置する地図上の位置の横軸の値を入力します。左端が0で右に行くほど値が大きくなります。 この項目は、地図上でアイコンを動かす方法でも変更可能です。</p>								

番号	名称	説明
⑤	Y (縦軸) 座標	このカメラのアイコンを配置する地図上の位置の縦軸の値を入力します。上端が0で下に行くほど値が大きくなります。 この項目は、地図上でアイコンを動かす方法でも変更可能です。
⑥	グループ名	必要に応じて、グループ名を登録することが出来ます。同じグループ名はマルチビューの際に同じウィンドウに表示されます。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffff00; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1つのグループに登録出来るカメラの台数は6台までです。 </div>
⑦	選択されたカメラ	このボタンをクリックすると、「機器リスト」ウィンドウが開き、ここでカメラのアイコンに関連付けるカメラを選択出来ます。また、カメラ名称の一部から該当するカメラを検索することも出来ます。  <p>このボタンをクリックすると「機器リスト」ウィンドウが開く</p>
⑧	適用	入力した内容を保存して「E-MAP 項目のプロパティ」ウィンドウを閉じます。

(4) 地図項目を保存する

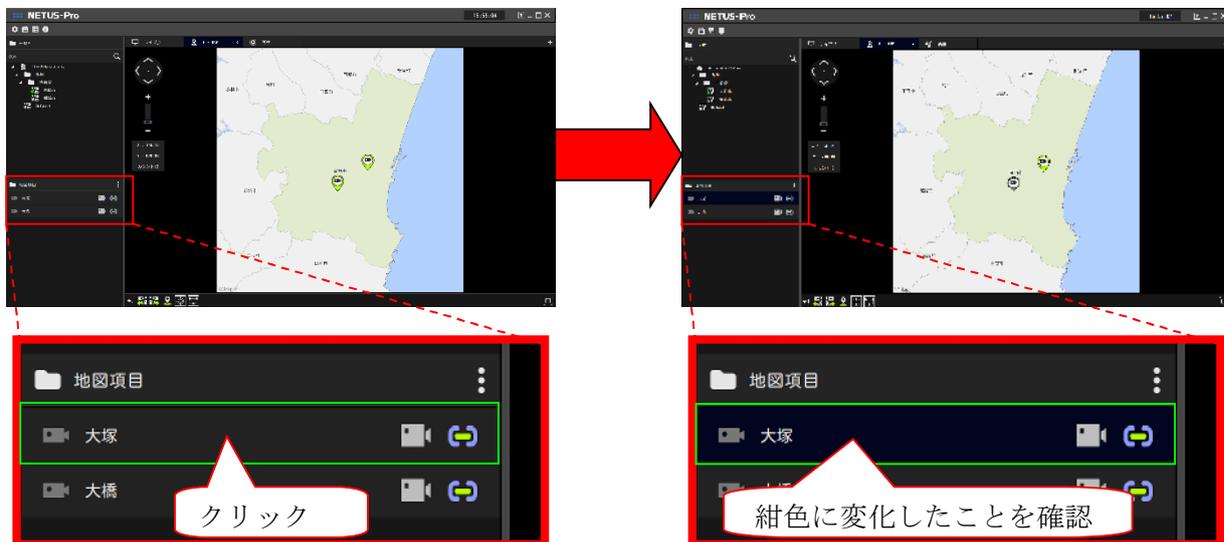
必要な項目の入力とカメラの選択を終えたら **適用** ボタンをクリックして地図項目の内容を保存します。保存したくない場合は **✕** ボタンで閉じます。

6.4.2.3. 地図からカメラを削除する

地図に既にあるカメラ情報を削除するには、次の手順を実行します。

- (1) サイドメニューから削除したい地図項目をクリック

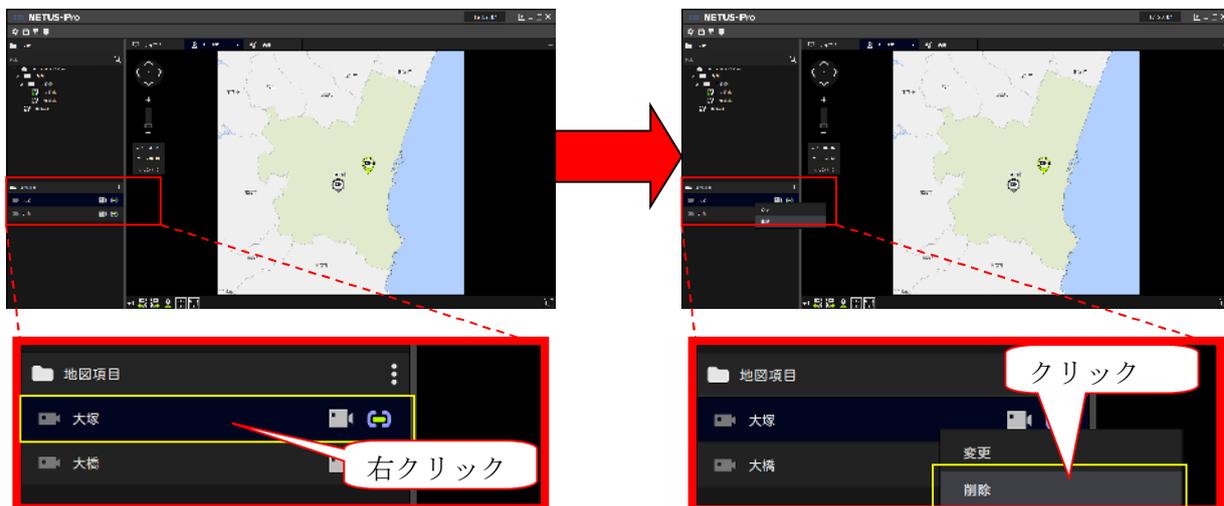
サイドメニューから削除したい地図項目をクリックしてバーが紺色に変化することを確認します。



< 注意 > この手順は省略しないでください。

- (2) そのまま右クリックし、表示されたメニューから「削除」を選択する

紺色に変化した部分を右クリックすると、右クリックメニューが表示されますので、そこから「削除」をクリックします。

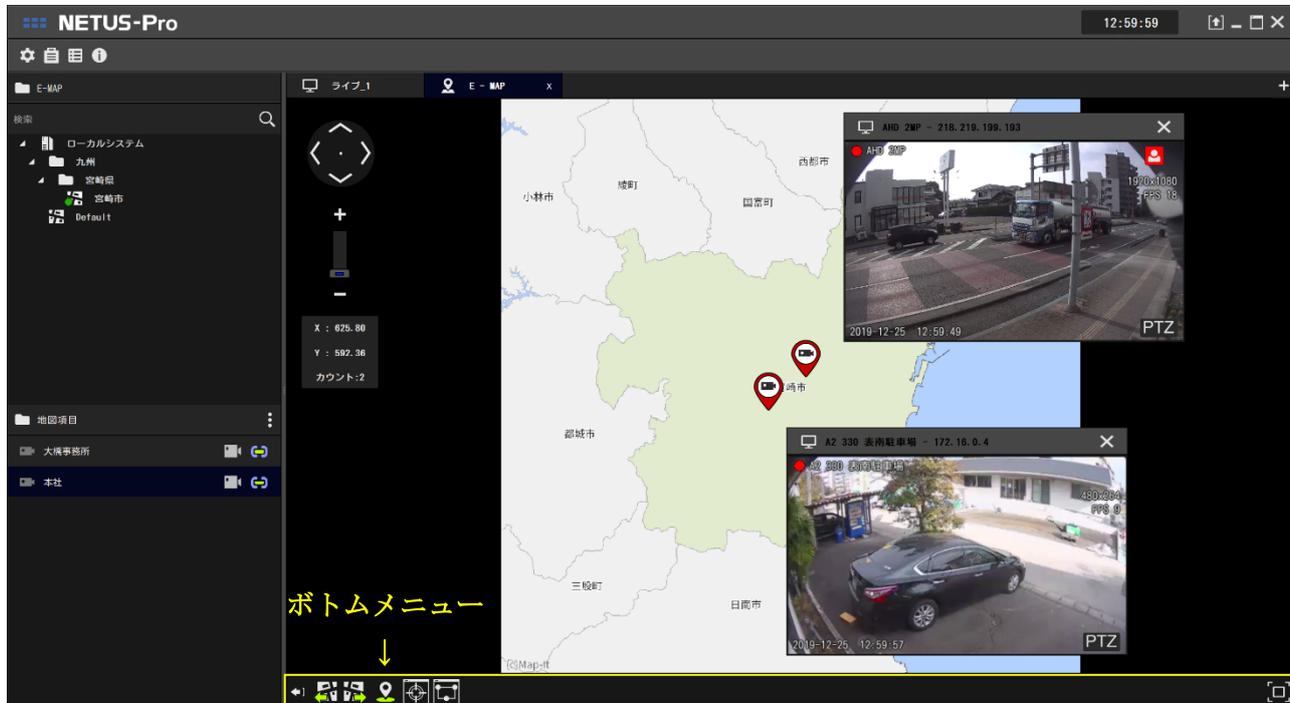


< 注意 >

- 削除の確認を求めるダイアログは表示されません、右クリックメニューで「削除」をクリックした時点で削除が完了しますので、削除前に間違いが無いことを必ずご確認ください。

6.5. ボトムメニューの操作

ボトムメニューはウィンドウ下側に表示されるメニューです。ボトムメニューは常に表示されており、表示と非表示を切り替えることは出来ません。なお、ボトムメニューにはサイドメニューのような複雑な操作はありません。



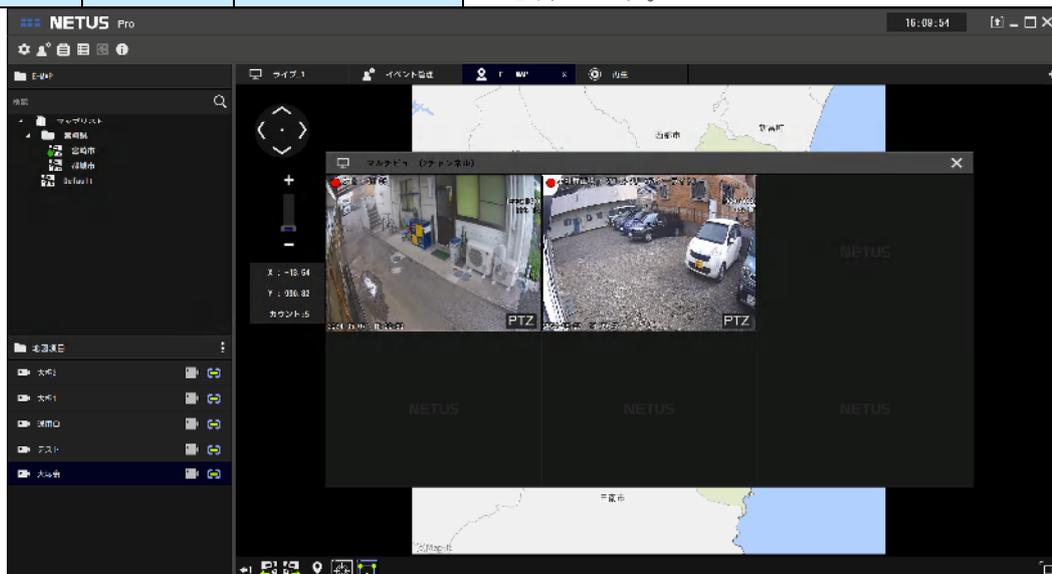
各パネルでのボタンと選択リストの構成は次の表のようになります。



各アイコンと選択リストの機能は次の表のようになります。

番号	アイコン	名称	説明
①		サイドメニュー 表示／非表示	サイドメニューの表示と非表示を切り替えます。 左の画像はサイドメニューが表示されているときのアイコンです。サイドメニューが表示されていないときには、矢印の向きが逆になります。
②		前の地図	E-MAP の地図を前の地図に戻します。
③		次の地図	E-MAP の地図を次の地図に進めます。

番号	アイコン	名称	説明				
④		方向表示	<p>地図上にカメラの向きを表示します。</p> <table border="1"> <tr> <td>方向非表示</td> <td>方向表示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、予め NETUS-Pro に登録した方向を表示するものです。PTZ カメラの実際の向きを表示する事は出来ません。 	方向非表示	方向表示		
方向非表示	方向表示						
							
⑤		ライブ画面	<p>サイドメニューまたは地図上でアイコンを選択（クリック）したカメラのライブ映像を表示します。アイコンをダブルクリックする方法でも同様の動作になります。複数のカメラを選択したい場合はサイドメニューを利用します。</p>				
⑥		マルチビュー	<p>マルチビューは同じグループ名で登録された 6 台までのカメラ映像を同じウィンドウに表示する機能です。見たいカメラのアイコンをクリック後にこのボタンをクリックすると、アイコンに登録されたカメラと同じグループのカメラ映像を同時に見る事が出来ます。</p>				
⑦		全体画面 (全画面表示)	<p>パネルの地図を全画面で表示します。全画面表示の場合、操作のためのバーやボタンはほとんど表示されなくなるため、多くの操作に制限が発生します。元の画面に戻すにはキーボードの ESC キーを押します。</p>				



マルチビュー表示の例

7. システムメニュー（設定と管理）

この章では主に NETUS-Pro の設定と管理について説明します。NETUS-Pro の設定はシステムメニューに並ぶボタンで対応する設定ウィンドウを開きます。



番号	ボタンの名称		説明														
①		設定	設定ウィンドウでは次の 3 種類の設定をおこなう事が出来ます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユーザー</td> <td>NETUS-Pro にログインするユーザーと、それらに与える権限の設定。 参照→197 ページ</td> </tr> <tr> <td>イベント</td> <td>機器で発生したイベントを NETUS-Pro がどのように処理するかの設定。 参照→209 ページ</td> </tr> <tr> <td>E-MAP</td> <td>E-MAP に使用する地図画像の登録と、それらの表示順序などの設定。 参照→224 ページ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	ユーザー	NETUS-Pro にログインするユーザーと、それらに与える権限の設定。 参照 →197 ページ	イベント	機器で発生したイベントを NETUS-Pro がどのように処理するかの設定。 参照 →209 ページ	E-MAP	E-MAP に使用する地図画像の登録と、それらの表示順序などの設定。 参照 →224 ページ						
			項目	説明													
			ユーザー	NETUS-Pro にログインするユーザーと、それらに与える権限の設定。 参照 →197 ページ													
			イベント	機器で発生したイベントを NETUS-Pro がどのように処理するかの設定。 参照 →209 ページ													
E-MAP	E-MAP に使用する地図画像の登録と、それらの表示順序などの設定。 参照 →224 ページ																
②		ユーザー登録	<未使用> 弊社ではサービス提供を実施していません。														
③		環境設定	環境設定ウィンドウでは次の 5 種類の設定をおこなう事が出来ます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>システム</td> <td>主に PC のシステム環境に関する設定。参照→231 ページ</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>主に NETUS-Pro に接続される機器との通信に関する共通設定。 参照→232 ページ</td> </tr> <tr> <td>画面</td> <td>NETUS-Pro の OSD 表示に関する設定。参照→235 ページ</td> </tr> <tr> <td>ログ</td> <td>ログの保存期間や表示件数の上限などに関する設定。 参照→237 ページ</td> </tr> <tr> <td>ポップアップ</td> <td>ポップアップイメージ、アラームポップアップ、ポップアップ表示機能に関する設定。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他の設定と NETUS-Pro の設定情報の保存や復元。 参照→239 ページ</td> </tr> </tbody> </table>	項目	説明	システム	主に PC のシステム環境に関する設定。 参照 →231 ページ	機器	主に NETUS-Pro に接続される機器との通信に関する共通設定。 参照 →232 ページ	画面	NETUS-Pro の OSD 表示に関する設定。 参照 →235 ページ	ログ	ログの保存期間や表示件数の上限などに関する設定。 参照 →237 ページ	ポップアップ	ポップアップイメージ、アラームポップアップ、ポップアップ表示機能に関する設定。	その他	その他の設定と NETUS-Pro の設定情報の保存や復元。 参照 →239 ページ
			項目	説明													
			システム	主に PC のシステム環境に関する設定。 参照 →231 ページ													
			機器	主に NETUS-Pro に接続される機器との通信に関する共通設定。 参照 →232 ページ													
			画面	NETUS-Pro の OSD 表示に関する設定。 参照 →235 ページ													
			ログ	ログの保存期間や表示件数の上限などに関する設定。 参照 →237 ページ													
			ポップアップ	ポップアップイメージ、アラームポップアップ、ポップアップ表示機能に関する設定。													
その他	その他の設定と NETUS-Pro の設定情報の保存や復元。 参照 →239 ページ																
④		ログ管理	NETUS-Pro の「システムログ」「ユーザーログ」及び「機器ログ」の検索・表示及びバックアップ。 参照 →240 ページ														
⑤		ポップアップイメージ	<予定機能> 現在開発中で不具合が解消されていないのでご利用いただけません。初期設定の状態ではグレーアウトされています。														

番号	ボタンの名称		説明
⑥		情報	NETUS-Pro のバージョン情報の表示。 

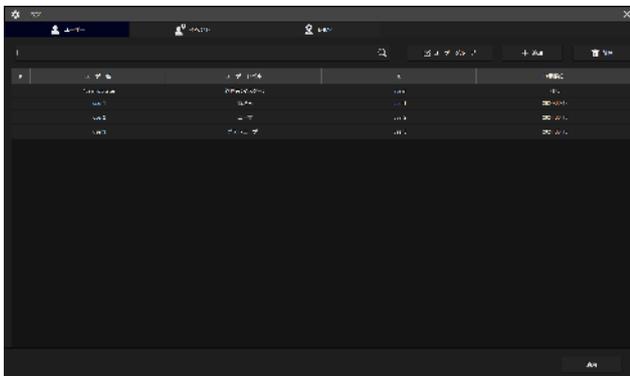
7.1. 設定

設定ウィンドウには「ユーザー」「イベント」「E-MAP」の3つのタブがあります。

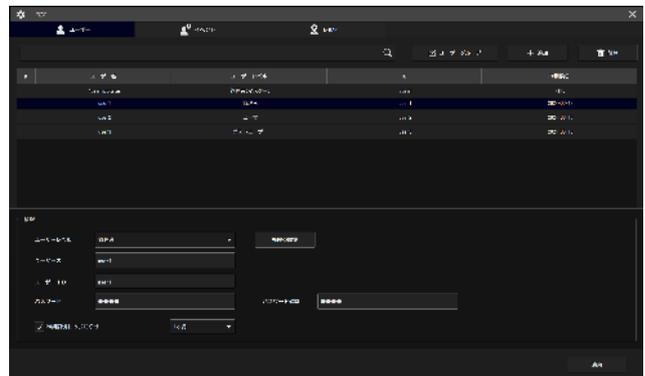
7.1.1. ユーザー

ユーザータブでは、NETUS-Pro にログインするユーザーと、それらに与える権限を設定します。

ウィンドウは上下二段に分かれており、上段にはユーザーのリストを表示し、下段には上段のリストで選択したユーザーの各設定項目が表示されます。なお、下段はユーザーを選択（クリック）するまでは何も表示されません。



ユーザー選択前



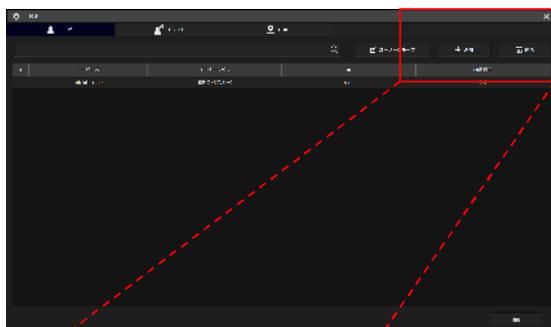
ユーザー選択後

7.1.1.1. ユーザーの追加

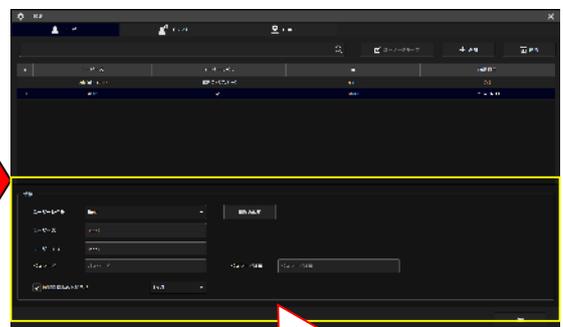
ユーザーを追加するには次の手順を実行します。

- (1) **+**追加 ボタンをクリックする

ウィンドウ上段に新しいユーザーが1行追加され、選択された状態（紺色）になります。ウィンドウ下段には選択されているユーザーの各設定項目が表示されます。



クリック



ユーザー情報を入力する欄が現れる。

(2) 各項目の選択と入力をする

The screenshot shows a user registration form with the following elements:

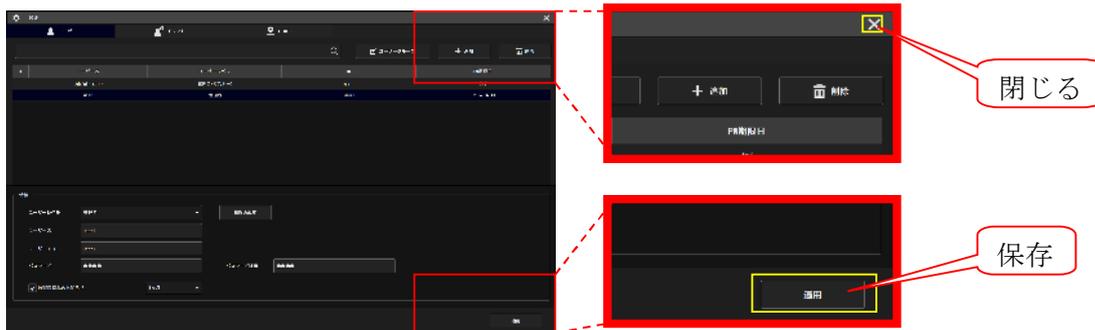
- ①: User level dropdown menu (currently set to 'None').
- ②: '権限の編集' (Edit Permissions) button.
- ③: Username input field (containing 'user1').
- ④: User ID input field (containing 'user1').
- ⑤: Password input field (containing 'パスワード').
- ⑥: Password confirmation input field (containing 'パスワード確認').
- ⑦: Checkmark for '開閉切れのお知らせ' (Notification of opening/closing) and a month dropdown menu (set to '1ヶ月').

番号	名称	説明																																												
①	ユーザーレベル	<p>ユーザーの機能に関する操作権限の初期値を選択します。ここで選択した権限は初期値ですので 権限の編集 ボタンを使って後から個別に変更出来ます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>管理者</th> <th>ユーザー</th> <th>ゲストユーザー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定</td> <td>マスター○ 通常×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>PTZ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>オーディオ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>緊急録画</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>スナップショット</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>再生</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>バックアップ</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>機器状態管理</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ログ</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E-MAP</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 権限の編集 ボタンで個別に変更した後に、この選択ボックスで特定のユーザーレベルを選択すると、それぞれのユーザーレベルの初期値に戻ります。 ● 「設定」の権限は、マスター管理者（NETUS-Pro をインストールしたときに最初からある管理者）だけに認められた特別な権限です。他のユーザーに与えることは出来ません。 	機能	管理者	ユーザー	ゲストユーザー	設定	マスター○ 通常×	×	×	PTZ	○	○	×	オーディオ	○	○	×	緊急録画	○	○	×	スナップショット	○	○	○	再生	○	○	×	バックアップ	○	×	×	機器状態管理	○	○	×	ログ	○	×	×	E-MAP	○	○	×
機能	管理者	ユーザー	ゲストユーザー																																											
設定	マスター○ 通常×	×	×																																											
PTZ	○	○	×																																											
オーディオ	○	○	×																																											
緊急録画	○	○	×																																											
スナップショット	○	○	○																																											
再生	○	○	×																																											
バックアップ	○	×	×																																											
機器状態管理	○	○	×																																											
ログ	○	×	×																																											
E-MAP	○	○	×																																											
②	権限の編集	ユーザーの権限を個別に編集するための「ユーザー権限」ウィンドウを開きます。「ユーザー権限」ウィンドウについては「7.1.1.4 ユーザー権限の編集」のページをご覧ください。 参照 →202 ページ																																												
③	ユーザー名	ユーザー名を 64 文字以内の日本語で入力します。																																												
④	ユーザーID	ログイン時に入力する識別用の名称を 12 文字以内の半角英数で入力します。																																												
⑤	パスワード	ログイン時に入力するパスワードを 12 文字以内の半角英数で入力します。																																												
⑥	パスワード確認	パスワードの入力に誤りがないかを確認するために、もう一度パスワードを入力します。（半角英数 12 文字以内）																																												

番号	名称	説明
⑦	PW 期限切れのお知らせ	左側のチェックボックスをチェックするとパスワードに有効期限を持たせる事が出来ます。有効期限は右側の選択リストで「1ヶ月」「3ヶ月」「6ヶ月」から選択出来ます。

(3) **適用** ボタンをクリックする

編集したユーザー情報を保存するには **適用** ボタンをクリックします。続けて別のユーザーを入力する場合は(1)の手順に戻ります。入力を終了する場合は **X** (終了) ボタンをクリックして「設定」ウィンドウを閉じます。



< 注意 >

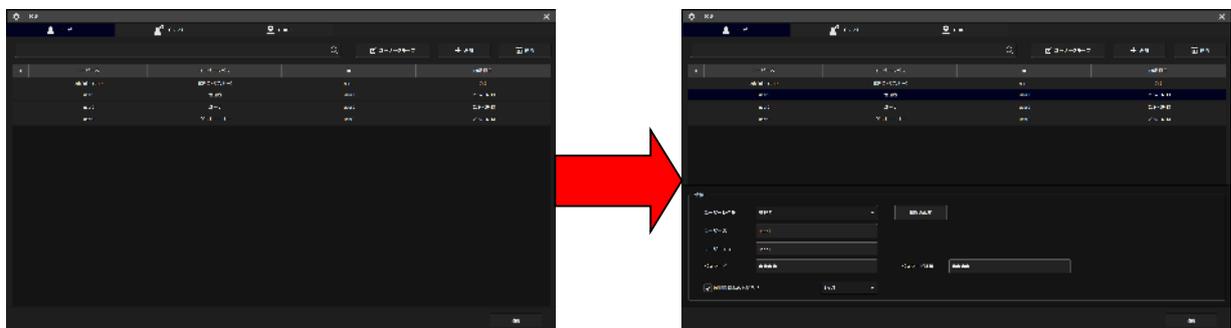
- 新たにユーザーを追加した場合、それらのユーザーに対して機器へのアクセス権を設定するまでは、それらのユーザーが機器にアクセスする事は出来ません。
ユーザーのアクセス権については「7.1.1.4.2 機器へのアクセス権 (「機器」タブ)」のページをご覧ください。 **参照**→205 ページ

7.1.1.2. ユーザーの編集

ユーザー情報を編集するには次の手順を実行します。

(1) ユーザーを選択する

ウィンドウ上段のユーザーリストから、編集したいユーザーを選択すると、そのユーザーの情報がウィンドウ下段に表示されます。



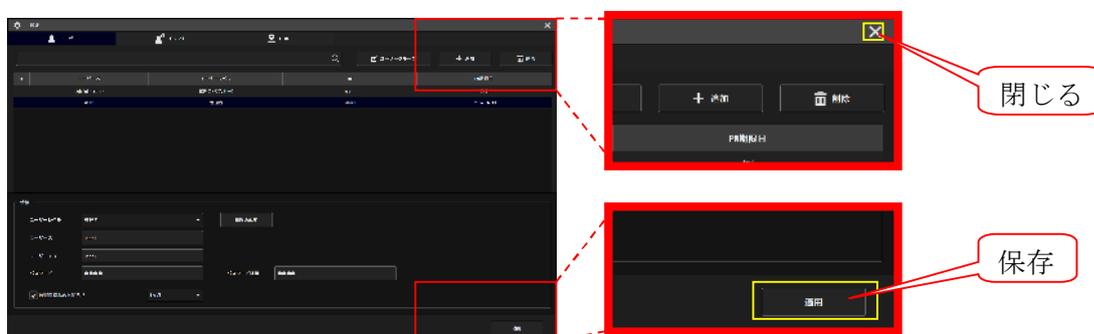
(2) 各項目の選択と入力をする

番号	名称	説明																																												
①	ユーザーレベル	<p>ユーザーの機能に関する操作権限の初期値を選択します。ここで選択した権限は初期値ですので 権限の編集 ボタンを使って後から個別に変更出来ます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>管理者</th> <th>ユーザー</th> <th>ゲストユーザー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設定</td> <td>マスター○ 通常×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>PTZ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>オーディオ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>緊急録画</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>スナップショット</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>再生</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>バックアップ</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>機器状態管理</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>ログ</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>E-MAP</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 権限の編集 ボタンで個別に変更した後に、この選択ボックスで特定のユーザーレベルを選択すると、それぞれのユーザーレベルの初期値に戻ります。 ● 「設定」の権限は、マスター管理者（NETUS-Pro をインストールしたときに最初からある管理者）だけに認められた特別な権限です。他のユーザーに与えることは出来ません。 	機能	管理者	ユーザー	ゲストユーザー	設定	マスター○ 通常×	×	×	PTZ	○	○	×	オーディオ	○	○	×	緊急録画	○	○	×	スナップショット	○	○	○	再生	○	○	×	バックアップ	○	×	×	機器状態管理	○	○	×	ログ	○	×	×	E-MAP	○	○	×
機能	管理者	ユーザー	ゲストユーザー																																											
設定	マスター○ 通常×	×	×																																											
PTZ	○	○	×																																											
オーディオ	○	○	×																																											
緊急録画	○	○	×																																											
スナップショット	○	○	○																																											
再生	○	○	×																																											
バックアップ	○	×	×																																											
機器状態管理	○	○	×																																											
ログ	○	×	×																																											
E-MAP	○	○	×																																											
②	権限の編集	<p>ユーザーの権限を個別に編集するための「ユーザー権限」ウィンドウを開きます。「ユーザー権限」ウィンドウについては「7.1.1.4 ユーザー権限の編集」のページをご覧ください。 参照→202 ページ</p>																																												
③	ユーザー名	<p>ユーザー名を 64 文字以内の日本語で入力します。</p>																																												
④	ユーザーID	<p>ログイン時に入力する識別用の名称を 12 文字以内の半角英数で入力します。</p>																																												
⑤	パスワード	<p>ログイン時に入力するパスワードを 12 文字以内の半角英数で入力します。</p> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変更前に欄内に表示される「●●●●」は、実際のパスワードの文字数に関係なく 4 個です。 																																												

番号	名称	説明
⑥	パスワード確認	<p>パスワードの入力に誤りがないかを確認するために、もう一度パスワードを入力します。(半角英数 12 文字以内)</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <p>● 変更前に欄内に表示される「●●●●」は、実際のパスワードの文字数に関係なく 4 個です。</p> </div>
⑦	PW 期限切れのお知らせ	<p>左側のチェックボックスをチェックするとパスワードに有効期限を持たせる事が出来ます。有効期限は右側の選択リストで「1ヶ月」「3ヶ月」「6ヶ月」から選択出来ます。</p>

(3) **適用** ボタンをクリックする

編集したユーザー情報を保存するには **適用** ボタンをクリックします。続けて別のユーザーを入力する場合は①の手順に戻ります。入力を終了する場合は **閉じる** (終了) ボタンをクリックして「設定」ウィンドウを閉じます。



< 注 意 >

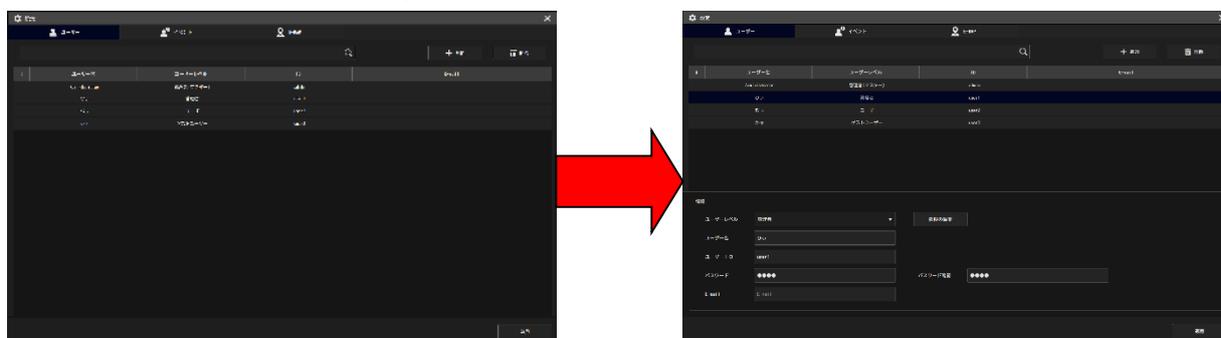
- マスター管理者 (NETUS-Pro をインストールしたときに最初からある管理者) の設定を変更することは出来ません。

7.1.1.3. ユーザーの削除

ユーザーを削除するには次の手順を実行します。

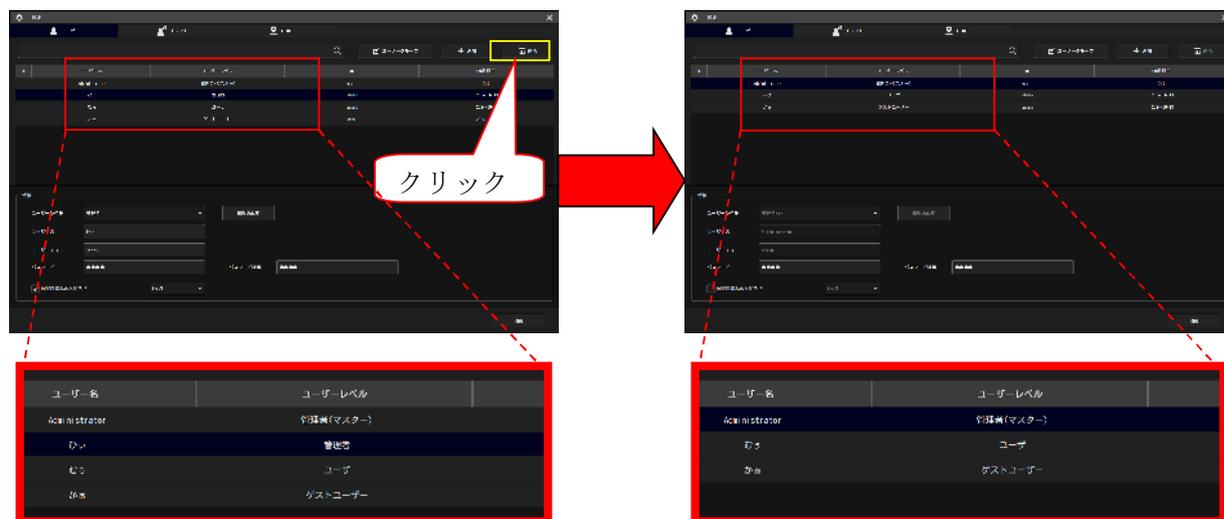
(1) ユーザーを選択する

ウィンドウ上段のユーザーリストから、編集したいユーザーを選択すると、そのユーザーの情報がウィンドウ下段に表示されます。



(2) **削除** (削除) ボタンをクリックする

ユーザーの削除を実行するには、**削除** (削除) ボタンをクリックします。



図の例では、最初に選択していた「ひい」が削除され「Administrator」が選択された状態になっています。

< 注意 >

- マスター管理者 (NETUS-Pro をインストールしたときに最初からある管理者) は削除出来ません。

7.1.1.4. ユーザー権限の編集

「設定」ウィンドウの「ユーザー」タブで **権限の編集** ボタンをクリックすると「ユーザー権限」ウィンドウが開きます。

このウィンドウでは、それぞれのユーザーに対する「機能」のアクセス権と「機器」のアクセス権及び「お気に入り」のアクセス権を編集することができます。

7.1.1.4.1. 機能へのアクセス権（「権限」タブ）

「ユーザー権限」ウィンドウを開いたときに最初に表示されるのはこの「権限」タブです。ここでは、個別のユーザーが利用可能な NETUS-Pro の機能を選択します。



機能	説明
設定	<p>このチェックボックスは変更できません。設定（ユーザー・イベント・E-MAP の設定）へのアクセスはマスター管理者（NETUS-Pro をインストールしたときに最初からある管理者）にだけ認められた特別な権限です。</p> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境設定は、この範囲には含まれません。全てのユーザーが操作出来ます。
PTZ	<p>チェックボックスがチェックされている場合に各機器の PTZ 操作を許可します。</p>
オーディオ	<p>チェックボックスがチェックされている場合に各機器のライブ及び再生の音声へのアクセスを許可します。</p> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオの権限を持たないユーザーがバックアップ操作を実行した場合には、バックアップデータに音声が含まれます。 ● 緊急録画の音声は、オーディオの権限を与えられたユーザーが緊急録画を実行しているチャンネルの音声をオンにしている場合にだけ記録されます。 ● レコーダ側で Live Audio Transmission がオフに設定されているチャンネルのライブ音声は緊急録画では録音出来ません。

機能	説明
緊急録画	<p>チェックボックスがチェックされている場合に緊急録画の操作を許可します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急録画の音声は、オーディオの権限を与えられたユーザーが緊急録画を実行しているチャンネルの音声をオンにしている場合にだけ記録されません。 </div>
スナップショット	<p>チェックボックスがチェックされている場合にスナップショットの操作を許可します。</p>
再生	<p>チェックボックスがチェックされている場合に再生及び即時再生を許可します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● チェックを外して再生を禁止した場合、再生ウィンドウから実行しなければならないバックアップ機能も一緒に使えなくなります。 </div>
バックアップ	<p>チェックボックスがチェックされている場合に機器の録画用 HDD に記録された映像のバックアップを許可します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオの権限を持たないユーザーがバックアップ操作を実行した場合には、バックアップデータに音声が含まれます。 </div>
機器状態管理	<p>チェックボックスがチェックされている場合に機器状態管理機能へのアクセスを許可します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● チェックボックスがチェックされていない状態でも、機器アラームポップアップ及びサイドメニューの機器状態お知らせ機能は、制限を受けません。 </div>
ログ	<p>チェックボックスがチェックされている場合にログ管理機能へのアクセスを許可します。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● チェックボックスがチェックされていない状態でも、機器アラームポップアップ及びサイドメニューの機器状態お知らせ機能は、制限を受けません。 ● チェックボックスがチェックされていない状態でも、イベント管理機能へのアクセスは制限を受けません。 </div>
E-MAP	<p>チェックボックスがチェックされている場合に E-MAP 機能へのアクセスを許可します。</p>

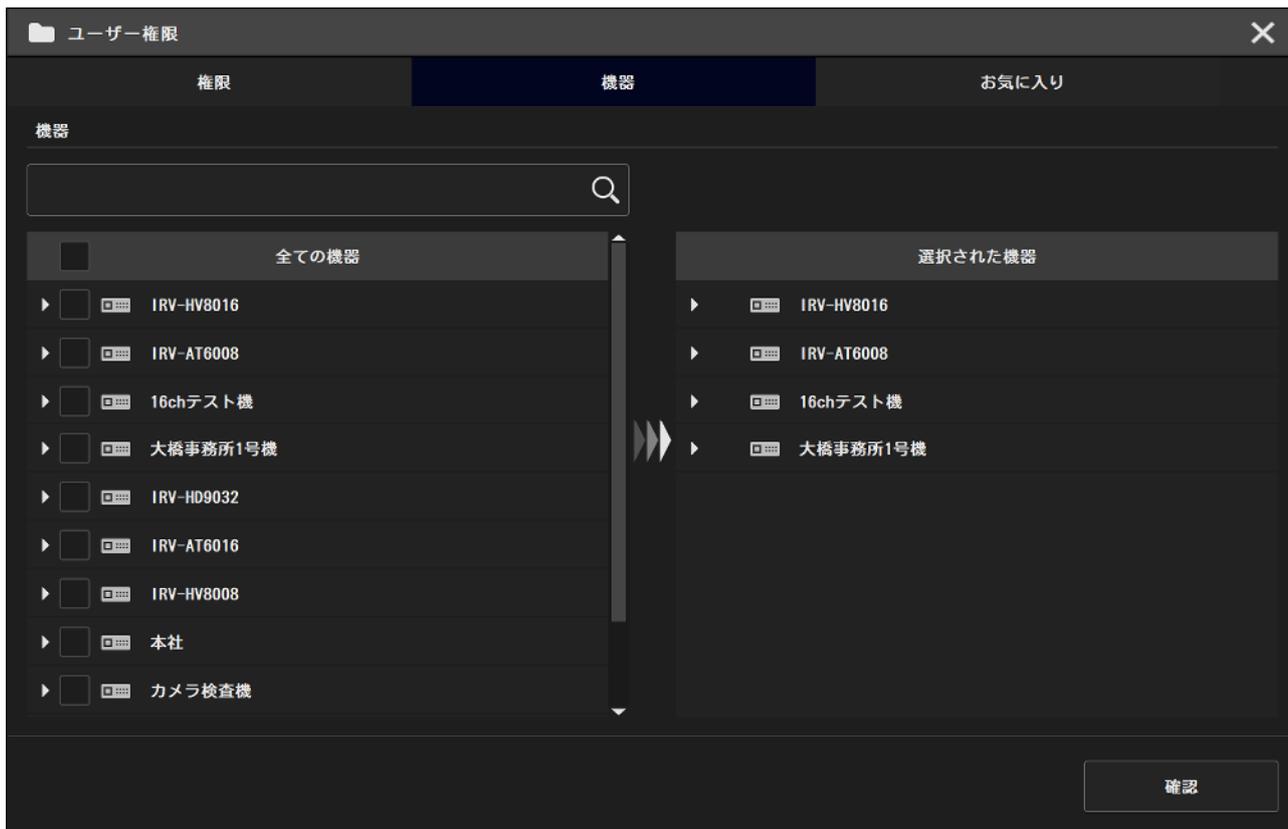
7.1.1.4.2. 機器へのアクセス権（「機器」タブ）

ここでは、各ユーザーが監視や再生する事が出来る機器を選択します。

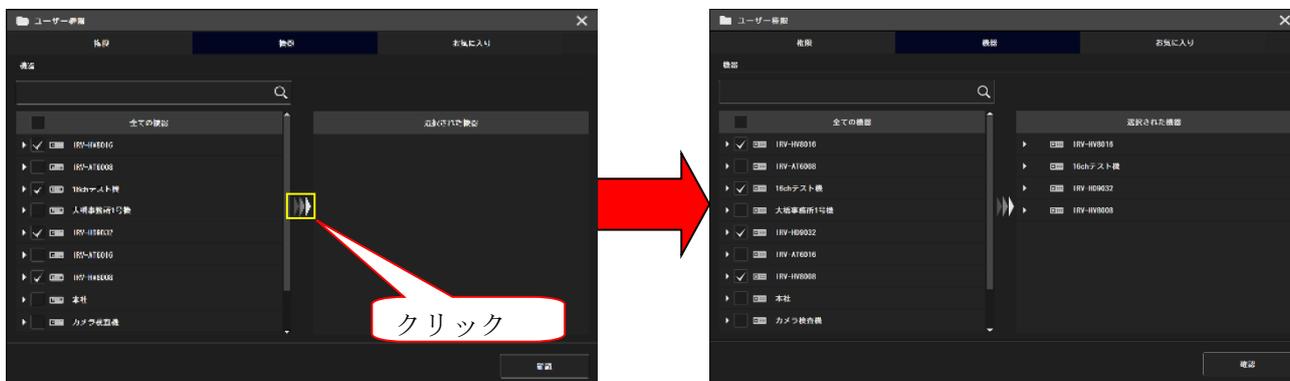
「ユーザー権限」ウィンドウの機器タブでは、左側のリストに NETUS-Pro に登録されている全ての機器が表示されます。右側のリストにはユーザーにアクセスを許可する機器のリストが表示されます。

< 注意 >

- ユーザーを追加した直後の状態では、全ての機器へのアクセスが許可されていません。



機器へのアクセスを許可するには、左側の「全ての機器」リストの中から、アクセスを許可する機器のチェックボックスをチェックし  ボタンをクリックするとチェックした機器が右の「選択された機器」リストにも表示されます。（左のリストから機器が消えないことに注目！）



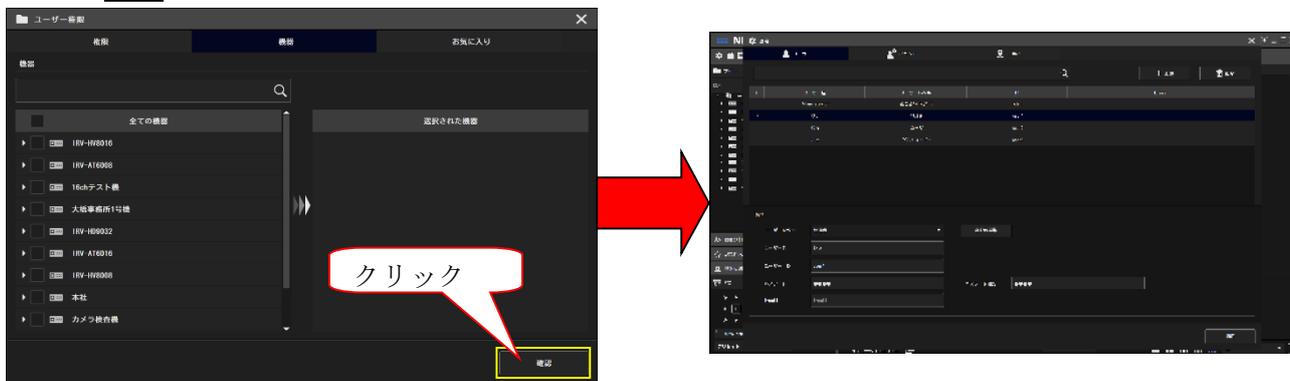
選択された機器のリストから機器を削除するには、現在選択されている機器かどうかに関わらず、以後アクセスを許可したい機器を左のリストでチェックしてから **▶▶** ボタンをクリックします。



つまり、全ての許可を削除する（取り消す）場合は左のリストで全ての機器をチェックしない状態で **▶▶** ボタンをクリックすれば良い事になります。



最後に **確認** ボタンをクリックすると設定を保存して「ユーザー権限」ウィンドウを閉じます。



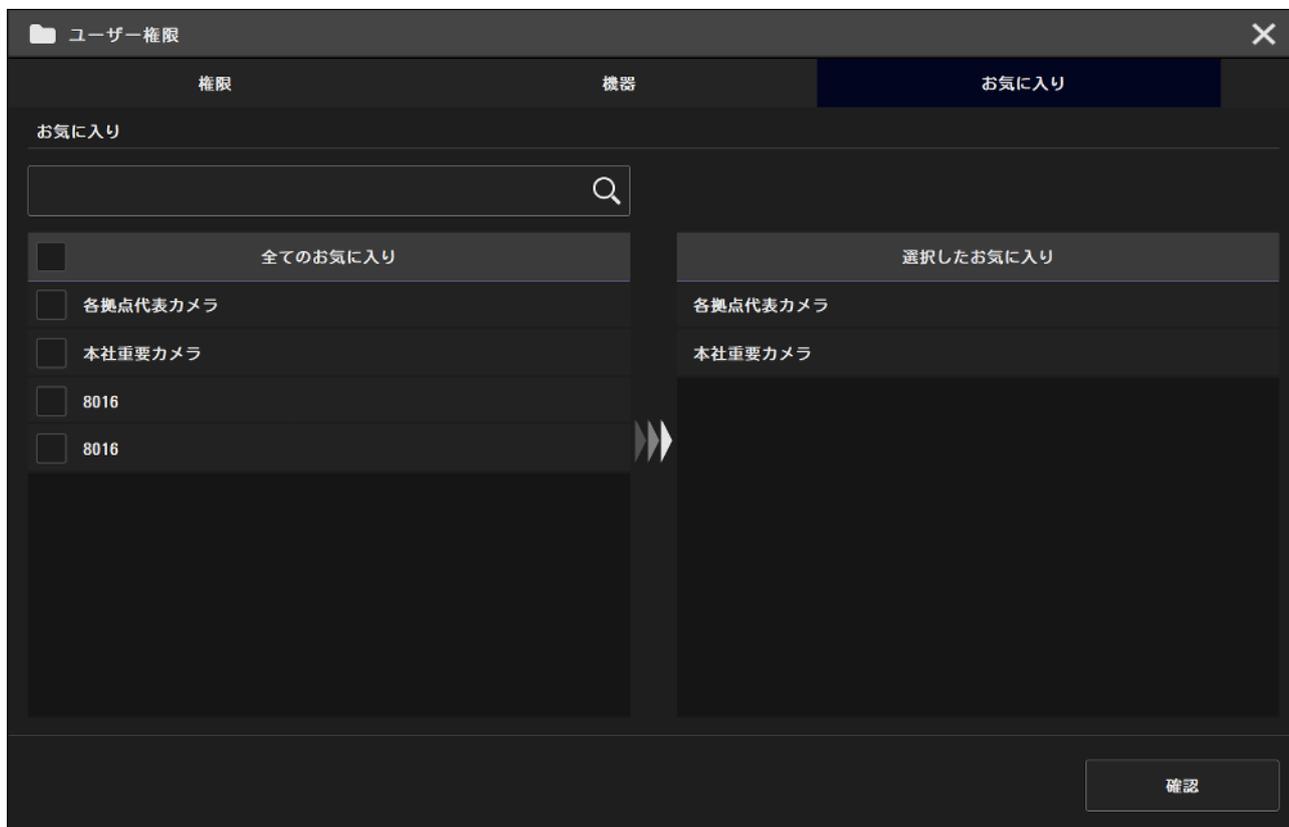
7.1.1.4.3. お気に入りへのアクセス権（「お気に入り」タブ）

ここでは、各ユーザーが利用可能なお気に入りを選択します。

「ユーザー権限」ウィンドウのお気に入りタブでは、左側のリストに NETUS-Pro に登録されている全体的お気に入りが表示されます。右側のリストにはユーザーにアクセスを許可するお気に入りのリストが表示されます。

< 注意 >

- ユーザーを追加した直後の状態では、全てのお気に入りへのアクセスが許可されていません。
- ユーザーにアクセスが許可されていない機器がお気に入りに含まれている場合、その機器にはアクセス出来ません。



お気に入りへのアクセスを許可するには、左側の「全てのお気に入り」リストの中から、アクセスを許可するお気に入りのチェックボックスをチェックし  ボタンをクリックするとチェックしたお気に入りの右の「選択されたお気に入り」リストにも表示されます。（左のリストからお気に入りが消えないことに注目！）



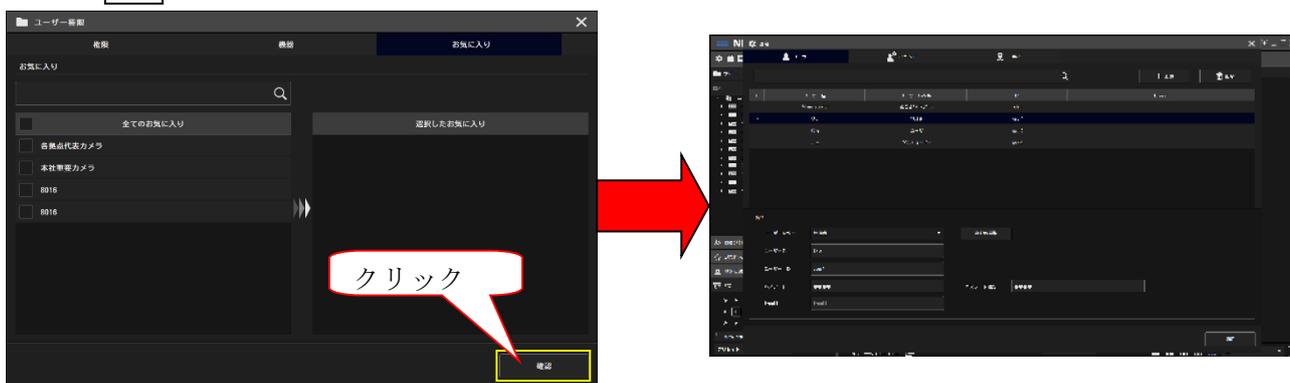
選択されたお気に入りのリストからお気に入りを削除するには、現在選択されているお気に入りかどうかに関わらず、以後アクセスを許可したいお気に入りを左のリストでチェックしてから **▶** ボタンをクリックします。



つまり、全ての許可を削除する（取り消す）場合は左のリストで全てのお気に入りをチェックしない状態で **▶** ボタンをクリックすれば良い事になります。



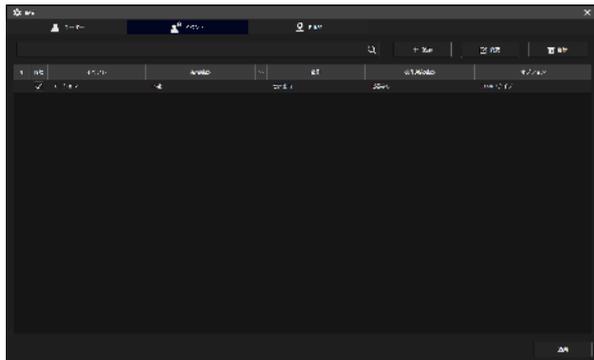
最後に **確認** ボタンをクリックすると設定を保存して「ユーザー権限」ウィンドウを閉じます。



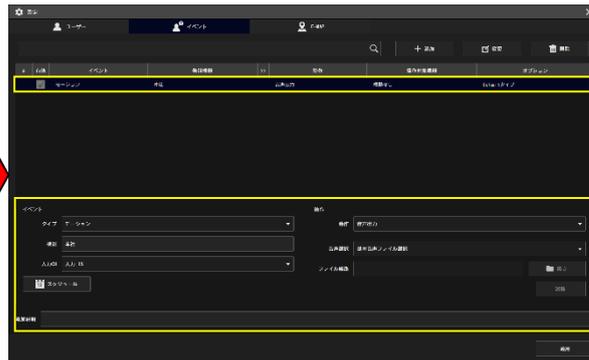
7.1.2. イベント（イベントアクション）

「イベント」タブでは、機器で発生したイベントを NETUS-Pro がどのように処理するか（イベントアクション）を設定します。

ウィンドウは上下二段に分かれており、上段にはイベントアクション（イベントとそれに対する NETUS-Pro の対応）を示すリストを表示し、下段には上段のリストで選択したイベントアクションの各設定項目が表示されます。なお、下段はイベントアクションを選択（クリック）するまでは何も表示されません。



イベント選択前



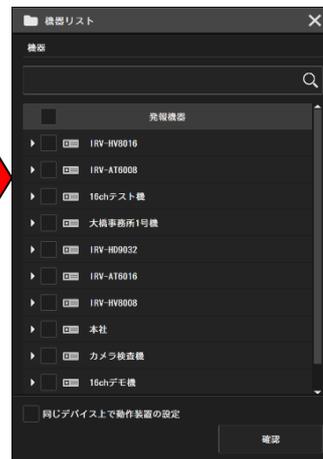
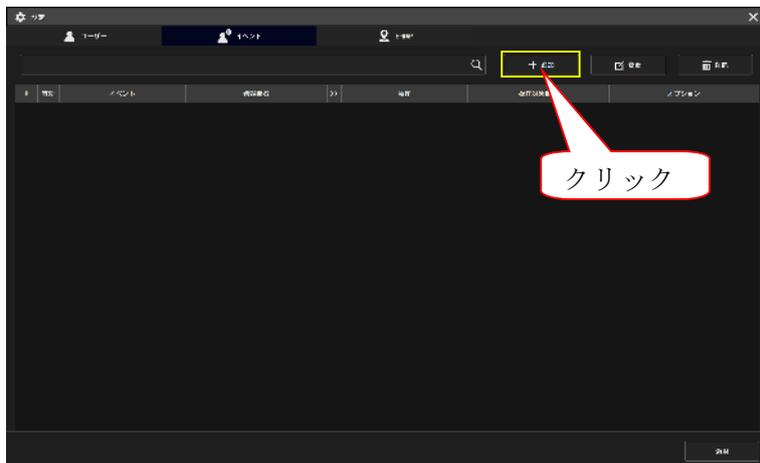
イベント選択後

7.1.2.1. イベントアクションの追加

イベントアクションを追加するには次の手順を実行します。

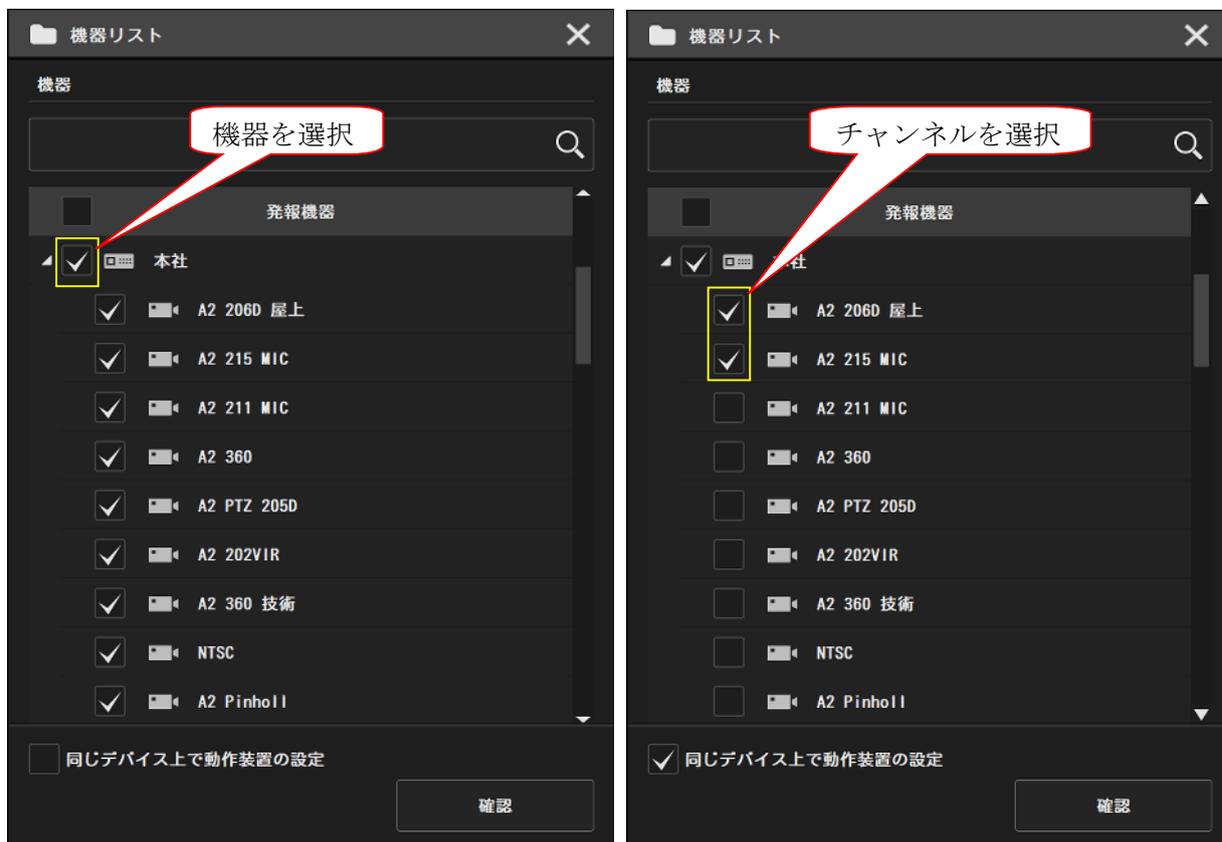
- (1) **+追加** ボタンをクリックする

機器リストが表示されます。



(2) 機器または機器のチャンネルをチェックする

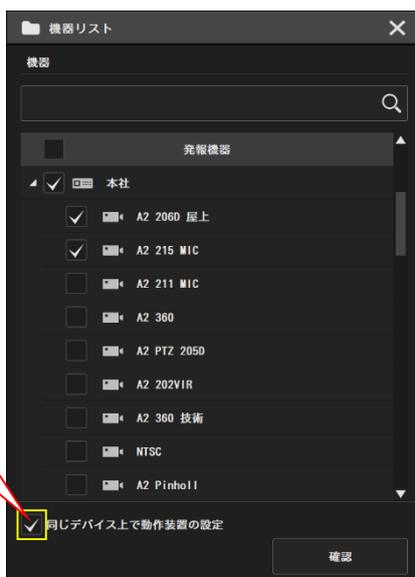
表示された機器リストから、イベントを検出する機器または機器のチャンネルをチェックします。機器のチェックボックスをチェックした場合、その機器の全てのチャンネルがチェックされます。チャンネルのチェックボックスをチェックした場合、チェックしたチャンネルだけがチェックされます。



(3) 必要に応じて「同じデバイス上で動作装置の設定」をチェックする

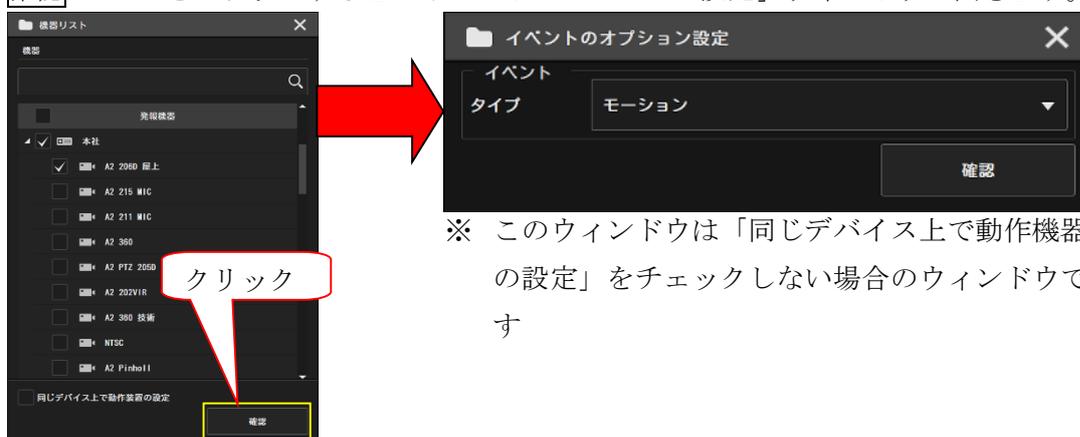
このチェックボックスは、(2)の手順で機器または複数のチャンネルをチェックした場合に、その全てに対して同じ動作処理を適用するかどうかを選択するものです。このチェックの有無によって(4)の手順で表示されるウィンドウが異なります。

チェックすると全ての
選択チャンネルに同じ
動作設定を適用します。



(4) **確認** をクリックする

確認 ボタンをクリックすると「イベントのオプション設定」ウィンドウが開きます。



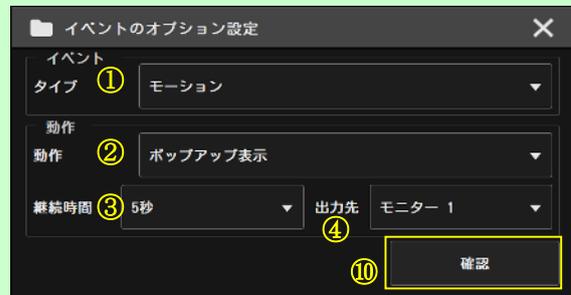
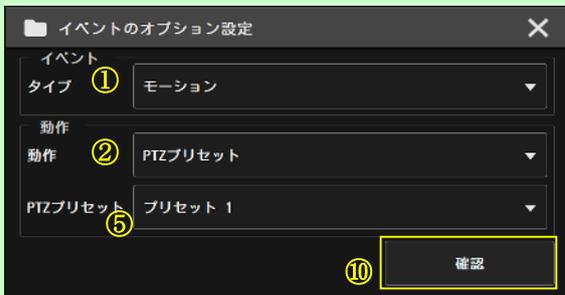
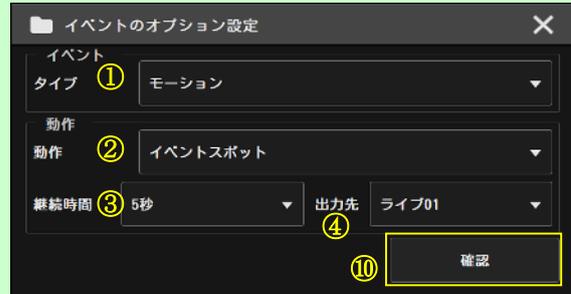
※ このウィンドウは「同じデバイス上で動作機器
の設定」をチェックしない場合のウィンドウで
す

(5) イベントのオプション設定の各項目を選択する

「イベントのオプション設定」では「機器リスト」ウィンドウの「同じデバイス上で動作機器の設定」のチェックの有無と「イベントのオプション設定」ウィンドウの「動作」の選択条件によって欄の異なるウィンドウが表示されます。各項目の選択については次の図と表を参考にしてください。



「同じデバイス上で動作装置の設定」オフ
「同じデバイス上で動作装置の設定」オン



番号	名称	説明						
①	タイプ	検出するイベントの種類を「モーション」と「センサー」から選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。						
②	動作	イベントが発生した場合に実行する動作を「PTZプリセット」「イベントスポット」「音声出力」「ポップアップ表示」「ポップアップイメージ」「イベント通知」「アラムポップアップ」から選択します。 ここでの選択肢によって③～⑨までの項目の有無が変わります。 この欄は「同じデバイス上で動作装置の設定」をオンにした場合にだけ利用出来ます。						
③	継続時間	動作の欄で「イベントスポット」または「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を画面に表示する時間を「5秒」「10秒」「20秒」「30秒」から選択します。						
④	出力先	動作の欄で「ポップアップ表示」または「イベントスポット」を選択した場合に、それらの映像を表示する出力先を選択します。 出力先の選択肢は次表ようになります。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>動作</th> <th>選択肢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベントスポット</td> <td>「ライブ1」～「ライブ4」</td> </tr> <tr> <td>ポップアップ表示</td> <td>「モニター番号1」「モニター番号2」</td> </tr> </tbody> </table>	動作	選択肢	イベントスポット	「ライブ1」～「ライブ4」	ポップアップ表示	「モニター番号1」「モニター番号2」
動作	選択肢							
イベントスポット	「ライブ1」～「ライブ4」							
ポップアップ表示	「モニター番号1」「モニター番号2」							
⑤	PTZプリセット	動作の欄で「PTZプリセット」を選択した場合に、PTZカメラに送信するプリセット番号を「プリセット1」～「プリセット256」から選択します。						
⑥	音声ファイル選択	動作の欄で「音声出力」を選択した場合に、警告音としてNETUS-Proに予め設定されたチャイム音を利用するか別の音声ファイルを利用するかを選択します。						
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期音声</td> <td>NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。</td> </tr> <tr> <td>音声ファイル選択</td> <td>wav形式の音声ファイルを利用します。</td> </tr> </tbody> </table>	初期音声	NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。	音声ファイル選択	wav形式の音声ファイルを利用します。		
初期音声	NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。							
音声ファイル選択	wav形式の音声ファイルを利用します。							
⑦	ファイルのパス	⑥で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をフルパスで入力します。通常フルパスでの入力は難しいので⑧の「開く」ボタンを使ってドライブやフォルダから順に選択する事をお勧めします。						
⑧	開く ボタン	⑥で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をドライブやフォルダから順に選択する方法で入力します。						
⑨	試聴 ボタン	⑦⑧で選択した音声ファイルを試聴のために再生します。						
⑩	確認 ボタン	イベントのオプション設定を保存して「設定」ウィンドウに戻ります。						

＜ 情 報 ＞

- イベントのオプション設定で入力した内容は後から設定ウィンドウで修正出来ます。
- ポップアップ表示の動作については「8.1.1 ポップアップ表示の表示例」をご覧ください。

参照 → 246 ページ

< 注 意 >

- NETUS-Pro を実行している PC に 2 台目のモニターが接続されていない場合、ポップアップ表示の出力先として「モニター番号 2」を選択することは出来ません。
- PTZ 制御を実行する場合に、イベントを検出する機器と動作を実行する機器が異なる場合は「同じデバイス上で動作装置の設定」チェックボックスをチェックしない（オフ）状態でイベントのオプション設定に進んでください。

(6) 必要に応じて各項目の選択と入力をする

「イベントのオプション設定」ウィンドウを閉じると、(2)～(5)で選択した内容が入力された状態で「設定」ウィンドウに戻ります。(2)で機器または複数のチャンネルを選択した場合、選択したチャンネル数と同じ数の行が追加されている点に注意してください。「設定」ウィンドウでの設定作業は各行毎におこないます。

#	有効	イベント	発報機器	動作	操作対象機器	オプション
*	<input checked="" type="checkbox"/>	モーション	本社	音声出力	機器なし	Defaultタイプ
*	<input checked="" type="checkbox"/>	モーション	本社	音声出力	機器なし	Defaultタイプ

設定

ユーザー イベント E-MAP

+ 追加 変更 削除

イベント

タイプ: モーション
機器: 本社
入力ID: 入力 2
スケジュール

動作

動作: 音声出力
音声選択: 基本音声ファイル選択
ファイル経路: 開き
試験

追加説明:

適用

ウィンドウ下段の欄は次の図と表を参考に選択してください。

イベント

① タイプ モーション

② 機器 本社

③ 入力CH 入力 2

⑫ スケジュール

追加説明

動作

④ 動作 PTZプリセット

⑤ 機器 機器なし

⑧ プリセット# プリセット 1

イベント

① タイプ モーション

② 機器 本社

③ 入力CH 入力 2

⑫ スケジュール

追加説明

動作

④ 動作 イベントスポット

⑤ 機器 機器なし

⑥ 継続時間 5秒

⑦ 出力先 ライブ01

イベント

① タイプ モーション

② 機器 本社

③ 入力CH 入力 2

⑫ スケジュール

追加説明

動作

④ 動作 音声出力

⑨ 音声選択 基本音声ファイル選択

⑩ ファイル経路

⑪ ヘルプ

⑫ OK

イベント

① タイプ モーション

② 機器 本社

③ 入力CH 入力 2

⑫ スケジュール

追加説明

動作

④ 動作 ポップアップ表示

⑤ 機器 機器なし

⑥ 継続時間 5秒

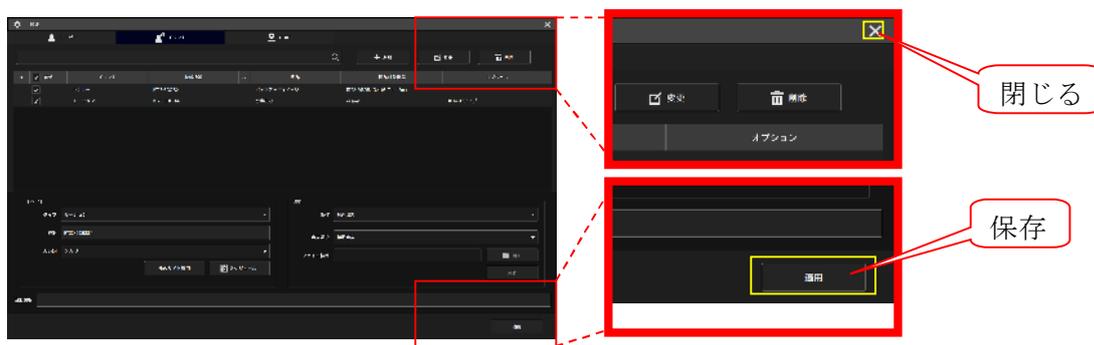
⑦ 出力先 モニター番号1

番号	名称	説明
①	タイプ	検出するイベントの種類を「モーション」と「センサー」から選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
②	機器	イベントを検出する側の機器を選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
③	入力 CH	イベントを検出する側の機器の検出するチャンネルを選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
④	動作	イベントが発生した場合に実行する動作を「PTZ プリセット」「イベントスポット」「音声出力」「ポップアップ表示」「ポップアップイメージ」「イベント通知」「アラムポップアップ」から選択します。ここでの選択肢によって⑤～⑩までの項目の有無が変わります。この欄は全ての場合に利用出来ます。

番号	名称	説明						
⑤	機器	動作の欄で「PTZプリセット」を選択した場合、PTZ操作を実行する機器とチャンネルを選択します。 動作の欄で「ポップアップ表示」を選択した場合、表示する映像を取込む側の機器とチャンネルを選択します。(映像はPCのモニターに表示します)						
⑥	継続時間	動作の欄で「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を画面に表示する時間を「5秒」「10秒」「20秒」「30秒」から選択します。						
⑦	出力先	動作の欄で「イベントスポット」または「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を表示する出力先を選択します。 出力先の選択肢は次表ようになります。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>動作</th> <th>選択肢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベントスポット</td> <td>「ライブ1」～「ライブ4」</td> </tr> <tr> <td>ポップアップ表示</td> <td>「モニター番号1」「モニター番号2」</td> </tr> </tbody> </table>	動作	選択肢	イベントスポット	「ライブ1」～「ライブ4」	ポップアップ表示	「モニター番号1」「モニター番号2」
動作	選択肢							
イベントスポット	「ライブ1」～「ライブ4」							
ポップアップ表示	「モニター番号1」「モニター番号2」							
⑧	プリセット#	動作の欄で「PTZプリセット」を選択した場合に、PTZカメラに送信するプリセット番号を「プリセット1」～「プリセット256」から選択します。						
⑨	音声選択	動作の欄で「音声出力」を選択した場合に、警告音としてNETUS-Proに予め設定されたチャイム音を利用するか別の音声ファイルを利用するかを選択します。						
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期音声</td> <td>NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。</td> </tr> <tr> <td>音声ファイル選択</td> <td>wav形式の音声ファイルを利用します。</td> </tr> </tbody> </table>	初期音声	NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。	音声ファイル選択	wav形式の音声ファイルを利用します。		
初期音声	NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。							
音声ファイル選択	wav形式の音声ファイルを利用します。							
⑩	ファイル経路	⑨で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をフルパスで入力します。通常フルパスでの入力は難しいので⑪の「開き」ボタンを使ってドライブやフォルダから順に選択する事をお勧めします。						
⑪	開き ボタン	⑨で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をドライブやフォルダから順に選択する方法で入力します。						
⑫	試聴 ボタン	⑩⑪で選択した音声ファイルを試聴のために再生します。						

(7) **適用** ボタンをクリックする

編集したイベントアクション情報を保存するには **適用** ボタンをクリックします。続けて別のイベントアクションを入力する場合は(1)の手順に戻ります。入力を終了する場合は **閉じる** (終了) ボタンをクリックして「設定」ウィンドウを閉じます。



7.1.2.2. イベントアクションの編集

既に登録されているイベントアクションを編集するには「設定」ウィンドウ内で編集する方法と「イベントのオプション設定」ウィンドウ内で編集する方法の2通りの方法があります。

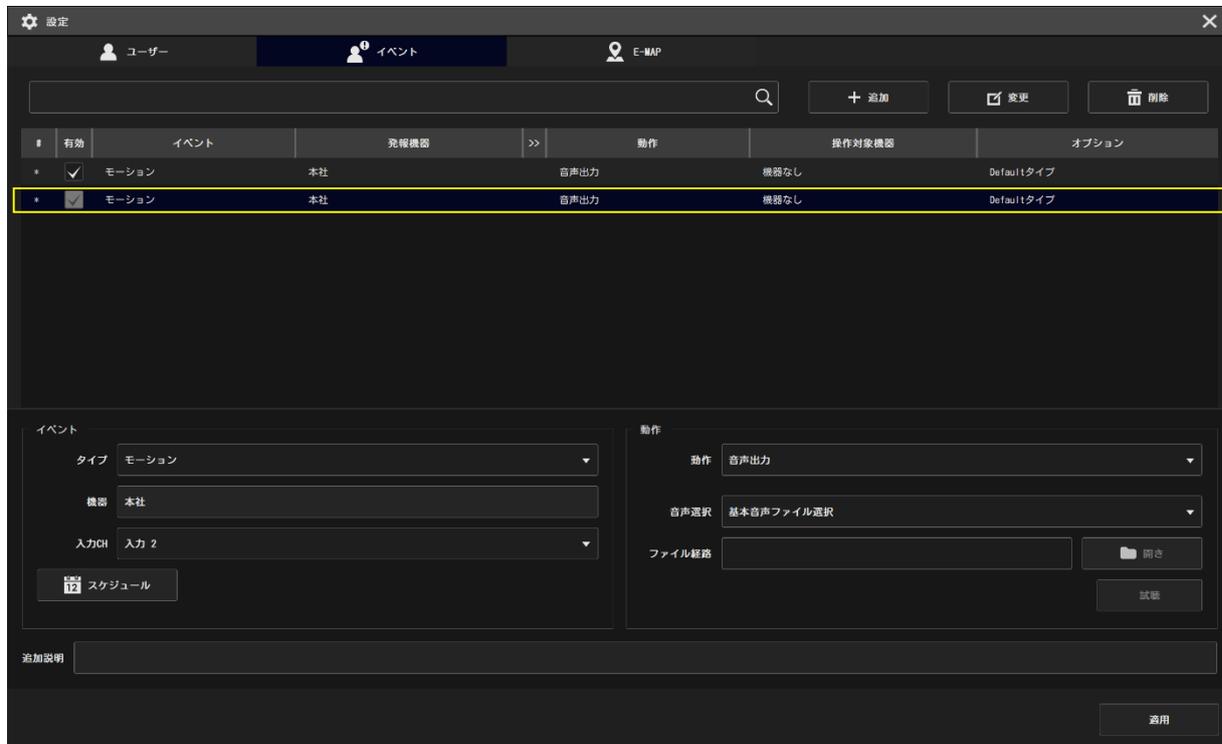
それぞれの方法には次表のような特徴があります。

方法	特徴
設定	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントを検出する側の機器及びチャンネルの変更をすることができます。 ● 複数の行を選択して同じ動作を適用するような設定変更は出来ません。1行ずつ編集してください。 ● イベントを検出する機器とイベントを実行する機器を別の機器に出来ます。
イベントのオプション設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数の行を選択して同じ動作を適用することができます。 ● イベントを検出する側の機器及びチャンネルを変更することは出来ません。 ● イベントを検出する機器とイベントを実行する機器が同じでなければなりません。

7.1.2.2.1. 設定ウィンドウ内で編集する方法

(1) 編集したい行を選択する

ウィンドウ上段から編集したいイベントアクションを1つ選択すると、ウィンドウ下段にその設定が表示され、変更可能な状態になります。



< 注 意 >

- 上段のリストでは、見かけ上は複数の行を選択することが出来ますが、設定ウィンドウでは複数行を同時に変更することは出来ません。必ず1つだけ選択するようにしてください。

(2) 各項目の選択と入力をする

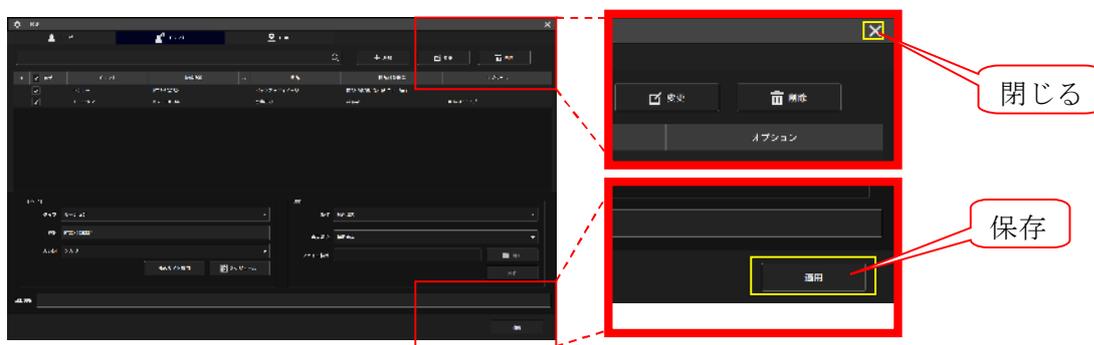
ウィンドウ下段の欄は次の図と表を参考に選択してください。

番号	名称	説明
①	タイプ	検出するイベントの種類を「モーション」と「センサー」から選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
②	機器	イベントを検出する側の機器を選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
③	入力 CH	イベントを検出する側の機器の検出するチャンネルを選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
④	動作	イベントが発生した場合に実行する動作を「PTZ プリセット」「イベントスポット」「音声出力」「ポップアップ表示」「ポップアップイメージ」「イベント通知」「アラムポップアップ」から選択します。ここでの選択肢によって⑤～⑩までの項目の有無が変わります。この欄は全ての場合に利用出来ます。

番号	名称	説明						
⑤	機器	動作の欄で「PTZプリセット」を選択した場合、PTZ操作を実行する機器とチャンネルを選択します。 動作の欄で「ポップアップ表示」を選択した場合、表示する映像を取込む側の機器とチャンネルを選択します。(映像はPCのモニターに表示します)						
⑥	継続時間	動作の欄で「イベントスポット」または「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を画面に表示する時間を「5秒」「10秒」「20秒」「30秒」から選択します。						
⑦	出力先	動作の欄で「イベントスポット」または「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を表示する出力先を選択します。 出力先の選択肢は次表ようになります。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>動作</th> <th>選択肢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベントスポット</td> <td>「ライブ1」～「ライブ4」</td> </tr> <tr> <td>ポップアップ表示</td> <td>「モニター番号1」「モニター番号2」</td> </tr> </tbody> </table>	動作	選択肢	イベントスポット	「ライブ1」～「ライブ4」	ポップアップ表示	「モニター番号1」「モニター番号2」
動作	選択肢							
イベントスポット	「ライブ1」～「ライブ4」							
ポップアップ表示	「モニター番号1」「モニター番号2」							
⑧	プリセット#	動作の欄で「PTZプリセット」を選択した場合に、PTZカメラに送信するプリセット番号を「プリセット1」～「プリセット256」から選択します。						
⑨	音声選択	動作の欄で「音声出力」を選択した場合に、警告音としてNETUS-Proに予め設定されたチャイム音を利用するか別の音声ファイルを利用するかを選択します。						
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期音声</td> <td>NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。</td> </tr> <tr> <td>音声ファイル選択</td> <td>wav形式の音声ファイルを利用します。</td> </tr> </tbody> </table>	初期音声	NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。	音声ファイル選択	wav形式の音声ファイルを利用します。		
初期音声	NETUS-Proに予め設定されているチャイム音を利用します。							
音声ファイル選択	wav形式の音声ファイルを利用します。							
⑩	ファイル経路	⑨で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をフルパスで入力します。通常フルパスでの入力は難しいので⑪の「開き」ボタンを使ってドライブやフォルダから順に選択する事をお勧めします。						
⑪	開き ボタン	⑨で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をドライブやフォルダから順に選択する方法で入力します。						
⑫	試聴 ボタン	⑩⑪で選択した音声ファイルを試聴のために再生します。						

(3) **適用** ボタンをクリックする

編集したイベントアクション情報を保存するには **適用** ボタンをクリックします。続けて別のイベントアクションを入力する場合は①の手順に戻ります。入力を終了する場合は **✕** (終了) ボタンをクリックして「設定」ウィンドウを閉じます。

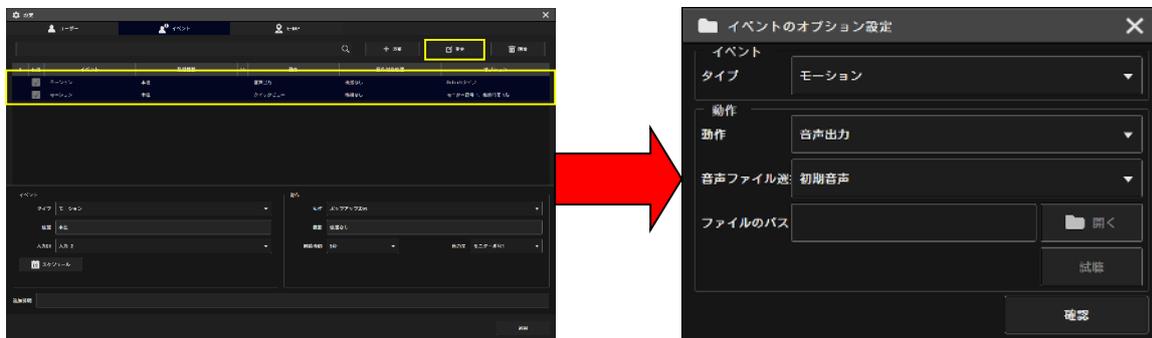


7.1.2.2.2. イベントのオプション設定ウィンドウ内で編集する方法

「イベントのオプション設定」を利用すると、複数のイベントアクションに同じ動作を適用することが出来ます。

(1) 編集したい行を選択して **変更** ボタンをクリックする

ウィンドウ上段から編集したいイベントアクションを選択して **変更** ボタンをクリックすると「イベントのオプション設定」ウィンドウが開きます。(複数行選択可)



(2) イベントのオプション設定の各項目を選択する

「イベントのオプション設定」では「動作」の選択条件によって欄の異なるウィンドウが表示されます。各項目の選択については次の図と表を参考にしてください。



番号	名称	説明
①	タイプ	検出するイベントの種類を「モーション」と「センサー」から選択します。この欄は全ての場合に利用出来ます。
②	動作	イベントが発生した場合に実行する動作を「PTZプリセット」「イベントスポット」「音声出力」「ポップアップ表示」「ポップアップイメージ」「イベント通知」「アラムポップアップ」から選択します。ここでの選択肢によって③～⑨までの項目の有無が変わります。
③	継続時間	動作の欄で「イベントスポット」または「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を画面に表示する時間を「5秒」「10秒」「20秒」「30秒」から選択します。

番号	名称	説明						
④	出力先	動作の欄で「イベントスポット」または「ポップアップ表示」を選択した場合に、それらの映像を表示する出力先を選択します。 出力先の選択肢は次表ようになります。						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>動作</th> <th>選択肢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イベントスポット</td> <td>「ライブ 1」～「ライブ 4」</td> </tr> <tr> <td>ポップアップ表示</td> <td>「モニター番号 1」「モニター番号 2」</td> </tr> </tbody> </table>	動作	選択肢	イベントスポット	「ライブ 1」～「ライブ 4」	ポップアップ表示	「モニター番号 1」「モニター番号 2」
		動作	選択肢					
イベントスポット	「ライブ 1」～「ライブ 4」							
ポップアップ表示	「モニター番号 1」「モニター番号 2」							
⑤	PTZ プリセット	動作の欄で「PTZ プリセット」を選択した場合に、PTZ カメラに送信するプリセット番号を「プリセット 1」～「プリセット 256」から選択します。						
⑥	音声ファイル選択	動作の欄で「音声出力」を選択した場合に、警告音として NETUS-Pro に予め設定されたチャイム音を利用するか別の音声ファイルを利用するかを選択します。						
		初期音声	NETUS-Pro に予め設定されているチャイム音を利用します。					
		音声ファイル選択	wav 形式の音声ファイルを利用します。					
⑦	ファイルのパス	⑥で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をフルパスで入力します。通常フルパスでの入力は難しいので⑨の「開く」ボタンを使ってドライブやフォルダから順に選択する事をお勧めします。						
⑧	「開く」ボタン	⑥で「音声ファイル選択」にした場合の音声ファイルのファイル名をドライブやフォルダから順に選択する方法で入力します。						
⑨	「試聴」ボタン	⑦⑧で選択した音声ファイルを試聴のために再生します。						
⑩	「確認」ボタン	「イベントのオプション設定」を保存して「設定」ウィンドウに戻ります。						

＜ 情 報 ＞

- イベントのオプション設定で入力した内容は後から設定ウィンドウで修正出来ます。
- ポップアップ表示の動作については「8.1.1 ポップアップ表示の表示例」をご覧ください。

参照→246 ページ

＜ 注 意 ＞

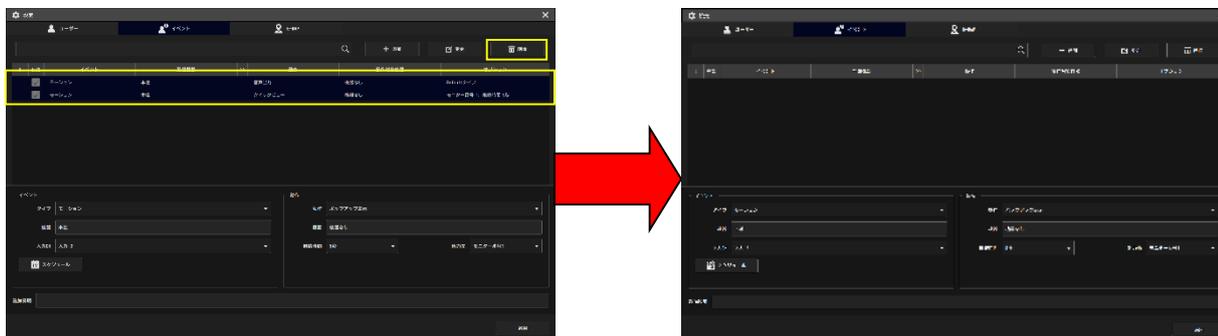
- NETUS-Pro を実行している PC に 2 台目のモニターが接続されていない場合、ポップアップ表示の出力先として「モニター番号 2」を選択する事は出来ません。

(3) 「適用」 ボタンをクリックする

「イベントのオプション設定」ウィンドウを閉じて「設定」ウィンドウに戻ります。

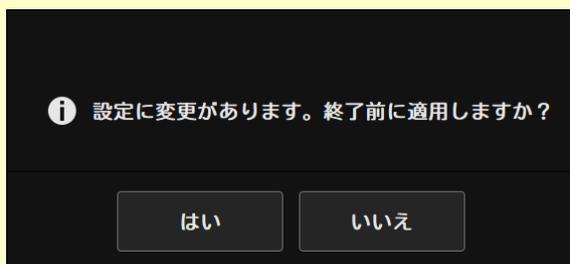
7.1.2.3. イベントアクションの削除

不要になったイベントアクションを削除するには、削除したい行を選択して **削除** ボタンをクリックします。上段のリストで複数の行を選択すると、複数の行を同時に削除することも出来ます。



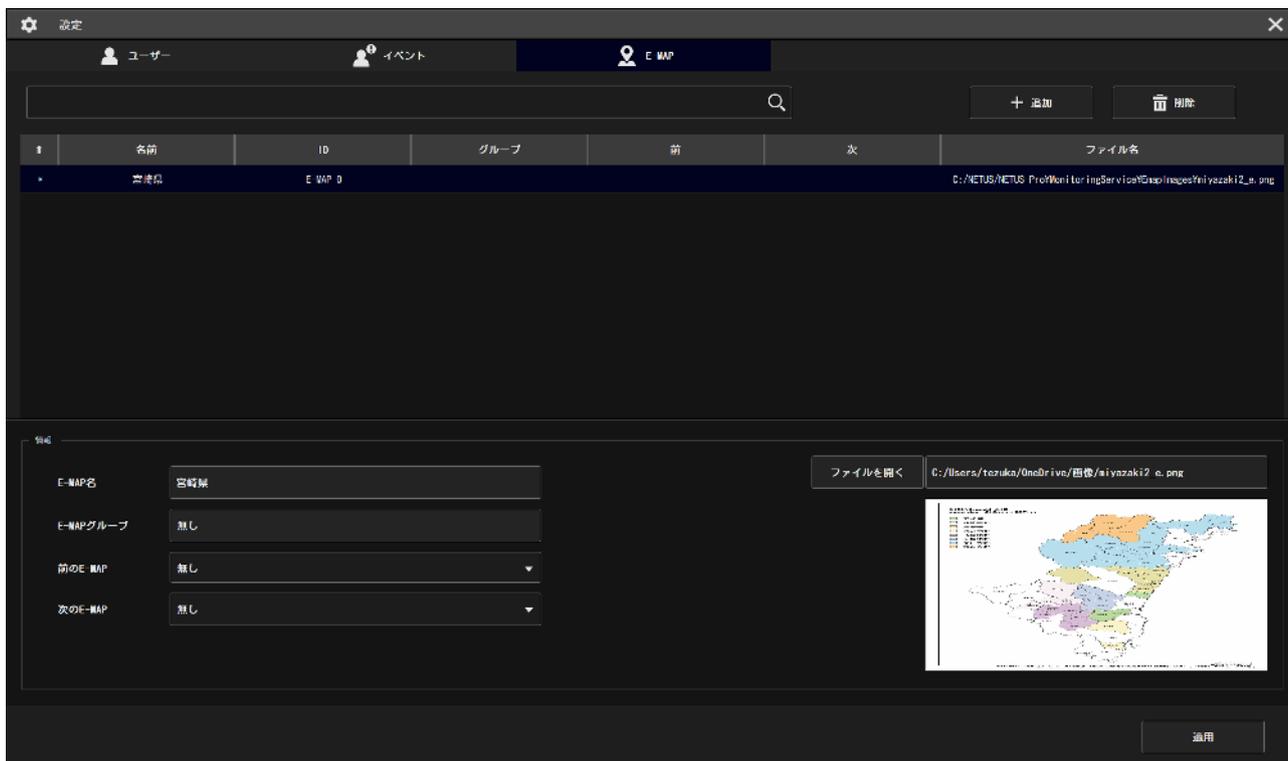
< 注意 >

- 削除の確認を求めるダイアログは表示されません。誤って **削除** ボタンをクリックしてしまった場合は **適用** ボタンをクリックせずに **✕** (終了) ボタンをクリックしてください。次のウィンドウが表示されますので **いいえ** をクリックすると、設定ウィンドウを開く前の状態に戻すことが出来ます。



7.1.3. E-MAP

E-MAP タブでは、E-MAP に使用する地図画像の登録と、それらの表示順序などを設定します。



7.1.3.1. 地図を登録する

NETUS-Pro に E-MAP 用の地図を登録するには、次の手順を実行します。

(1) 地図の画像データを準備する

まず、地図データを準備してください。地図データとして使えるファイルの形式は “jpg” “bmp” “png” のいずれかの形式の画像ファイルです。

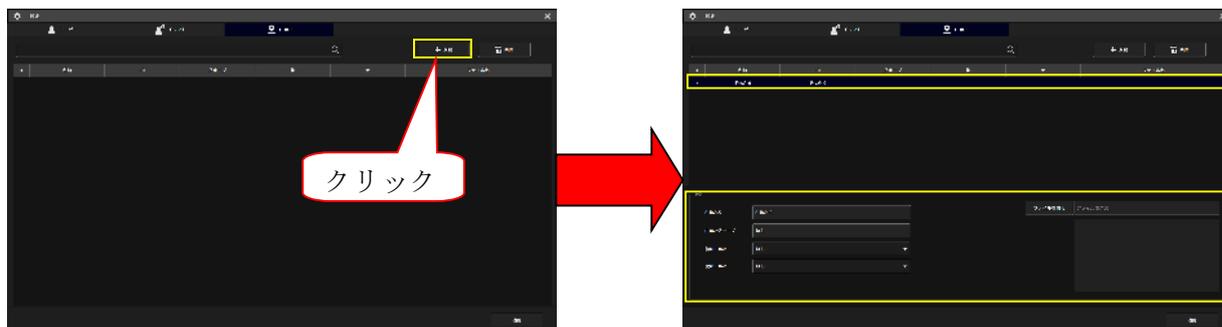
地図データは、NETUS-Pro が必要に応じてその都度読み出して使用しますので、PC のローカルディスク内の適当なフォルダに保存しておいてください。

NETUS-Pro の初期設定では、Windows の「ピクチャ」または「画像」フォルダが使用されます。(ほかの場所でも選択可)

(2) 行を追加する

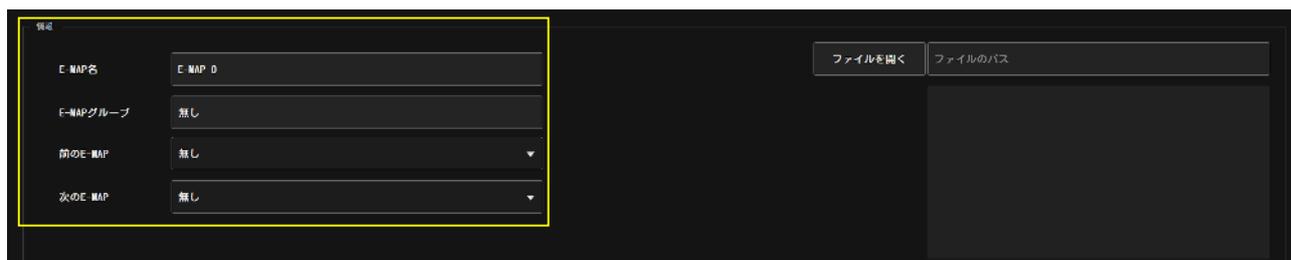
+追加 ボタンをクリックすると、ウィンドウが上下 2 段に分かれ、下段に地図情報を入力するためのフォームが表示されます。そして、上段には新規に作成された “E-MAP 1” のような地図設定情報の行が表示されます。

この 2 段表示の画面では、上段のリストで選択されている（紺色背景）の設定情報を下段のフォームで編集することができます。



(3) 各欄の選択と入力をする

ウィンドウ下段のフォームに地図に関する設定情報を入力します。

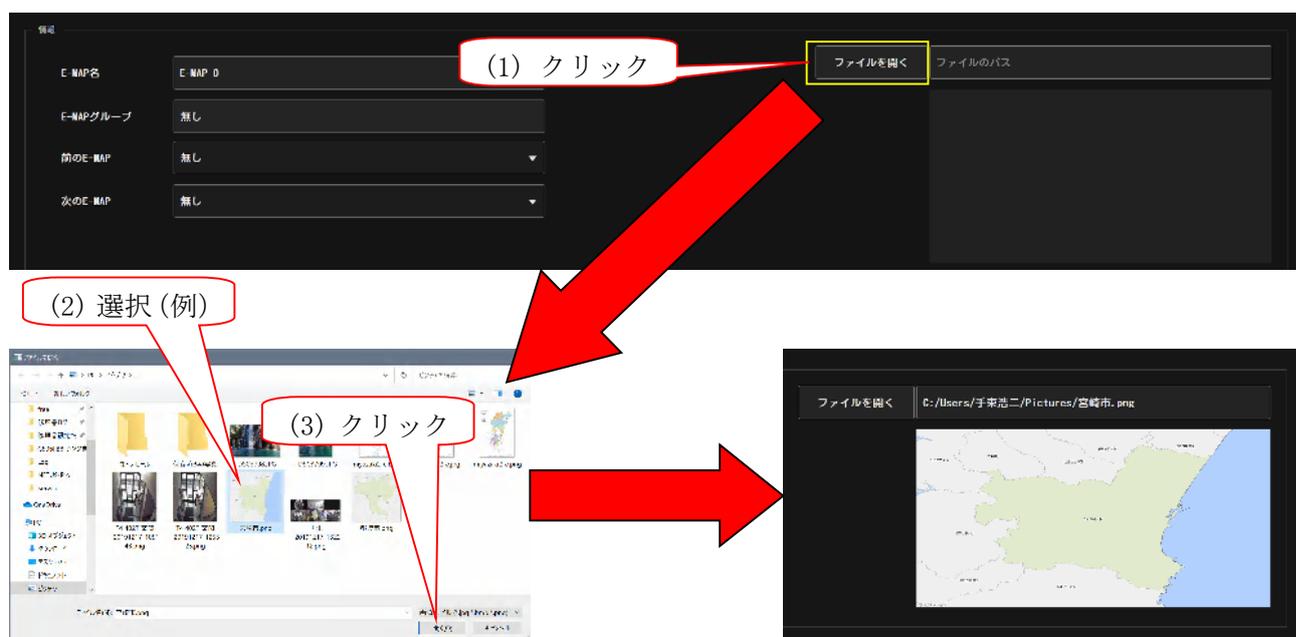


項目	説明
E-MAP 名	地図の名称を入力します。ここで入力された名称はサイドメニューの E-MAP ツリー内に表示する名称として使用されます。
E-MAP グループ	サイドメニューの E-MAP ツリー内でこの地図を表示する E-MAP グループを選択します。
前の E-MAP	E-MAP パネルにこの E-MAP を表示している状態でボトムメニューの  (前の E-MAP) ボタンをクリックした場合に、表示する E-MAP を選択します。
次の E-MAP	E-MAP パネルにこの E-MAP を表示している状態でボトムメニューの  (次の E-MAP) ボタンをクリックした場合に、表示する E-MAP を選択します。

(4) 地図の画像ファイルを選択する

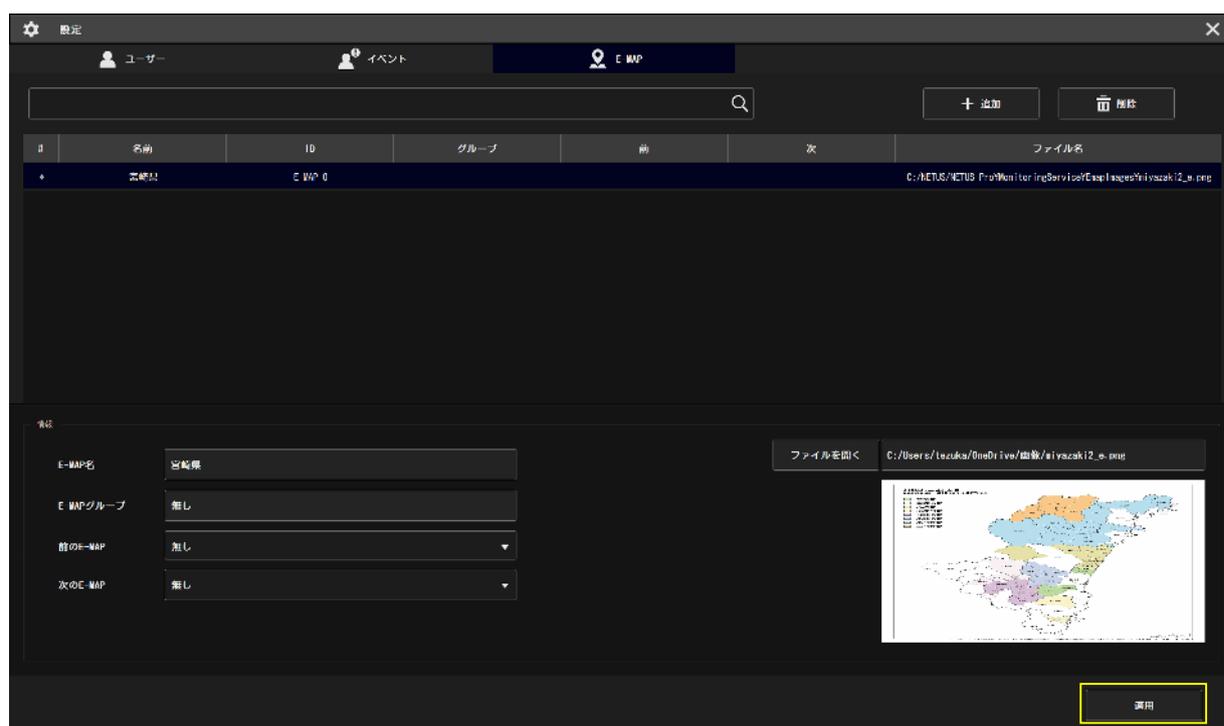
E-MAP パネルに表示する地図の画像ファイルを選択します。利用可能なファイル形式は “jpg” “bmp” “png” です。

ファイルを開く ボタンをクリックすると、「ピクチャ」または「画像」フォルダが開きます。ファイルのフルパスが分かっている場合は「ファイルのパス」項目に直接フルパスをタイプして入力する事も出来ます。



(5) 適用する。

最後に **適用** ボタンをクリックすると、入力された設定が保存されます。



(6) 設定ウィンドウを閉じる

「設定」ウィンドウを閉じる場合は右上の☒（終了）ボタンをクリックします。別の E-MAP 設定をする場合は(4)の手順に戻ります

< 情報 >

- サイドメニューの E-MAP ツリーの正しい位置に表示されない場合は、NETUS-Pro を一旦終了してから再起動することで正しい位置に表示されるようになります。
- 画像ファイルの初期パスはご使用のオペレーティングシステムの設定により異なりますのでアドレスバーでご確認ください。

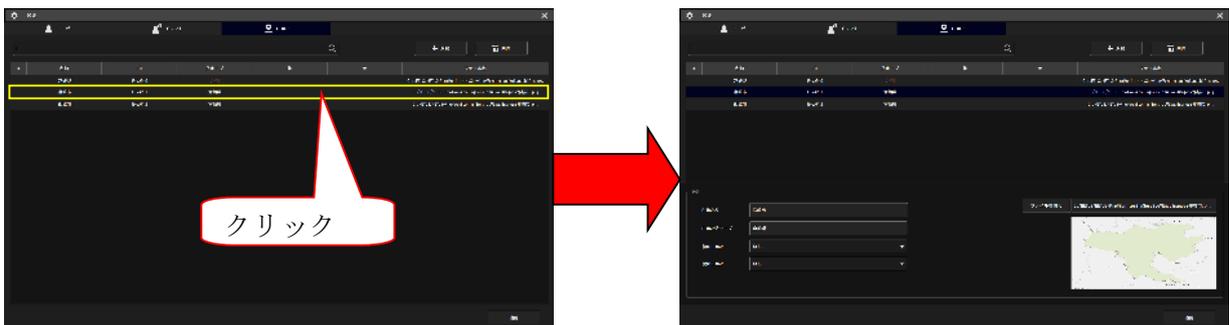
7.1.3.2. 地図の登録情報を編集する

NETUS-Pro に既に登録されている E-MAP 用の地図の登録情報を編集するには、次の手順を実行します。

(1) 編集する行を選択する

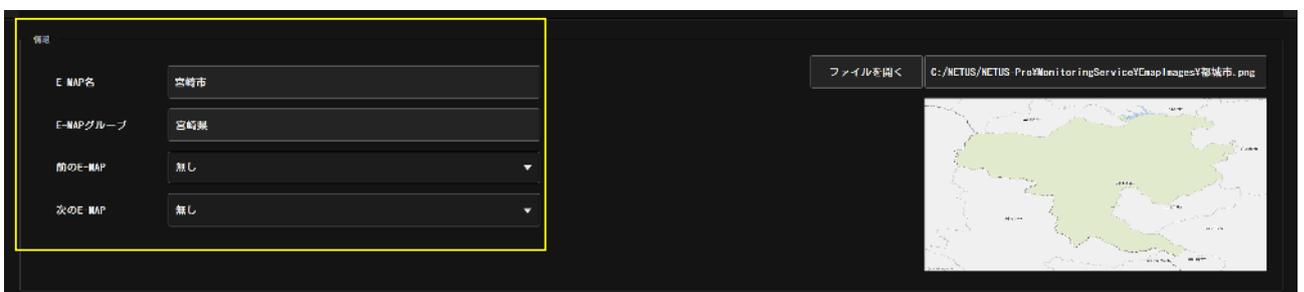
行を選択すると、ウィンドウが上下2段に分かれ、下段に地図情報を入力するためのフォームが表示されます。

この2段表示の画面では、上段のリストで選択されている（紺色背景）の設定情報を下段のフォームで編集することが出来ます。



(2) 各欄の選択と入力をする

ウィンドウ下段のフォームで必要な部分を変更します。

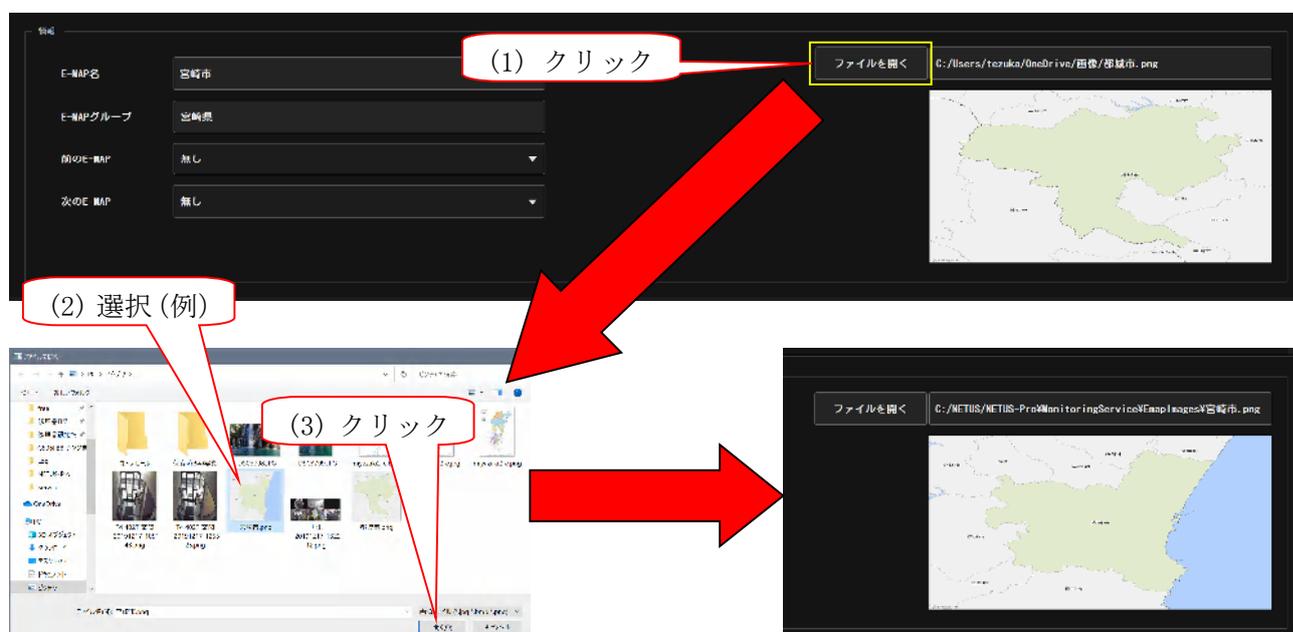


項目	説明
E-MAP 名	地図の名称を入力します。ここで入力された名称はサイドメニューの E-MAP ツリー内に表示する名称として使用されます。
E-MAP グループ	サイドメニューの E-MAP ツリー内でこの地図を表示する E-MAP グループを選択します。
前の E-MAP	E-MAP パネルにこの E-MAP を表示している状態でボトムメニューの  (前の E-MAP) ボタンをクリックした場合に、表示する E-MAP を選択します。
次の E-MAP	E-MAP パネルにこの E-MAP を表示している状態でボトムメニューの  (次の E-MAP) ボタンをクリックした場合に、表示する E-MAP を選択します。

(3) 地図の画像ファイルを選択する

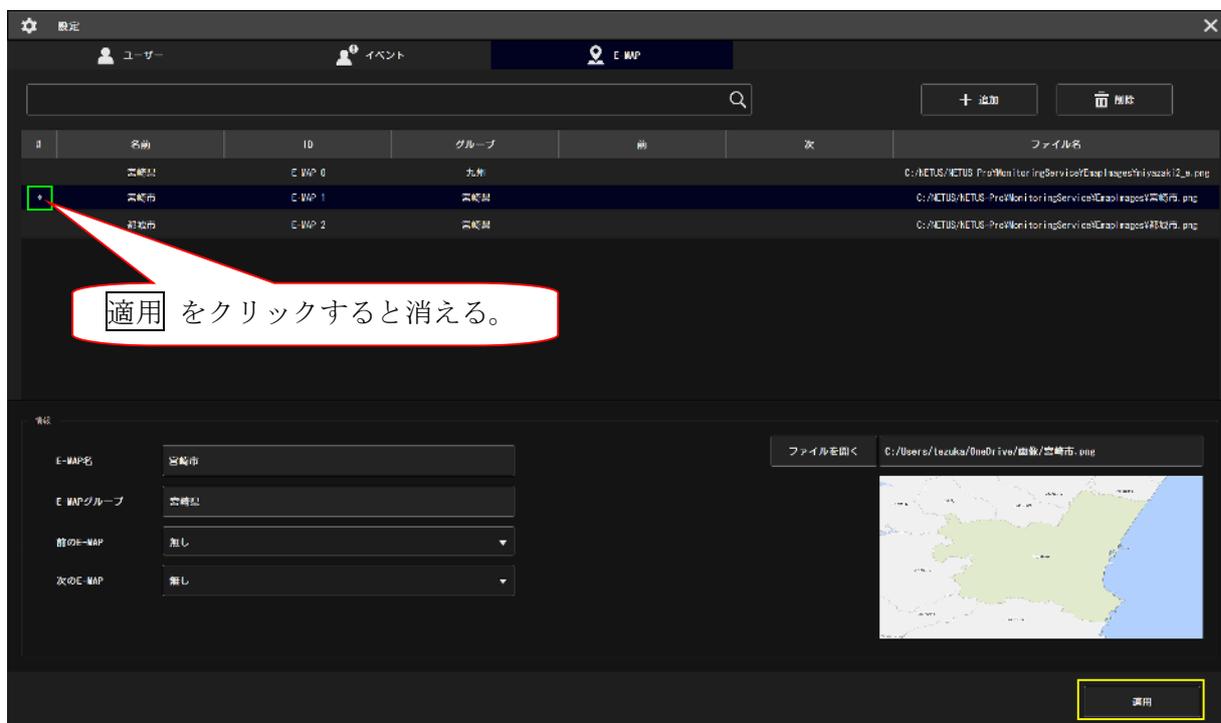
必要な場合は E-MAP パネルに表示する地図の画像ファイルを選択します。利用可能なファイル形式は“jpg” “bmp” “png” です。

ファイルを開く ボタンをクリックすると、「ピクチャ」または「画像」フォルダが開きます。ファイルのフルパスが分かっている場合は「ファイルのパス」項目に直接フルパスをタイプして入力する事も出来ます。



(4) 適用する。

最後に **適用** ボタンをクリックすると、変更された設定が保存されます。



(5) 設定ウィンドウを閉じる

「設定」ウィンドウを閉じる場合は右上の **終了** ボタンをクリックします。別の E-MAP 設定を編集する場合は(1)の手順に戻ります

< 情報 >

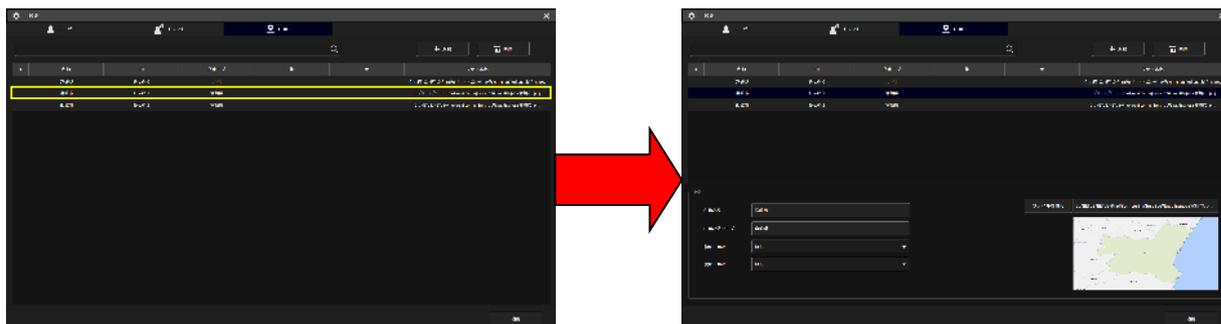
- サイドメニューの E-MAP ツリーの正しい位置に表示されない場合は、NETUS-Pro を一旦終了してから再起動することで正しい位置に表示されるようになります。

7.1.3.3. 地図の登録情報を削除する

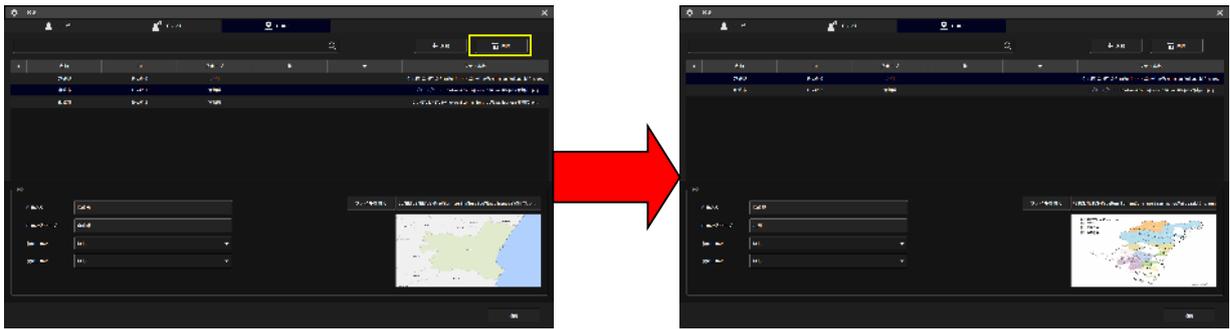
NETUS-Pro に既に登録されている E-MAP 用の地図の登録情報を削除するには、次の手順を実行します。

(1) 削除する行を選択する

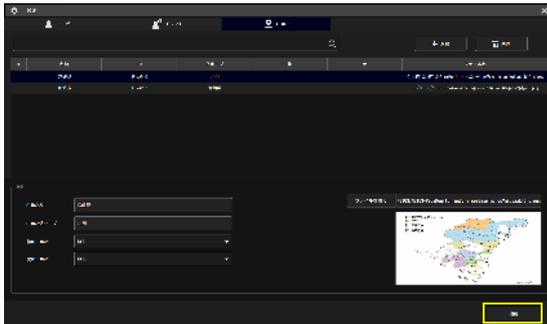
行を選択すると、ウィンドウが上下2段に分かれ、下段に地図情報を入力するためのフォームが表示されます。



- (2) **削除** ボタンをクリックする
選択した行が削除されます。

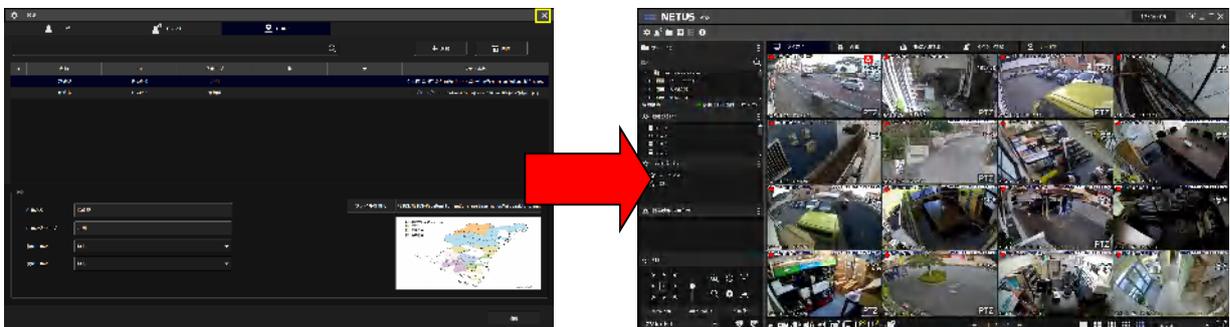


- (3) **適用** ボタンをクリックする。



- (4) **☒ (終了)** ボタンをクリックする

☒ (終了) ボタンをクリックすると「設定」ウィンドウを閉じて、NETUS-Pro のメインウィンドウに戻ります。

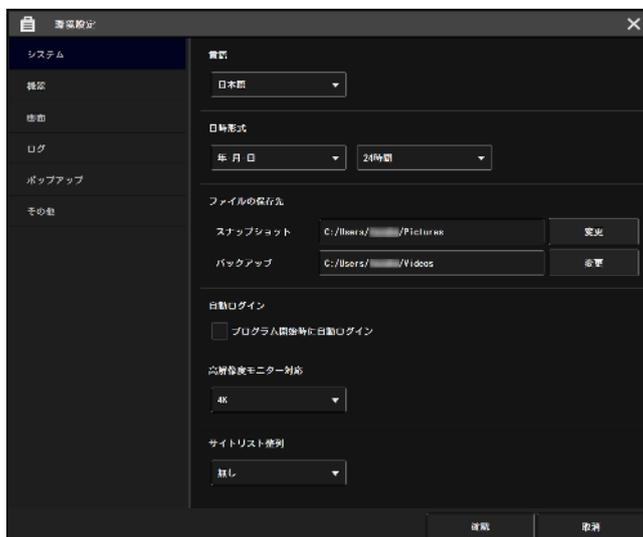


7.2. 環境設定

「環境設定」ウィンドウでは、主に PC のシステム環境に関連する設定をすることが出来ます。ウィンドウは「システム」「機器」「画面」「ログ」「その他」の5つのタブで構成されています。

7.2.1. システム

「システム」タブでは、システム環境に関する次の図と表に示す項目の設定が出来ます。

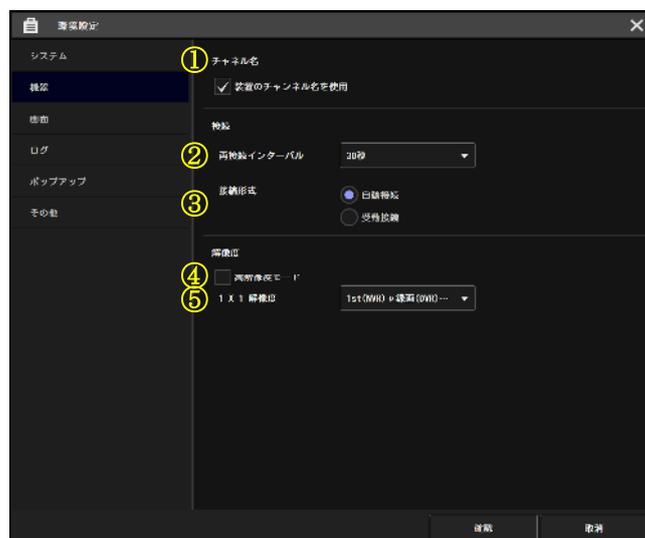


番号	名称		説明
①	言語		NETUS-Pro の画面に表示される文字の言語を「英語」「韓国語」「日本語」「フランス語」から選択出来ます。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注意 ></p> <p>● 弊社では、日本語環境における動作確認のみを実施しております。他の言語に関する質問やサポートはお受け出来ません。</p> </div>
②	日時形式	日付	日付の表示形式を「年-月-日」「日-月-年」「月-日-年」から選択します。
③		時刻	時刻の表示形式を「12 時間(午前/午後)」「24 時間」から選択します。
④	画像ファイルの保存先のパス	スナップショット	ライブまたは再生映像の静止画を保存するための保存先を選択します。
⑤		バックアップ	緊急録画またはバックアップの動画を保存するための保存先を選択します。
⑥	自動ログイン		このチェックボックスをチェックすると、NETUS-Pro を起動した時のユーザー ID とパスワードの入力を省略することが出来ます。

番号	名称	説明
⑦	高解像度モニター対応	<p>PC に接続するモニターの解像度に応じて「FullHD（推薦）」「4K」から選択出来ます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● モニターの解像度が 1920×1080 以下の場合は「FullHD（推薦）」を選択してください。 ● 「FullHD（推薦）」を選択した場合、小さな文字がぼやけて読みづらくなる場合があります。 ● 4K 未満の解像度のモニターで「4K」の設定にしないでください。表示や操作に支障が出る場合があります。 ● 4K 解像度のモニターをお買い求めの前に、お手持ちの PC が 4K 解像度に対応していることをご確認ください。 ● PC とモニターの相性に関するサポートは弊社では出来かねます。 </div>
⑧	サイトリスト整列	<p>サイドメニューに表示されるサイトリストの表示順序を「なし」「昇順」「降順」から選択出来ます。「なし」の場合は登録した順に表示されます。「昇順」の場合は機器に付けられた名称の順に表示されます。「降順」の場合は機器に付けられた名称の逆順に表示されます。</p>

7.2.2. 機器

「機器」タブでは、NETUS-Pro に接続する機器（DVR や NVR）に関する次の図と表に示す項目の設定が出来ます。



番号	名称		説明
①	チャンネル名	機器のチャンネル名を使用	このチェックボックスがチェックされている場合、機器追加または機器変更時に機器に登録されているチャンネル名を NETUS-Pro でもチャンネル名として利用します。 このチェックボックスがチェックされていない場合は機器のチャンネル番号を NETUS-Pro でもチャンネル名として利用します。
②	接続	再接続インターバル	機器との接続が失われた場合の再接続試行間隔を「10 秒」「30 秒」「1 分」「5 分」「10 分」から選択出来ます。通常は短めの時間が推奨されますが、接続されている機器の台数が多い場合には PC やネットワークの負荷を考慮して長めの時間に設定される事をお勧めします。初期値は 30 秒です。
③		接続形式	<p>機器との接続方法を次の中から選択出来ます。</p> <p>自動接続：NETUS-Pro 起動時に登録されている機器に自動的に接続し、各機器の状態をサイトリストに表示します。</p> <p>受動接続：NETUS-Pro 起動時には機器に接続しません。ライブ、再生及びバックアップ操作の際に個別に接続が実行されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">＜ 注 意 ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ● OSD に表示される「受動接続」は誤訳です。正しい意味は「手動接続」です。 ● 「受動接続」の状態では、各機器との緊密な情報交換が行われなくなるため、多くの機能が制限されます。 </div>

番号	名称		説明
④	解像度	高解像度モード	<p>ライブ表示で分割画面の場合、通常は撮影や録画が HD 解像度であったとしてもネットワーク負荷軽減のため機器は SD 解像度のデータを送信していますが、このチェックボックスをチェックすると、画面の分割数に関係なく録画解像度と同じ解像度の映像データを送信します。</p> <p>ライブ表示で 1 画面の場合、通常は機器の「ネットワーク」設定内の「帯域」タブにある「ライブ解像度」で設定した解像度の映像データを送信しますが、このチェックボックスがチェックされている場合、強制的に録画と同じ解像度の映像データを送信します。</p>
⑤		1×1 解像度	<p>NETUS-Pro を実行する複数の端末での分割画面の解像度決定方法を選択します。</p> <p>バンド幅による</p> <p>全ての端末で 1 画面表示の場合はメインストリームの解像度で表示し、分割画面の場合は HVR (NVR) が全ての端末に対して送信するサブストリームのチャンネル数に応じて解像度が変化します。</p> <p>1st (NVR) ヤ録画 (DVR) ストリーム</p> <p>このオプションが選択された端末が 1 画面表示を選択した場合、そのチャンネルを分割表示している別の端末でも、この端末で 1 画面表示しているチャンネルと同じチャンネルについてはメインストリームの解像度で表示されます。その他のチャンネルは HVR (NVR) が全ての端末に対して送信するサブストリームのチャンネル数に応じた解像度で分割表示します。</p>

7.2.3. 画面

「画面」タブでは、NETUS-Pro の OSD 表示に関する次の図と表に示す項目の設定が出来ます。



番号	名称	説明
①	OSD 表示	録画状態
②		日時
③		カメラ名
		このチェックボックスがチェックされている場合、ライブパネルの各チャンネルの左上に録画を示す●アイコンを表示します。カメラ名と同時に表示する場合は録画状態が左側に表示されます。
		このチェックボックスがチェックされている場合、ライブパネル及び再生パネルの各チャンネルの左下に、ライブパネルでは現在の日時を、再生パネルでは現在再生中の映像が録画された日時を表示します。
		このチェックボックスがチェックされている場合、ライブパネル及び再生パネルの各チャンネルの左上にチャンネル名を表示します。録画状態と同時に表示する場合はカメラ名が右側に表示されます。

番号	名称		説明
④		解像度, FPS	このチェックボックスがチェックされている場合、ライブパネル及び再生パネルの各チャンネルの右上に解像度と毎秒フレーム数を表示します。 ここに表示される解像度と毎秒フレーム数は、ライブパネルの場合現在表示しているライブストリームの値を示し、再生パネルの場合現在再生中の再生ストリームの値を示します。
⑤		制御メニュー	このチェックボックスがチェックされている場合、ライブパネル及び再生パネルの各チャンネルの下側に、マウスポインタを合わせた時に操作ボタンを表示します。
⑥	アスペクト比	初期アスペクト比	<p>このチェックボックスがチェックされている場合、NETUS-Pro を起動した初期状態でのライブパネル及び再生パネルの各チャンネルの映像の横縦比をそれぞれの画素数に比例した比率(正方ピクセル)で表示します。チェックボックスがチェックされていない場合、ウィンドウサイズと画面分割数で決まる横縦比に合わせて表示します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center;">< 情報 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ライブ及び再生パネルに割り当てられた各チャンネルのアスペクト比は、その都度各チャンネルの画面の右クリックメニューからも変更することが出来ます。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">< 注意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● IRV-HV8032 に 4M pixel のカメラを接続している場合、あるいは 4M Pixel で録画されたチャンネルがある場合、このチェックボックスがチェックされていると、極端に縦長の映像が表示される場合があります。その場合は各チャンネルの右クリックメニューで適切なアスペクト比を手動で選択してください。 </div>
⑦	機器境界線		< 予定機能 >

※ ウィンドウ内に名称の記述はありませんが、本書では便宜上暫定的にこの名称を使用します。

7.2.4. ログ

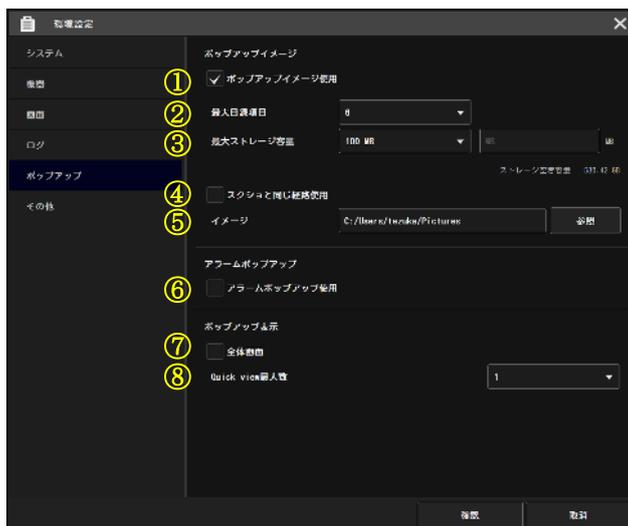
「ログ」タブでは、ログの保存期間や最大表示件数を設定することができます。



番号	名称	説明
①	システムログ管理	保存期間
②		出力番号
③	イベントログ	保存期間
④		出力番号

7.2.5. ポップアップ

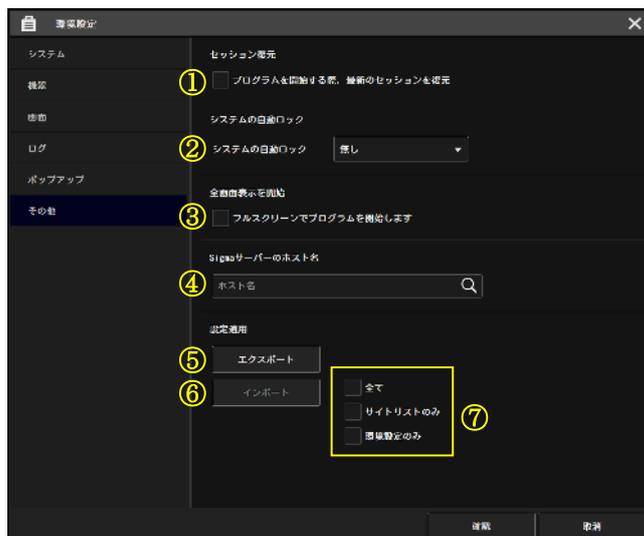
「ポップアップ」タブでは、「ポップアップイメージ」「アラームポップアップ」及び「ポップアップ表示」機能に関する設定をすることができます。



番号	名称		説明
①	ポップアップ イメージ < 予定機能 >	ポップアップ イメージ使用	このチェックボックスをチェックするとツールバーのポップアップイメージボタンが利用可能になります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 2px;"> チェックされていない場合  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; border: 1px solid black; padding: 2px;"> チェックされている場合  </div>
②		最大目録項目	ポップアップイメージウィンドウに表示可能な項目数を 1, 4, 6, 9, 12, 16, 25 から選択出来ます。初期値= 6
③		最大ストレージ 容量	ポップアップイメージとして蓄積可能な最大容量を指定出来ます。(初期値= 100MB)
④		スクショと同じ 経路使用	このチェックボックスがチェックされている場合、ポップアップイメージはスナップショットと同じ場所に保存されます。
⑤		イメージ	「スクショと同じ経路使用」がチェックされていない場合、ポップアップイメージ専用の保存場所を指定出来ます。
⑥	アラーム ポップアップ	アラームポップ アップ使用	このチェックボックスがチェックされている場合、機器状態お知らせに新しいイベントが入ると、その内容を示したウィンドウをポップアップ表示します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  </div> 表示例
⑦	ポップアップ 表示	全体画面	このチェックボックスをチェックすると、ポップアップ表示を全画面で表示します。
⑧		Quick view 最大数	ポップアップ表示ウィンドウの最大数を 1~16 の範囲で選択出来ます。(「全体画面」がチェックされている場合は選択出来ません。)
< 注 意 >			
<ul style="list-style-type: none"> ● 「ポップアップイメージ」「アラームポップアップ」「ポップアップ表示」は名称が似ていますがそれぞれ別の機能です。 ● ポップアップイメージ機能は現在開発中の機能ですので不確実な動作をすることがあります。 ● ポップアップイメージはウィンドウに表示されてから 1 分程度後に保存が実行されます。 ● 環境設定⇒機器⇒解像度で「高解像度モード」がチェックされている場合、一度に保存可能なポップアップイメージの数が少なくなる場合があります。 			

7.2.6. その他

「その他」タブでは、設定情報の保存や復元等の設定をすることが出来ます。



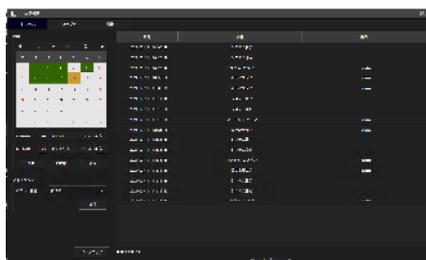
番号	名称		説明
①	セッション復元	プログラムを開始する際、最新のセッションを復元	このチェックボックスがチェックされている場合、NETUS-Pro を起動した時に、前回終了前に表示していた状態を復元し起動します。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;"> <p>< 注 意 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● この機能は、お気に入りの「起動時に適用する」より優先して適用されます。 ● 接続先に P2P 接続が含まれている場合、P2P 接続を再開出来ません。この機能の P2P 接続との併用は避けてください。 </div>
③	全画面表示を開始	フルスクリーンでプログラムを開始します。	このチェックボックスがチェックされている場合、NETUS-Pro 起動時にフルスクリーンモードで表示を開始します。
④	Sigma サーバーのホスト名		
⑤	設定適用	インポート	NETUS-Pro の設定と機器登録情報をファイルから読み込みます。
⑥		エクスポート	NETUS-Pro の設定と機器登録情報をファイルに保存します。
⑦	設定適用	全て	このチェックボックスがチェックされている場合、サイトリストと環境設定の両方が保存と読込の対象になります。
		サイトリストのみ	このチェックボックスがチェックされている場合、サイトリストだけが保存と読込の対象になります。
		環境設定のみ	このチェックボックスがチェックされている場合、環境設定だけが保存と読込の対象になります。

< 注 意 >

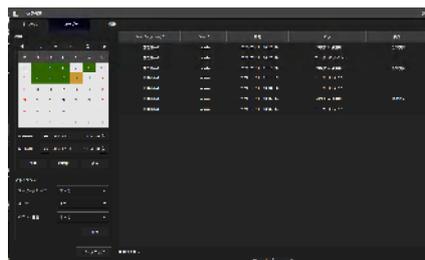
- エクスポートしたファイルをエクスポートしたバージョンより古いバージョンの NETUS-Pro にインポートした場合、エラーになったり正しく動作しなくなったりする可能性があります。
- エクスポートしたファイルをエクスポートした PC とは別の PC にインポートした場合、フォルダ構成やモニターの解像度が異なるため、予期しないエラーが発生したり、正常な画面表示が得られなくなったりする場合があります。弊社では、異なる PC へのインポートはお勧めしませんが、実施する場合はお客様の責任でシステム環境の違いに十分注意し、インポート後の設定確認と動作確認を実施してください。
- エクスポートしたファイルを他の PC にインポートした場合に発生するエラーや誤作動に関して、弊社ではお客様の個別の PC 環境の差異が分からないので対応できません。設定情報をインポートする前に、必ず現在の設定情報を保存してください。

7.3. ログ管理

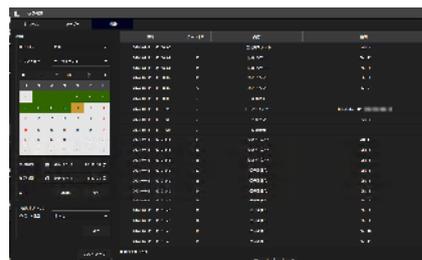
「ログ管理」ウィンドウでは NETUS-Pro が管理するシステムとユーザー及び機器ログの表示や保存をすることが出来ます。それぞれのログはタブで切り替えます。



システムログ



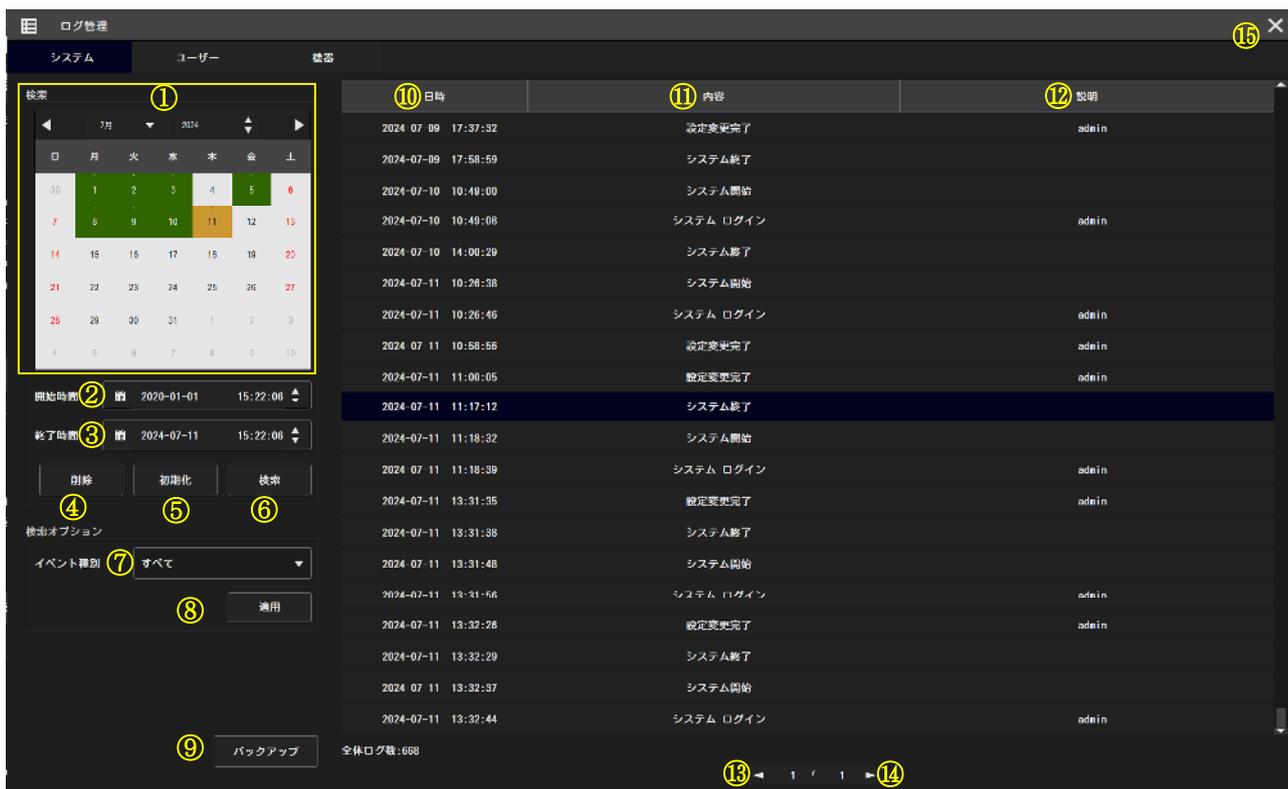
ユーザーログ



機器ログ

7.3.1. システムログ

システムログには、NETUS-Pro の動作状態に関するログを表示します。



番号	名称	説明
①	検索カレンダー	検索カレンダーでは、クリックした日付のシステムログを瞬時に表示します。
②	開始日時	表示または存するログの開始日時を指定します。日付は ¹² ボタンでカレンダーを表示してから選択してください。時刻は数字の部分をマウスで選択してからキーボードで接入力するか ⁴ ボタンで選択します。
③	終了日時	表示または存するログの終了日時を指定します。日付は ¹² ボタンでカレンダーを表示してから選択してください。時刻は数字の部分をマウスで選択してからキーボードで接入力するか ⁴ ボタンで選択します。
④	削除 ボタン	このボタンをクリックすると、ログの選択した項目（行）を削除出来ます。

番号	名称	説明
⑤	初期化 ボタン	このボタンをクリックすると右側に表示されているログの表示を消す事が出来ます。
⑥	検索 ボタン	②③の範囲を指定後にこのボタンをクリックすると、ウィンドウの右側に指定した期間のログを表示します。
⑦	イベント種別	検索 ボタンで表示したログの中から必要なイベント種別だけに絞り込んで表示したい場合に、ここで必要なイベント種別を選択します。
⑧	適用 ボタン	このボタンをクリックすると、⑦で選択したイベント種別のログだけが表示されます。
⑨	バックアップ ボタン	①～⑧の操作で表示されたログをファイルに保存します。
⑩	日時	この行のログが記録された日時を表示します。
⑪	内容	起こった事象を表示します。
⑫	説明	起こった事象に付随する追加の情報がある場合に、それを表示します。 (無い場合は空欄)
⑬	◀ (前のページ) ボタン	検索されたログの中から、より古いログを表示します。
⑭	▶ (次のページ) ボタン	検索されたログの中から、より新しいログを表示します。
⑮	☒ (閉じる) ボタン	「ログ管理」ウィンドウを閉じます。

7.3.2. ユーザーログ

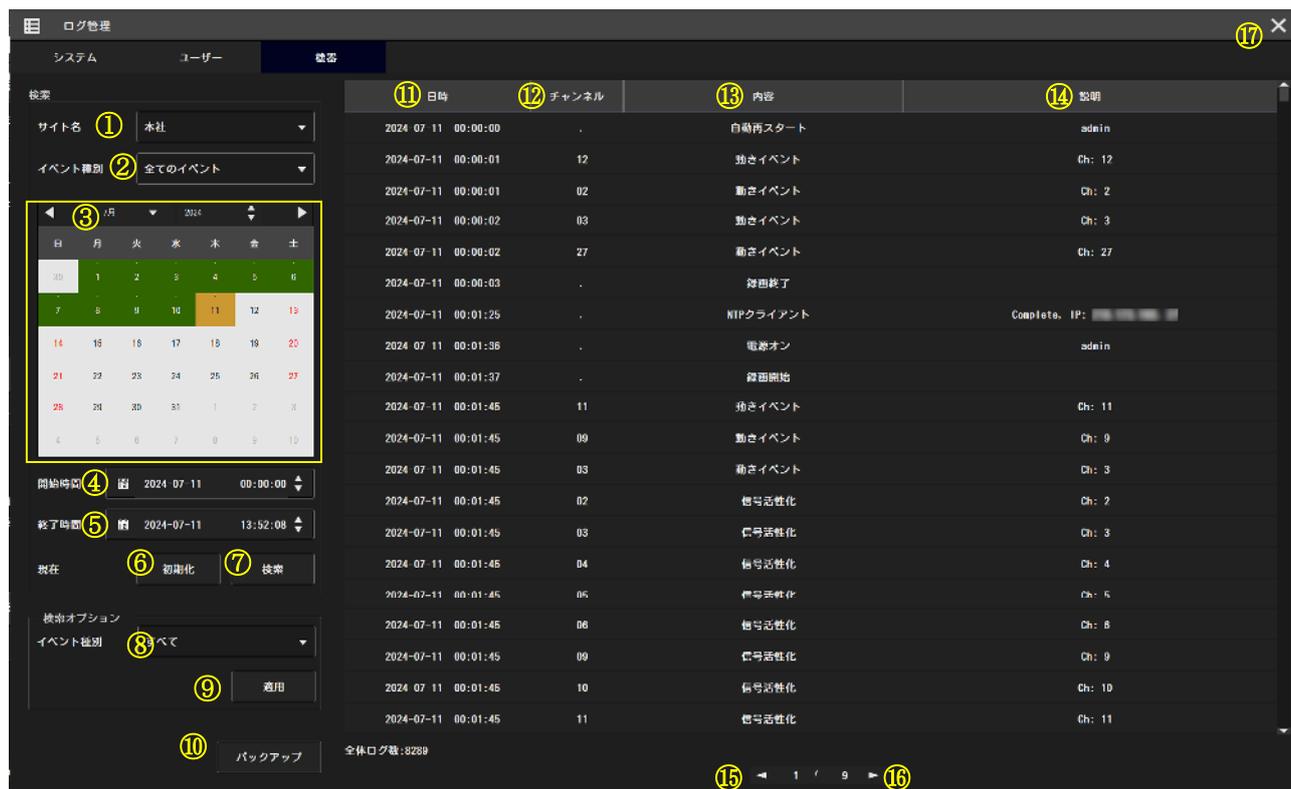
ユーザーログには、NETUS-Pro のユーザー操作に関するログを表示します。

The screenshot shows the 'ログ管理' (Log Management) window. On the left, there is a search panel with a calendar for selecting a date range. Below the calendar are buttons for '削除' (Delete), '初期化' (Reset), and '検索' (Search). There are also dropdown menus for 'ユーザーグループ' (User Group), 'ユーザ' (User), and 'イベント種別' (Event Type), along with '適用' (Apply) and 'バックアップ' (Backup) buttons. The main area displays a table of logs with the following columns: 'ユーザーグループ' (User Group), 'ユーザ' (User), '日時' (Date/Time), 'ログ' (Log), and '説明' (Explanation). The table contains multiple entries for 'admin' and 'test' users, with various log messages like 'お気に入り追加' (Add Favorite) and 'ユーザーログイン' (User Login). At the bottom, there are navigation buttons for '17' and '18'.

番号	名称	説明
①	検索カレンダー	検索カレンダーでは、クリックした日付のユーザーログを瞬時に表示します。
②	開始日時	ログの表示を開始する日時を指定します。
③	終了日時	ログの表示を終了する日時を指定します。
④	<input type="checkbox"/> 削除 ボタン	このボタンをクリックすると、ログの選択した項目（行）を削除出来ます。
⑤	<input type="checkbox"/> 初期化 ボタン	このボタンをクリックすると右側に表示されているログの表示を消す事が出来ます。
⑥	<input type="checkbox"/> 検索 ボタン	②③の範囲を指定後にこのボタンをクリックすると、ウィンドウの下段にログを表示します。
⑦	ユーザーグループ (選択)	<input type="checkbox"/> ボタンで表示したログの中から必要なユーザーグループだけに絞り込んで表示したい場合に、ここで必要なユーザーグループを選択します。
⑧	ユーザー	<input type="checkbox"/> ボタンで表示したログの中から必要なユーザーだけに絞り込んで表示したい場合に、ここで必要なユーザーを選択します。
⑨	イベント種別	<input type="checkbox"/> ボタンで表示したログの中から必要なイベント種別だけに絞り込んで表示したい場合に、ここで必要なイベント種別を選択します。
⑩	<input type="checkbox"/> 適用 ボタン	このボタンをクリックすると、⑦⑧⑨で選択した条件に含まれるログだけが表示されます。
⑪	<input type="checkbox"/> バックアップ ボタン	②～⑩の操作で表示されたログをファイルに保存します。
⑫	ユーザーグループ (列)	操作を実行したユーザーが含まれるユーザーグループを表示します。
⑬	ユーザー	操作を実行したユーザーの ID を表示します。
⑭	日時	この行のログが記録された日時を表示します。
⑮	ログ	ユーザーが実行した操作の内容を表示します。
⑯	説明	ユーザーが実行した操作に付随する追加の情報がある場合に、それを表示します。(無い場合は空欄)
⑰	◀ (前のページ) ボタン	検索されたログの中から、より古いログを表示します。
⑱	▶ (次のページ) ボタン	検索されたログの中から、より新しいログを表示します。
⑲	<input checked="" type="checkbox"/> (閉じる) ボタン	「ログ管理」ウィンドウを閉じます。

7.3.3. 機器ログ

機器ログには、NETUS-Pro に接続している機器（DVR や NVR）のログを表示します。



番号	名称	説明
①	サイト名	ログを表示させるサイト（DVR や NVR）を選択します。
②	イベント種別	ログに表示するイベント種別を「全てのイベント」「ノーマル」「録画」「エラー」「ネットワーク」から選択します。
③	検索カレンダー	検索カレンダーでは、クリックした日付の機器ログを瞬時に表示します。また、この際にタイムインデックスの選択も行います。
④	開始日時	ログの表示を開始する日時を指定します。
⑤	終了日時	ログの表示を終了する日時を指定します。
⑥	初期化 ボタン	このボタンをクリックすると右側に表示されているログの表示を消す事が出来ます。
⑦	検索 ボタン	④⑤の範囲を指定後にこのボタンをクリックすると、右側のウィンドウにログを表示します。その際③で選択したタイムインデックスが選択されます。
⑧	検索オプション イベント種別	検索 ボタンで表示したログの中から必要なイベント種別だけに絞り込んで表示したい場合に、ここで必要なイベント種別を選択します。
⑨	適用 ボタン	このボタンをクリックすると、⑧で選択した条件に含まれるログだけが表示されます。
⑩	バックアップ ボタン	①～⑨の操作で表示されたログをファイルに保存します。
⑪	日時	この行のログが記録された日時を表示します。
⑫	チャンネル	イベントの発生したチャンネルを表示します。
⑬	内容	発生したイベントの内容を表示します。
⑭	説明	チャンネルや IP アドレスのようなイベントに関連する情報を表示します。
⑮	◀ (前のページ) ボタン	検索されたログの中から、より古いログを表示します。

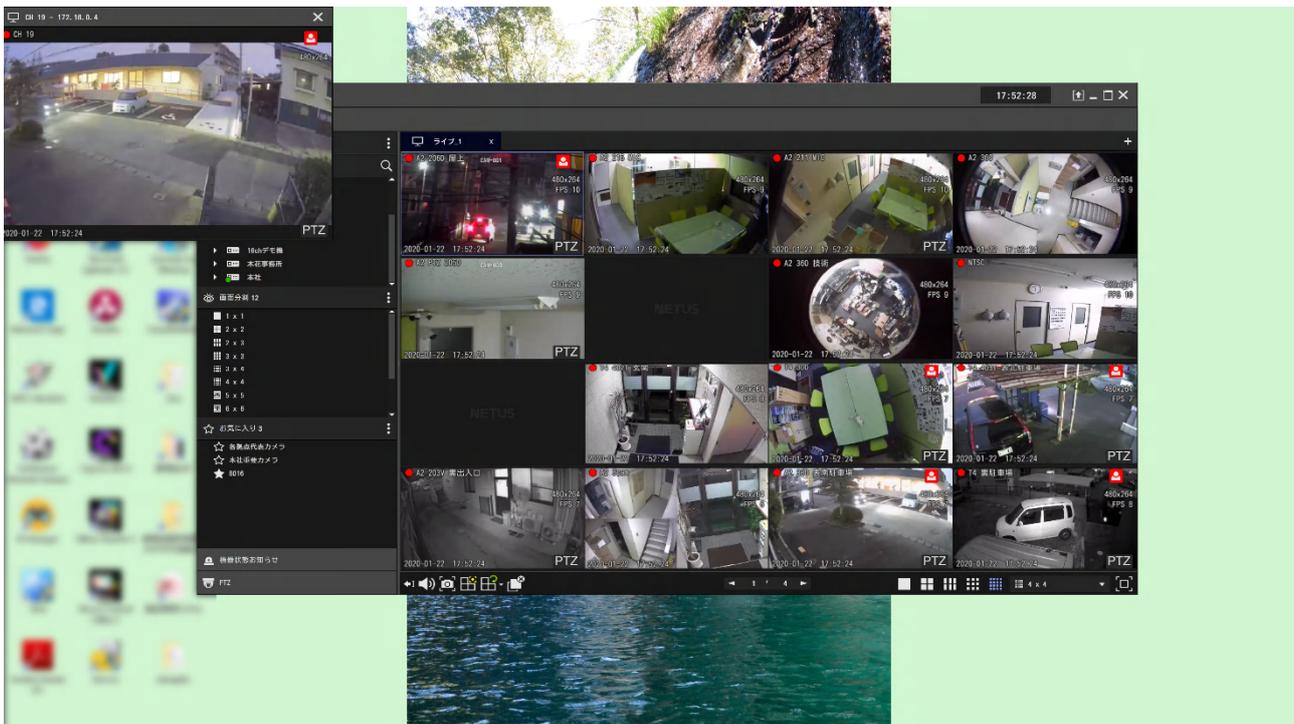
番号	名称	説明
⑩⑥	▶ (次のページ) ボタン	検索されたログの中から、より新しいログを表示します。
⑩⑦	☒ (閉じる) ボタン	「ログ管理」 ウィンドウを閉じます。

8. 付録

8.1. イベントアクションの表示について

イベントアクション機能の「イベントスポット」と「ポップアップ表示」は、それぞれ次のような画面が表示されます。これらの機能は現在開発中の機能であり、今後表示の仕様が変更される可能性があります。

8.1.1. ポップアップ表示の表示例



輸入卸元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3249-1

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

<http://www.interluck.co.jp>

問い合わせ先販売店